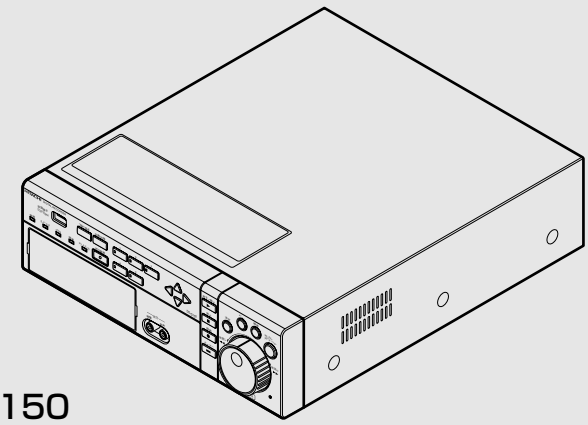
取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

日立デジタルレコーダー
DS-G150

このたびは日立デジタルレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。



DS-G150

付属品　　付属品をご確認ください
電源コード.....1本
取扱説明書.....1冊

1 はじめに
2 設置と接続
3 お使いになる前に
4 記　録
5 再　生
6 検索/サーチ
7 外部ストレージへの保存と再生
8 モードロック
9 ネットワーク
10 通　知
11 その他の使いかた
12 付　録

もくじ

1　はじめに

主な特長 ……4
安全にお使いになるためのご注意 ……5
設置上のお願いおよび使用上のご注意……10
各部の名前とはたらき……11

2　設置と接続

基本接続……13
コントロール端子の機能……14
VTRへの接続 ……15

3　お使いになる前に

電源を入れる……16
電源を切る……16
日付・時刻を合わせる……18
設定を行う上での重要事項……20
メニュー画面……21
モニター画面の見かた……23
操作音の設定……26
モニター画面の設定……26
モニター画面に名前をつける……28
画面スキップの設定……31
自動切換の設定（自動切換機能）……32
ライブ画面の使いかた……34
映像をズーム表示する……37

4　記　録

記録について……38
記録の共通設定……41
一般記録……45
タイマー記録……48
非常アラーム記録……53
アラーム記録について……55
アラーム入力時の特殊な動作を設定する……58
モーションディテクタ……59
モーションディテクタの設定……60
記録の上書きを禁止／解除する……67

5　再　生

再生のしかた……69
その他の再生……70
記録中に映像を再生する（記録同時再生）……71
インデックスサーチ……71

6　検索/サーチ

検索について……72
タイムデートサーチ……73
最新画像サーチ……74
その他サーチ……74

7　外部ストレージへの保存と再生

外部ストレージの接続……79
外部ストレージの初期化……80
外部ストレージに保存する……81
保存したデータの再生……82
自動バックアップ……85
緊急バックアップ記録……87

8　モードロック

モードロックについて……88
パスワードを設定する……88
操作制限をする機能を設定する……90
モードを切り替える（モード移動）……95
モードの自動移動を設定する……96
特権ログインを設定する……97

9　ネットワーク

ネットワークで監視する……98
ネットワークの設定について……98
ネットワークの基本設定をする……99
ネットワークの回線を設定する……101
SNTPの設定をする……101
メール通知の設定をする……103
遠隔監視機能を設定する……105
パソコンと接続したときの通信速度を設定する……107

10　通　知

通知について……108
異常検知出力端子の通知を設定する……109
アラーム入力の通知を設定する……110
モーションディテクタの通知を設定する……111
ハードディスクの通知を設定する……111
その他の通知を設定する……112
ブザー音を止める……112
画面に通知された情報を消す……112

11　その他の使いかた

外付けハードディスクの増設……113

12　付　録

故障かな･･･と思ったら……115
異常検出と復旧方法……117
通知内容……119
記録間隔表……120
RS-232Cの通信仕様……121
保証とアフターサービス……139
仕　様……140
設定機能一覧……141
索　引……142
お客様ご相談窓口……144
簡易版操作マニュアル……145
設定値記録シート……149

主な特長

■ カメラ5台接続時でも全カメラの入力映像をフルフレーム(毎秒30フレーム)記録

日立独自の映像圧縮技術を採用し、毎秒で最大150フレームの記録が可能ですので、カメラ5台接続時でも全てのカメラから入力した映像をフルフレーム記録(352×240ドット、毎秒30フレーム)が可能です(BASICモードの場合)。従来のようなコマ送り映像ではなく、スムーズな映像記録ができます。

■ プログレッシブ記録で記録解像度が倍増

当社カメラ「VK-C556」「VK-C879」「VK-C551」と接続時は、カメラのプログレッシブ映像をそのままダイレクトにハードディスクに記録できます。これにより、SUPER/HIGH/STANDARDモードで704×480ドットと、従来の704×240ドットに比べて解像度が倍になり高画質で記録できます。また、記録時間を重視した704×240ドットの記録も可能です。

■ 拡張端子で、記録データを簡単バックアップ

本体前面に装備された拡張端子により、外部ストレージ(推奨品のみ、DVD-R/RAMドライブ、ハードディスクユニット、カードリーダー／ライターなど)に必要な記録データをバックアップ可能です。またハードディスクユニット接続時は、内蔵ハードディスクが故障の際に緊急バックアップ機能を使用し、代替記録を行うことが可能です。(カメラ1台あたり毎秒1枚の記録に固定、音声は記録されません)

■ さまざまな運用形態に対応するHDDフォルダー分け機能

内蔵ハードディスクを3つのフォルダーに分け、フォルダー毎にリサイクルモード(上書き指定)や記録するカメラを設定できます。さまざまな運用形態にあわせて細かな設定が可能です。

■ 同時音声記録可能

音声を同時に記録することが可能です。再生時に音声を同時に再生することも可能です。

■「DSHNET5」(別売)で遠隔モニタリングにも対応

- 内蔵のLAN端子により、「DSHNET5」をインストールしたPCからカメラ映像の遠隔モニタリングや本体の遠隔操作が可能です。
- ハードディスクへの記録映像と、ネットワーク伝送する映像のサイズを個別に設定が可能です。記録は高画質で、伝送する場合には速度を重視、といった柔軟な対応が可能です。
- 音声は双方向対応。遠隔地とのコミュニケーションが可能です。

■ モーションディテクタ機能内蔵

カメラ映像内の人や物の動きを検知し、映像記録や映像切り換えと連動できるモーションディテクタ機能を内蔵しています。

※Windows®,Microsoft Internet Explorer は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

安全にお使いになるためのご注意

この取扱説明書には、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、重要な注意事項を記載しています。
注意事項は、取り扱いを誤った場合に発生が想定される危害や損害の程度を、次のとおり「警告」「注意」の2つに分類しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

表示について

⚠警告	誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容を示しています。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、「人が傷害（※2）を負う可能性が想定される」内容および「物的損害（※3）のみの発生が想定される」内容を示しています。

※1重傷..... 失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2傷害..... 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3物的損害 ..... 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

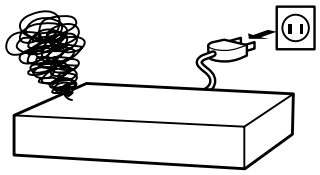
図記号の意味

注意	この記号は、気をつけていただきたい**「注意」**内容です。	接触禁止	この記号は、手を触れてはいけない**「接触禁止」**を表しています。
禁止	この記号は、してはいけない**「禁止」**内容です。	ぬれ手禁止	この記号は、**「ぬれた手で扱うことを禁止する」**ことを表しています。
水ぬれ禁止	この記号は、**「水にぬらすことを禁止する」**ことを表しています。	強制	この記号は、必ず実行していただく**「強制」**内容です。
分解禁止	この記号は、**「分解禁止」**を表しています。	プラグを抜く	この記号は、コンセントから**「電源プラグを抜く」**ことを表しています。

次ページへつづく

⚠警告

煙が出ている、へんな臭いがするなど異常なときは、電源プラグを抜く



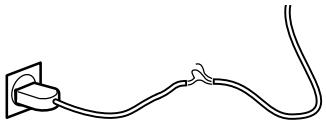
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 異常状態に気づいたらすぐに使用を中止し、販売店にご相談ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

電源コードを破損させない

電源コードの破損につながるので、取り扱いの際は、次の点を守ってください。

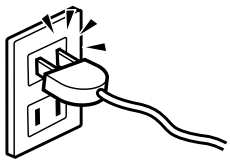
- 傷つけない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 重いものや角が鋭利なものを乗せない
- 加熱しない
- 引っ張らない
- 加工しない
- たばねない
- 敷物などでおおわない



破損したまま使用すると、火災・感電の原因となります。

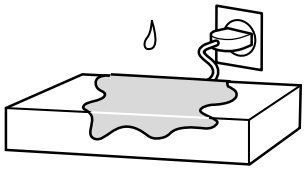
- 万一、コードが破損したときは、電源プラグをコンセントから外して販売店にご相談ください。

電源プラグが不完全な接続のまま使わない



接触不良で発熱し、火災の原因となります。

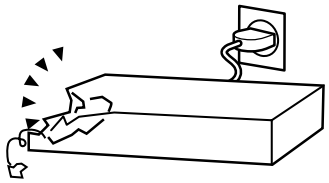
水にぬらさない



内部に水が入ったまま使用すると、火災・感電・漏電の原因となります。

- 内部に水が入ってしまったときは、使用を中止し、販売店にご相談ください。
- 風呂、シャワー室では使用しないでください。

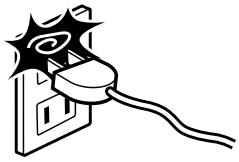
落としたり､キャビネットを破損しない



落としたり、キャビネットを破損した場合は、正常に動作しているように見えても内部に異常がある場合があります。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

電源プラグにほこりや汚れ・金属物などの異物を付着させない

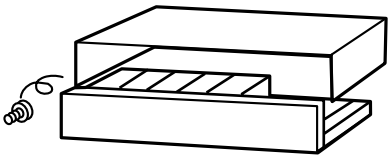


電源プラグに異物が付着したまま使用すると発熱し、火災・感電の原因となります。

- 万一、付着しているときは、電源プラグをコンセントから外し、取り除いてください。

⚠警告

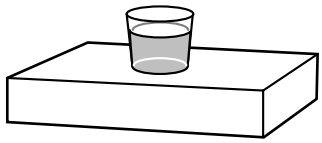
分解・改造しない、カバーを開けない



分解・改造すると、火災・感電・漏電・けがの原因となります。

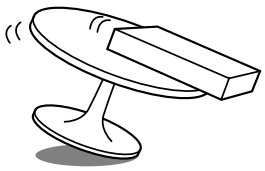
- カバーの内部には電圧の高い危険な部分もあります。内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

水の入った容器をのせたり、小さな金属物を置かない



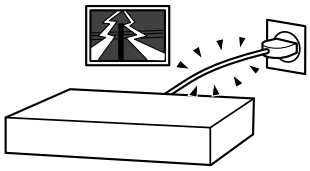
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を上や近くに置かないでください。こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない



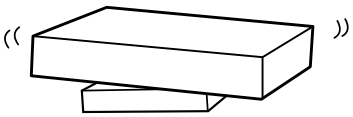
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。

雷がなるときは電源コードに触れない



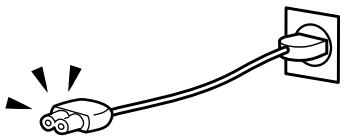
雷が鳴り始めたら、電源コードに触れないでください。感電の原因となります。

本機より小さい機器や台の上に置かない



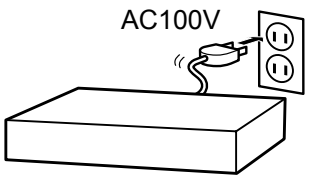
本機より小さい機器や台の上に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、故障の原因となります。

電源コードだけをコンセントに差し込んだままにしない



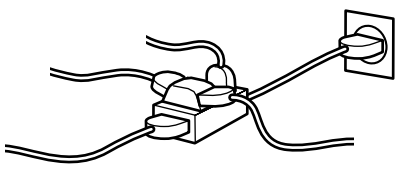
電源コードだけを、コンセントに差し込んだまま放置しないでください。火災·感電の原因となります。

表示された電源電圧で使用する



表示された交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

タコ足配線をしない

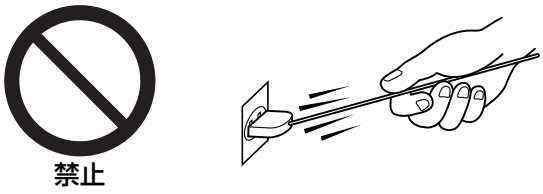


タコ足配線しないでください。火災・過熱の原因になります。

次ページへつづく

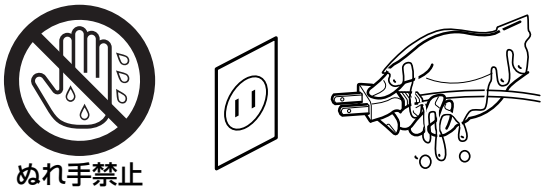
⚠注意

電源コードを持って引っ張らない



電源コードを持って引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグをコンセントから抜くときは、プラグ部分を持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

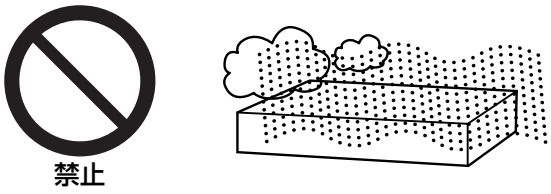


感電の原因となることがあります。

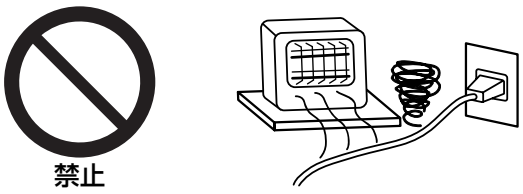
湿気、ほこり、湯気は避ける
振動が激しい場所は避ける

火災・感電を防止するため、次のような場所に置かないでください。

- 湿気やほこりの多い場所
- 湯気や湯煙が当たる場所
- 温風または冷風が当たる場所
- 振動がある場所



電源コードを熱器具に近づけない

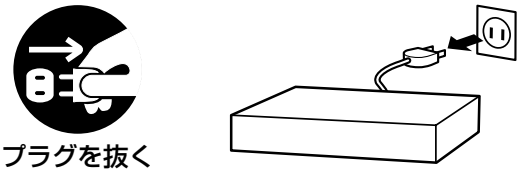


コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

許容動作温度（湿度）範囲外では使用しない

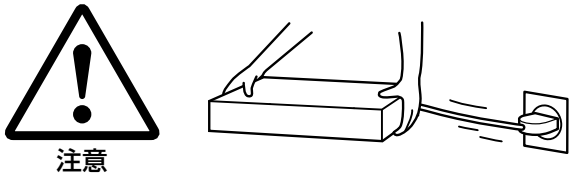
許容動作温度（湿度）5～40℃(10～75%)の範囲外で使用するとハードディスクの故障や機器の故障の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜く



安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

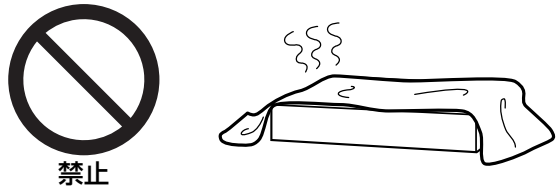
移動させるときは注意する



移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードを外したことを確認のうえ、行ってください。外さないで移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

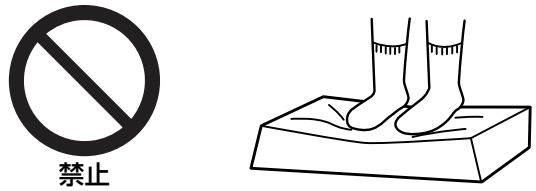
⚠注意

通風孔をふさがない



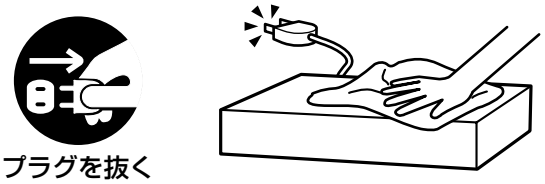
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
本箱や押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込んだり、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんやふとんの上に置いたりしないでください。

本機の上に乗らない



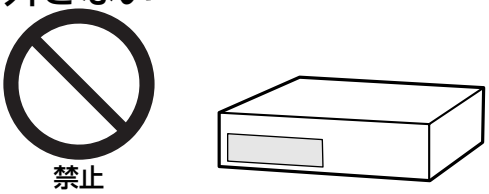
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

お手入れするときは電源プラグを抜く



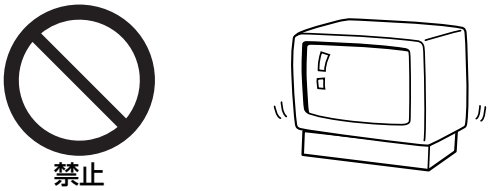
安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

フロントのハードディスクカバーを外さない



保守用のカバーのため、ハードディスクカバーを外さないでください。

重いものを置かない



重いものやテレビなどを上に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

保守点検について

保守点検を販売店などにご相談ください。長い間掃除しないと本機内部にほこりがたまり、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、保守点検の費用については、販売店などにご相談ください。

温度差のある場所への移動について

- 特に、移動する場所で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露が生じることがあります。結露※したまま使用すると、ハードディスクの故障や、火災・感電の原因となります。
  ※表面や内部に水滴がつくことを結露といいます。
- 温度差のある場所へ移動した場合には、使用する場所で数時間そのまま放置してからご使用ください。

消耗品について

- ハードディスク、冷却ファンおよびハードディスクを固定する防振ゴムは消耗部品です。3年を目安に交換してください。（目安であり、保証ではありません。）
- 交換したハードディスクの取り扱いについては、営業または販売店にお問い合わせください。

設置上のお願いおよび使用上のご注意

ハードディスクは大変デリケートな精密機器です。設置環境や取り扱いによってハードディスクの寿命などに重大な影響がありますので、以下の内容を必ず守ってください。

直射日光が当たるところや熱器具の近くに置かない	• キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。
本機の上にものを置かない	• キャビネットが変形したり、内部の温度が上昇して故障の原因になります。
熱を発するものの上に、本機を置かない	• 本機の底面に通風孔がありますので、カメラ駆動ユニットなどの熱を発するものの上には置かないでください。内部の温度が上昇して、故障の原因になります。
通風孔や冷却ファンをふさがない	• 内部の温度が上昇して､故障の原因となることがあります｡壁などに近づけて放置しないでください｡(100㎜以上のスペースを空けてください｡) また、本機の底面の足を取り外して設置しないでください。 • 本機には冷却用ファンが内蔵されていますのでモーター音がします。
強力な磁気のあるところに置かない	• 磁気の影響を受けて映像が乱れたり､故障の原因となることがあります。
ハードディスクについて	• 当社指定のハードディスク以外は、使用できません。 • ハードディスクは、精密機器です。落としたり、ぶつけたり、過大な衝撃を与えないよう取り扱いには注意してください。故障の原因となります。 • ハードディスクは、結露したまま使用すると破壊につながります。 寒い屋外などから暖かい室内に持込んだ場合は、半日程放置してから使用してください。
本機を移動するとき	• HDD電源ボタンを3秒以上押してください（画面にメッセージが表示されます）HDD電源ボタンが点滅します。 約30秒後、画面のメッセージが変わったらハードディスクの回転が停止したので、電源プラグをコンセントから抜いてください。 振動や衝撃を与えないように本機を移動してください。
本機に衝撃を与えない	• 本機は精密機器です。落としたりして衝撃を与えると、故障の原因となることがあります。 • 輸送するときは、付属のカートン、または同じようなもので梱包し、本機に衝撃を与えないようご注意ください。
振動のあるところで使わない	• 本機は精密機器です｡振動を与えると故障の原因となることがあります。
縦置きはしない	• 本機は、水平位置で使用するように設計してあります。垂直にしたり、極端に傾けての使用は避けてください。
屋外では使わない	• 本機は、屋内使用に設計されていますので、屋外では、使用しないでください。

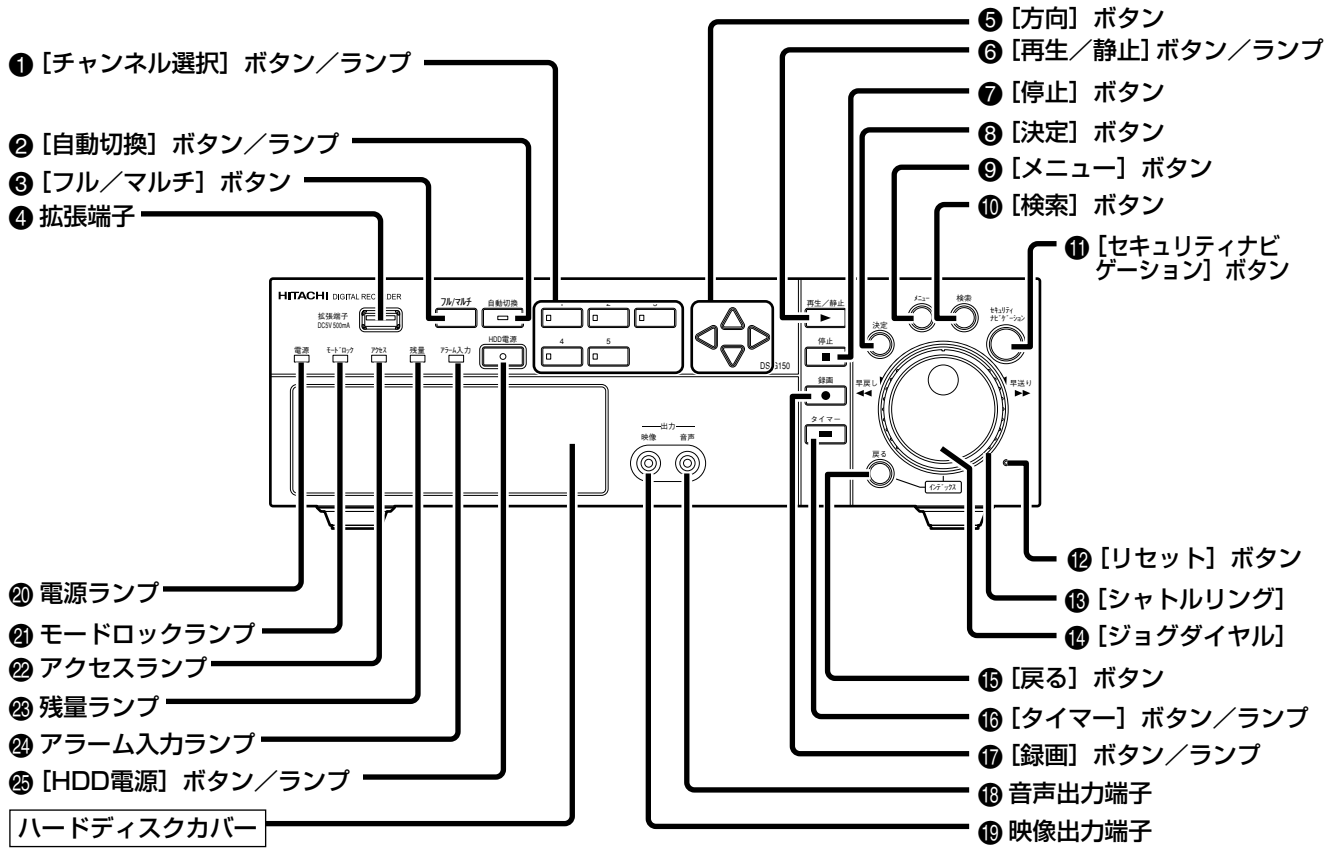
本機の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害（営業損失などの補償）の責については、ご容赦ください。

ハードディスクが故障した場合、記録した映像音声データの保管および復旧はご容赦ください。

お手入れについて	• 化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。 • キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。 • キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。 • キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはげることがあります。

各部の名前とはたらき

●前面



前　面

❶ **［チャンネル選択］ボタン/ランプ**
モニター画面の映像を選ぶときに使用します。選んだモニター画面のチャンネルのランプが緑色に点灯します。

❷ **［自動切換］ボタン/ランプ**
モニター画面の映像を自動的に切り換えるときや自動切り換えをやめるときに使用します。自動切り換え中、ランプが緑色に点灯します。

❸ **［フル/マルチ］ボタン**
モニター画面の画面分割表示を切り換えるときに使用します。

❹ **拡張端子**
外部ストレージを接続するときに使用します。

❺ **［方向］ボタン**
画面上のカーソル移動やメニュー操作に使用します。

❻ **［再生/静止］ボタン/ランプ**
再生するときや一時停止するときに使います。
再生中は緑色に点灯し、静止中は点滅します。

❼ **［停止］ボタン**
記録または、再生を停止するときに使用します。

❽ **［決定］ボタン**
各メニュー画面や設定画面で、選んだ項目を確定するときに使用します。

❾ **［メニュー］ボタン**
メニュー画面を開いたり、閉じたりするときに使用します。

❿ **［検索］ボタン**
検索画面を開いたり、閉じたりするときに使用します。

⓫ **［セキュリティナビゲーション］ボタン**
セキュリティナビゲーションメニュー画面を開いたり、閉じたりするときに使用します。

⓬ **［リセット］ボタン**
初めてお使いになるときや、使用中に異常が生じたときなどシステムリセットをするときに使用します。

⓭ **［シャトルリング］**
再生時のスピードや再生方向を変えるときに使用します。

⓮ **［ジョグダイヤル］**
再生時のコマ送りやコマ戻しをするときに使用します。また、設定画面で設定値を選ぶときに使います。

⓯ **［戻る］ボタン**
各メニュー画面や設定画面で１つ前の画面に戻すときに使います。

⓰ **［タイマー］ボタン/ランプ**
タイマー記録の予約、およびタイマー記録をやめるときに使います。
予約中は、ランプが緑色に点灯してお知らせします。

⓱ **［録画］ボタン/ランプ**
記録を開始するときに使います。記録中はランプが赤色に点灯します。

⓲ **音声出力端子**
モニターの音声入力端子につなぎます。

⓳ **映像出力端子**
モニターの映像入力端子につなぎます。

⓴ **電源ランプ**
電源が入っているときに赤色に点灯します。

㉑ **モードロックランプ**
モードロックされているときに緑色に点灯します。

㉒ **アクセスランプ**
ハードディスクをアクセスしているときに、緑色に点滅します。

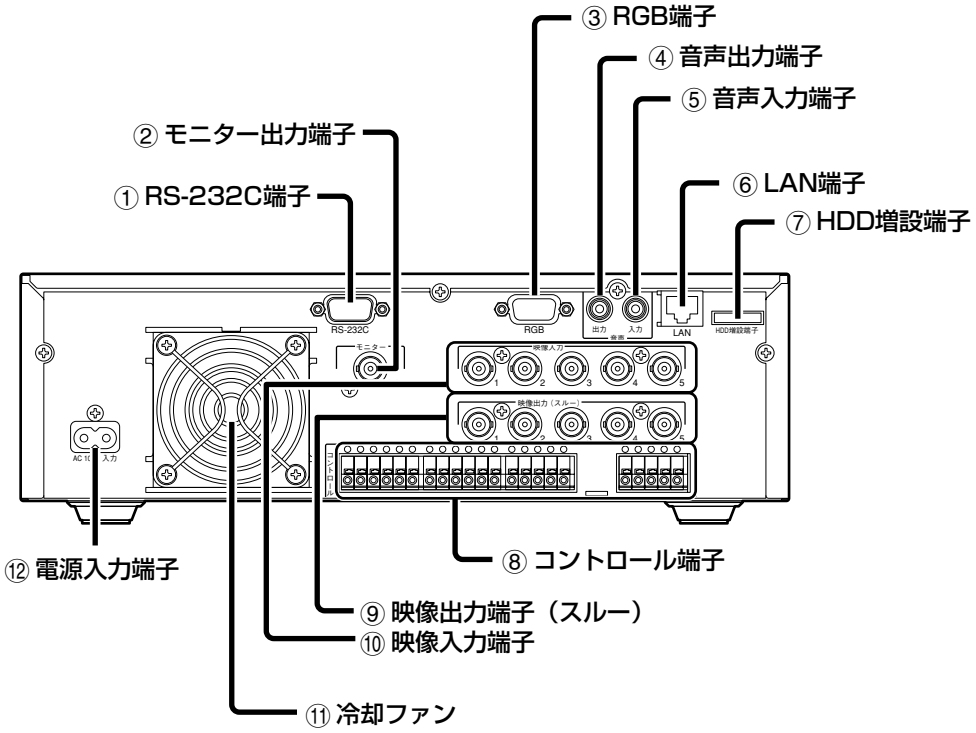
㉓ **残量ランプ**
ハードディスクの残量が設定値以下になると緑色に点滅し、残量が無くなると点灯します。

㉔ **アラーム入力ランプ**
アラーム入力中は赤色に点灯し、アラーム記録が終了すると点滅または消灯します。

㉕ **［HDD電源］ボタン/ランプ**
ハードディスクの電源を入/切するときに使います。
ハードディスクの電源が入っているときは赤色に点灯し、電源が切れているときは消灯します。

次ページへつづく

●後面



後　面

① **RS-232C端子**
パーソナルコンピューターと接続するときに使用します。

② **モニター出力端子**
モニターの映像入力端子につなぎます。

③ **RGB端子**
PC（パーソナルコンピューター）用ディスプレイの映像入力端子につなぎます。

④ **音声出力端子**
モニターの音声入力端子につなぎます。

⑤ **音声入力端子**
カメラ駆動ユニットなどの音声出力端子につなぎます。

⑥ **LAN端子(イーサネット)**
パーソナルコンピューターと接続するときに使用します。

⑦ **HDD増設端子**
外付けのハードディスクをつなぐときに使用します。

⑧ **コントロール端子**
アラーム機能などを使用するときに使用します。

⑨ **映像出力端子（スルー）**
映像入力端子で入力された映像が出力されます。

⑩ **映像入力端子**
ビデオカメラやカメラ駆動ユニットとつなぎます。

⑪ **冷却ファン**
内部の温度上昇を防ぐものです。ファンの周りをふさがないようにしてください。

⑫ **電源入力端子**
付属の電源コードをつなぎます。

設置と接続

基本接続

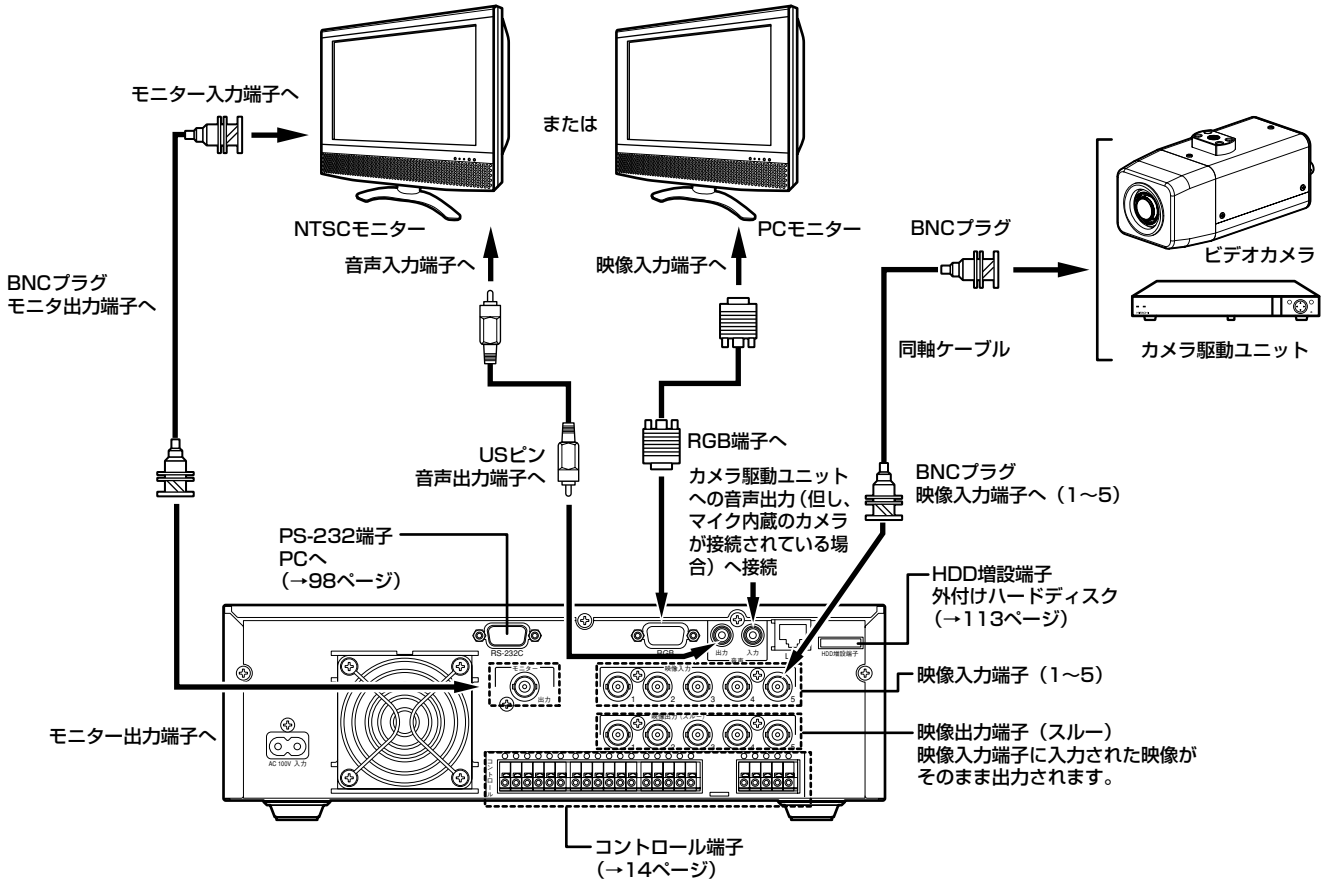
ビデオカメラの映像出力端子や、カメラ駆動ユニットなどの映像出力端子（BNC接栓）からの映像信号を最大5系統入力できます。

■推奨カメラ
VK-C306、VK-C316、VK-C336、
VK-M506
VK-C516、VK-C536、VK-C816、
VK-C858、VK-C859
■プログレッシブカメラ
VK-C556、VK-C879、VK-C551

■推奨PCモニター
日立　　：PC-DT3156/3171/3172/
　　PC-DTW17ASXS
サムソン　：Sync Master 540N/740N
EIZO　　：Flex Scan L367/L568

お知らせ

- 本機に接続して使用する機器の取扱説明書とその「使用上の注意」をよくお読みください。
- ご使用になるカメラレンズのアイリスを、開きすぎないようにしてください。
- カメラ駆動ユニットによっては、音声の歪みなどが発生することがあります。
- PCモニターは、推奨品をお使いください。
  PCモニターによっては、表示できない場合があります。

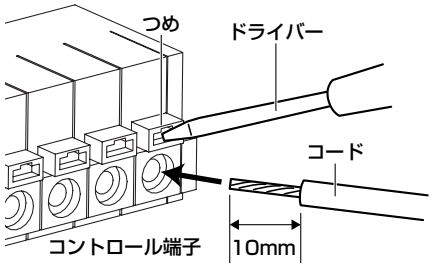


コントロール端子のつなぎ方

- 接続するときは、コードの皮膜を10mmほどはがし、ドライバーなどでつめの部分を押しながらコードを挿入します。
- コードを抜くときは、ドライバーでつめの部分を押しながら抜きます。

コードを抜くとき

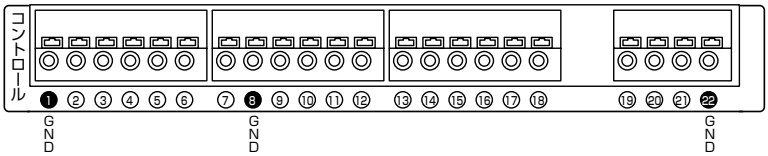
つめの部分をドライバーで押しながら、コードを抜いてください。



※つめの中央部を確実に押してください。

コントロール端子の機能

アラーム機能等を使用するときや警告等を出力するための端子です。



No.	機　能
1	**GND** • グランド端子です。
2	**非常アラーム** • 400ms以上の非常アラーム期間（A接点：GNDとショート、B接点：オープン）で非常アラーム入力を受け付けます。
3〜7	**アラーム入力「1」〜「5」** • 400ms以上のアラーム期間（A接点：GNDとショート、B接点：オープン）でアラーム入力を受け付けます。
8	**GND** • グランド端子です。
9 10	**タイムアジャスト入力「9」, タイムアジャスト出力「10」** • 複数台のレコーダーを使用する場合、マスター機の時刻にスレーブ機（その他のレコーダー）の時刻を合わせる機能です。（→18ページ） • スレーブ機は3台まで接続できます。 • 各レコーダ間を下図のように接続してください。 マスター機 ―「10」タイムアジャスト出力 スレーブ機1 ―「9」タイムアジャスト入力 スレーブ機1 ―「10」タイムアジャスト出力 スレーブ機2 ―「9」タイムアジャスト入力 • マスター機／スレーブ機は、「時刻調整方法」で設定できます。（→19ページ） • 時刻調整は、1日に1回マスター機からのタイムアジャスト信号出力によって行われます。時刻調整は、マスター機の時刻に対してスレーブ機の時刻誤差が±90分以内の場合です。また、調整する時刻が、スレーブ機のハードディスク上の記録データにすでに存在する場合は、記録されている最新のデータの時刻に調整します。

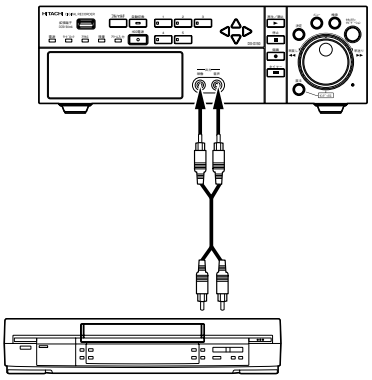
No.	機　能
11 12	**CLK入力「11」、CLK出力「12」** • 複数台のレコーダーを使用する場合、マスター機の自動切り換え（→32ページ）のタイミングにスレーブ機（その他のレコーダー）の自動切り換えのタイミングを合わせる機能です。スレーブ機は3台まで接続できます。 • 各レコーダ間を下図のように接続してください。 マスター機 ―「12」CLK出力 スレーブ機1 ―「11」CLK入力 スレーブ機1 ―「12」CLK出力 スレーブ機2 ―「11」CLK入力 • マスター機／スレーブ機は、「時刻調整方法」で設定できます。（→19ページ） • 自動切り換えの時間の設定は「自動切換」でおこないます。1秒〜10秒の間で設定します。（→32ページ） • 時間を設定することでマスター機になります。マスター機は1台のみ設定できます。 • スレーブ機は切換時間を外部に設定する必要があります。
13〜20	**異常検知出力端子「13」〜「20」** • 複数の出力要因を任意に割り当てることができます。 • オープンコレクター出力です。
21	**機器動作停止** • オープンコレクター出力です。 • 電源異常、システム異常による機器停止を検出したときにGNDとショートします。
22	**GND** • グランド端子です。

ご 注 意

- コントロール端子No.13〜20、21の端子を直接電源に接続しないでください。故障の原因になります。（最大出力電流：40mA、最大印加電圧：35V）
- コントロール端子No.2、3〜7との接続機器はGNDとショートした時の抵抗値が1kΩ以下でオープン時は電圧のかからないものをご使用ください。
- コントロール端子No.11〜12の端子は、マスター機／スレーブ機ともに自動切換ボタンを押した状態でないと、本機能は働きません。

VTRへの接続

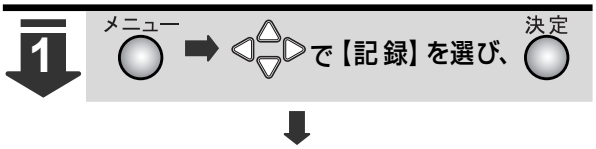
デジタルレコーダーのライブ映像や記録した映像をVTRにダビングすることができます。



- 接続は、デジタルレコーダーの音声/映像出力端子とVTRの音声/映像入力端子をAVケーブルで接続します。
- デジタルレコーダーを再生して、ダビングする場面でVTRを録画（REC）にします。
- ダビングしたい場面は、タイムデートサーチ（年、日付け、時刻等）で検索して頭だします。

●本書の表記について

本書では、操作のしかたを次のように説明しています。



［メニュー］ボタンを押して、［方向］ボタンでメニュー画面の【記録】を選び、［決定］ボタンを押します。

本書で説明している主なボタン

ボタン名	本書の表記
メニューボタン	メニュー
セキュリティナビゲーションボタン	ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ
方向ボタン	
決定ボタン	決定
録画ボタン	録画
シャトルリング	
ジョグダイヤル	

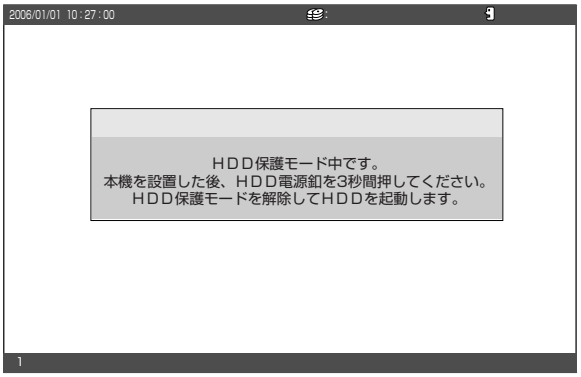
お使いになる前に

電源を入れる

電源は必ず13ページの接続が終わってから入れてください。また、カメラ、カメラ駆動ユニットの電源を先に入れてください。

お知らせ

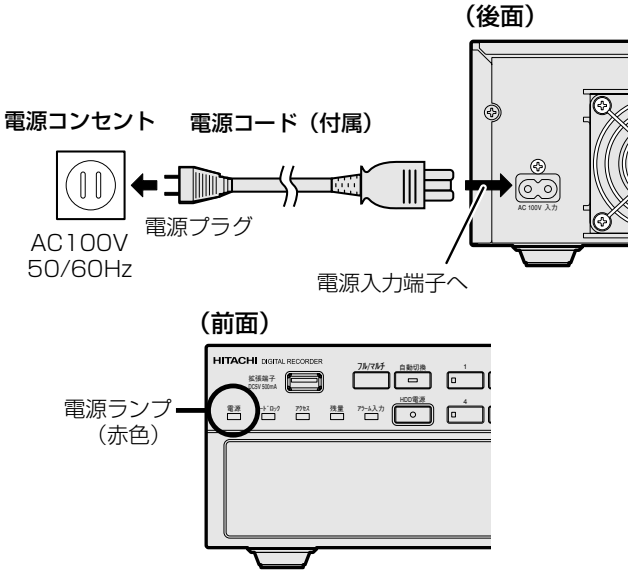
- 工場出荷後、最初に電源コンセントにつなぐと次のメッセージが表示されます。



HDD保護モードは、まだHDDが起動していない状態です。本機を移動してもHDDにダメージを与えません。HDD電源ランプが赤色に点滅してお知らせします。

1 付属の電源コードを本機の電源入力端子と電源コンセントにつなぐ

電源ランプ（赤色）が点灯します。



2 HDD電源 ○ を3秒以上押す

HDDの起動を開始します。映像が映しだされるまで、約1分かかります。

お知らせ

- 「日時」設定画面が表示されますので、日時設定をしてください。（→「日付・時刻を合わせる」18ページ）

電源を切る

1 HDD電源 ○ を3秒以上押す

HDD電源ランプが赤色に点滅します。
下のメッセージが表示されるまで約30秒かかります。表示されるまでお待ちください。この状態でHDD電源を入れる場合は、3秒以上 HDD電源 ○ を押してください。再起動します。

▼

HDD電源ランプが消灯します。

2 電源プラグをコンセントから抜く

電源ランプ（赤色）が消灯します。

お知らせ

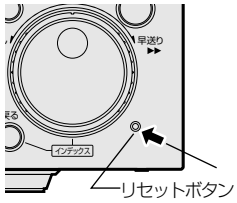
- 本機は電源プラグをコンセントに接続し、通電状態を約2日間(48時間)以上続けると、内蔵されたバックアップ用電池がフル充電されます。フル充電された状態のときに停電したり、電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしても約1カ月間(720時間)までは、日付·時刻や設定した内容をバックアップしています。
- 停電復帰の場合は、HDD電源ボタンを押さなくても起動します。

ご 注 意

- 本機をいったん使用したあと、約1ヵ月以上通電しなかったときは、もう一度時刻設定などを設定し直してください。
- 本機を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜いて30秒以上たってから移動してください。

リセットのかけかた

初めて通電したときは、必ずリセットボタンを先の細い棒などで押してください。また、本機を使用中に動作に異常が生じた場合にもこのリセットボタンを押すか、または電源プラグを抜いて再び差し込んでください。



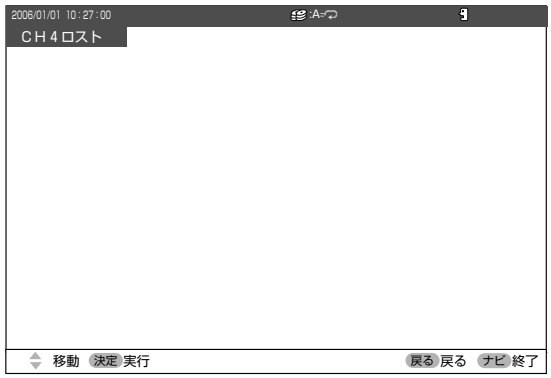
リセットボタンを押すと...

「起動しています。しばらくお待ち下さい」が表示され、その後日付時刻が設定されているときは初期画面に、日付時刻が設定されていないとき（初めて通電したときなど）は、HDD電源 を押してください。（→「電源を入れる」16ページ）

ワーニング情報について

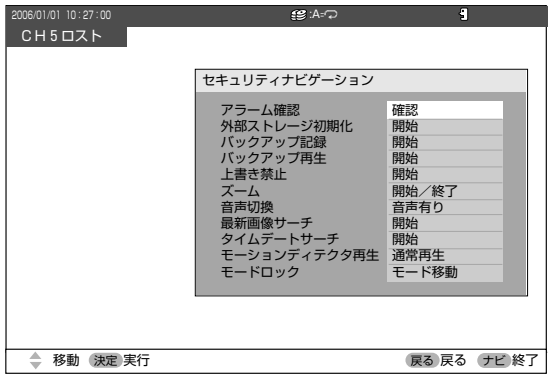
HDDを起動して、HDD保護モードを解除するとモニター画面左上のワーニング情報領域に「停電あり」と表示されます。

また、カメラが接続されていないCHがある場合、「CHロスト」と表示されます。



この様なときは次の操作を行って、ワーニング情報を消してください。

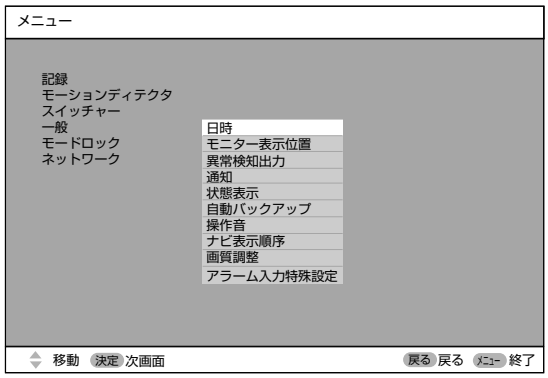
1 ナビゲーション ➡ で【アラーム確認】を選び、決定



日付・時刻を合わせる

初めてお使いになるときや、電源を1ヶ月以上切っていた場合は、日付・時刻を合わせてください。
日付・時刻を合わせないと正しく動作しません。

1 メニュー ➡ ◁△▷で【一般】➡【日時】を選び、決定

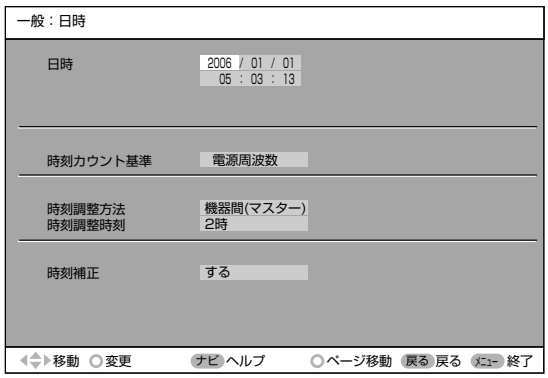


▼

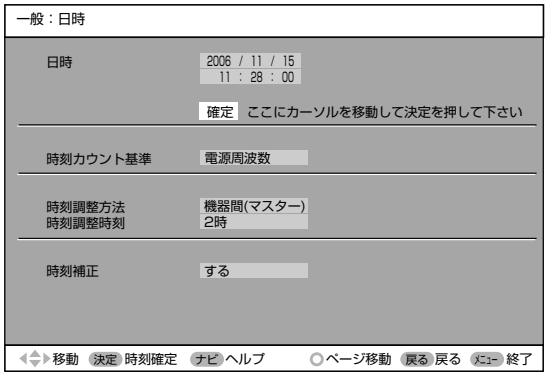
「一般：日時」画面が表示されます。

2 ◁△▷で「日時」を選び、◁△▷で西暦（下2桁）、月（2桁）、日（2桁）、時刻（24時間表示）の順に、◯で入力する

時刻の秒は自動的に「00」に設定されます。



3 ◁△▷で【確定】を選び、決定



日時を変更すると、【確定】が表示されます。
◁△▷で【確定】を選び、決定を押します。

4 メニュー

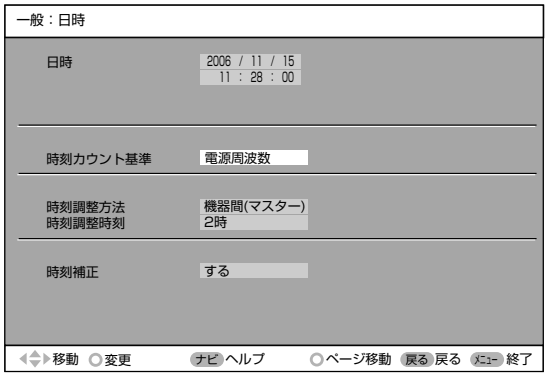
設定内容が保存され、モニター画面に戻ります。

●時刻調整の設定

通常の操作では設定する必要はありません。複数台のレコーダーを接続しているとき、スレーブ機の時刻をマスター機に合わせるときに設定します。

1 メニュー ➡ ◁△▷で【一般】➡【日時】を選び、決定

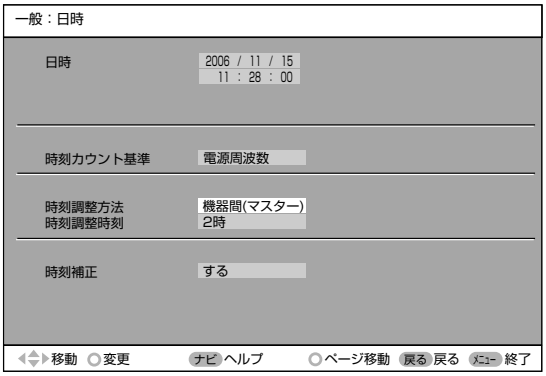
2 ◁△▷で「時刻カウント基準」を選び、◯で選ぶ



【電源周波数】：商用電源の周波数に同期して時刻のカウントを行います（通常はこちらを使用）

【クリスタル】：本機内蔵のクリスタルを使用して時刻のカウントを行います

3 ◁△▷で「時刻調整方法」を選び、
◯で選ぶ

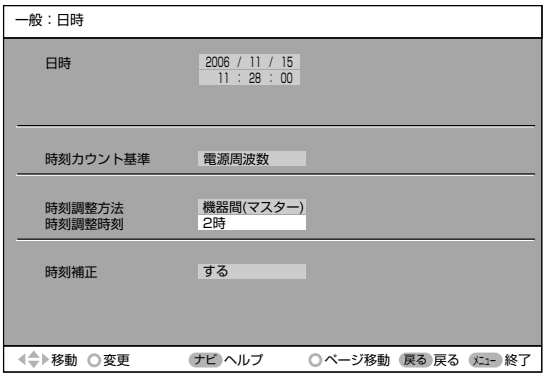


【機器間（マスター）】：マスター機にするときに設定します

【機器間（スレーブ）】：マスター機に接続したときは、スレーブに設定します

【ネットワーク】：SNTPサーバーで時刻を合わせるときに設定します。（→「SNTPサーバーを設定する」101ページ）

4 ◁△▷で「時刻調整時刻」を選び、
◯で選ぶ



「時刻調整時刻」：【0～23時】

時刻を合わせたいマスター機、スレーブ機すべて調整時刻を同じ時刻に設定してください。

異なる時刻に設定すると時刻が合わなくなります。

調整時刻の条件としては次の内容によります。

- 現在時刻が調整時刻の前後90分以内のとき
- タイムアジャストの入出力が正しく接続されているとき

ご 注 意

- 録画中は、時刻合わせができません。必ず停止モードにしてください。

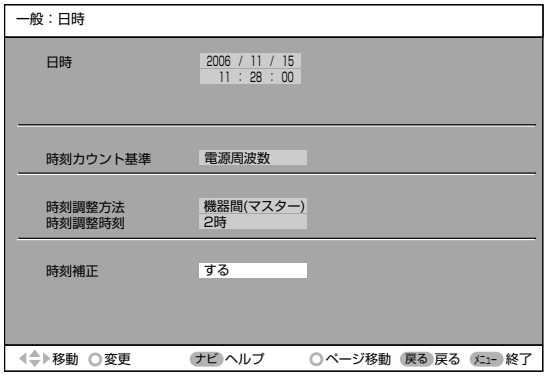
5 メニュー

設定内容が保存され、モニター画面に戻ります。

●時刻補正の設定

1 メニュー ➡ ◁△▷で【一般】➡
【日時】を選び、決定

2 ◁△▷で「時刻補正」を選び、
◯で選ぶ



【する】：今回設定した時刻を基準にして過去の時刻を再計算して設定します。（再生時、補助情報表示領域に表示される日付時刻は再設定した日付時刻になります。）
ハードディスク上の記録映像の時刻補正を行います。

【しない】：過去に記録した映像の時刻補正を行いません。

3 メニュー

設定内容が保存され、モニター画面に戻ります。

設定を行う上での重要事項

下記設定はハードディスクの記録領域を変更しますので、
設定後にハードディスクの初期化が行われます。

「非常アラームのプリ記録」、「HDDの記録領域設定」は、

必ず記録を始める前に設定を行ってください。

記録済みのHDDで下記設定の変更を行うと記録済みの映像は消えてしまいますのでご注意願います。
初期値のままでご使用になる場合、設定の必要はありません。

1. 非常アラームのプリ記録の設定　（→53ページ）

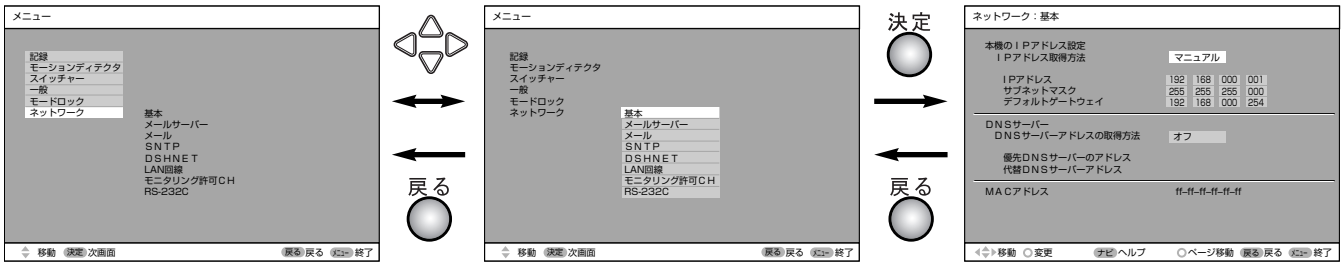
- 非常アラームのプリ記録はHDD内に専用の領域を必要とします。
- プリ記録「する」に設定すると非常アラームのプリ記録を行えるようになりますが、
- 通常の記録領域が小さくなるためHDDに記録できる時間が短くなります。
- プリ記録「しない」に設定すると、HDDの記録領域全てを通常の記録領域に割り当てることが出来るため記録時間は短くなりません。
  初期値：プリ記録無し
  （アラーム入力記録時は、非常アラームのプリ記録設定（する）にかかわらず記録することが可能です）

2. HDDの記録領域設定　（→41ページ）

- HDDのフォルダ分けに関する設定です。
- A／B／C　3つのフォルダ分けに対応しています。
  初期値：HDDの記録領域の100%をフォルダAに割り当て

メニュー画面

●メニュー画面の操作のしかた



- ◁△▷▽でメニュー画面のカーソルを移動すると、選択した項目のサブメニューが表示されます。
  ここでは、［ネットワーク］を選択します。
- ◁△▷▽でサブメニューの項目を選択し。決定を押すと、設定画面が表示されます。
  ここでは、［基本］を選択します。
- 戻るを押すと、設定を保存し１つ前の画面に戻ります。
  メニューを押すと、設定を保存して終了し、モニター画面に戻ります。

●メインメニュー画面の構成

設置時に必要な設定及び確認を行うための画面です。メニューを押すと表示されます。

項　目		内　容
記　録	共通	アラーム記録単位（時間／枚数）の設定や自動記録の設定をします。(→43ページ)
	カメラ	「プログレッシブカメラ/ノーマルカメラ」の設定をします。(→44ページ)
	ＨＤＤ領域	ハードディスク領域の設定をします。(→41ページ)
	ＨＤＤ管理	ハードディスク管理の設定をします。(→53、113ページ)
	映像	記録する映像の設定をします。(→45ページ)
	音声	音声記録「する/しない」の設定をします。(→46ページ)
	タイマー予約（時刻）	タイマー録画の曜日／時間の設定をします。(→50ページ)
	タイマー予約（指定日）	タイマー予約（指定日）の設定をします。(→51ページ)
	非常アラーム	非常アラーム記録（記録CH、レート、画質、時間）の設定をします。(→53ページ)
	アラーム入力	アラーム入力の検知方法と記録するチャンネルを設定します。(→57ページ)
	モーションディテクタ	動き検知で記録するチャンネルを設定します。(→63ページ)
	緊急バックアップ	緊急バックアップ「する／しない」の設定をします。(→87ページ)
モーションディテクタ	CH個別	チャンネル毎の動き検知設定をします。(→60ページ)
	検知枚数	1秒間の検知枚数を設定します。(→64ページ)
	稼動時間帯	動き検知を行う時間帯を設定します。(→65ページ)
スイッチャー	自動切換	自動切換え表示時間の設定をします。(→32ページ)
	ＣＨ個別	チャンネル毎にスキップ、マスク、名称の設定をします。(→28、31ページ)
	ＣＨ定型名称	チャンネルに定型の名称を設定します。(→30ページ)
	画面構成	分割画面（4分割、6分割）の画面構成の設定をします。(→33ページ)
	画面スキップ	フル／マルチボタンで切換える画面のスキップ設定をします。(→31ページ)
一般	日時	時刻（日時）に関する設定をします。(→18ページ)
	モニター表示位置	モニター出力の表示位置／大きさを設定します。(→26ページ)
	異常検知出力	機器の異常検知出力の出力方法を設定します。(→109ページ)
	通知	アラーム発生時の通知方法（OSD表示、ブザー、メール、異常検知出力）を設定します。(→110ページ)
	状態表示	補助情報の表示など状態表示の設定をします。(→25ページ)
	自動バックアップ	自動バックアップについて設定します。(→85ページ)
	操作音	操作音の設定をします。(→26ページ)
	ナビ表示順序	ナビメニューで表示する項目の順番を設定します。(→22ページ)
	画質調整	画面の画質調整を設定します。(→27ページ)
	アラーム入力特殊設定	アラーム入力時の動作を設定します。(→58ページ)
モードロック	パスワード	認証パスワードの設定をします。(→88ページ)
	操作権限	操作禁止にする機能を設定します。(→90ページ)
	映像権限	ライブ／再生時に表示しないチャンネルを設定します。(→93ページ)
	音声権限	音声出力（有無）を設定します。(→94ページ)
	自動移動	自動的にモードを移行するまでの時間を設定します。(→96ページ)
	特権ログイン	ネットワークからログインするときの設定をします。(→97ページ)
ネットワーク	基本	ネットワークに関する基本的な設定をします。(→99ページ)
	メールサーバー	メールサーバーのアドレスを設定します。(→103ページ)
	メール	発報先のメールアドレスを設定します。(→104ページ)
	ＳＮＴＰ	ＳＮＴＰサーバーのアドレスを設定します。(→101ページ)
	ＤＳＨＮＥＴ	DSHNET用のログインIDやパスワードを設定します。(→105ページ)
	LAN回線	通信速度や同時接続台数を設定します。(→101ページ)
	モニタリング許可ＣＨ	ネットワーク経由のモニタリングを許可するチャンネルを設定します。(→106ページ)
	RS-232C	ＲＳ－２３２Ｃの通信速度を設定します。(→107ページ)

●セキュリティナビゲーションメニュー画面の構成

セキュリティナビゲーション画面の分類は次のとおりです。機器の状態によって表示される内容が変わります。
ナビゲーション を押すと表示されます。

項　目	内　容
アラーム確認	全ての異常・警告を復旧し、アラーム入力ランプを消灯します。(→17ページ)
HDD登録	ハードディスクの登録をします。(→113ページ)
HDD残量復帰	ハードディスクの残量を100%に復旧します。(→43ページ)
外部ストレージ初期化	外部ストレージを初期化します。(→80ページ)
バックアップ記録	外部ストレージに映像・音声を保存します。(→81ページ)
バックアップ再生	外部ストレージに保存されている映像・音声を再生します。(→82ページ)
上書き禁止	指定した区間の上書きを禁止します。(→67ページ)
ズーム	ズーム操作の開始／終了を設定をします。(→37ページ)
音声切換	ライブ音声／再生音声の有無を切り換えます。(→69ページ)
最新画像サーチ	最新記録画像を静止画で表示します。(→74ページ)
再生時刻表示	補正時刻／補正前時刻／現在時刻を表示します。(→70ページ)
タイムデートサーチ	日付・時刻を指定して検索します。(→73ページ)
モーションディテクタ再生	モーションディテクタ検知部分を検索して、通常再生または可変速再生で再生します。(→70ページ)
モードロック	モードロックの設定モードを変更します。(→88ページ)

ナビメニューの表示順序を変える

よく使うメニューを上側に設定しておくと便利です。

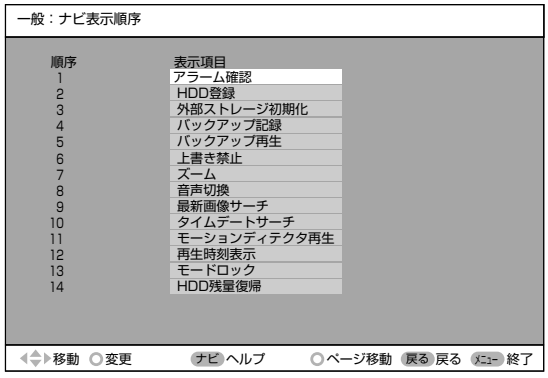
1 メニュー ➡ で【一般】➡ 【ナビ表示順序】を選び、決定

▼

ナビ表示順序画面が表示されます。

2 で変更したい「表示項目」を選び、 で 変更する「表示項目」を選ぶ

（例）アラーム確認を変更します。



• 項目を重複して設定することはできません。

3 メニュー

設定内容が保存され、モニター画面に戻ります。

モニター画面の見かた

RGBまたはモニター出力にモニターが接続されていることを確認してください。

設置後、初めて電源を入れたときは、モニター画面に日時設定画面が表示されます。必ず日付・時刻を設定してください。設定しない場合、記録することができません。

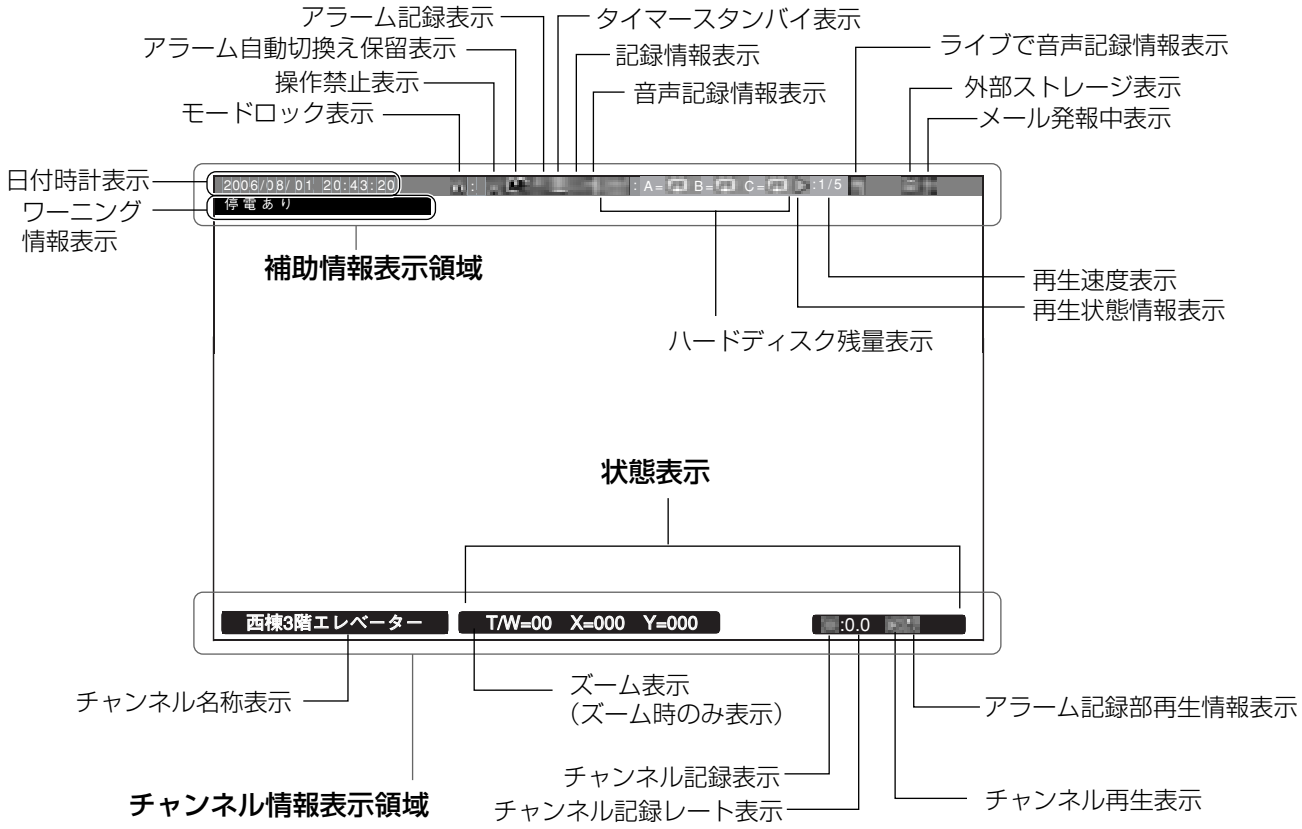
- モニター出力：ライブ／再生時のフル画面表示／分割画面表示を表示します。
- RGB：モニター出力と同じ映像を出力します。

画面表示について

表示画面の種類や画質に関わらず、全チャンネル30フレーム（枚/秒）の表示が可能です。（1秒間に出せる映像の枚数で数字が大きいほど滑らかな動きとなります）
スイッチャーの設定でマスク設定しているチャンネルは黒画面になりますが、映像は正常に記録されています。

●モニター画面の構成

モニター画面は、カメラからの映像をフル画面または分割画面で表示します。
表示内容は、2つの表示領域で構成されています。表示領域については、次のとおりです。



ご 注 意

- 補助情報表示とチャンネル情報表示は、メニューボタン、検索ボタンのいずれかが押されるまで表示されます。
- メニューの設定で表示しなくすることも可能です。（→25ページ）
- ワーニング情報の表示は、通知設定で個別に設定可能です。（→109ページ）

●補助情報表示領域について

下記の表示項目について表示します。

表示項目名	表　示　内　容
日付時刻表示	ライブ中　　：現在時刻を（白色）表示 再生中　　：再生時刻を（緑色）表示（補正前の時刻を表示する場合は黄色表示） 記録同時再生：再生時刻を（緑色）表示（補正前の時刻を表示する場合は黄色表示）
操作禁止表示	分割画面で再生中のコマ送りを実行しようとしたときや、モードロック中にセキュリティナビゲーションボタン以外のボタンを押したときに「」を約1秒間表示 それ以外：非表示
アラーム自動切換え保留表示	アラーム表示切換設定のアラーム保留が「切換えない」：「」表示 「切換えない」以外：非表示
アラーム記録表示	アラーム記録中：「」表示 それ以外　　：非表示
タイマースタンバイ表示	タイマー記録中：「」（赤色）表示 タイマー予約中：「」（黒色）表示 それ以外　　：非表示
記録情報表示	記録中：「」表示 それ以外：非表示
音声記録情報表示	音声記録中：「」表示 それ以外　：非表示
音声出力情報表示	セキュリティナビゲーションの音声切換が「音声有り」時：「」表示 「音声なし」時：非表示
再生状態情報表示	再生：「」　逆転再生：「」　コマ送り：「」　逆コマ送り：「」 静止：「」　早送り再生：「」　早戻し再生：「」
再生速度表示	逆再生・順再生：1／5、1／2、2、5、10、30、60（緑色）表示 （実時間に対する相対速度） （例）1／5倍速の場合：1／5　30倍速の場合：30 ※等倍速（、）、早送り（）、早戻し（）は非表示となります。 外部ストレージ再生：1／5、1／2、2、5、10、30、60（緑色）表示 ※等倍速、早送り、早戻しは非表示となります。
ハードディスク残量表示	リサイクルモードSTOP　：「A＝0%」～「A＝100%」（白色）表示 数字はハードディスクの残量を表します。 A、B、Cはハードディスクのフォルダを表します。 リサイクルモードRE-REC：A＝　（白色）表示 外部ストレージ再生時は、表示
モードロック表示	モードロック中：「」表示 それ以外　　：非表示
外部ストレージ	フロント端子に外部ストレージを接続中（未対応ストレージも含む）： それ以外：非表示
メール発報中	メール発報中：　　点滅（周期2秒で2回） それ以外：非表示

※記録同時再生…（→71ページ）

●チャンネル情報表示領域について

下記の表示項目について表示します。

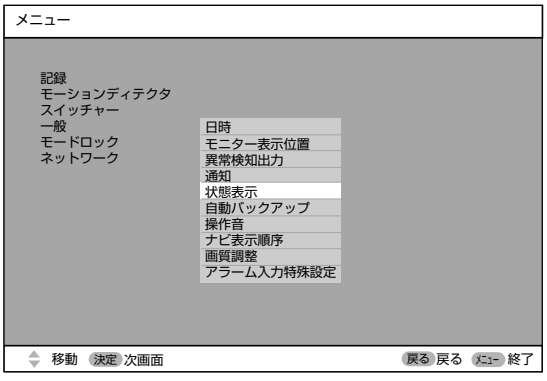
表示項目名	表　示　内　容
チャンネル名称表示	情報表示の設定でCH名称表示が「有り」：チャンネル名（白色）表示 チャンネル名の設定で入力されたチャンネル名を表示します。 チャンネル名が入力されていない場合、映像入力端子の番号を表示します。 CH名称表示が「無」：非表示
チャンネル記録表示	当該チャンネル記録中：「●」表示 それ以外：非表示
チャンネル記録レート表示	当該チャンネル記録中：「＊＊」（白色）表示（分割画面表示時は表示されません） ＊＊は記録レートを数字で表示します。 （例）記録レートが2の場合：2 それ以外　：非表示
チャンネル再生表示	当該チャンネル再生中：補助情報表示領域の再生状態情報表示と同じ内容を表示 それ以外　：非表示
アラーム記録部再生情報表示	アラーム記録部再生中：「」表示 それ以外　：非表示

「情報表示領域」の表示を設定する

モニター画面に表示される「補助情報」、「チャンネル情報」、「背景黒帯」を非表示にするときに設定します。

1 メニュー ➡ ◁△▷▽で【一般】

➡【状態表示】を選び、決定

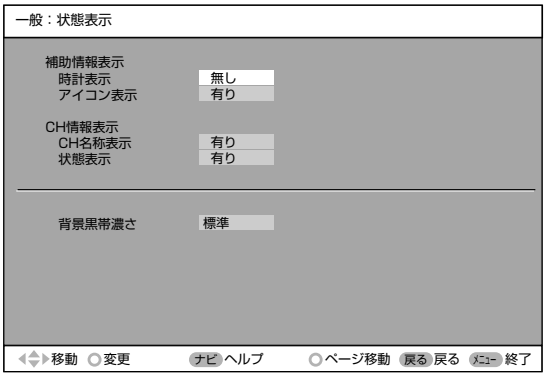


▼

［一般：状態表示］画面が表示されます。

2 ◁△▷▽で変更する項目を選び、

●で情報設定を選ぶ



「補助情報表示」（時計表示とアイコン表示の設定）

【有り】：表示する

【無し】：表示しない

「CH情報表示」（チャンネル名称の表示と状態表示の設定）

【有り】：表示する

【無し】：表示しない

「背景黒帯濃さ」（文字の背景にある黒帯の設定）

【濃】　：標準より濃い

【標準】：標準の濃さ

【薄】　：標準より薄い

【無し】：背景に帯をつけない

次ページへつづく

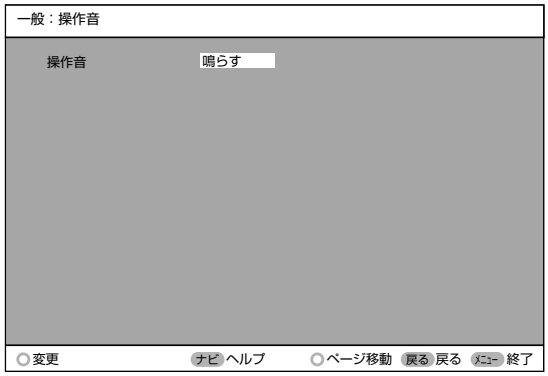
操作音の設定

ボタンを操作するときの操作音を鳴動するか、しないかを設定します。

1 メニュー ➡ △▽◁▷で【一般】

➡【操作音】を選び、決定

2 ◎で設定する



【鳴らす】　：操作音が鳴動します。
【鳴らさない】：操作音が鳴動しません。

3 メニュー

設定内容が保存され、モニター画面に戻ります。

モニター画面の設定

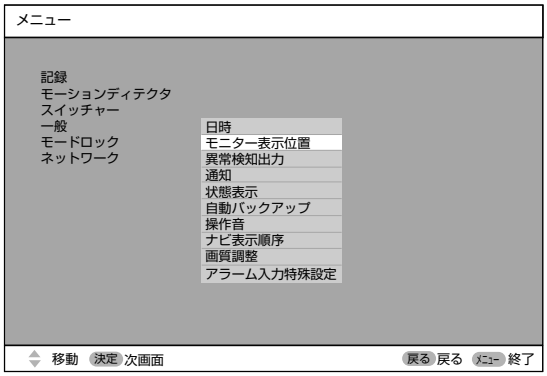
モニターの機種に合わせて、映像の表示位置や画面サイズ、画質を調整します。

●モニター表示位置と画面サイズの設定

モニターの機種に合わせて、映像の表示位置を調整します。

1 メニュー ➡ △▽◁▷で【一般】

➡【モニター表示位置】を選び、決定



▼

「一般：モニター表示位置」画面が表示されます。

表示位置を上下へ調整する場合 ： **2** へ進みます。

表示位置を左右へ調整する場合 ： **3** へ進みます。

表示するサイズを調整する場合 ： **4** へ進みます。

2 △▽◁▷で画面の上下位置を調節する

△▽◁▷の△を押すと画面が上へ、▽を押すと下に移動します。

- 画面上の「位置」（数字）も変わります。

3 ◁△▷で画面の左右位置を調節する

◁△▷の ▷ を押すと画面が右へ、◁ を押すと左に移動します。

- 画面上の「位置」（数字）も変わります。

4 ◯で画面のサイズを調節する

モニターの機種に合わせて、映像の表示サイズを調整します。

◯を右に回すと画面サイズが拡大、左に回すと縮小されます。（0〜6）

- 画面上の「大きさ」（数字）も変わります。

5 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

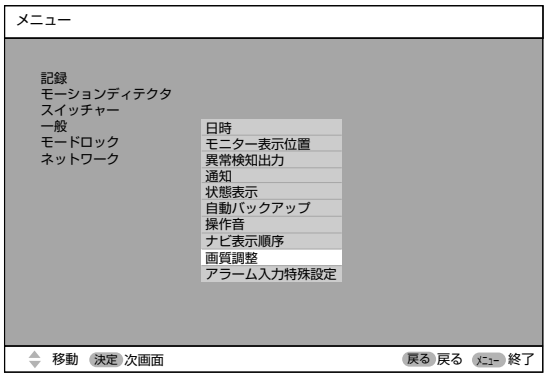
お知らせ

- RGB端子につないだPCモニターの場合は、調整ができません。PCモニター側で調整してください。

●画質を調整する

モニターの機種に合わせて、画質の調整をします。
画質はチャンネルごとに調整できます。

1 メニュー ◯ ➡ ◁△▷で【一般】➡【画質調整】を選び、決定 ◯



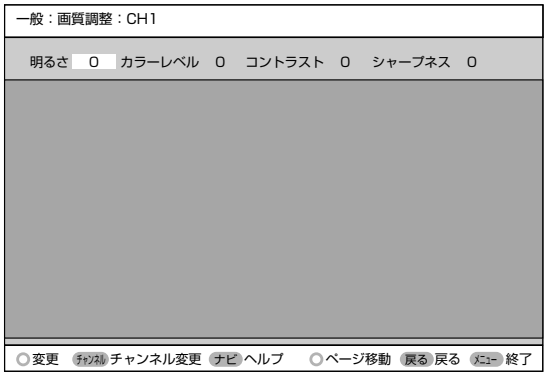
▼

「一般：画質調整」画面が表示されます。

2 ［チャンネル選択］ボタン（ 1 〜 5 ）で画質を調整するチャンネル選ぶ

3 ◁△▷で調整する画質を選び、◯で調整する

画面の明るさ、カラーレベル、コントラスト、シャープネスを調整します。



他のチャンネルを調整するときは、「画質調整」画面で調整したい［チャンネル選択］ボタン（ 1 〜 5 ）で切り換えてください。

次ページへつづく

「明るさ」： 【−15】〜【+15】数値が大きい程、明るくなります。
「カラーレベル」：【−15】〜【+15】数値が大きい程、色が強くなります。
「コントラスト」：【−15】〜【+15】数値が大きい程、コントラストがはっきりします。
「シャープネス」：【0】〜【+3】数値が大きい程、輪郭がはっきりします。

4 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

お知らせ

- 記録中は設定変更できません。
- 画質は調整された状態で記録されます。

ご 注 意

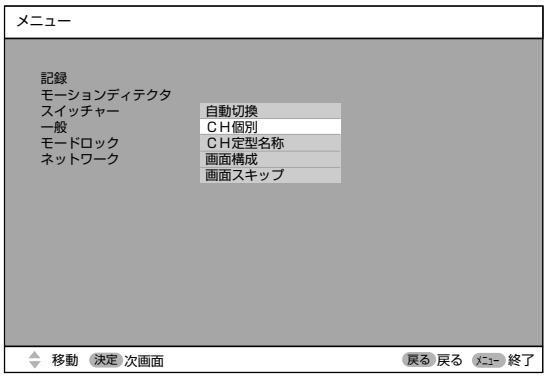
- 極端に明るい設定等をした場合、録画／再生時の映像に不具合（乱れ）等が発生することがあります。極端に明るい設定等はさけてください。

モニター画面に名前をつける

各チャンネルの映像を判別しやすくするため、モニター画面にチャンネル番号を表示したり、チャンネルに名前をつけます。

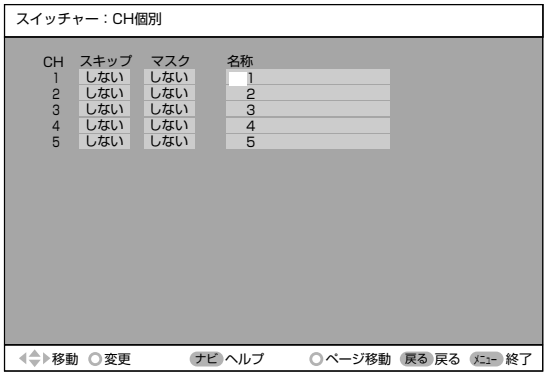
●チャンネル名を設定する

1 メニュー ➡ ◁△▷▽で【スイッチャー】➡【CH個別】を選び、決定



2 ◁△▷▽で「名称」を選び、◯で入力する

モニター画面の名前を入力します。



◁△▷▽でカーソルを移動し、◯で文字を選びます。
入力できる文字は、全角12文字までの数字、英字（大文字／小文字）、カナ、記号です。
各チャンネルにも同様に名前を入力することができます。

- 行単位で選ばれた場合は、内容を消去する必要があります。（→29ページ）

3 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

お知らせ

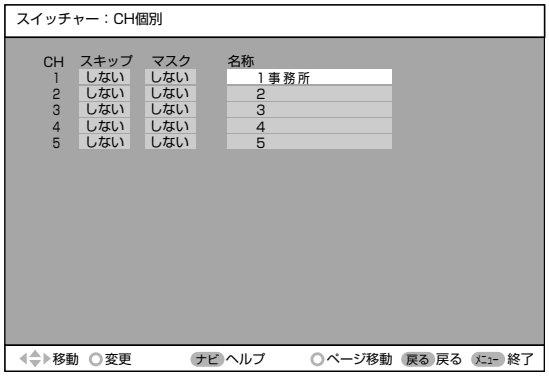
- 名称の入力エリアに◇を入力すると、◇を入力した部分以降の背景黒帯を消すことができます。
- ◇を入力した部分以降は、CH個別画面を抜けた時に自動的に◇が入力されますので名称入力エリアの左端に◇を入力するとチャンネル名称表示は背景黒帯を含めて表示されなくなります。

変更できない文字を選んだ場合

名称を選んだときに、文字単位ではなく行単位で選ばれる場合は、ここで取り扱えない文字が入力されています。(CH定型名称で名称を設定した場合等)

名称を変更するためには消去する必要があります。

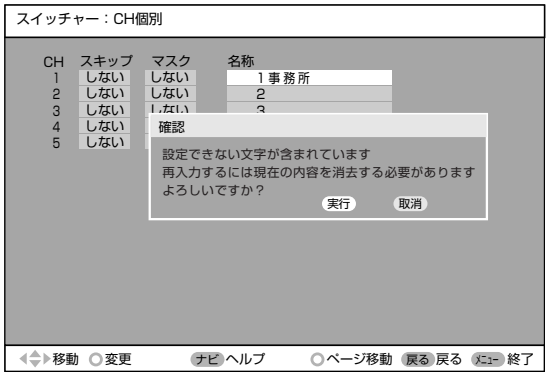
1 ◁△▷▽で変更したいCHの【名称】を選び、決定



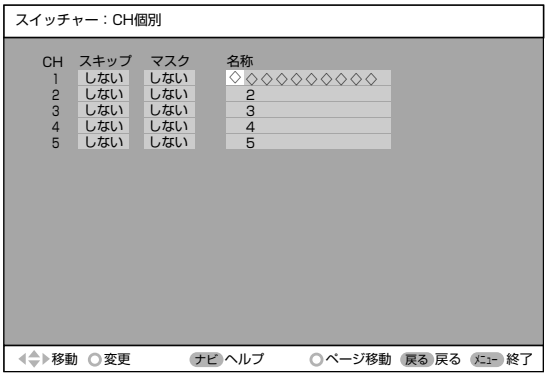
▼

確認画面が表示されます。

2 ◁△▷▽で【実行】を選び、決定



3 ◯で名称を入力する



名称の入力ができるようになります。

◁△▷▽でカーソルを移動し、◯で文字を選びます。

入力できる文字は、全角12文字までの数字、英字(大文字／小文字)、カナ、記号です。

4 メニュー◯

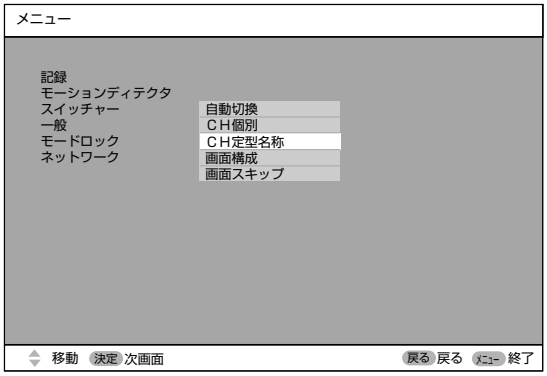
設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

次ページへつづく

●チャンネル名を定型の名称から選んで設定する

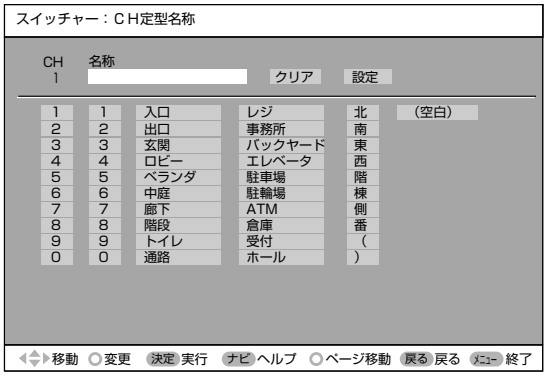
チャンネルの名前をあらかじめ用意された単語を組み合わせて設定します。

1 メニュー ➡ で【スイッチャー】➡【CH定型名称】を選び、決定



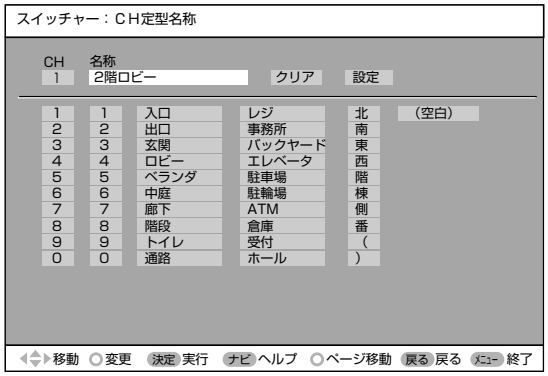
2 で「CH」を選び、で名前をつけるチャンネルを選ぶ

名前をつけるチャンネルを選びます。



3 で名称の文字を選び、決定 で入力する

定型の単語や文字を選び、組み合わせてチャンネルの名前を入力します。

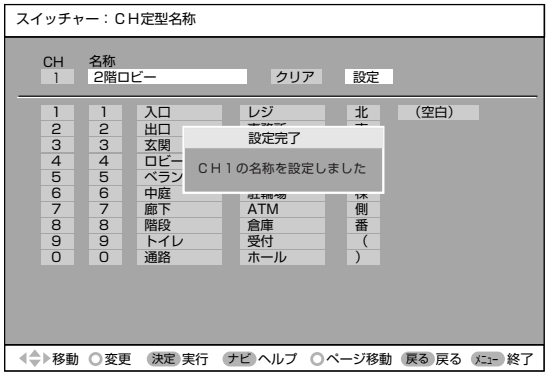


で文字や単語を選び、決定を押すと入力されます。
全角12文字までの文字や単語を組み合わせて入力できます。
各チャンネルにも同様に名前を入力することができます。

お知らせ

- で【空白】を選んで決定を押すと、スペースが入力されます。
- で【クリア】を選んで決定を押すと、入力した文字がクリアされます。

4 で【設定】を選び、決定



「設定完了」画面が表示されます。

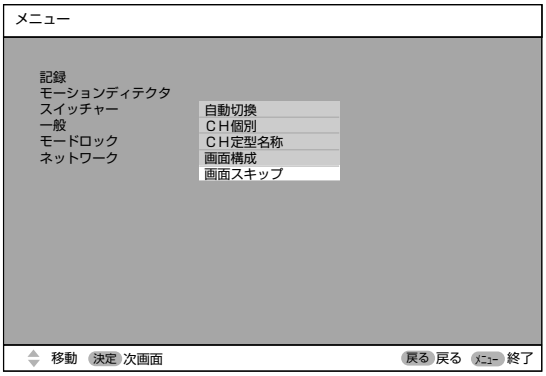
5 決定 ➡ メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

画面スキップの設定

フル/マルチ を押したときに表示させない画面を設定します。（ライブ、再生の両方の状態）
チャンネルスキップは、そのチャンネルの映像を飛ばして表示切換を行うことで、常時監視を行わない場合などに設定します。

1 メニュー ➡ ◁△▽▷で【スイッチャー】➡【画面スキップ】を選び、決定

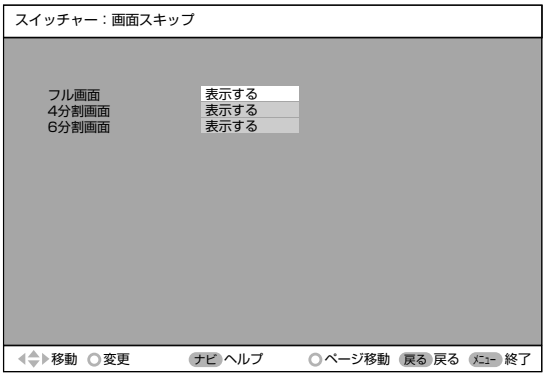


▼

「スイッチャー: 画面スキップ」画面が表示されます。

2 ◁△▽▷でスキップする画面を選び、◯で設定する

フル画面、4分割画面、6分割画面それぞれについてスキップするかを選択します。



【表示する】　：映像を表示します。
【スキップする】：映像をスキップします。

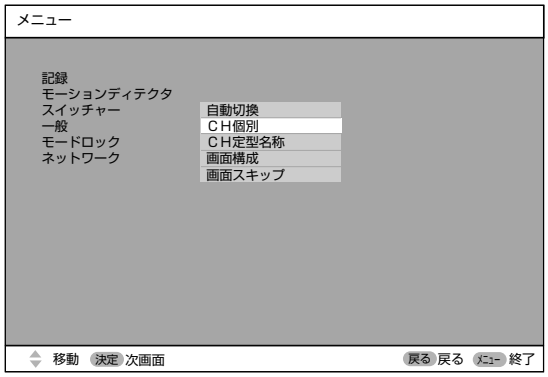
3 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

●チャンネルスキップ、マスクを設定する

自動切換え中に表示させないチャンネルを設定します。チャンネルスキップは、そのチャンネルの映像を飛ばして表示切換を行うことで、常時監視を行わない場合などに設定します。マスクは、そのチャンネルの映像を黒く塗りつぶすことで、情報漏洩の防止などのために設定します。

1 メニュー ➡ ◁△▽▷で【スイッチャー】➡【CH個別】を選び、決定

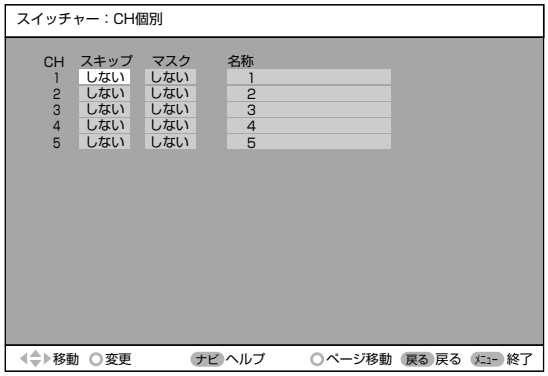


▼

「スイッチャー：CH個別」画面が表示されます。

2 ◁△▽▷で各チャンネルの「スキップ」「マスク」を選び、◯で設定する

各チャンネルの画像をスキップ（表示させない）、またはマスクする（画面を黒く塗りつぶす）かを設定します。



「スキップ」
【する】　：各チャンネルの画像をスキップします。（表示させない）
【しない】：各チャンネルの画像をスキップしません。

「マスク」
【する】　：マスク（画面を黒く塗りつぶす）します。
【しない】：マスクしません。

次ページへつづく

3 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

ご 注 意

- マスクに設定された画面は黒画面になりますが、正常に記録されています。

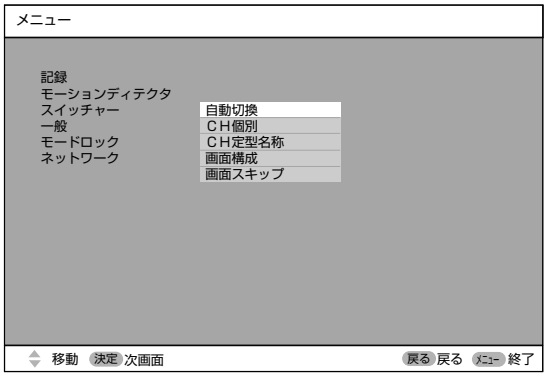
自動切換の設定（自動切換機能）

多くのモニター画面を順次監視する場合に、画面切り換えの手間を省くため、映像が自動的に切り換わるように設定します。

●映像を自動的に切り換える

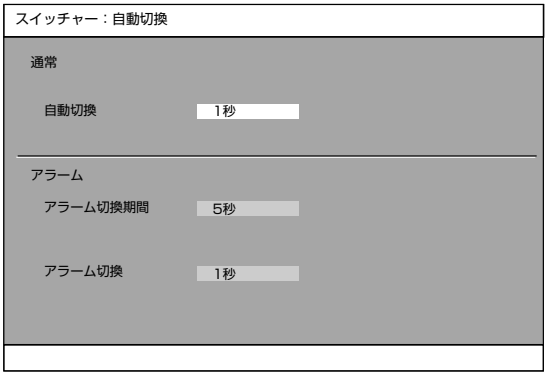
チャンネルスキップおよび自動切換えによる自動切換間隔を設定します。チャンネルスキップは、そのチャンネルの映像を飛ばして表示切り換えを行うことで、未入力CH等の場合などに設定します。

1 メニュー ➡ ◁△▷▽で【スイッチャー】
➡ 【自動切換】を選び、決定



2 ◁△▷▽で「自動切換」「アラーム切換」「アラーム切換期間」を選び、
で入力する

自動切換で、次の画面に切り換わる時間／期間を設定します。



「自動切換」：
【1秒】～【10秒】、【外部】
「アラーム切換期間」：
【5秒】、【10秒】、【20秒】、【30秒】、【40秒】、【50秒】、【1分】、【アラーム記録中】、【切換えない】アラームの記録開始後、元の画面表示に戻るまでの時間を設定します。
「アラーム切換」：
【1秒】～【10秒】

- アラーム入力時には、アラーム記録するチャンネルが自動的に画面表示されますが、この画面切換をしない（アラーム保留モード）ときは、アラーム切換期間の【切換えない】を選択します。
- 自動切換で【外部】を設定した場合は、CLK入出力端子の接続が必要です。（→14ページ）

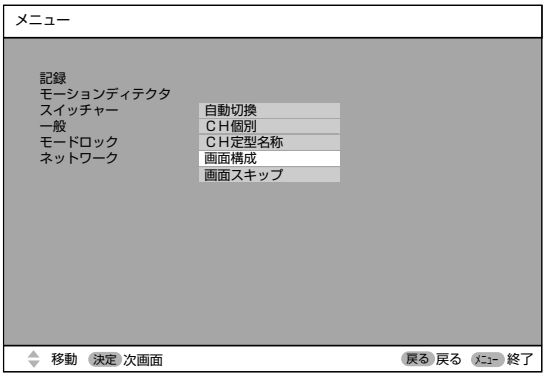
3 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

●画面構成を設定する

分割画面に表示するチャンネルの組み合わせを設定します。関連するチャンネルの映像をまとめたり、常時監視が必要なチャンネルを絞り込むために設定します。

1 メニュー ➡ で【スイッチャー】➡ 【画面構成】を選び、決定

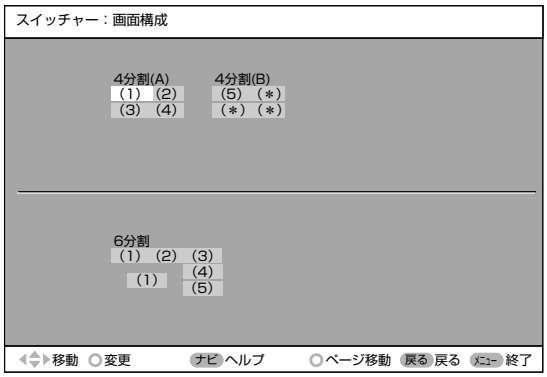


▼

「スイッチャー：画面構成」画面が表示されます。

2 で「4分割（A）」～「4分割（B）」「6分割」を選び、で入力する

分割画面のチャンネルの組み合わせ（4分割A～B、6分割）を設定します。



同じチャンネルを重複設定することはできません。

【1】～【5】：表示する画面のチャンネルを設定します。
【*】：表示されません。

3 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

ライブ画面の使いかた

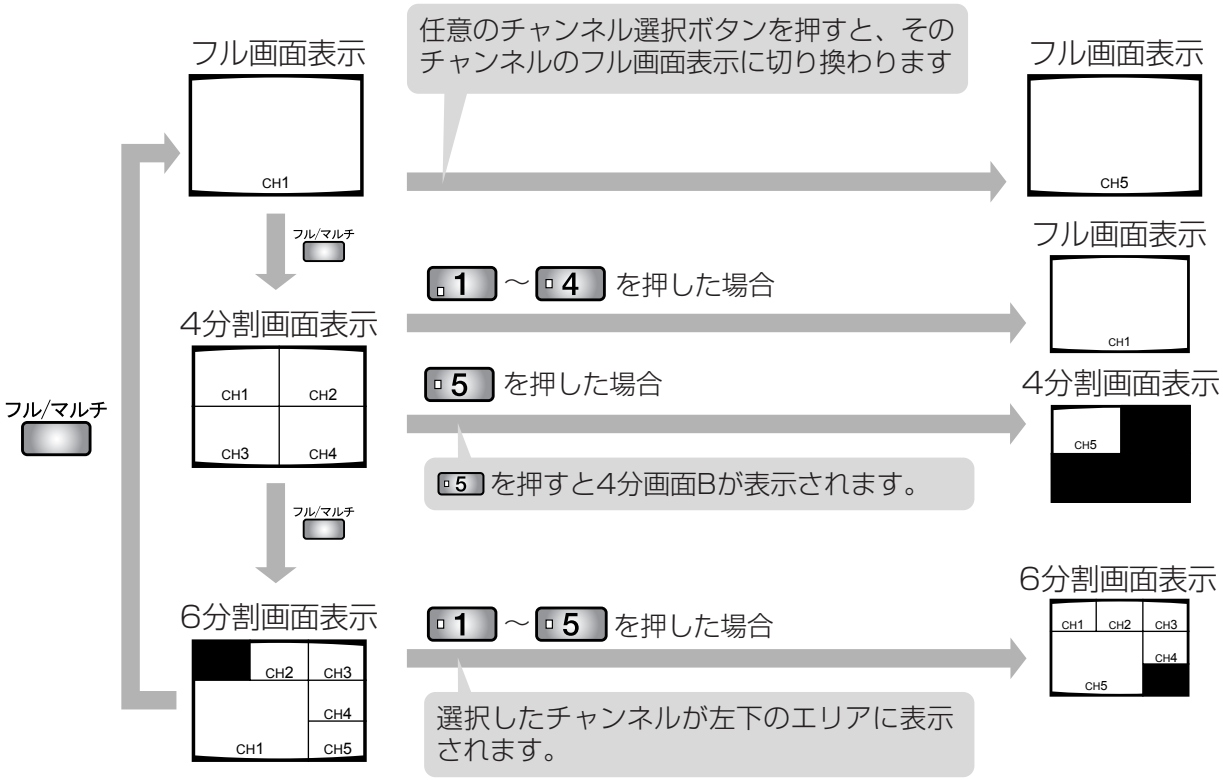
●モニター画面を切り換える

フル/マルチ や、［チャンネル選択］ボタン（1〜5）を押すたびに、次のように表示する画面が切り換わります。

フル画面表示： 1つの映像をモニター画面いっぱいに表示します。

分割画面表示： 入力されている複数の映像を一度に最大5画面まで表示することができます。

任意のチャンネル選択ボタンを押すと、そのチャンネルのフル画面表示に切り換わります。



お知らせ

- 入力映像がないチャンネルは、黒く表示されます。
- フル画面表示／4分割画面表示では、スイッチャーの設定でチャンネルマスクが設定してある場合は、入力画像がなく記録設定もされていないチャンネルは、チャンネル選択ボタンを押しても画面を切り換えることはできません。（これらのチャンネルは黒い画面で表示されます。）ただし、6分割画面では入力信号がなくても画面切り換えができます。
- 接続されるカメラやカメラ駆動ユニットによっては、画面を切り換えたときに画面が乱れることがあります。

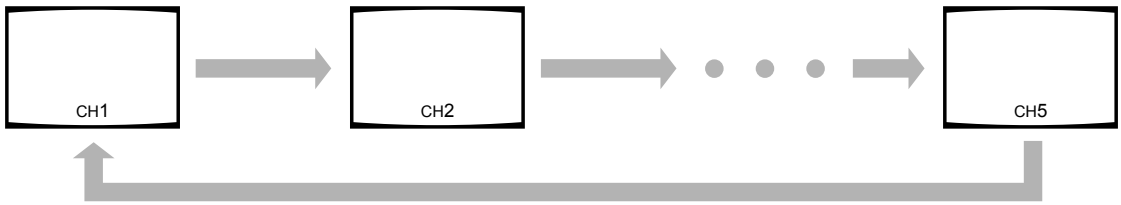
●自動切換をする

画面の自動切り換えを開始または解除します。

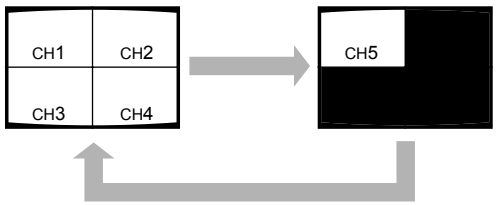
1 フル/マルチ を押してフル画面、または4分割画面表示にして、自動切換

6分割画面表示では、自動切換はできません。
6分割画面表示している場合は、フル/マルチを押して画面表示を切り換えてください。
入力されている映像が順次自動的に切り換わっていきます。
自動切換機能が働いている間は自動切換のランプが緑色に点灯します。

●フル画面表示の場合



●4分割画面表示の場合



●自動切換解除

もう一度自動切換または、1～5を押すと、自動切換のランプが消灯し解除されます。

お知らせ

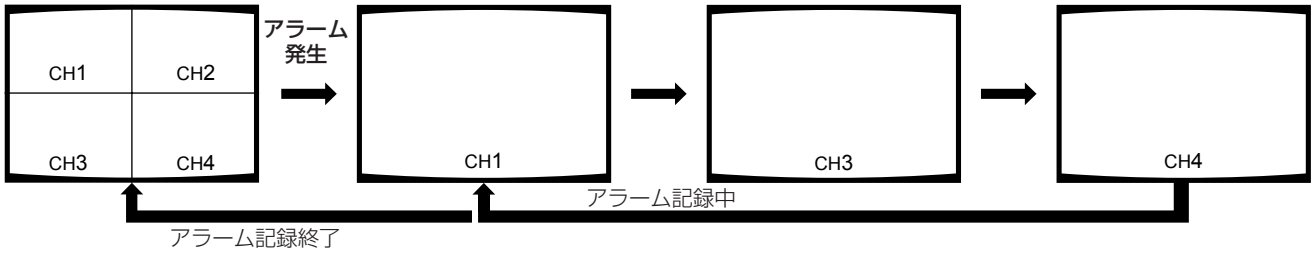
- 入力数が１つの場合は、自動切換機能が働きません。
- 未登録チャンネルやスイッチャーの設定でスキップ設定したチャンネルは、表示されません。
- 接続するカメラやカメラ駆動ユニットによっては、画面を切り換えたときに画面が乱れることがあります。
- 再生中は自動切換機能が働きません。

次ページへつづく

●アラーム入力時の画面の表記について

アラーム入力時のライブ表示

フル画面時（ライブ映像／再生映像／静止画／記録同時再生）、映像を拡大して表示します。
例）記録するチャンネルをCH1、CH3、CH4に設定した場合



アラーム切換区間で設定した時間が経過後は、アラーム入力前の画面に戻ります。

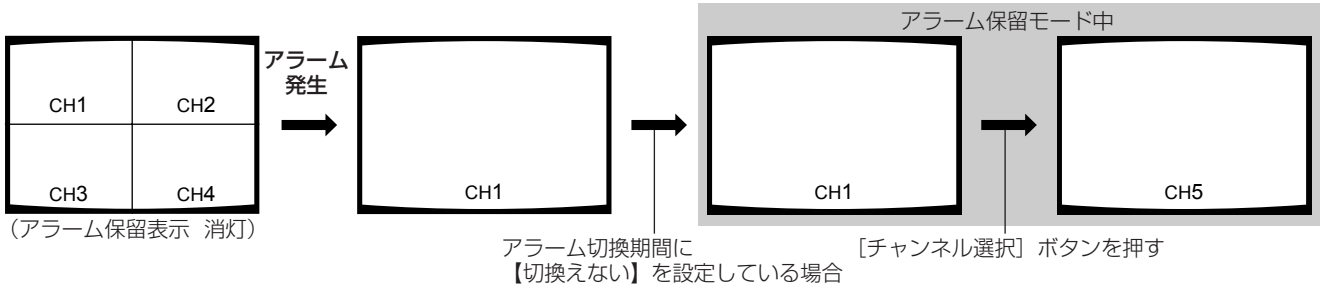
お知らせ

- アラーム保留表示が点灯している場合は、アラームが発生してもフル画面表示に切り換わりません。
- スイッチャーの設定でスキップ設定しているチャンネルは画面切り換え表示しません。

アラーム保留モードについて

「アラーム切換期間」で【切換えない】を選択することでアラーム入力時の動作を次のように保留することができます。

- アラーム保留中は［チャンネル選択］ボタン（ 1 ～ 5 ）、フル/マルチの切り換えが可能です。
- アラーム発生後に画面切り換えを止める。（例：記録するチャンネルをCH1に設定した場合）



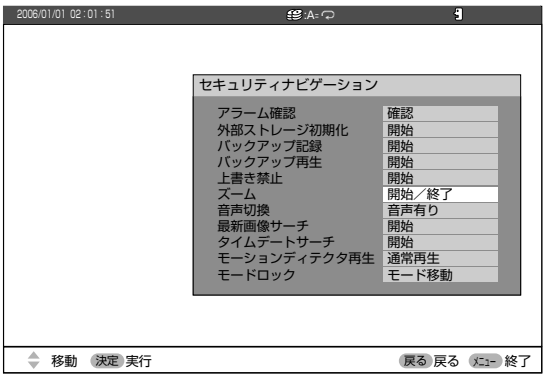
お知らせ

- **アラーム発生前に画面切り換えを止める（例：記録するチャンネルをCH1に設定した場合）**
  アラーム発生前にアラーム保留モードを設定した状態で、アラームが発生した場合、［チャンネル選択］ボタンで画面を切り換えることができます。
  その後、アラーム保留モードを解除すると、自動切換設定メニューで設定した順番、時間で画面が切り換わります。
  アラーム記録終了後は、アラーム発生前の画面に戻ります。

映像をズーム表示する

フル画面時（ライブ映像／再生映像／静止画／記録同時再生）、映像を拡大して表示します。

1 ナビゲーション ➡ で【ズーム】を選び、決定



2 で倍率を変更する

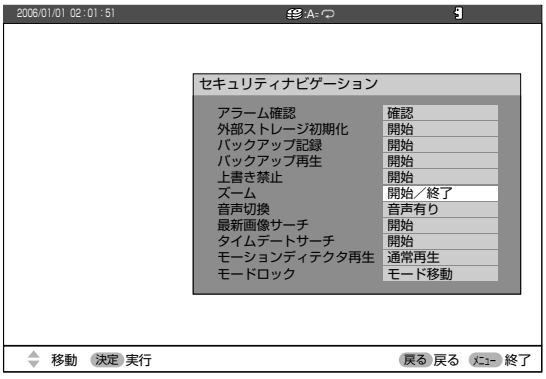
拡大する倍率を変更します。倍率は16段階に変更することができます。ズーム拡大率（倍率）は、画面下に表示されます。

3 で拡大する位置を変更する

ズーム位置はＣＨごとに保持され、電源をＯＦＦすると、初期(画面中央)に戻ります。

4 ナビゲーション ➡ で【ズーム】を選び、決定

ズーム表示を解除します。



ご 注 意

- 倍率=0の時は、上下左右に移動できません。
- ズーム表示は、フル画面のみです。分割画面ではできません。
- ズーム表示は「状態表示」が【無し】に設定されているときは表示されません。

記録について

記録には、継続して記録する「一般記録」、指定した日時を設定して記録を行なう「タイマー記録」、アラームを検知したときに記録する「アラーム記録」と非常時に記録を行なう「非常アラーム記録」、ハードディスクが使用不能になったときなどの緊急時に動作する「緊急バックアップ記録」があります。

「アラーム記録」には、コントロール端子3～7に入力されたアラーム信号に連動して記録する「アラーム入力」と、入力される映像信号の動きを検出して記録する「モーションディテクタ」があります。それぞれに、映像と音声の設定をすることができます。

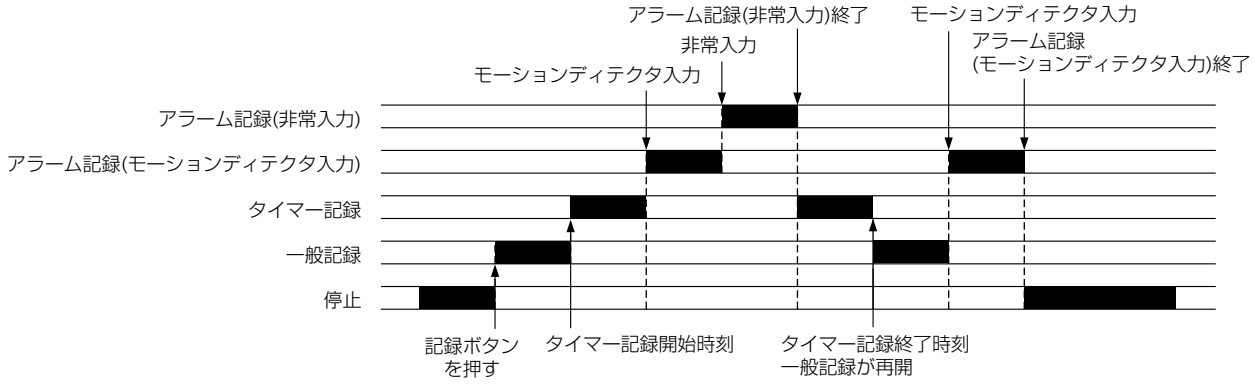
●記録の優先順位

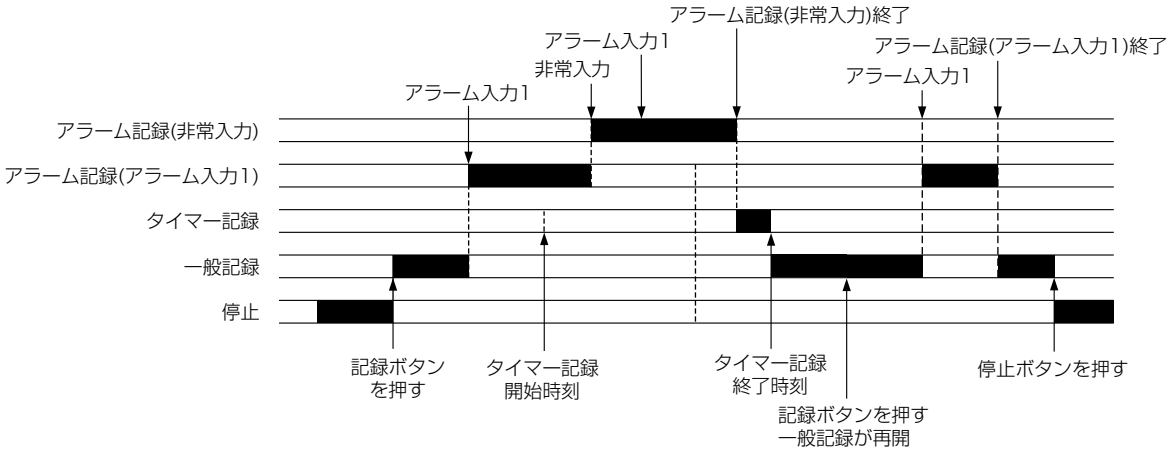
多重記録が行われた場合、優先順位の低いモードでの記録は中断し、優先度の高い記録モードで記録を続けます。優先順位がもっとも高いのは「非常アラーム」。次に「アラーム記録」、「タイマー記録」、「一般記録」となります。

- 優先順位が高い記録が入ると、低い順位の記録は停止します。ただし、アラーム録画設定されていないチャンネルは、タイマー記録、一般記録設定チャンネルとして記録を継続します。
- タイマー記録は、アラーム記録が終了した時点で残時間記録を再開します。また、一般記録中にアラーム記録が開始された場合も、一般記録停止操作を行った場合を除いて、アラーム記録が終了した時点で記録を再開します。

■記録間の優先順位

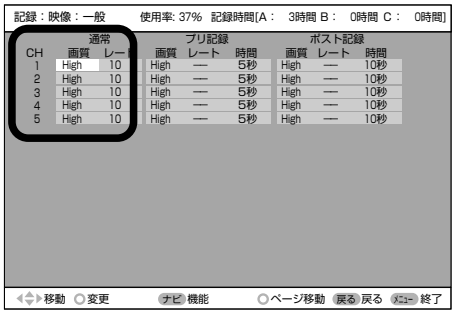
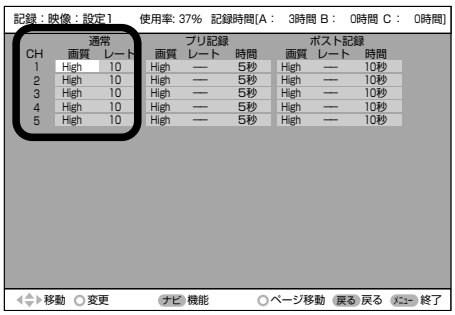
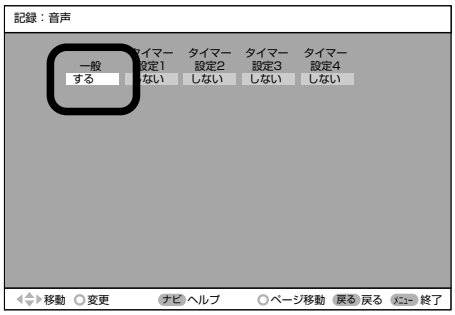
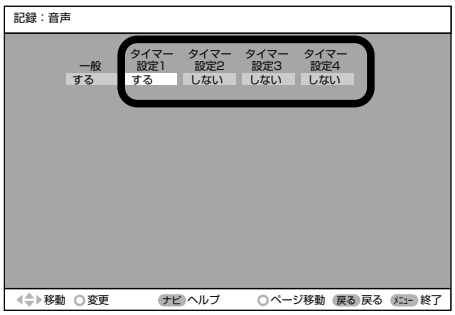
- 一般記録中に上位記録が入ると一般記録は中断し、アラーム記録またはタイマー記録が開始します。またタイマー記録中にアラーム記録が入るとタイマー記録は中断します。
- アラーム記録中にタイマー記録開始時刻になっても、タイマー記録は開始されず、アラーム記録が終了した時点で残時間記録を開始します。
- 一般記録中にタイマー記録が開始した場合、タイマー記録が終了したら、一般記録が再開します。
- アラーム入力1～5またはモーションディテクタ入力によるアラーム記録中に、非常入力によるアラーム記録が入ると、それまでのアラーム記録は停止し、非常入力によるアラーム記録が開始します。
- 非常入力によるアラーム記録が終了しても、その前のアラーム記録は再開しません。





※一般記録中にアラーム入力されると、アラーム録画となりますが、アラーム録画未設定CHは一般録画が継続されます。
（タイマー録画も同じ）

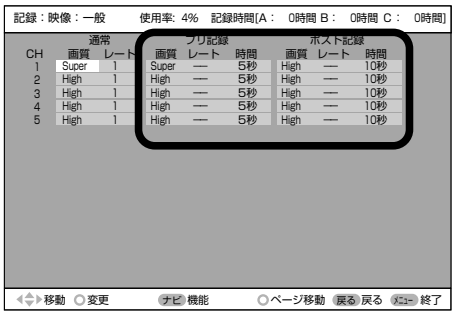
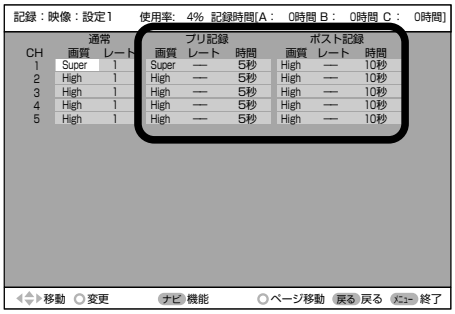
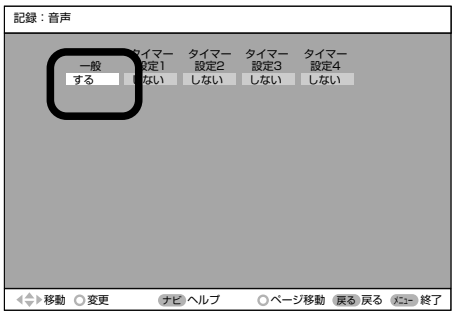
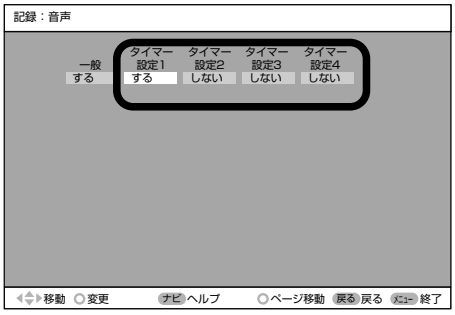
■通常記録の設定

設定項目	一般記録	タイマー記録
	録画 ○ を押して記録を行ないます。停止 □ を押して記録を中止するまで継続して記録を行ないます。 • 記録中は、録画 ○ のランプが点灯します。 • 工場出荷時は、全てのチャンネルで 画質：High(高画質) レート：10(1秒間に10枚記録する）で記録する設定になっています。	記録を行なう日時を設定してから、タイマー ▭ を押してタイマー予約を設定します。 • 指定した日時に、記録を行ないます。記録中は録画 ○ のランプが点灯します。 • タイマー記録用の映像と音声の設定は、4パターン設定することができます。 • 工場出荷時は、設定されておりません。
■映像の設定 「通常」 【設定1】 〜 【設定4】 • 画質 • レート (注1)	• 映像を設定する場合は、「記録：映像：一般」メニューの「通常」を設定します。 	• タイマー記録用の映像は、「記録：映像：設定1」〜「記録：映像：設定4」メニューの「通常」で設定し、「タイマー予約(時刻)」でこの設定を選びます。 
■音声の設定 「一般」 【タイマー設定1】 〜 【タイマー設定4】	• 音声を設定する場合は、「記録：音声」メニューの「一般」を設定します。  • 音声「する」を設定すると、アラーム記録時でも同様に音声が記録されます。	• タイマー記録用の音声の設定をする場合は、「記録：音声」メニューで、「タイマー設定1」〜「タイマー設定4」を設定し、「タイマー予約」でこの音声の設定を選びます。 

注1　レート：フレームレートの略で1秒間に記録する画像の枚数を表します。
単位はfps（または枚／秒）

次ページへつづく

■アラーム記録（アラーム入力／モーションディテクタ）の設定

設定項目	一般記録	タイマー記録
	アラームを検知したときに記録を行ないます。 • アラーム記録中は、[アラーム入力]ランプが点灯し、録画のランプが点灯します。 • アラーム記録の設定を行なうには、アラームを検知したときに記録するチャンネルの設定が必要です。 工場出荷時は設定されておりません。 →「アラーム入力」の記録チャンネルの設定は、「記録：アラーム入力」メニューで設定します。（→57ページ） →「モーションディテクタ」の記録チャンネルの設定は、「記録：モーションディテクタ」メニューで設定します。（→63ページ）	タイマー予約した日時で、アラーム検知すると記録を行ないます。 • アラーム記録中は、[アラーム入力]ランプが点灯し、録画のランプが点灯します。 • アラーム記録の設定を行なうには、アラームを検知したときに記録するチャンネルの設定が必要です。 工場出荷時は設定されておりません。 →「アラーム入力」の記録チャンネルの設定は、「記録：アラーム入力」メニューで設定します。（→57ページ） →「モーションディテクタ」の記録チャンネルの設定は、「記録：モーションディテクタ」メニューで設定します。（→63ページ）
■映像の設定 「プリ記録」 「ポスト記録」 【設定1】 〜 【設定4】 • 画質 • レート • 枚数	• アラーム検知前を記録する「プリ記録」とアラーム検知後を記録する「ポスト記録」の映像を設定します。 「記録：映像：一般」メニューで「プリ記録」と「ポスト記録」の映像を設定します。 	• アラーム検知前を記録する「プリ記録」とアラーム検知後を記録する「ポスト記録」の映像を設定します。 タイマー記録用の映像の設定は「記録：映像：設定1」〜「記録：映像：設定4」メニューで「プリ記録」と「ポスト記録」を設定して、「タイマー予約」でこの映像の設定を選びます。 
■音声の設定 「一般」 【タイマー設定1】 〜 【タイマー設定4】	• 音声の設定をする場合は、「記録：音声」メニューの「一般」を設定します。 	• タイマー記録用の音声を設定する場合は、「記録：音声」メニューで、「タイマー設定1」〜「タイマー設定4」を設定し、「タイマー予約」でこの音声の設定を選びます 

記録の共通設定

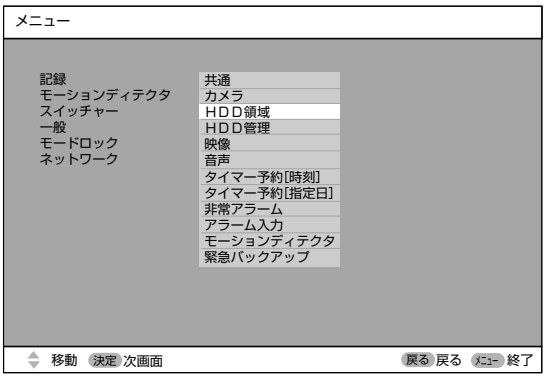
一般記録、タイマー記録、アラーム記録、非常アラームに共通の設定をします。この設定は記録を始める前に必ず設定してください。

ご 注 意

- ハードディスク領域の設定を変更すると、ハードディスクが初期化され、格納されているすべての記録は消去されます。ハードディスク領域の設定は、記録を開始する前に行ってください。
- リサイクルモードを「STOPモード」に設定した状態で、ハードディスクがいっぱいになって自動停止した場合、HDDフル解除の操作を行わないと記録を再開することができません。HDDフル解除の操作については「HDDフル解除操作」をご覧ください。（→43ページ）

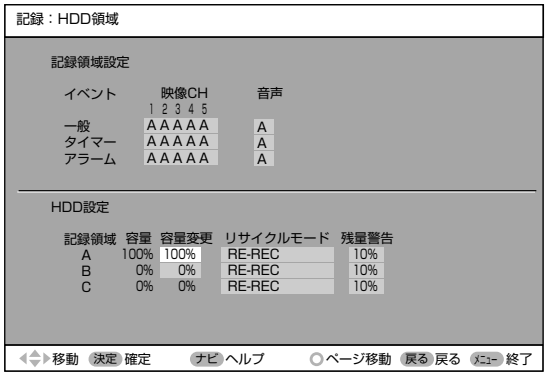
●HDD領域と容量、リサイクルモードの設定

1 メニュー ➡ ◁△▷▽で【記録】➡【HDD領域】を選び、決定



2 ◁△▷▽でHDD設定の「容量変更」を選び、◯ で入力する

ハードディスクを3つの記録領域（A～C）に分けたときは、A領域とB領域について設定します。
領域Cは、領域AとBの残りが割り当てられるため、直接の設定はできません。


記録：HDD領域
記録領域設定
イベント 映像CH 1 2 3 4 5 音声
一般 A A A A A A
タイマー A A A A A A
アラーム A A A A A A
HDD設定
記録領域 容量 容量変更 リサイクルモード 残量警告
A 100% 100% RE-REC 10%
B 0% 0% RE-REC 10%
C 0% 0% RE-REC 10%
移動 決定 確定 ナビ ヘルプ ページ移動 戻る 戻る メニュー 終了

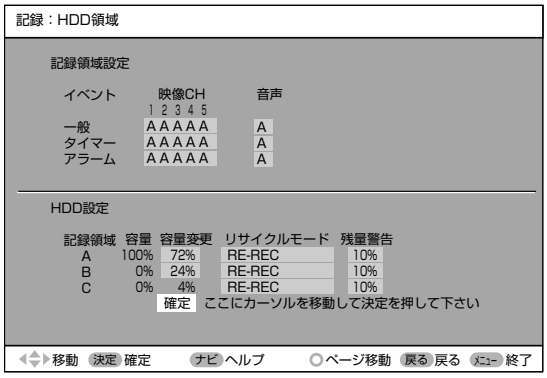
「HDD設定」

記録領域「A」の「容量変更」：【1%】～【100%】
記録領域「B」の「容量変更」：【0%】～【100%】
記録領域「C」の「容量変更」：【0%】～【99%】
（直接設定することはできません）

お知らせ

- 例えば「容量変更」で領域Bを0%に容量設定した場合、「記録領域設定」の「映像チャンネル」に領域「B」を選択した箇所は「！B」と表示されます。この場合、容量が1以上になるように設定してください。

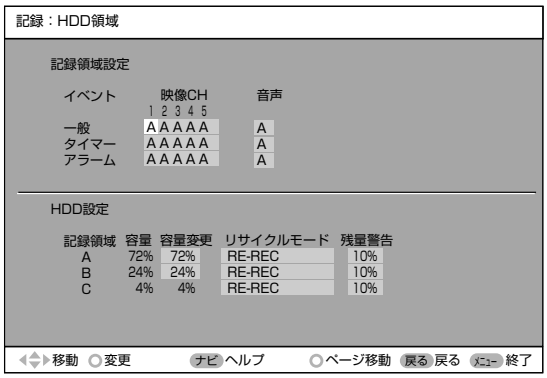
3 ◁△▷▽で【確定】を選び、決定


記録：HDD領域
記録領域設定
イベント 映像CH 1 2 3 4 5 音声
一般 A A A A A A
タイマー A A A A A A
アラーム A A A A A A
HDD設定
記録領域 容量 容量変更 リサイクルモード 残量警告
A 100% 72% RE-REC 10%
B 0% 24% RE-REC 10%
C 0% 4% RE-REC 10%
確定 ここにカーソルを移動して決定を押して下さい
移動 決定 確定 ナビ ヘルプ ページ移動 戻る 戻る メニュー 終了

設定内容が記録され、ＨＤＤ領域画面に戻ります。

- ハードディスク変更容量の合計が100%でない場合は、警告画面が表示されます。設定をやり直してください。
- ハードディスクの初期化が必要です。メッセージに従って初期化してください。

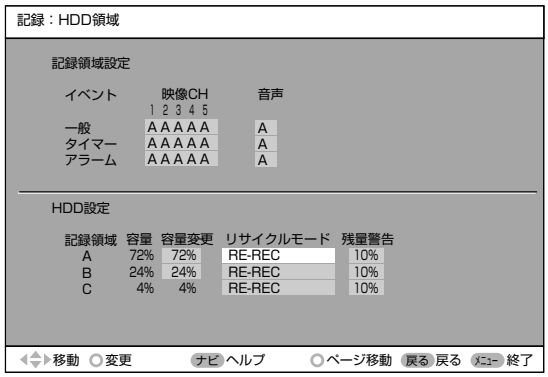
4 ◁△▷▽で「記録領域設定」の「映像ＣＨ」を選び、◯ で設定する



映像記録の記録領域（【A】～【C】）を、記録種類ごと、映像チャンネルごとに設定します。音声記録の記録領域（【A】～【C】）も記録種類ごとに設定します。

次ページへつづく

5 で「リサイクルモード」を選び、で設定する



ハードディスクの記録領域がいっぱいになったときに停止するか、古いデータから上書きするかを設定します。例えば記録領域Bを上書きしたくない場合、領域Bのリサイクルモードを【STOP】に設定しておくと記録された映像は上書きされません。上書きしたくない映像を格納する領域に設定します。

記録領域を複数に分けているときは、記録領域ごとに設定します。

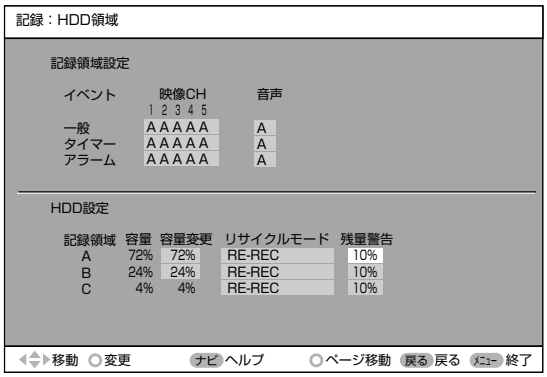
【STOP】：ハードディスクの記録領域が無くなると記録を自動的に停止します。

【RE-REC】：ハードディスクの記録領域が無くなると一番古いデータから上書きします。

ご 注 意

- 記録領域を分けている場合、いづれかの領域にSTOPモードを設定した状態で、ハードディスクがいっぱいになると残量ランプ（緑色）が点灯し記録が自動停止します。RE-RECモードに設定されているハードディスクは録画が継続されます。
- STOPモードに設定した場合、記録が自動停止した後はHDDフル解除の操作を行わないと、記録を再開することができません。STOPモードからRE-RECモードに設定を変更した場合、自動的にハードディスクの容量の残りを１００％に戻します（ハードディスクフルリセット）。格納された記録は残っていますが、新たな記録が行われるたびに上書きされます。
- 残量ランプが緑色に点灯した場合は、ハードディスクフル解除操作を行うか、リサイクルモードでRE-RECモードに設定を変更しないと記録することができません。

6 で「残量警告」を選び、で入力する



リサイクルモードを【STOP】に設定した場合は、設定した値以下になると残量ランプが緑色に点滅します。残量が0%になると残量ランプが緑色に点灯します。

「残量警告」：1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、15、20、25、30、35、40、45、50

7 メニュー

設定内容が保存され、モニター画面に戻ります。

●HDDフル解除操作

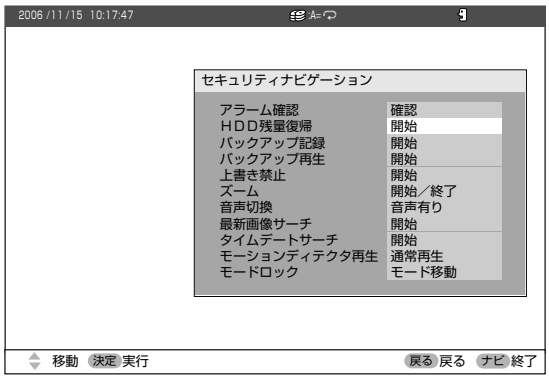
HDD残量復帰は、リサイクルモードで【STOP】モードを設定した場合に、HDDフルまで記録して停止した状態を解除し、再び記録できるようにします。

お知らせ

- 残量復帰を実行しても記録した映像は消えません。上書きされるまで残ります。
- HDDフル解除操作を行った後、記録が再開されると古い記録から順に消去されます。
- HDDフル（残量0%）以外でも実行できます。この場合，残量を強制的に100%に戻します。（HDDフルになるまで記録期間がリセットされます）
- フォルダ分け機能を使用している場合は、領域毎に残量復帰を行うことができます。
- リサイクルモードを切り換えたとき、HDDの初期化を行ったときもHDD残量復帰します。

HDD残量復帰

1 ナビゲーション ➡ ◁△▷▽ で【HDD残量復帰】を選び、決定



HDDニアフル／HDDフル警告状態が解除されます。

残量ランプが消灯し、HDD残量表示が「100%」表示になります。

2 ナビゲーション

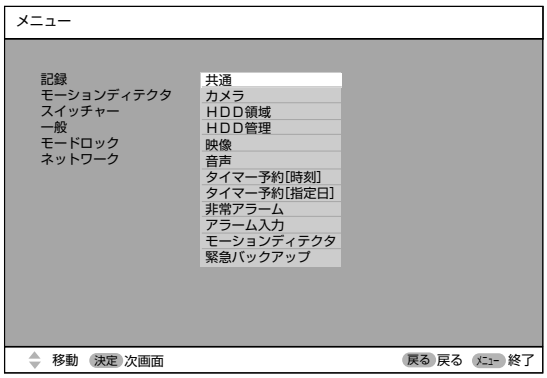
設定内容が保存されモニター画面に戻ります。

お知らせ

- リサイクルモードを切り換えたとき、HDDの初期化を行ったときもHDD残量復帰します。

●記録の単位と自動記録を設定する

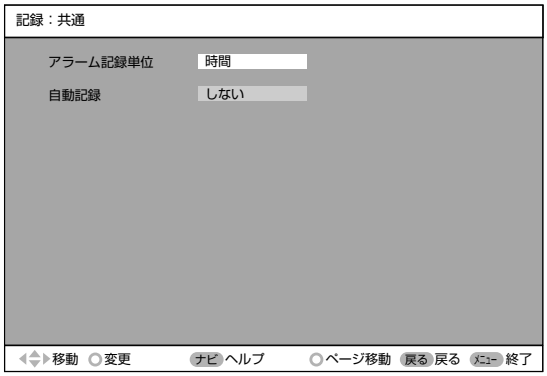
1 メニュー ➡ ◁△▷▽ で【記録】➡【共通】を選び、決定



▼

「記録：共通」画面が表示されます。

2 ◎ でアラーム記録の設定の単位を選ぶ



「アラーム記録単位」

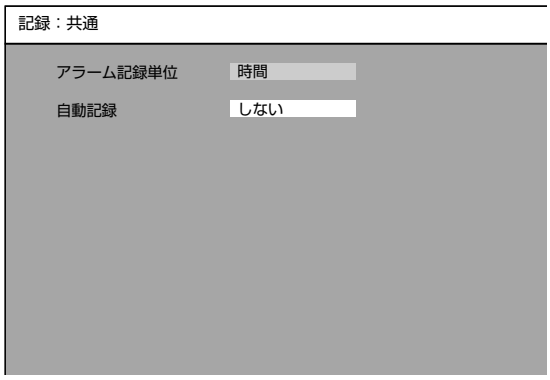
アラーム記録の単位を設定します。

【時間】： 時間で表示します（1秒～3分）で設定できます。

【枚数】： 枚数で表示します（1枚～10枚）で設定できます。

次ページへつづく

3 ◁△▷▽で「自動記録」を選び、◎で設定する



「自動記録」

記録を停止して、HDDの残量リセットなどの操作を行い、録画 を押し忘れたときに、自動的に2時間後に記録を開始します。

【する】： 自動記録をします。

【しない】： 自動記録をしません。

- 【する】を選択し、記録停止の2時間後に自動記録ができなかった場合、記録できる状態になった時点で開始されます。

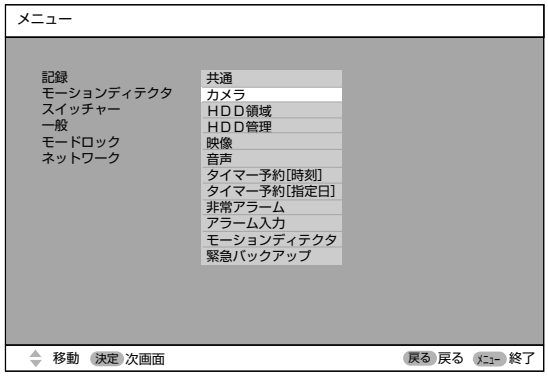
4 メニュー

設定内容が保存されモニター画面に戻ります。

●カメラの種類を設定する

接続したカメラの種別を設定してください。
ノーマルカメラを接続しているときは、設定する必要はありません。

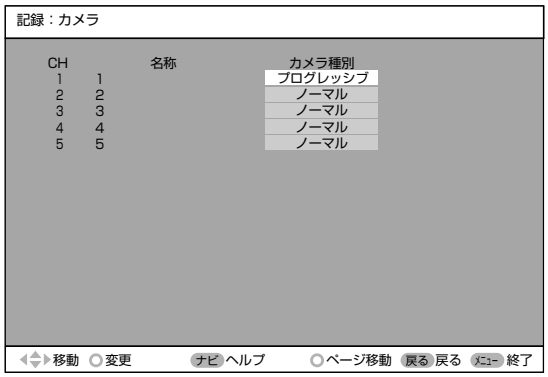
1 メニュー ➡ ◁△▷▽で【記録】➡【カメラ】を選び、決定



▼

「記録：カメラ」画面が表示されます。

2 ◁△▷▽で「入力CH」を選び、◎で設定する



【プログレッシブ】：プログレッシブカメラを接続している場合は、こちらを選びます。

【ノーマル】：ノーマルカメラを接続している場合は、こちらを選びます。

お知らせ

- プログレッシブカメラ（VK-C556、879、551）を選ぶと、記録する画質に【Basic】を選ぶことはできません。
- プログレッシブカメラを選ぶと、【記録】➡【映像】の映像設定画面でCH番号に（P）が表示されます。
- ノーマルカメラからプログレッシブカメラに変更する場合、最大フレームレートを超えているときは変更できません。
- プログレッシブカメラを使用する場合、カメラ本体側の設定も「ノーマル→プログレッシブ」に変更してください。
- プログレッシブカメラを使用すると、分割画面で映像の質の低下（ギザギザ等）が防げます。

3 メニュー

設定内容が保存されモニター画面に戻ります。

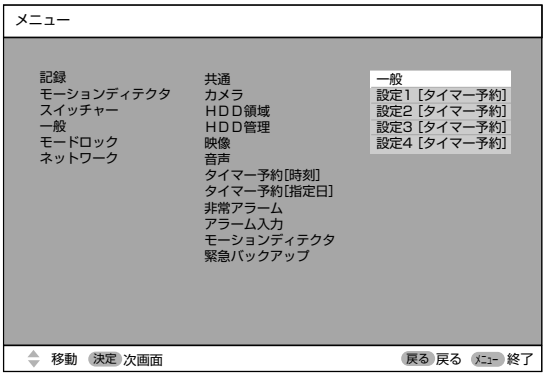
一般記録

「一般記録」は、記録を中止するまで記録を行ないます。

●一般記録の映像を設定する

記録するチャンネルごと画質と記録レートを設定します。

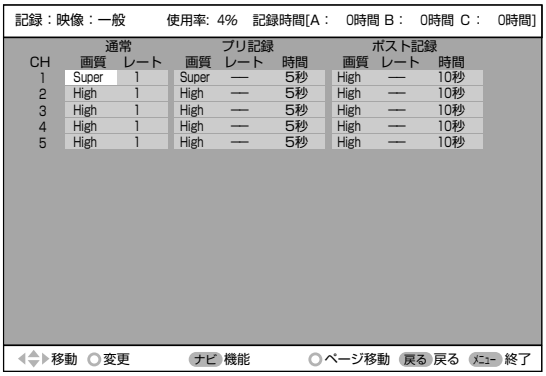
1 メニュー ➡ ◁△▷▽で【記録】➡【映像】➡【一般】を選び、決定



▼

「記録：映像：一般」メニューが表示されます。

2 ◁△▷▽で記録するチャンネルの「画質」を選び、◯で設定する



記録する画質を選びます。

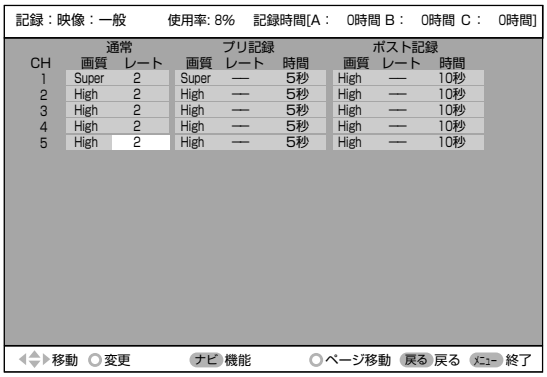
- 工場出荷時は、「画質：High」、「レート：10」に設定されています。

画質	プログレッシブカメラ 解像度	最大フレームレート (fps)	サイズ (KB)	ノーマルカメラ 解像度	最大フレームレート (fps)	サイズ (KB)
Super	704 × 480	60	40	704 × 240	60	30
High	704 × 480	60	30	704 × 240	120	20
Std	704 × 480	60	20	704 × 240	120	12
Basic	–	–	–	352 × 240	150	6

お知らせ

- フレームレートを高くすると、記録できる時間が短くなります。
- 記録できる時間は、カメラの種類、設定するレートにより異なります。
- レートの「使用率」が100%以下になるように設定します。
- レートの使用率が100%以下でも組み合わせによっては設定できない場合があります。このような場合は、レートの設定を下げてください。
- 記録するカメラの台数が増えると、記録できる時間が短くなります。
- プログレッシブカメラの場合、【Basic】は選べません。

3 ◁△▷▽で記録するチャンネルの「レート」を選び、◯でレートを設定する



1秒間に記録するフレームの枚数を選びます。

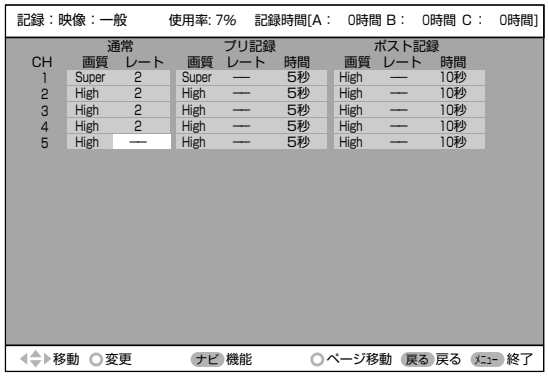
次ページへつづく

項　目	設定値				
レート（fps）	30	15	10	7.5	6
記録間隔（秒/枚）	0.03	0.07	0.10	0.13	0.17
レート（fps）	5	3	2	1.5	1
記録間隔（秒）	0.2	0.33	0.50	0.67	1
レート（fps）	0.80	0.50	0.20	0.10	—
記録間隔（秒）	1.25	2	5	10	無し

お知らせ

- 記録するレートが増えると、記録できる時間が少なくなります。

4 ◁△▷で記録しないチャンネルの「レート」を選び、○で【ー】（記録しない）を選ぶ



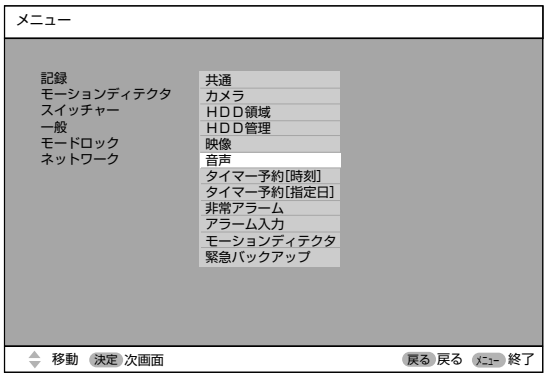
5 メニュー ○

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

●音声記録の設定をする

音声入力端子の音声を記録するかしないかを設定します。
工場出荷時、「音声：記録」は【しない】に設定されています。

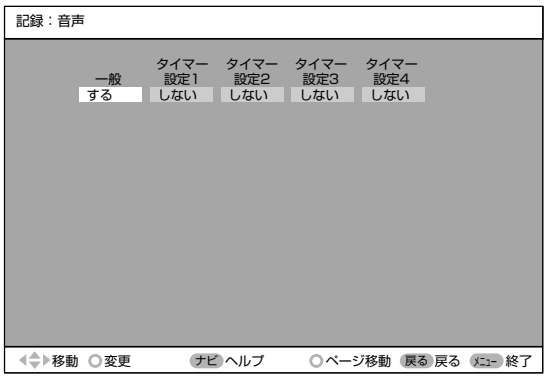
1 メニュー ○ ➡ ◁△▷で【記録】➡【音声】を選び、決定 ○



▼

「記録：音声」メニューが表示されます。

2 ◁△▷で記録する音声設定を選び、○で設定する



- 記録する場合は【する】にします。
- 音声を記録しない場合は【しない】を選びます。

3 メニュー ○

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

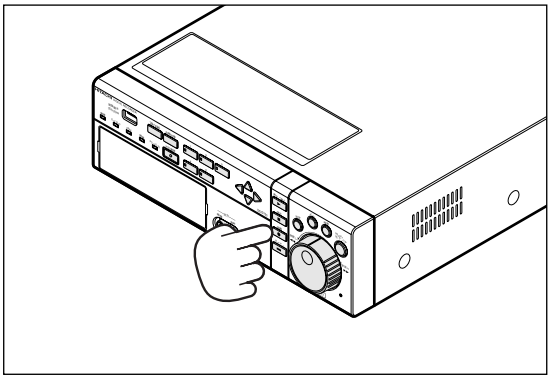
お知らせ

- 「タイマー設定1」～「タイマー設定4」は、タイマー記録用の設定です。
- 音声と映像チャンネルはリンクしていません。音声は、映像の記録レートに関係なく連続記録されます。

●記録の開始

映像と音声の記録を開始します。

1 録画



録画のランプ（赤色）が点灯します。

お知らせ

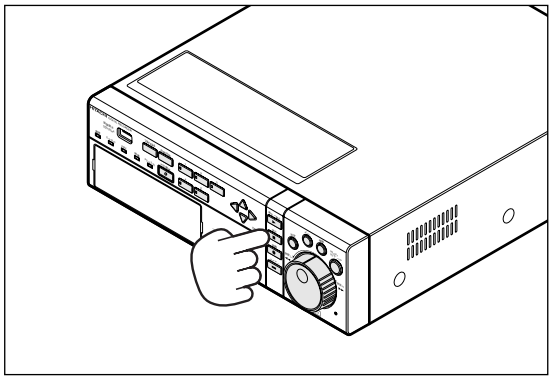
- 記録中は、モニター画面に「(赤色)」が表示されます。

ご 注 意

- 「一般：状態表示」のメニューで、「アイコン表示」「状態表示」の設定を【無し】にしているときは表示されません。
- 非常アラーム記録を除く記録の実行中に録画を押した場合、現在実行中の記録が終わった時点で記録が開始されます。
- ハードディスクがフル状態の場合、HDDフル解除操作を行なってください。(「HDDフル解除操作」(→43ページ))
- 一般記録中に優先順位の高い記録が実行された場合、一般記録は停止し、優先順位の高い記録が実行されます。
- 記録の優先順位は、38ページを参照してください。
記録中に再生/静止を押すと、記録された映像を見ることができます（同時録画再生)。

●記録の中止

1 停止 **を3秒以上押す**



録画のランプ（赤色）が消灯し、記録を中止します。

お知らせ

- タイマー録画中、タイマーを3秒以上押すと、タイマー録画を停止することができます。
- 再度タイマーを押すと、タイマー設定残時間、タイマー録画が実行されます。

タイマー記録

曜日と時間を指定して、記録することができます。

タイマー記録の設定を行うときは、設定を行う前に記録する映像の画質とレートの設定をしてください。

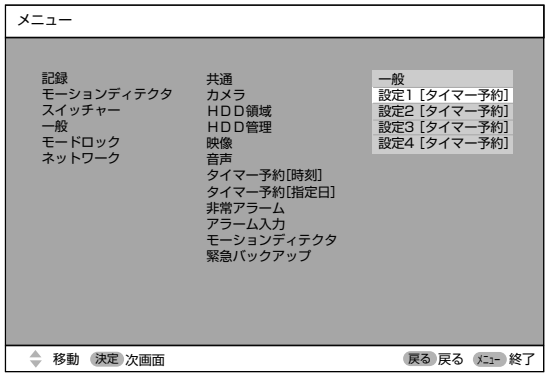
●タイマー記録の映像を設定する

タイマー記録するチャンネルごとに画質と記録レートを設定します。タイマー記録する映像の設定は、「設定1（タイマー予約）」～「設定4（タイマー予約）」の4種類設定できます。ここでは「設定1（タイマー予約）」の設定手順を例に説明します。

お知らせ

- タイマー記録中は設定の変更ができません。

1 メニュー ➡ で【記録】➡【映像】➡【設定1（タイマー予約）】を選び、決定



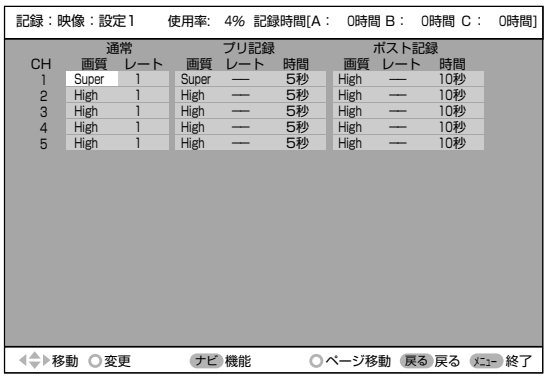
▼

「記録：映像：設定1」メニューが表示されます。

お知らせ

- 「通常」の欄の「画質」と「レート」が通常のタイマー記録の設定です。
- 「プリ記録」、「ポスト記録」はアラーム記録の設定で使用します。

2 で記録するチャンネルの「画質」を選び、で画質を設定する



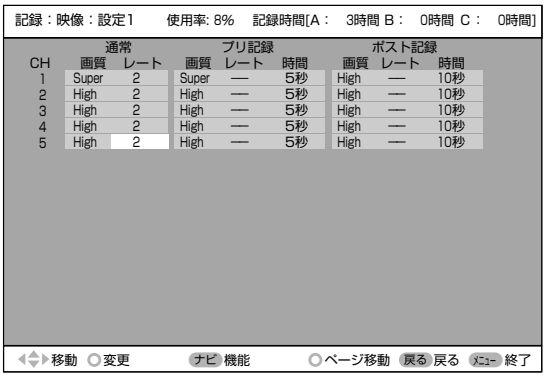
タイマー記録する画質を選びます。

画質	プログレッシブカメラ 解像度	最大フレームレート (fps)	サイズ (KB)	ノーマルカメラ 解像度	最大フレームレート (fps)	サイズ (KB)
Super	704 × 480	60	40	704 × 240	60	30
High	704 × 480	60	30	704 × 240	120	20
Std	704 × 480	60	20	704 × 240	120	12
Basic	–	–	–	352 × 240	150	6

お知らせ

- プログレッシブカメラの場合、【Basic】は選べません。
- 画質の密度を高くすると、記録できる時間が短くなります。
- 記録できる時間は、カメラの種類、設定するレートにより異なります。

3 ◁△▷で「レート」を選び、○で記録枚数を設定する



1秒間に記録するフレームの枚数を設定します。

- 工場出荷時は、「画質：High」、「レート：—」に設定されています。

項　目	設定値				
レート（fps）	30	15	10	7.5	6
記録間隔（秒/枚）	0.03	0.07	0.10	0.13	0.17
レート（fps）	5	3	2	1.5	1
記録間隔（秒）	0.2	0.33	0.50	0.67	1
レート（fps）	0.80	0.50	0.20	0.10	—
記録間隔（秒）	1.25	2	5	10	無し

お知らせ

- レートの「使用率」が100%以下になるように設定します。
- レートの使用率が100%以下でも組み合わせによっては設定できない場合があります。このような場合は、レートの設定を下げてください。

4 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

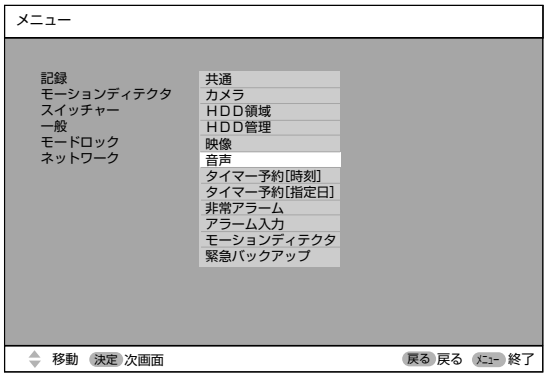
●音声記録の設定をする

音声入力端子の音声を記録するかしないかを設定します。
工場出荷時、「音声：記録」は【しない】に設定されています。

お知らせ

- 音声の記録も4つのタイマー設定ごとに設定することができます。

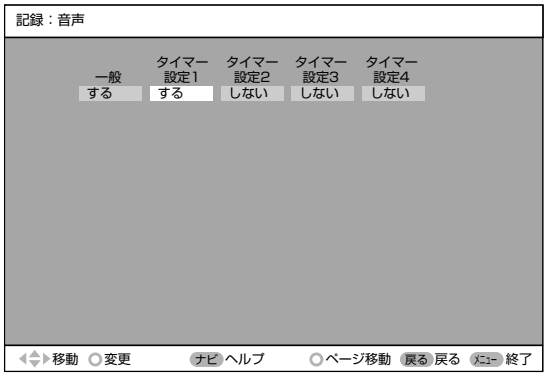
1 メニュー ➡ ◁△▷で【記録】➡【音声】を選び、決定



▼

「記録：音声」メニューが表示されます。

2 ◁△▷で記録する音声設定を選び、○で設定する



- タイマー記録で音声記録するときは、音声の設定を【する】にします。
- 音声を記録しない設定は【しない】を選びます。

お知らせ

- 音声と映像チャンネルはリンクしていません。音声は、映像の記録レートに関係なく連続記録されます。

3 メニュー

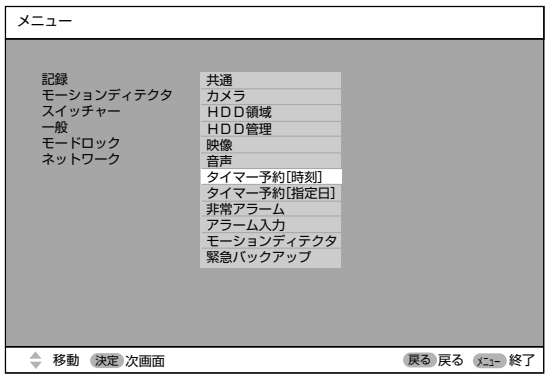
設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

次ページへつづく

●タイマー記録する日時を設定する（タイマー予約[時刻]）

タイマーで記録する、「曜日」「開始時刻」「終了時刻」を設定します。
タイマー予約は8件まで設定できます。

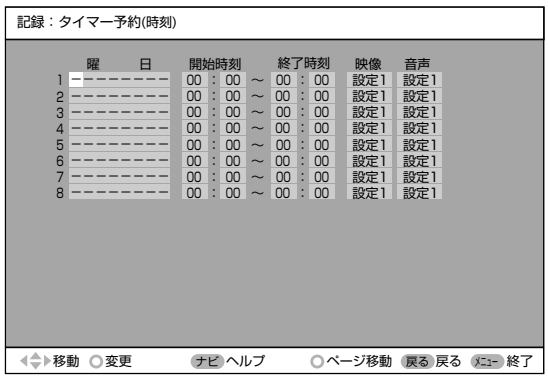
1 メニュー ➡ で【記録】➡【タイマー予約(時刻)】を選び、決定



▼

「記録：タイマー予約：時刻」メニューが表示されます。

2 で「曜日」を選び、で【曜日】を設定する



記録する曜日、日にちを設定します。

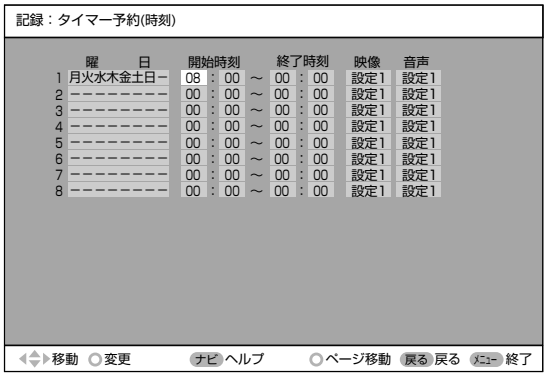
【月】～【日】：記録する曜日を選びます。

【指】：創立記念日など、特別な日にちを指定したいときに選びます。
【指】を選んだときは、「タイマー記録する日にちを設定する」で記録する日を指定してください。
(→51ページ)

お知らせ

- すべての欄が【ー】になっている場合は、タイマー記録を行ないません。
- 【指】以外を選んだ予約と日付時刻が重なった場合、【指】を選んだ予約の設定が優先されます。
- 他のプログラムと設定した時刻が重なった場合、「曜日」欄の左側の予約番号が大きいほうが優先されます。

3 で「開始時刻」を選び、で【時】、【分】を設定する


記録：タイマー予約(時刻)
曜　日　開始時刻　終了時刻　映像　音声
1 月火水木金土日ー　08：00 ～ 00：00　設定1　設定1
2 ー　00：00 ～ 00：00　設定1　設定1
3 ー　00：00 ～ 00：00　設定1　設定1
4 ー　00：00 ～ 00：00　設定1　設定1
5 ー　00：00 ～ 00：00　設定1　設定1
6 ー　00：00 ～ 00：00　設定1　設定1
7 ー　00：00 ～ 00：00　設定1　設定1
8 ー　00：00 ～ 00：00　設定1　設定1
移動 変更 ナビ ヘルプ ページ移動 戻る 戻る メニュー 終了

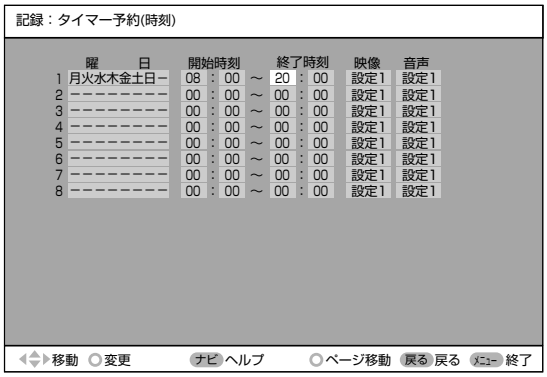
タイマー予約で記録を開始する時刻を設定します。

- 設定例：ここでは、月～日開始8：00、21：00終了を設定します。

お知らせ

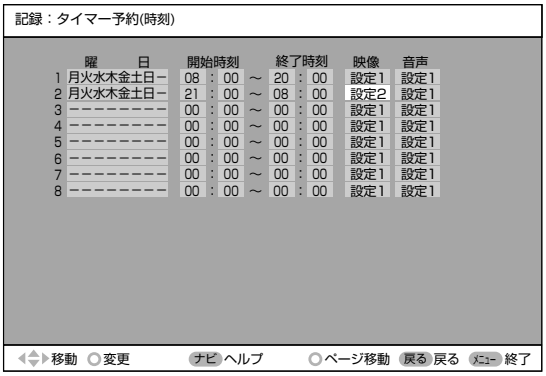
- 開始時刻と終了時刻を逆転して設定した場合は、翌日にまたぐ記録になります。
- 開始時刻と終了時刻を【00：00】以外で同じ時刻に設定した場合は、日付をまたいで記録されます。
- 24時間設定したい場合は、【00：00】～【00：00】または【00：00】～【24：00】と設定してください。

4 で「終了時刻」を選び、で【時】、【分】を設定する


記録：タイマー予約(時刻)
曜　日　開始時刻　終了時刻　映像　音声
1 月火水木金土日ー　08：00 ～ 20：00　設定1　設定1
2 ー　00：00 ～ 00：00　設定1　設定1
3 ー　00：00 ～ 00：00　設定1　設定1
4 ー　00：00 ～ 00：00　設定1　設定1
5 ー　00：00 ～ 00：00　設定1　設定1
6 ー　00：00 ～ 00：00　設定1　設定1
7 ー　00：00 ～ 00：00　設定1　設定1
8 ー　00：00 ～ 00：00　設定1　設定1
移動 変更 ナビ ヘルプ ページ移動 戻る 戻る メニュー 終了

タイマー予約で記録を終了する時間を設定します。

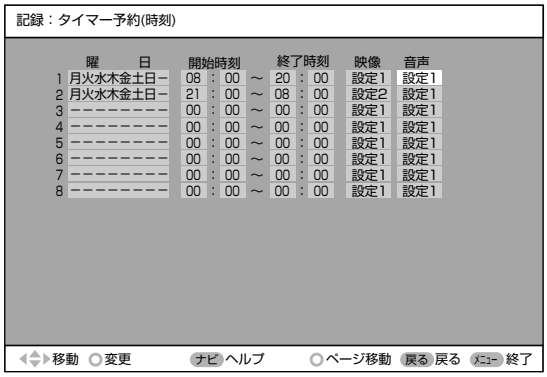
5 で「映像」を選び、で設定する


記録：タイマー予約(時刻)
曜　日　開始時刻　終了時刻　映像　音声
1 月火水木金土日－ 08 : 00 ～ 20 : 00 設定1 設定1
2 月火水木金土日－ 21 : 00 ～ 08 : 00 設定2 設定1
3 －－－－－－－－ 00 : 00 ～ 00 : 00 設定1 設定1
4 －－－－－－－－ 00 : 00 ～ 00 : 00 設定1 設定1
5 －－－－－－－－ 00 : 00 ～ 00 : 00 設定1 設定1
6 －－－－－－－－ 00 : 00 ～ 00 : 00 設定1 設定1
7 －－－－－－－－ 00 : 00 ～ 00 : 00 設定1 設定1
8 －－－－－－－－ 00 : 00 ～ 00 : 00 設定1 設定1
移動 変更 ナビ ヘルプ ページ移動 戻る 戻る メニュー 終了

「タイマー記録の映像を設定する」（→48ページ）で、設定した映像の設定（「設定1」～「設定4」）から選びます。

アラーム記録を設定する場合は、「アラーム記録の映像を設定する」（→55ページ）で設定した映像の設定（「設定1」～「設定4」）から選びます。

6 で「音声」を選び、で設定する


記録：タイマー予約(時刻)
曜　日　開始時刻　終了時刻　映像　音声
1 月火水木金土日－ 08 : 00 ～ 20 : 00 設定1 設定1
2 月火水木金土日－ 21 : 00 ～ 08 : 00 設定2 設定1
3 －－－－－－－－ 00 : 00 ～ 00 : 00 設定1 設定1
4 －－－－－－－－ 00 : 00 ～ 00 : 00 設定1 設定1
5 －－－－－－－－ 00 : 00 ～ 00 : 00 設定1 設定1
6 －－－－－－－－ 00 : 00 ～ 00 : 00 設定1 設定1
7 －－－－－－－－ 00 : 00 ～ 00 : 00 設定1 設定1
8 －－－－－－－－ 00 : 00 ～ 00 : 00 設定1 設定1
移動 変更 ナビ ヘルプ ページ移動 戻る 戻る メニュー 終了

「音声記録の設定をする」（→49ページ）で、設定した音声の設定（「設定1」～「設定4」）から選びます。

お知らせ

- 音声を記録しない場合、設定は不要です。
- タイマー予約は、8件設定できます。

7 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

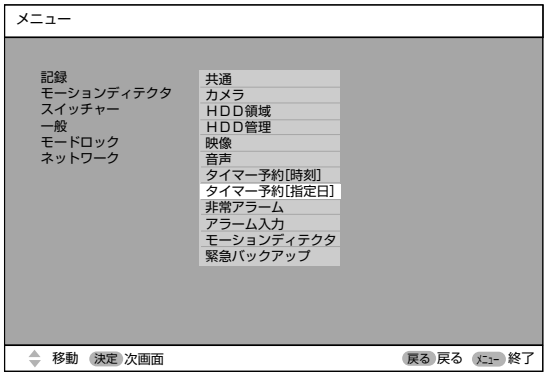
●タイマー記録をする日にちを設定する（タイマー予約［指定日］）

創立記念日など、特別な日にちを指定するときに設定します。

お知らせ

- 「タイマー記録する日時を設定する」（→50ページ）で、タイマー設定と重なる場合、日にちを指定したタイマー設定が優先されます。

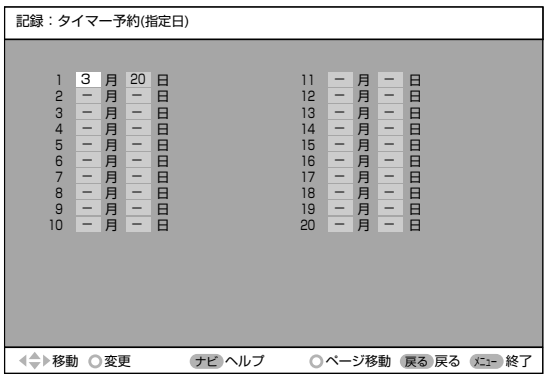
1 メニュー ➡ で【記録】➡【タイマー予約(指定日)】を選び、決定



▼

「記録：タイマー予約[指定日]」メニューが表示されます。

2 で「月」「日」を選び、で【月】、【日】を設定する


記録：タイマー予約(指定日)
1 3 月 20 日
2 － 月 － 日
3 － 月 － 日
4 － 月 － 日
5 － 月 － 日
6 － 月 － 日
7 － 月 － 日
8 － 月 － 日
9 － 月 － 日
10 － 月 － 日
11 － 月 － 日
12 － 月 － 日
13 － 月 － 日
14 － 月 － 日
15 － 月 － 日
16 － 月 － 日
17 － 月 － 日
18 － 月 － 日
19 － 月 － 日
20 － 月 － 日
移動 変更 ナビ ヘルプ ページ移動 戻る 戻る メニュー 終了

記録を行う日にちを設定します。

お知らせ

- タイマー予約（指定日）は、20日分設定できます。
- タイマー予約（指定日）の「月」「日」を解除したい場合は、【－】を選びます。
- タイマー予約（時刻）メニューの曜日設定で「指」を設定してください。

次ページへつづく

ご 注 意

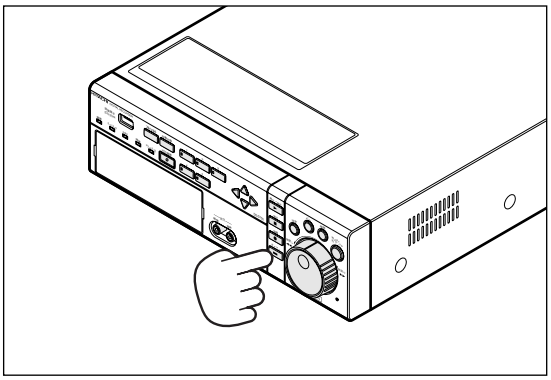
- 存在しない日、重複した日を選んだ場合はメッセージが表示されます。指定日を選びなおす場合は、【再入力】を選んで決定を押してください。設定を中止する場合は、【取消】を選んで決定を押してください。

3 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

●タイマー記録の開始

1 タイマー



タイマーのランプ（緑色）が点灯し、タイマー記録待機状態になります。モニター画面にタイマーアイコン（ ）が表示されます。

ご 注 意

- 「一般：状態表示」のメニューで、「アイコン表示」の設定を「無し」にしているときは表示されません。
- タイマー記録待機中に録画を押すと、「一般記録」で記録されます。タイマー記録開始時刻になるとタイマー記録が優先されます。タイマー記録終了時刻になると一般記録を再開します。なお、一般記録が継続して記録を続けますのでハードディスクの記憶容量が少なくなります。

お知らせ

- タイマー録画中、タイマーを3秒以上押すと、タイマー録画を停止することができます。
- 再度タイマーを押すと、タイマー設定残時間、タイマー録画が実行されます。

■タイマー記録開始時刻になると

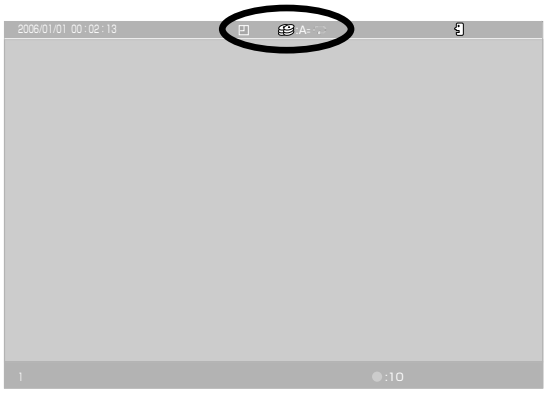
録画ランプ（赤）が点灯し、自動的に記録を開始します。

：赤色表示　　：赤色

■タイマー記録終了時刻になると

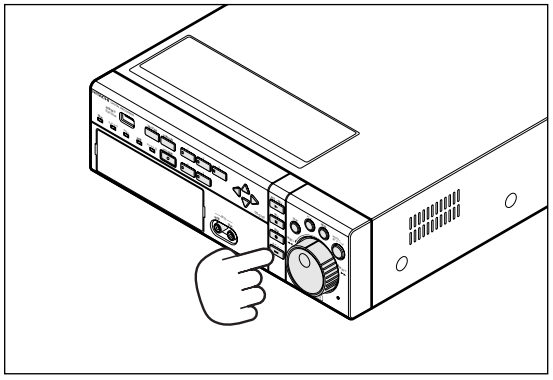
録画のランプ（赤）が消灯し、自動的に記録が停止します。

：白色表示　　：なし



●タイマー記録の中止

1 タイマー を3秒以上押す



タイマーボタンのランプ（緑色）が消灯します。
モニター画面のタイマーアイコンが消えます。

：なし　　：なし

非常アラーム記録

非常記録端子（コントロール端子2）に接続した非常用センサーのアラームを検知して記録を行ないます。

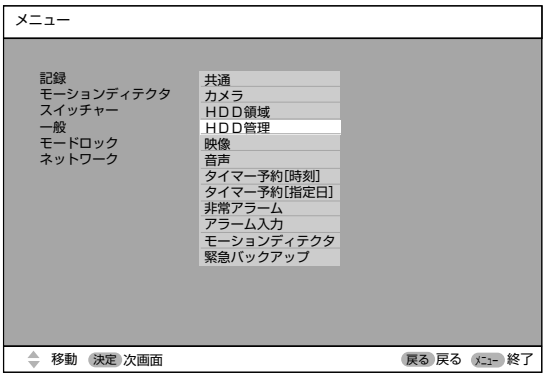
ご 注 意

- 非常アラームのプリ記録設定を変更すると、ハードディスクが初期化され、格納されているすべての記録は消去されます。非常アラームプリ記録の設定は記録を開始する前に行ってください、
- 非常アラームのプリ記録はハードディスク内の専用領域を使用します。プリ記録【する】に設定すると、通常記録、タイマー記録、アラーム記録で記録できる時間が短くなります。記録できる時間は付録の記録間隔表をご覧ください。（→120ページ）

●非常アラームのプリ記録の設定

非常アラームのプリ記録は、非常アラームを検知した時点から5分さかのぼった記録を行う機能です。

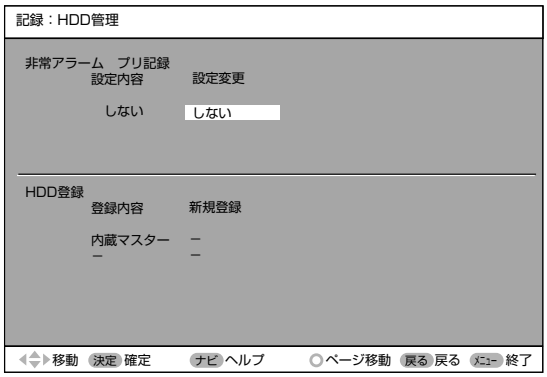
1 メニュー ➡ ◁△▷▽で【記録】➡【HDD管理】を選び、決定



▼

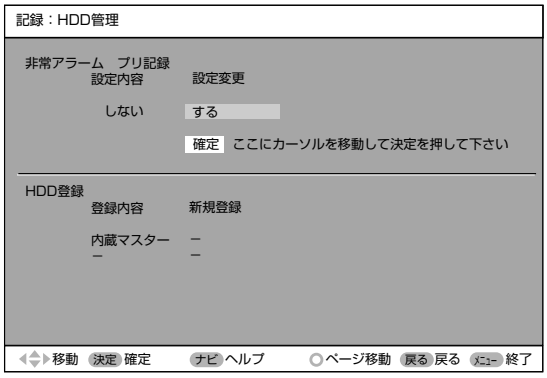
「記録：HDD管理」画面が表示されます。

2 ◁△▷▽で非常アラームプリ記録の「設定変更」を選び、◯で設定する



【しない】：非常アラームのプリ記録を無効にします。
【する】　：非常アラームのプリ記録を有効にします。
・【する】を設定すると、【確定】が表示されます。

3 ◁△▷▽で【確定】を選び、決定



ハードディスクの初期化の警告メッセージが表示されます。
メッセージに従って初期化してください。

お知らせ

- 非常アラームのプリ記録件数は有限です。（内蔵HDDのみで最大8件、外付HDD使用時はさらに8件記録できます。）
- 画面に「非常アラーム　プリ記録フル」が表示されると、それ以上非常アラームのプリ記録を行なうことができません。（→118ページ）
- 新たに非常アラームのプリ記録を行ないたい場合は、上書き禁止解除の設定を行なってください。（→68ページ）

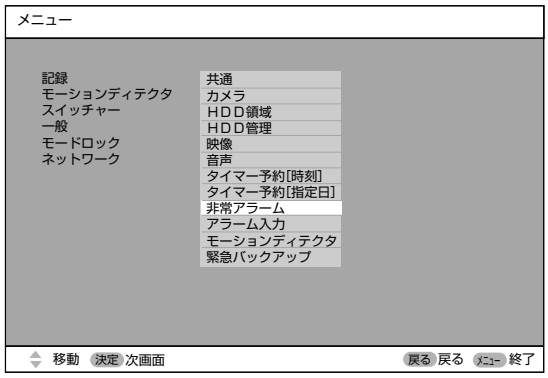
4 メニュー

設定した内容が保存されます。

次ページへつづく

●非常アラームの設定

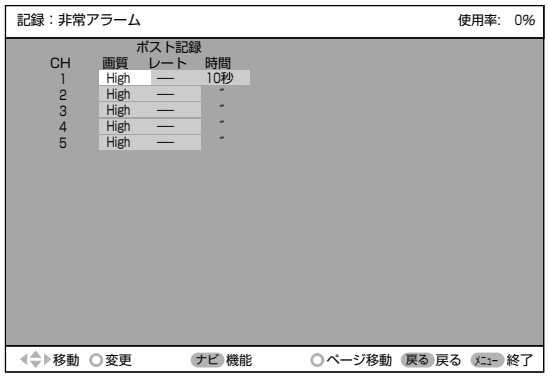
1 メニュー ➡ で【記録】➡ 【非常アラーム】を選び、決定



▼

「記録：非常アラーム」メニューが表示されます。

2 で「画質」「レート」「時間」を選び、で画像の設定をする



- 「画質」、「レート」の設定は、一般記録（→45ページ）、タイマー記録（→48ページ）を参照してください。
- 「時間」は、アラーム入力があったタイミングから設定した時間だけ記録します。
  【Manual】、【10秒】、【20秒】、【30秒】、【1分】、【2分】、【3分】

ご 注 意

- プログレッシブカメラの場合、【Basic】は選べません。
- 「レート」で設定できる数値は、設定するチャンネルの合計がBasicで150fpsまでです。
- 記録時間は、チャンネル1で設定した「時間」で各チャンネルが記録されます。「画質」と「レート」は各チャンネルごとに設定してください。

3 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

お知らせ

- 非常アラーム記録が開始されると、非常アラーム記録が設定されたチャンネルの記録を中断します。非常アラーム記録が終了すると記録を再開します。
- 連動記録するとき各チャンネルの記録レート、画質、記録時間は非常記録用の記録パターンによります。
- 非常アラームで記録した部分(プリ記録も含む)は自動的に上書き禁止になります。
- 上書き禁止になるのは最初の100個までです。100個を超えた分は上書き禁止になりません。
- 非常アラーム記録中は、アラーム記録を受け付けません。
- 複数のチャンネルを設定する場合は、記録レートの使用率が100%以下になるように設定してください。
- 非常アラーム記録でプリ記録を設定する場合は、一般記録設定のレートが設定されていることを確認してください。記録レートが【－】（記録しない）に設定されている場合は、プリ記録は実行されません。
- 記録しているチャンネルは非常アラーム発生前の最大5分から非常アラーム発生の区間が非常アラームのプリ記録になります。
- 記録レートは、制限値を超えた場合、「使用率が制限値をオーバーしています」とメッセージが表示されます。このような場合、指定された設定画面の記録レートを設定しなおしてください。
- 非常アラーム記録終了後、約10秒間は次の非常アラームを検知しても記録が開始されません。
- プリ記録は、一般の設定レートで記録されます。非常アラームのポスト記録のレート設定を行うことで自動的に入力された前（5分前）から記録されます。
- 一般記録中、非常アラーム記録が開始された場合は、アラーム検知前（約5分前）の一般記録からプリ記録になります。
- プリ記録された映像を見るときは、アラーム検索（静止画）の場合、非常アラームを検知して記録された場所（ポスト記録最初の部分）より、戻しまたは早戻し操作をして映像を見てください。

アラーム記録について

「アラーム記録」には、コントロール端子3～7に入力されたアラーム信号に連動して記録する「アラーム入力」と、入力される映像信号の動きを検出して記録する「モーションディテクタ」があります。

「アラーム記録」を行なうには、あらかじめ次の設定を行なってください。

※アラームを検知したときに記録するチャンネルの「プリ記録」と「ポスト記録」の映像を設定します。
- タイマー予約で、指定してた日時にアラーム記録を行なう場合は、「記録：映像：設定1」～「記録：映像：設定4」のメニューで「プリ記録」と「ポスト記録」の映像を設定します。

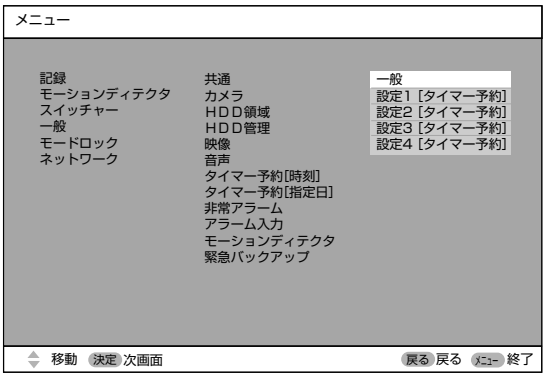
※アラームを検知したときに記録するチャンネルを選びます。
→外部センサーを接続した端子とアラームを検知したときの記録チャンネルを設定する（→57ページ）。
→モーションディテクタで記録するチャンネルを設定する(→59ページ)。

●アラーム記録の映像を設定する

「アラーム入力」と「モーションディテクタ」でアラームを検知したときに記録するチャンネルの「プリ記録」と「ポスト記録」の「画質」「レート」「時間」を設定します。

※「プリ記録」はアラーム検知前の映像を記録します。「ポスト記録」はアラーム検知後の映像を記録します。

1 メニュー ➡ ◁△▷▽で【記録】➡【映像】➡【一般】を選び、決定



▼

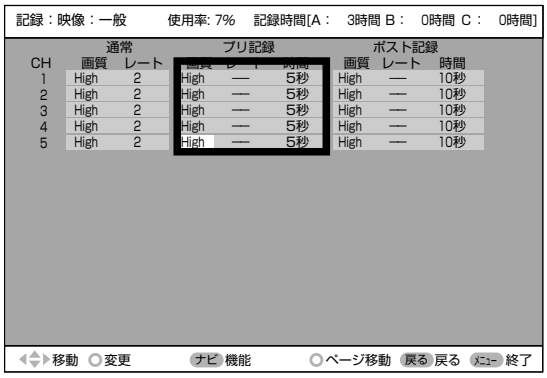
「記録：映像：一般」メニューが表示されます。

お知らせ

- タイマー記録の映像を設定する場合は、メニュー → 【記録】→【映像】→【設定1(タイマー予約)】～【設定4(タイマー予約)】を選び、決定を押して、「記録：映像：設定1」～「記録：映像：設定4」に「プリ記録」と「ポスト記録」を設定してください。

2 ◁△▷▽で記録するチャンネルの「プリ記録」の「画質」「レート」「時間」を◯で設定する

アラームを検知する前の映像を記録(プリ記録）する設定を行います。
プリ記録を設定しない場合は、この設定は不要です。



- 「画質」、「レート」の設定は、一般記録（→45ページ）、タイマー記録（→48ページ）を参照してください。
- 「時間」は、アラーム入力があったタイミングから設定した時間だけさかのぼって記録します。
  【1秒】～【10秒】：枚数設定の場合は1～10枚

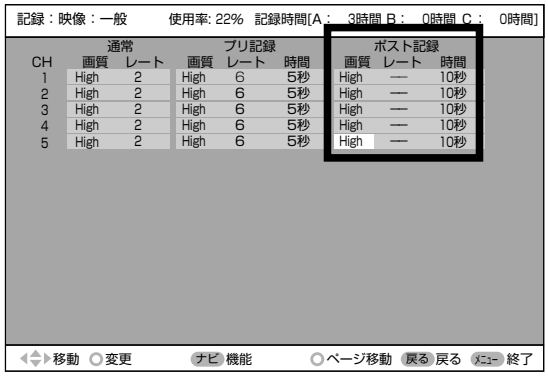
次ページへつづく

お知らせ

- レートは、設定したチャンネルの合計が使用率100%以下になるように設定してください。
- 記録レートの制限値を超えた場合、「使用率が制限値をオーバーしています」とメッセージが表示されます。このような場合、指定された設定画面の記録レートを設定しなおしてください。
- 複数のチャンネルを設定し、記録レートで設定したレートで記録できなくなった場合は、記録レートの設定をやりなおしてください。
- プリ記録の「時間」は使用率により10秒までしか設定できません。プリ記録を10秒間設定する場合は使用率が50%以下になるように画質、レート、入力CH等を少なくしてください。
- プリ記録の「レート」は一般記録のレートの公倍数しか設定できません。
- プリ記録の「画質」は、一般記録の画質と同じものしか設定できません。
- 画質の密度が高くなると、記録できる時間が短くなります。
- 記録時間（枚数）が増えると、記録できる時間が短くなります。
  「プリ記録」と「ポスト記録」の「時間」の単位は、「記録：共通」メニューの「アラーム記録単位」で、【時間】か【枚数】を選べます。

3 ◁△▷で記録するチャンネルの「ポスト記録」の「画質」「レート」「時間」を◯で設定する

アラームを検知した後の映像を記録する設定を行います。設定する値についてはプリ記録と同様です。



- 「画質」、「レート」の設定は、一般記録（→45ページ）、タイマー記録（→48ページ）を参照してください。
- 「時間」は、アラーム入力があったタイミングから設定した時間だけ記録します。
  【Manual】、【10秒】、【20秒】、【30秒】、【1分】、【2分】、【3分】

ご 注 意

- 「ポスト記録」を設定しないと、モーションディテクタ、外部センサーのアラームを検知したときに動作しません。必ず設定を行なってください。
- 連続した動きのある映像を記録する場合は、録画 ○ を押して記録してください。記録が継続されない場合や再開されない場合があります。

お知らせ

- レートは、設定したチャンネルの合計が使用率100%以下になるように設定してください。
- 記録レートの制限値を超えた場合、「使用率が制限値をオーバーしています」とメッセージが表示されます。このような場合、指定された設定画面の記録レートを設定しなおしてください。
- 複数のチャンネルを設定し、記録レートで設定したレートで記録できなくなった場合は、記録レートの設定をやりなおしてください。
- 画質の密度が高くなると、記録できる時間が短くなります。
- 記録時間（枚数）が増えると、記録できる時間が短くなります。
  「プリ記録」と「ポスト記録」の「時間」の単位は、「記録：共通」メニューの「アラーム記録単位」で、【時間】か【枚数】を選べます。

4 メニュー ○

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

ご 注 意

- プリ記録時間を設定した時点から、プリ記録に設定した時刻が経過する前にアラームを検知しても、経過した時間分しかプリ記録されません。たとえば、プリ記録に10秒と設定した5秒後にアラームを検知した場合、経過した5秒間は記録できますが、それ以前の5秒間は記録できません。

お知らせ

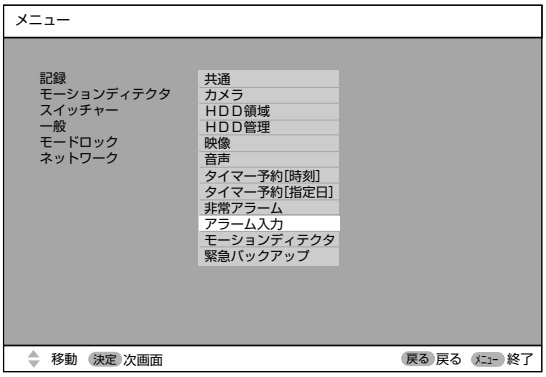
- 記録するカメラの台数が増えると、記録できる時間が短くなります。
- 記録できる時間／枚数の目安は付録の記録間隔表を参照してください。（→120ページ）
- 記録枚数が増えると、記録できる時間が短くなります。
- アラーム記録中に、再度アラームを検知した場合は、新たに検知した時点から記録設定された時間だけ記録されます。

●外部センサーを接続した端子とアラームを検知したときの記録チャンネルを設定する

コントロール端子3～7に接続した外部センサーがアラームを検知したときに記録するチャンネルを設定します。

※アラームを検知したときに通知する方法を設定できます。（→110ページ）

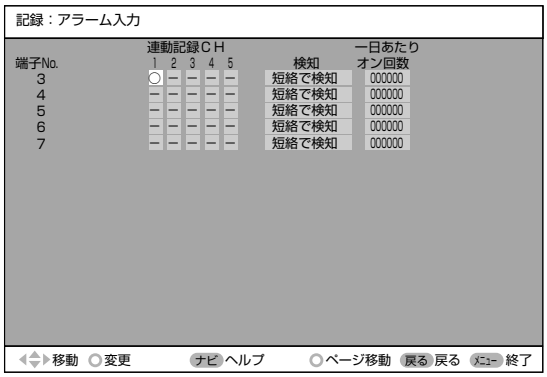
1 メニュー ➡ で「記録」➡ 【アラーム入力】を選び、決定



▼

「記録：アラーム入力」メニューが表示されます。

2 で外部センサーを接続したコントロール端子と検知したときに記録するチャンネルを選び、で設定する

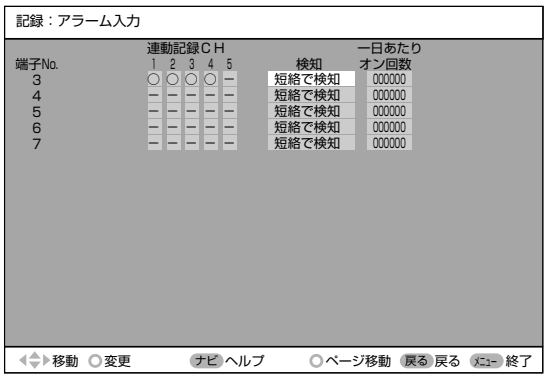


「連動記録CH」が記録するチャンネル、「端子No」がコントロール端子です。外部センサーがアラームを検知したときに、どのチャンネルで記録するかを選びます。

【○】；記録を行う

【－】；記録を行なわない

3 で「検知」を選び、で コントロール端子に接続した 外部センサーの検知方法を選ぶ



外部センサーからのアラームの動作モードに合わせて設定します。

【短絡で検知】：GNDとショートをアラーム発生とする外部センサー

【開放で検知】：オープン（開放）をアラーム発生とする外部センサー

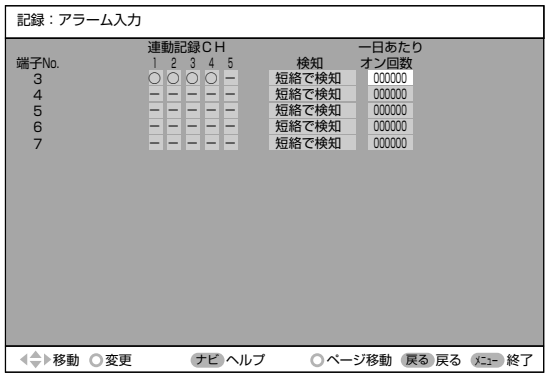
例：ここでは、アラーム端子番号（3）でアラーム検出したら、CH1～CH4までを記録する設定を行います。

お知らせ

- コントロール端子に接続した検知方法（短絡で検知/開放で検知）は、外部センサーの動作モードに合わせてください。

次ページへつづく

4 ◁△▷で「一日あたりオン回数」を選び、◯で設定する



「メニュー：記録：映像」のメニューで画面上部に表示される「記録日数」の計算に使用されます。記録日数を正確に算出する必要がある場合に設定します。

お知らせ

- 「一日あたりオン回数」は、記録動作には影響しません。

5 メニュー

設定内容が保存され、モニター画面に戻ります。

●アラーム入力の設定が終了すると

- 「記録：映像：一般」メニューで、「プリ記録」「ポスト記録」が設定されている場合は、記録するチャンネルが設定されるとアラーム待機状態になります。
  アラームを検知したときに、[アラーム]ランプ（赤色）が点灯し、モニター画面に が表示されます。
- 「記録：映像：設定1」～「記録：映像：設定4」メニューで、「プリ記録」「ポスト記録」が設定されている場合は、タイマー予約で設定された時刻にアラーム待機状態になります。
  アラームを検知したときに、[アラーム]ランプ（赤色）が点灯し、モニター画面に が表示されます。

●外部センサーがアラームを検知したときの記録を解除する

- 「外部センサーを接続した端子とアラームを検知したときの記録チャンネルを設定する」（→57ページ）の手順 2 で、【－】を選びます。

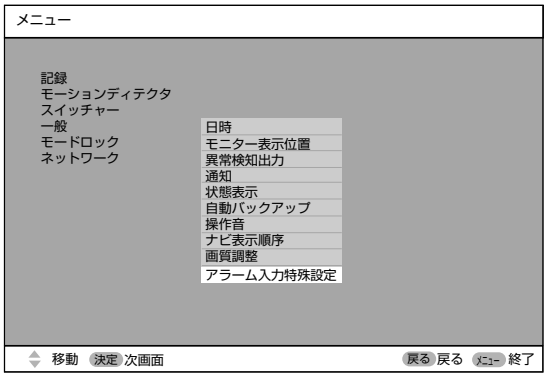
お知らせ

- アラームを検知して、記録状態になっているときは、「記録中は設定変更できません」が表示されて、設定の変更をすることができません。
  このような場合は、メニューを終了した後、ナビゲーション と 戻る を5秒以上同時に押してください。記録を5分間停止できますので、この間に設定を変更してください。

アラーム入力時の特殊な動作を設定する

コントロール端子3～7に接続した外部センサーがアラームを検知したときに行う動作を設定します。アラーム入力に対する、より細かな対応動作が可能になります。

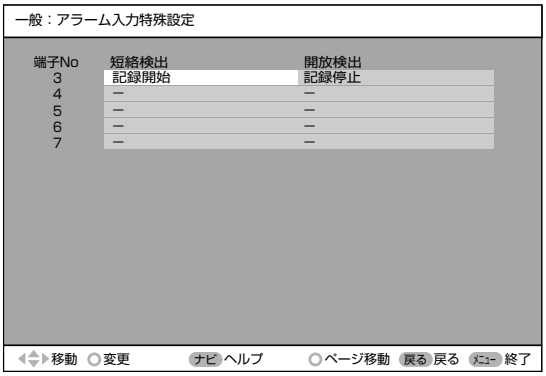
1 メニュー ➡ ◁△▷で【一般】➡【アラーム入力特殊設定】を選び、決定



▼

「一般：アラーム入力特殊設定」画面が表示されます。

2 ◁△▷▽で「短絡検出」「開放検出」を選び、○で動作を選ぶ



「短絡検出」「開放検出」はコントロール端子に接続した外部センサーの動作モードに合わせて設定します。

【記録開始】　：記録を開始します。
【記録停止】　：記録を停止します。
【タイマー有効】：タイマーを有効にします。
【タイマー無効】：タイマーを無効にします。
【モーションディテクタ検知開始】
：モーションディテクタによる検知を開始します。
【モーションディテクタ検知停止】
：モーションディテクタによる検知を停止します。
【ー】　：何の動作もしません。

3 メニュー○

設定内容が保存され、モニター画面に戻ります。

お知らせ

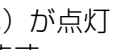
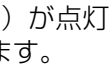
- ここで設定した動作とアラーム記録は独立に動作します。このため、アラーム記録を設定している状態でアラームを検知すると、ここで設定した動作とアラーム記録の両方が別々に動作します。

モーションディテクタ

モーションディテクタは、映像を横44×縦30で分割したブロックで検知します。（外周 2 ブロック分は映像が不安定になりやすいため、検知に使用しません。）

※　工場出荷時、モーションディテクタの設定はすべてのチャンネルで、次のように設定されています。
領域：モーションディテクタの感度を設定する領域は設定されていません。
感度：標準
詳細な設定をする場合は、「モーションディテクタの設定」（→60ページ）を参照してください。
モーションディテクタが人やものなどの動きを検知したとき、カメラに異常が発生したときに通知する方法を設定できます。
（→「通知」111ページ）

モーションディテクタで記録するチャンネルの設定が終了すると

- 「記録：映像：一般」メニューで、「プリ記録」「ポスト記録」が設定されている場合は、記録するチャンネルが設定されるとアラーム待機状態になります。
アラームを検知したときに、[アラーム]ランプ（赤色）が点灯し、モニター画面に  が表示されます。
- 「記録：映像：設定1」～「記録：映像：設定4」メニューで、「プリ記録」「ポスト記録」が設定されている場合は、タイマー予約で設定された時刻にアラーム待機状態になります。
アラームを検知したときに、[アラームランプ]（赤色）が点灯し、モニター画面に  が表示されます。

お知らせ

- アラームを検知して、記録状態になっているときは、「記録中は設定変更できません」が表示されて、設定の変更をすることができません。
このような場合は、メニューを終了した後、ナビゲーション○と戻る○を5秒以上同時に押してください。記録を5分間停止できますので、この間に設定を変更してください。
- 分割表示にしている場合は、検知した画面がフル画面で表示されます。
- モーションディテクタを設定しているチャンネルが複数ある場合は、検知した順にフル画面で表示されます。
- 記録終了後、[アラーム入力]ランプが点滅しています。
ナビゲーション○を押して【アラーム確認】を選び決定○を押すと消えます。

次ページへつづく

モーションディテクタがアラームを検知したときの記録を解除する

- 「モーションディテクタで記録するチャンネルを設定する」（→64ページ）の手順 2 で、【－】（記録しない）を選びます。

モーションディテクタの設定

モーションディテクタは、映像内の人などの動きを検知して、記録、発報を行なう機能です。

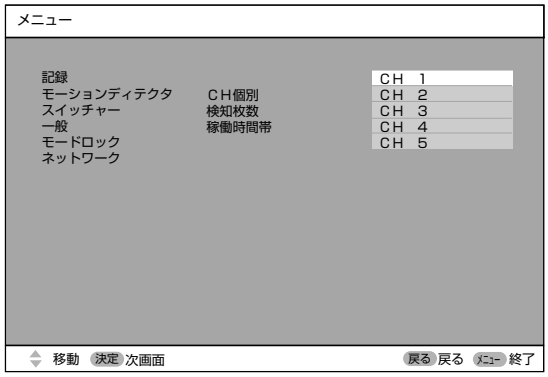
モーションディテクタには、以下の機能があります。

- 人やものなどの動きを検知
- 人やものなどの停止状態を検知
- カメラ映像の異常を検知
- 移動体の方向を検知

カメラを設置する場所の状況に合わせて設定してください。

●モーションディテクタの設定をする

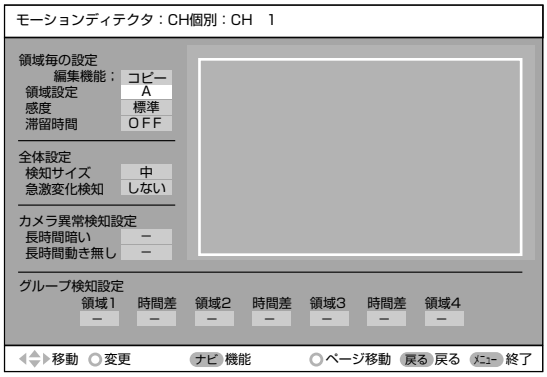
1 メニュー ➡ で【モーションディテクタ】➡【CH個別】➡【CH1】～【CH5】を選び、決定



▼

選んだチャンネルの「モーションディテクタ：設定：CH」メニューが表示されます。

2 で「領域設定」を選び、で【A】～【H】を選ぶ



「領域設定」：動きを検知する感度の範囲を8領域設定できます。

カメラで監視する場所の状況（窓、人の動きの多い場所、廊下やドアなど）に合わせて、領域毎に感度を設定します。

A～H	• 「感度」「滞留時間」を設定する領域を設定します。
未選択	• 領域を設定しません。

「編集機能」：領域設定するときに、コピー、ペースト削除することができます。

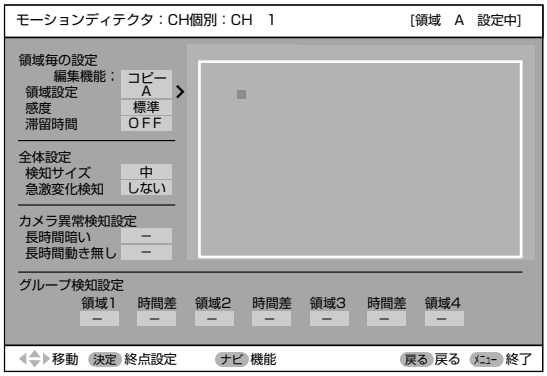
で編集機能を選び、決定 で実行されます。

コピー	• 設定した領域の「感度」「滞留時間」の設定をコピーします。
ペースト	• ペーストします。
削　除	• 選択している領域範囲と「感度」「滞留時間」の設定を削除します。

3 決定

モニター画面内にカーソルが表示されます。

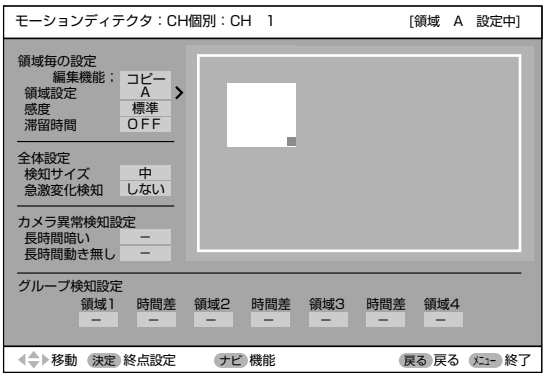
4 で設定する領域の始点にカーソルを移動し、決定



お知らせ

- [ジョグダイヤル]でもカーソルを移動できます。

5 で設定する領域の終点にカーソルを移動し、決定



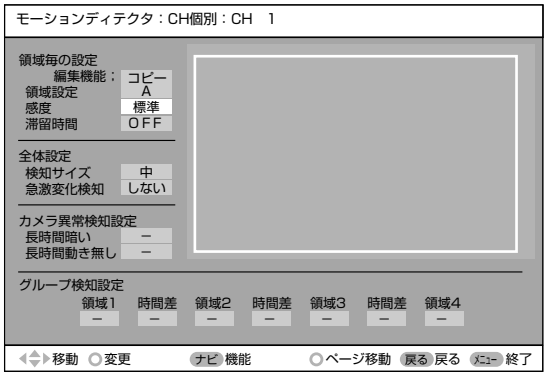
お知らせ

- [ジョグダイヤル]でもカーソルを移動できます。

ご 注 意

- 動きを検知する領域を重ねて設定しようとすると「既に設定済みの領域です」のエラーメッセージが表示されます。決定を押して、設定をやり直してください。
- 動きを検知できるのは、白ワクの中のみです。白ワクの外に領域を設定することはできません。

6 で「感度」を選び、で設定する

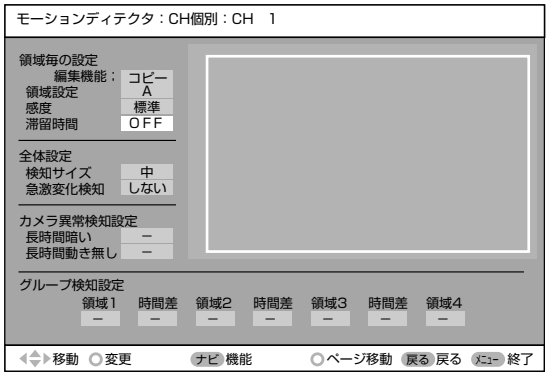


「感度」：設定した領域の感度を設定します。

高感度	• 縦方向の動き（画面奥の小さい物体）を検知します。 • 薄暗い場所等での輝度変化の少ない動き、白い背景に白い服を着た人を検知します。 • 暗い場所での変化の少ない動きを検知します。 ＜注意＞ • ガラス等への写りこみ、光や影を検知しやすくなります。
標準	• 明るい場所での動きを検知します。 • 薄暗い場所での動きを検知します。
低感度	• ガラス・金属等への写りこみよる検知を抑えます。 • 窓の外等の動きによる検知を抑えます。 • ＡＴＭ操作パネルなどへの検知を抑えます。 ＜注意＞ • 薄暗い場所、変化の少ない動き(縦方向)、白い背景に白い服を着た人などを検知しにくくなります。
OFF	• 常に動きのある場所（ずっと揺れているポスターなど）を検知したくないときに設定します。 • 窓の外、テレビ等の画面など、変化があっても検知を無視したい場合に設定します。

次ページへつづく

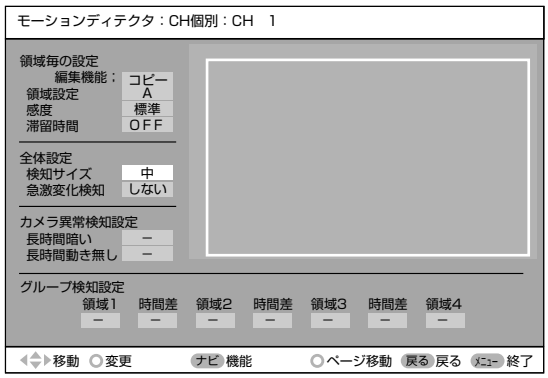
7 ◁△▷ で「滞留時間」を選び、○ で設定する



「滞留時間」：人やものなどが停止した状態にあるときに検知するように設定できます。人が一箇所に一定時間留まっているときなどの場合に検知するようにします。

5秒～5分	• 領域に何秒検知物体が存在したら異常と検出するかの時間を設定します。
OFF	• 検知しません。

8 ◁△▷ で「検知サイズ」を選び、○ で設定する

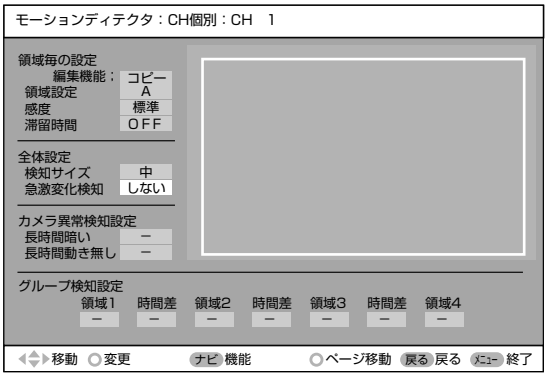


「検知サイズ」：どのくらいのサイズを検知するか設定できます。

大	• 検知するサイズは、画面領域10ブロック以上の動きを検知します。 大きな物体の検知を行ないます。
中	• 検知するサイズは、画面領域4ブロック以上の動きを検知します。
小	• 検知するサイズは、画面領域1ブロック以上の動きを検知します。 小さな物体の検知を行ないます。

※ 1ブロックは、映像を横44×縦30で分割した1つの領域のことです。

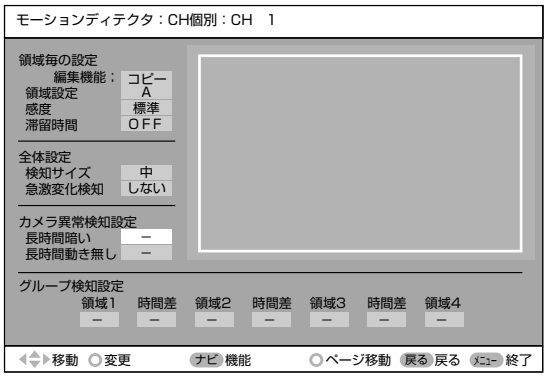
9 ◁△▷ で「急激変化検知」を選び、○ で設定する



「急激変化検知」：カメラの映像に急激な変化があったときに検知します。

する	• 映像の動きが多い状態のときに検知します。 • カメラの角度が変更されたり、何かでカメラが塞がれたときに検知します。 • 暗い部屋で、照明が点灯された場合に検知します。
しない	• 検知しません。

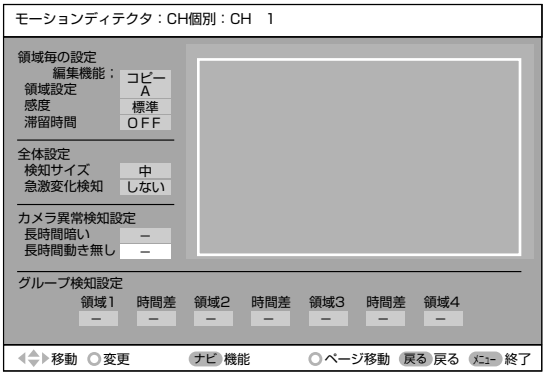
10 ◁△▷ で「長時間暗い」を選び、○ で、「時間」または「日にち」を選ぶ



「長時間暗い」：カメラの映像が長時間暗い状態にあるときの異常を検知します。

1時間～30日	• カメラが塞がれたなど、設定時間以上カメラの映像が暗い状態にあるときに検知します。
—	• 検知しません。

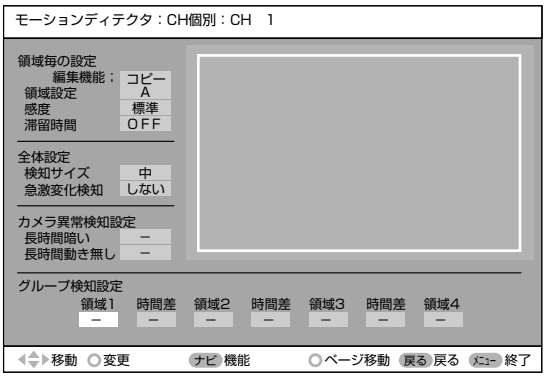
11 ◁△▷ で「長時間動き無し」を選び、○ で設定する



「長時間動き無し」：人の動きが検知されていなければならないのに、長時間検知されない状態にあるときのカメラの異常を検知して発報します。

1時間～30日	• 設定した時間以上、カメラの映像に動きがない場合に検知します。
しない	• 検知しません。

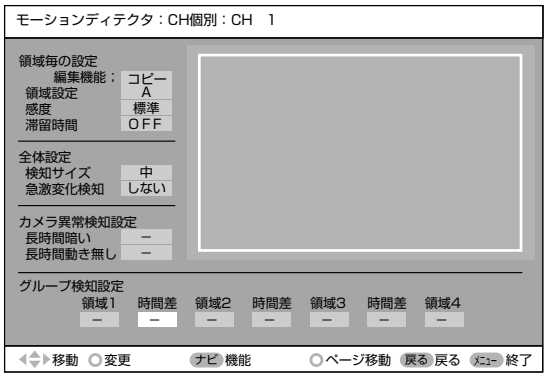
12 ◁△▷ で、「グループ検知設定」の「領域1」～「領域4」を選び、○ で設定する



「グループ検知設定」：設定した領域間の動きの検知結果から、人やものなどが移動した場合（廊下の奥から手間に移動、部屋の右から左へ移動など）に発報するのに利用します。

13 ◁△▷ で、「グループ検知設定」の「時間差」を選び、○ で設定する

「領域1」～「領域4」で選んだ領域の検知する時間差を選びます。



領域	• どの領域を設定するかを選びます。
時間差（同時～10分）	• 設定した領域間の時間差を設定します。設定した時間差異常で人やものなどが移動したときに異常を検知します。

14 メニュー ○

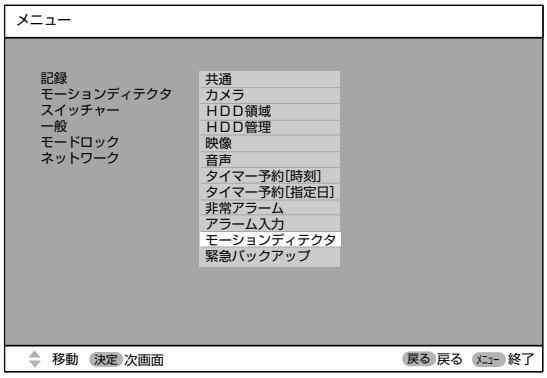
設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

- モーションディテクタの設定が終了したら、記録する「チャンネル」を設定します。

●モーションディテクタで記録するチャンネルを設定する

モーションディテクタが人やものなどの動きを検知したときに記録するチャンネルを設定します。

1 メニュー ○ ➡ ◁△▷ で【記録】➡【モーションディテクタ】を選び、決定 ○

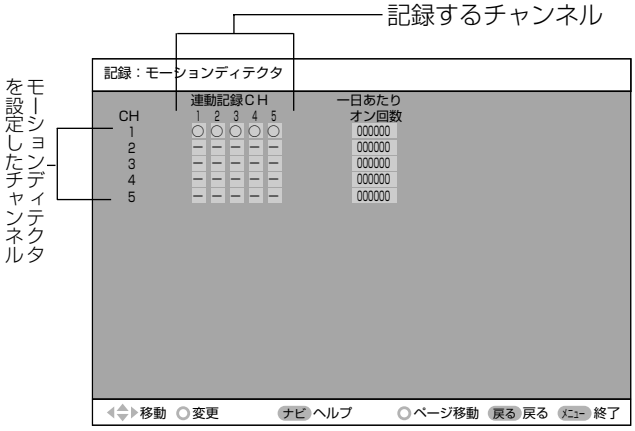


▼

「記録：モーションディテクタ」メニューが表示されます。

次ページへつづく

2 ◁△▷でモーションディテクタで検知したときに記録するチャンネルを選び、○で設定する

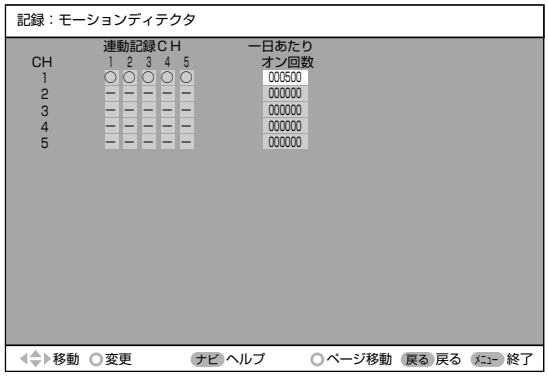


- 記録を行う場合は、【○】を選びます。
- 記録を行なわない場合は、【－】（記録しない）を選びます。

例：ここでは、CH1：カメラ検知時、CH1～CH5の入力映像を記録します。

3 ◁△▷で「一日あたりオン回数」を選び、○で設定する

「メニュー：記録：映像」のメニューで画面上部に表示される「記録日数」の計算に使用されます。記録日数を正確に計算する必要がある場合に設定します。



お知らせ

- 「一日あたりオン回数」は、記録動作に影響しません。

4 メニュー○

設定内容が保存され、モニター画面に戻ります。

ご 注 意

- 連続した動きのある映像を記録する場合は、録画○を押して一般記録してください。記録が継続されない場合や再開されない場合があります。
- 記録するチャンネルを【○】に設定しないと、検知しても記録されません。
- 複数のチャンネルを設定し、記録レートで設定したレートで設定できない場合、「使用率が制限値をオーバーしています」と表示されます。このような場合、指定された設定画面の記録レートを設定し直してください。

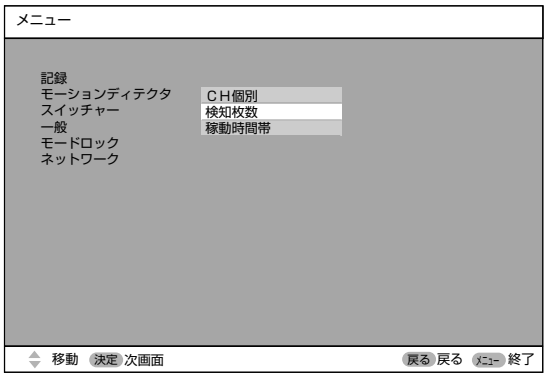
●モーションディテクタの映像を詳細に記録する

モーションディテクタが検知して記録するときの映像は、「検知枚数」で設定します。詳細な映像を記録したい場合は、詳細な映像を記録したいチャンネルの「検知枚数」の設定を変更してください。

お知らせ

- 全チャンネルで設定できる「検知枚数」は合計30枚または32枚までです。

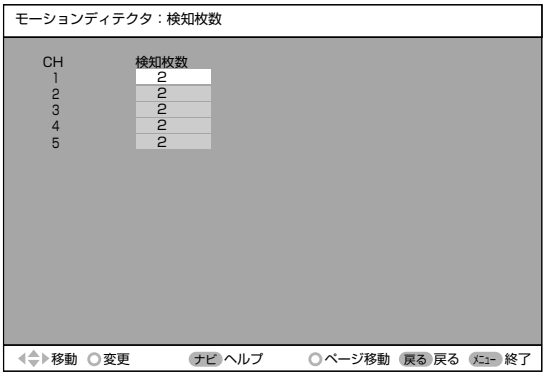
1 メニュー○ ➡ ◁△▷で【モーションディテクタ】➡【検知枚数】選び、決定○



▼

「モーションディテクタ：検知枚数」画面が表示されます。

2 ◁△▷で検知枚数を変更するチャンネルを選び、●で設定する



- 動き検知時に領域を毎秒何枚チェック（スキャン）するかを設定します。
  【－】　　：動き検知しない。
  【1、2、4、6、8、15、30】：1秒間にチェックする映像の枚数
- 工場出荷時は、「検知枚数」が2枚に設定されています。

3 メニュー●

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

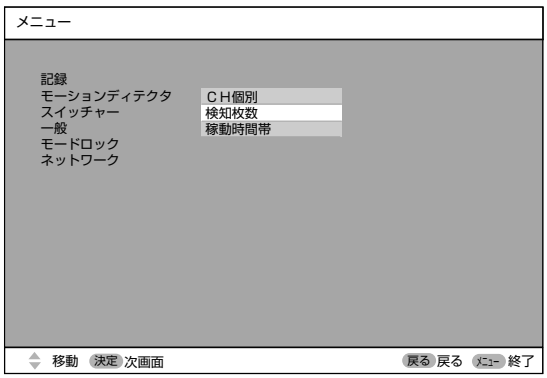
お知らせ

- 各チャンネルの合計が30枚を超える設定をした場合は、メッセージが表示されます。【再入力】を選び、決定●を押してから設定をやり直してください。【取消】を選び、決定●を押すと、設定を変更せずにモニター画面に戻ります。

●モーションディテクタで検知する時間帯を設定する

モーションディテクタで検知を行う時間帯を設定します。たとえば、外部の警備信号を入力し、夜間警備中はモーションディテクタによる記録、昼間は常時記録に切り換える場合などに使用します。

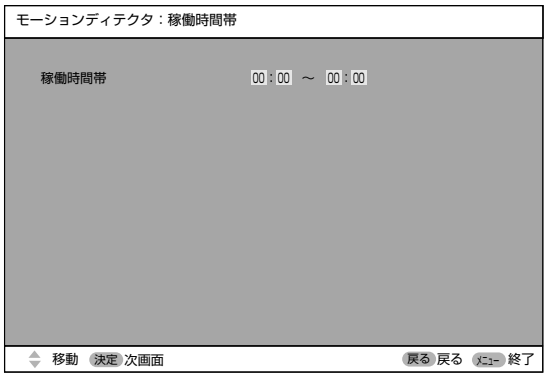
1 メニュー● ➡ ◁△▷で【モーションディテクタ】➡【稼動時間帯】選び、決定●



▼

「モーションディテクタ：稼動時間帯」画面が表示されます。

2 ◁△▷で「稼動時間帯」を選び、●で開始時間と終了時間を選ぶ



3 メニュー●

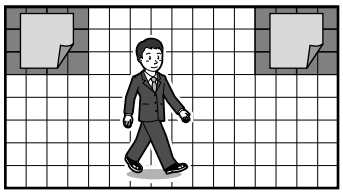
設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

次ページへつづく

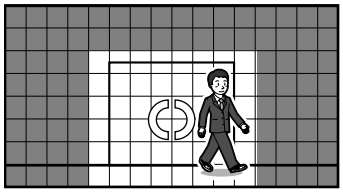
●検知禁止部分を設定する

検知したくない部分は61ページ手順6で「感度」を「OFF」にしてください。「OFF」に設定した部分は、動きがあっても検知されません。

例1 監視している映像内の常に揺れる部分（広告など）

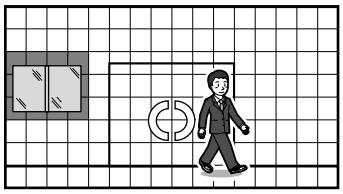


例2 監視したい部分（店内の入り口など）以外の部分



（監視するのは入り口のみ）

例3 外の風景が映し出されている部分

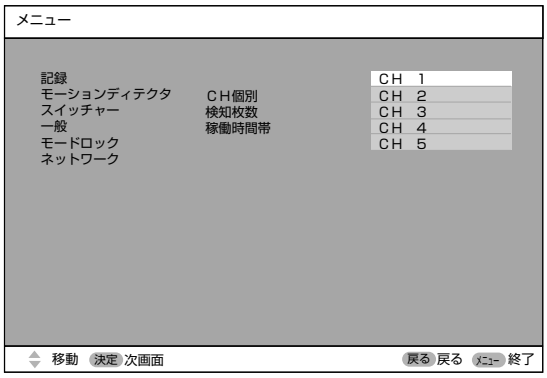


■部分は「感度」設定を「OFF」に設定する部分

●モーションディテクタの設定を確認する

設定したモーションディテクタの内容は、テスト画面で確認できます。また設定した内容を消去できます。

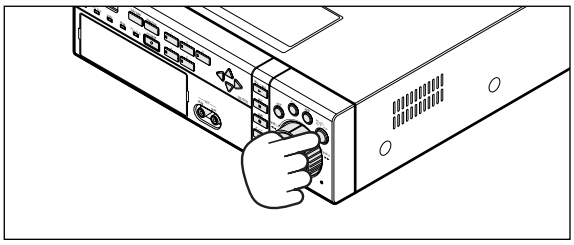
1 メニュー ➡ ◁△▷▽ で【モーションディテクタ】➡【CH個別】➡【CH1】～【CH5】を選び、決定



▼

選んだチャンネルの「モーションディテクタ：設定：CH」メニューが表示されます。

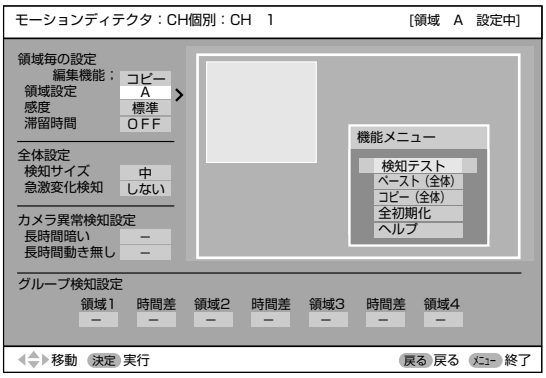
2 ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ



▼

機能メニューが表示されます。

3 ◁△▷▽で「検知テスト」を選び、決定



設定したモーションディテクタの画面が表示されます。設定した領域に動きがあると色が変わり、動きを検知している状態を確認できます。

お知らせ

- 【ヘルプ】を選び、決定を押すとモーションディテクタの設定詳細内容を確認できます。
- 【全初期化】を選び、決定を押すとモーションディテクタの設定が工場出荷時の状態に戻ります。
- ◯で領域を選び、【領域解除】を選んで、決定を押すと領域が解除されます。

4 戻る

テストを中止し、「モーションディテクタ：設定：CH」メニューに戻ります。

5 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

記録の上書きを禁止／解除する

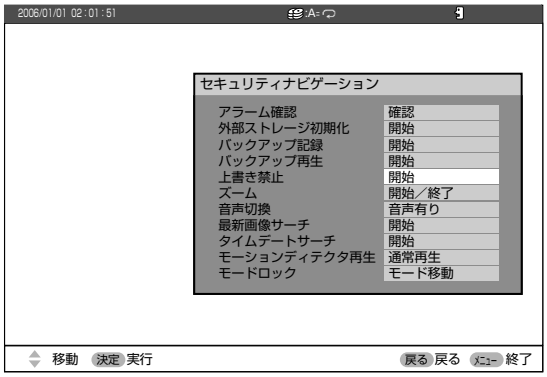
ハードディスクに記録されている映像と音声を必要に応じて保護するために、時間範囲を指定して上書きを禁止したり、設定した上書き禁止を解除します。

●記録の上書きを禁止する

時間範囲を指定して上書きを禁止します。

1 ナビゲーション ➡ ◁△▷▽で「上書き禁止」の【開始】を選び、決定

上書き禁止の設定を開始します。



▼

「開始位置まで再生し静止させて下さい」のメッセージが表示されます。

2 再生/静止 ▷ で上書き禁止の開始位置まで再生➡、再生/静止 ▷ で静止➡決定

上書き禁止を始める位置を設定します。

▼

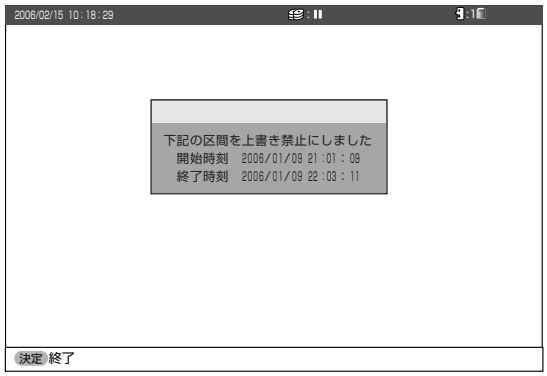
「終了位置まで再生し静止させて下さい」のメッセージが表示されます。

3 再生/静止 ▷ で上書き禁止の終了位置まで再生➡、再生/静止 ▷ で静止➡決定

上書き禁止を終了する位置を設定、上書き禁止にします。

▼

上書き禁止確認画面が表示されます。



4 決定

モニター画面に戻ります。

5 停止

再生を終了します。

お知らせ

- 開始位置、終了位置を探すときは、早送り/早戻し再生、コマ送り再生を使うと便利です。
- 上書き禁止の設定を中止する場合は、戻るを3秒以上押してください。

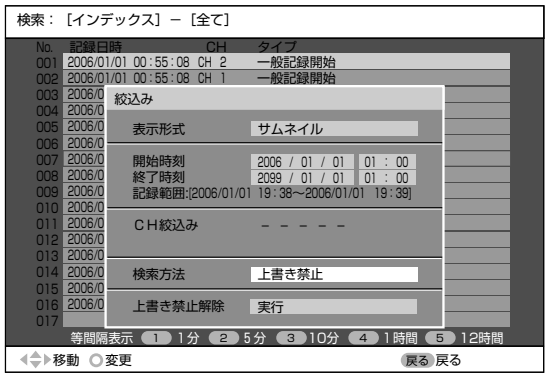
●記録の上書き禁止を解除する

設定された上書き禁止を解除します。

1 検索 ➡ ◁△▷で【その他サーチ】を選び、ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ

2 ◁△▷で「検索方法」を選び、○で【上書き禁止】を選び、戻る

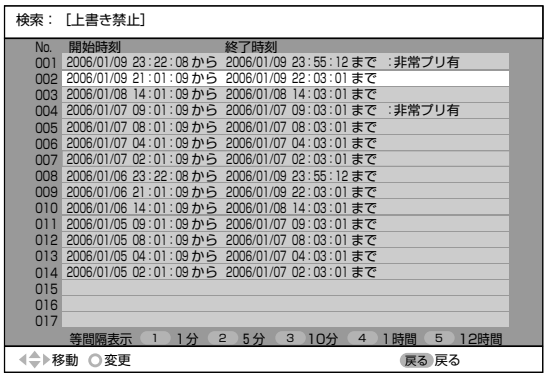
上書き禁止の記録を検索します。


検索：［インデックス］－［全て］
No. 記録日時 CH タイプ
001 2006/01/01 00:55:08 CH 2 一般記録開始
002 2006/01/01 00:55:08 CH 1 一般記録開始
絞込み
表示形式 サムネイル
開始時刻 2006 / 01 / 01 01 : 00
終了時刻 2099 / 01 / 01 01 : 00
記録範囲:[2006/01/01 19:38～2006/01/01 19:39]
CH絞込み － － － － －
検索方法 上書き禁止
上書き禁止解除 実行
等間隔表示 1 1分 2 5分 3 10分 4 1時間 5 12時間
移動 変更 戻る 戻る

- 必要に応じて検索画面で、「開始時刻」「終了時刻」などを設定して、絞込み検索を行ってください。

3 ◁△▷で上書き禁止を解除する記録を選び、ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ

上書き禁止を解除する記録を選びます。



お知らせ

- 非常アラーム記録は、自動的に上書き禁止になります。
- 非常アラーム記録のプリ記録は、上書き禁止検索結果の右側に「非常プリ有」と表示されます。

4 ◁△▷で「上書き禁止解除」の【実行】を選び、決定

5 決定 ➡ 戻る

モニター画面に戻ります。

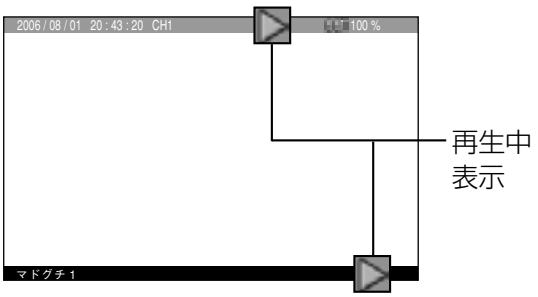
再　生

再生のしかた

ハードディスクに記録した映像音声を再生します。

●再生する

再生/静止



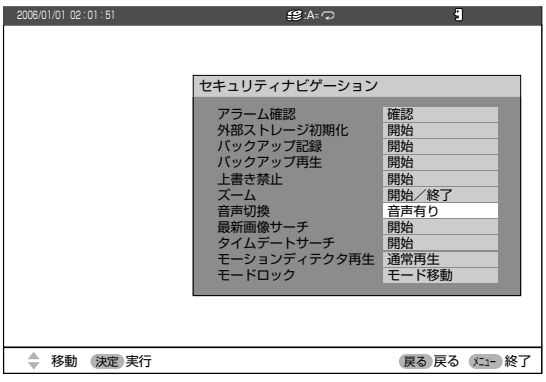
- 再生中は、再生/静止のランプが点灯（緑）します。
- モニター画面に補助情報表示領域、チャンネル情報表示領域が表示されている場合は「▷」が表示されます。また、年月日／時刻（緑色）表示します。
- 映像は記録されたレートに従って再生されます。
- ハードディスクへのアクセス中は、アクセスランプ（緑）が点滅します。

●音声を切り換える

ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ ➡ △▽◁▷で「音声切換」を選び、

で選ぶ

再生中の音声は、有りと無しを切り換えて再生することができます。



【音声有り】　：音声入力端子から入力され、記録された音が再生されます。

【音声無し】　：音声は出力されません。

- 音声は再生画面の種類に沿って設定します。音声を再生したいときは、フル画面(各CH1～CH5)、4分割、6分割共に音声有りに切り換え設定します。

●再生画面の表示画面を変える

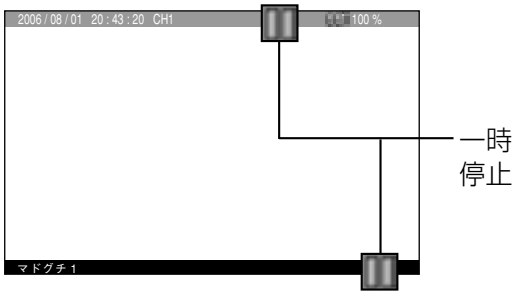
フル/マルチ

表示画面を選んでください。フル/マルチを押すたびに次のように切り換わります。

フル画面表示 ➡ 4分割画面表示
↓
6分割画面表示 ⬅

●見たい場面を止める

再生中に 再生/静止



- モニター画面に補助情報表示領域が表示されている場合は「▷」（再生中）が「⏸」に変わり、一時停止（静止画）します。
- 再生一時停止中は、再生/静止のランプが点滅します。
- もう一度再生/静止を押すと、再生を開始します。

●各チャンネルの映像を見る

1 ～ 5

録画された時刻の別カメラの映像を確認する場合などに、再生中にチャンネルを切り換えます。

- 再生しているチャンネルのランプが点灯します。
- チャンネル情報表示領域に、チャンネルにつけた名前が表示されます。
- チャンネル選択ボタンが押された時点の位置から再生を開始します。

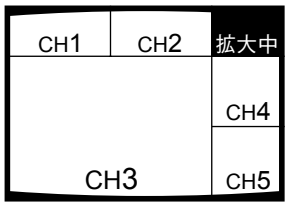
停止

停止を押すと、再生/静止のランプが消えて、モニター画面には現在接続されているカメラのライブ映像が映し出されます。

再　生

お知らせ

- 記録の最後まで再生すると、一時停止（静止画）になります。
- 再生中に メニュー 、 検索 のいずれかを押すと再生停止となり、メニュー画面が表示されます。
- 画面表示を日付表示の出ている画面（補助情報表示）にしておくと、記録された日付や時刻を確認することができます。
- 記録レートによって、映像が映し出されるまでに数秒から数十秒間かかる場合があります。
- 6分割画面で全チャンネル再生の場合、左下で再生しているチャンネルの小画面チャンネルは、黒く表示されます。
- CH選択ボタンを押すと、拡大画面CHを切り換えることができます。



その他の再生

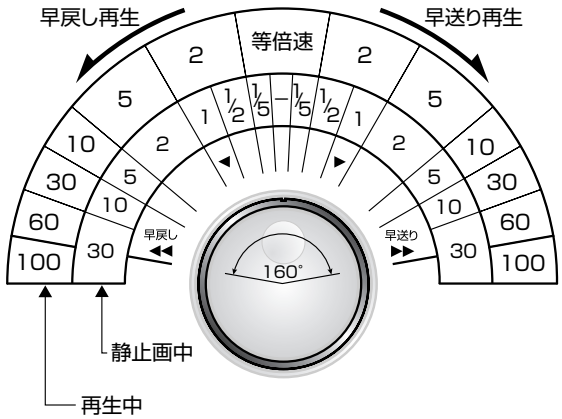
●再生のスピードを変える（早送り再生／早戻し再生）

再生中に を回す

再生中にシャトルリングを回すことにより再生速度を変えることができます。

シャトルリングの角度と再生速度について

各数字は、通常再生の速度を1としたときの速度の倍率です。



お知らせ

- シャトルリングを回しながら、 決定 を押すとシャトルリングを離しても速度が固定されます。元に戻すときは、 再生/静止 を押してください。
- 記録の最後まで早送り再生すると、静止画になります。
- 記録の最初まで早戻し再生すると、静止画になります。
- 再生/静止 を押して、静止画モードからもう一度 再生/静止 を押すと再生モードになります。

●ゆっくりとした速さで見る（コマ送り再生）

1 静止画中に を右へ回す

1画面に対して1コマ送りします。

お知らせ

- フル画面表示のときのみ動作します。

●逆の動きでゆっくり見る（逆転コマ送り再生）

1 静止画中に を左へ回す

1画面に対して逆方向に1コマ送りします。

お知らせ

- フル画面表示のときのみ動作します。

●時刻表示を変える

1 再生画面で ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ ➡

で「再生時刻表示」

記録したあとに、途中で時刻修正したときなど、再生時刻の表示を変更することができます。

【現在時刻】：現在の時刻を表示します。
【補正時刻】：時刻補正した時刻を表示します。
【補正前時刻】：補正前の時刻を表示します。

2 ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ

再生画面に戻ります。

●モーションディテクタ再生

モーションディテクタ検索をしたとき、モーションディテクタの設定（→60ページ）で設定した映像部分に動きがない場合は10倍速再生し、動きがあった場合に通常再生を行います。

1 再生画面で ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ ➡ で

「ﾓｰｼｮﾝﾃﾞｨﾃｸﾀ再生」を選び、 で選ぶ

【通常再生】　：等倍速再生します
【可変速再生】：動きがない部分は10倍速再生します

2 ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ

再生画面に戻ります。

記録中に映像を再生する（記録同時再生）

記録を続けながら再生画像を見ることができます。

●フル画面表示中に 再生/静止 を押した場合

- モニター画面がフル画面表示の再生画像に切り換わり、記録を止めずに再生します。

●分割画面表示中に 再生/静止 を押した場合

- マルチ画面の全ての画面が、再生画像に切り換わり、記録を止めずに再生します。

お知らせ

- 再生するチャンネルを変えたい場合は、［チャンネル選択］ボタンを押してください。
- 再生している画面は、通常の再生画面と同様に、早送り、早戻し再生、静止、逆転再生、コマ送り、逆転コマ送りの操作が行えます。
- 停止 を押すと再生が停止し、ライブ画像に戻ります。
- 再生する映像が記録する映像部分まで追い付いたら、静止画になります。
- スキップ設定している場合でも画面は、正常記録された映像が再生されます。

インデックスサーチ

検索結果を再生中または静止画中に、次または一つ前の検索位置の映像を探します。

●順サーチ

次の検索位置の映像を探し、画面が見つかると2秒間再生一時停止になります。
そのあと再生が開始されます。

1 再生中または静止画中に
戻る を押しながら
を右いっぱいに回す

静止画中にもう一度 戻る を押しながら を右いっぱいに回すと、次の位置を探します。

●逆サーチ

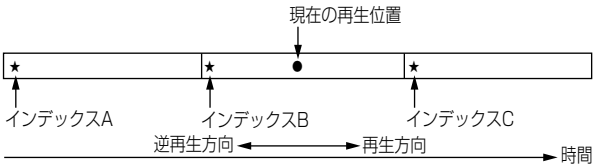
一つ前の検索位置の映像を探し、映像が見つかると2秒間再生一時停止になります。
そのあと再生が開始されます。

1 再生中または静止画中に
戻る を押しながら
を左いっぱいに回す

静止画中にもう一度 戻る を押しながら を左いっぱいに回すと、もう一つ前の位置を探します。

お知らせ

- ナビゲーション を押して◁△▷▽で「最新画像サーチ」の【開始】を選び 決定 を押すと、最新記録映像を静止画表示します。記録が全く無い場合は、ナビゲーションメニューに「最新画像サーチ」は現れません。
- 同一チャンネルで2つのタイマー記録が時間的につながっている場合、最初のタイマー記録の始めの部分がインデックスとなります。
- インデックスサーチで見つけた映像を再生する場合、見つけた映像の次の画像から再生されます。記録レートが大きい場合は、その分だけ進んだ時刻から再生されます。
- それまでの再生方向に関わらず、現在の再生位置から順サーチするとインデックスCを検索し、逆サーチするとインデックスBを検索します。

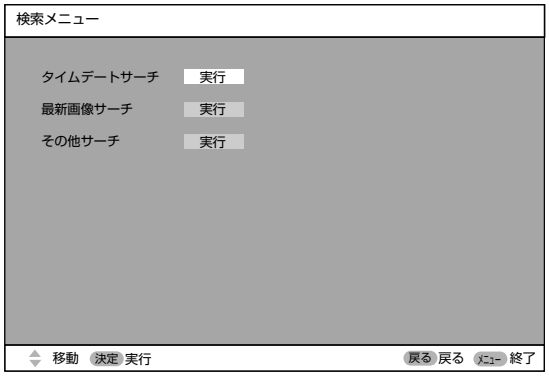


検索／サーチ

検索について

日時指定や、最新の映像、検索する映像の種類から目的の映像を探すことができます。

検索 を押すと表示される「検索メニュー」には、「タイムデートサーチ」、「最新画像サーチ」、「その他サーチ」があります。



でサーチの【実行】を選び 決定 を押すと各サーチが実行されます。

●タイムデートサーチ（→73ページ）

見たい日時を入力すると、その映像を検索して表示します。

●最新画像サーチ（→74ページ）

最新の記録映像を検索して表示します。

お知らせ

「タイムデートサーチ」、「最新画像サーチ」の検索結果は、6分割画面で表示されます。

●その他サーチ（→74ページ）

その他サーチには、「モーションディテクタ検索」、「インデックス検索」、「日時絞込み検索」、「上書き禁止検索」があります。

モーションディテクタ検索（→77ページ）

映像内の動きのあった映像を検索して表示します。

インデックス検索（→77ページ）

センサー（アラーム入力）、モーションディテクタ、非常アラーム、タイマー記録、一般記録を検索して一覧表示します。

- 記録映像の新しい方から順に表示します。

日時絞込み検索（→76ページ）

指定期間の映像を、12時間／1時間／10分／5分／1分の間隔毎に検索して一覧表示できます。

- 記録映像の古い方から順に表示します。

上書き禁止検索（→78ページ）

上書きを禁止した期間の映像を検索します。

- 非常アラーム記録（自動上書き禁止）を検索します。

お知らせ

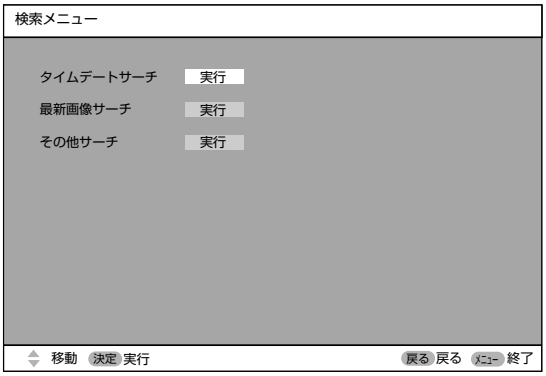
「モーションディテクタ検索」、「インデックス検索」、「日時絞込み検索」、「上書き禁止検索」について

- 検索結果は、リスト表示とサムネイル画面表示を選ぶことができます。

タイムデートサーチ

見たい映像を日付・時刻を指定して頭出しします。

1 検索 ➡ で「タイムデートサーチ」の【実行】を選ぶ ➡ 決定



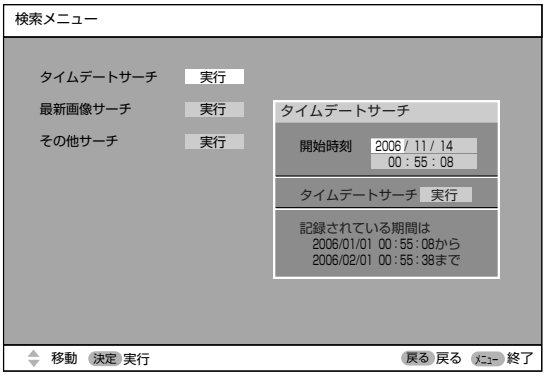
▼

「検索」メニューが表示されます。

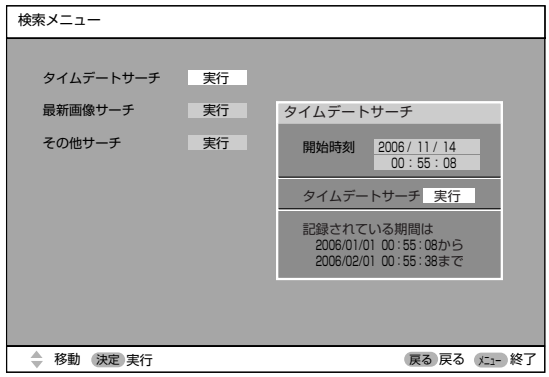
- ナビゲーション を押し、 で「タイムデートサーチ」の【開始】を選んで、決定 を押してもタイムデートサーチを実行できます。

2 で「年、月、日、時、分、秒」を選び、で入力する

検索したい日時を入力します。



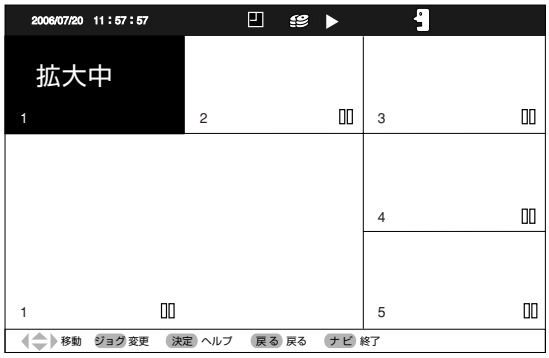
3 で【実行】を選ぶ➡ 決定



検索を開始します。

検索後、指定した日時の映像が、6分割画面で表示されます。

▼



4 再生/静止

再生を開始します。

- フル/マルチ または 1 ～ 5 でモニター画面の表示を変更できます。
- 停止 を押すと、再生を終了します。

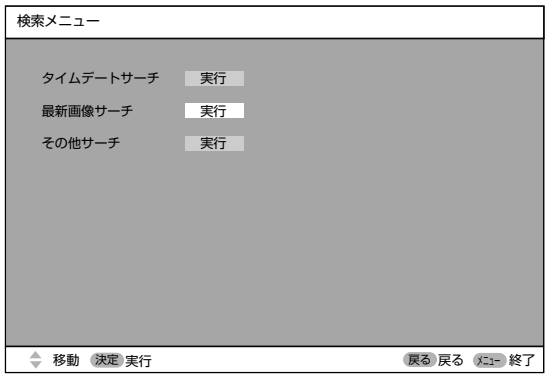
お知らせ

- 検索した時刻にカメラの映像がない場合は、検索時刻より後の映像を表示します。
- 検索で入力した日時は、次回検索を行なうときに表示されます。
- 本機が記録を開始する前の日時で検索した場合は、本機が最初に記録を開始した映像が検索されます。
- 本機の最新記録映像より後の日時で検索した場合は、本機の最新の映像が検索されます。

最新画像サーチ

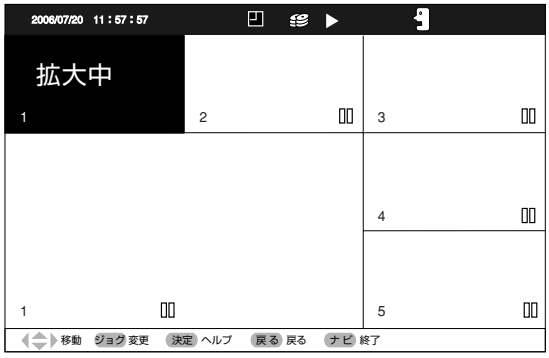
記録済みの最新画像を探して表示します。

1 検索 ➡ ◁△▷で「最新画像サーチ」の【実行】を選ぶ➡ 決定



検索を開始します。
検索後、記録済みの最新画像が、6分割画面で表示されます。

▼



● ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ を押し、◁△▷で「最新画像サーチ」の【開始】を選んで、決定 を押しても最新画像サーチを実行できます。

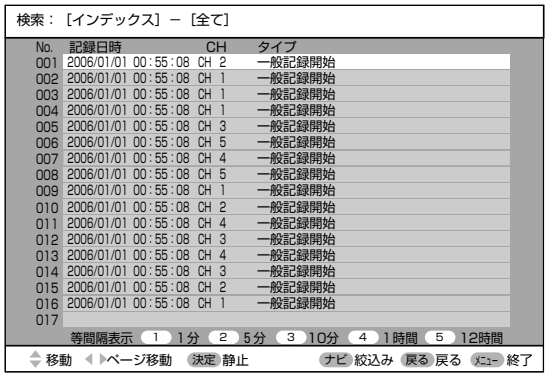
2 再生/静止 ▷

再生を開始します。

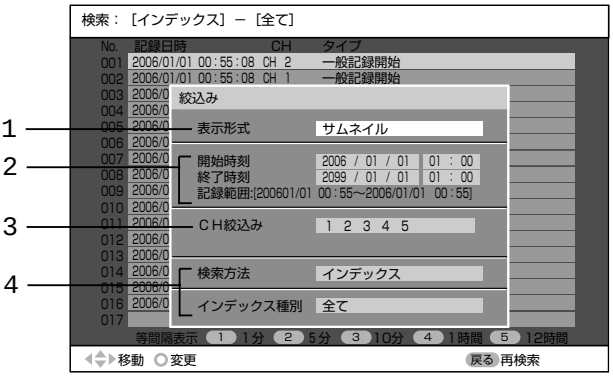
● ﾌﾙ/ﾏﾙﾁ または 1 ～ 5 でモニター画面の表示を変更できます。
● 停止 □ を押すと、再生を終了します。

その他サーチ

「検索メニュー」画面で「その他サーチ」の【実行】を選んで 決定 を押すと、検索を開始して、検索結果が表示されます。



検索結果表示で、ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ を押すと、「絞込み」メニューが表示されます。このメニューで、検索するときの絞込みができます。


検索：［インデックス］－［全て］
絞込み
1 表示形式 サムネイル
2 開始時刻 2006 / 01 / 01 01 : 00
終了時刻 2099 / 01 / 01 01 : 00
記録範囲:[200601/01 00:55～2006/01/01 00:55]
3 CH絞込み 1 2 3 4 5
4 検索方法 インデックス
インデックス種別 全て
等間隔表示 1 1分 2 5分 3 10分 4 1時間 5 12時間
移動 変更 戻る 再検索

1 **「表示形式」**：検索結果を表示する形式、「リスト」表示と「サムネイル」表示を選びます。
2 **「開始時刻」**：検索する映像の範囲の開始時刻の日時を入力します。
「終了時刻」：検索する映像の範囲の終了時刻の日時を入力します。
「記録範囲」：本機に記録された映像の最初の日時と最新の日時が表示されます。
3 **「CH絞込み」**：検索するチャンネル選びます。
4 **「検索方法」**：検索の種類「モーションディテクタ」、「インデックス」、「日時絞込み」、「上書き禁止」を選びます。
「アラーム入力」：「検索方法」で選んだ検索の種類によって、検索内容を絞込むための詳細を選びます。表示される内容は、検索種類によって変わります。

お知らせ

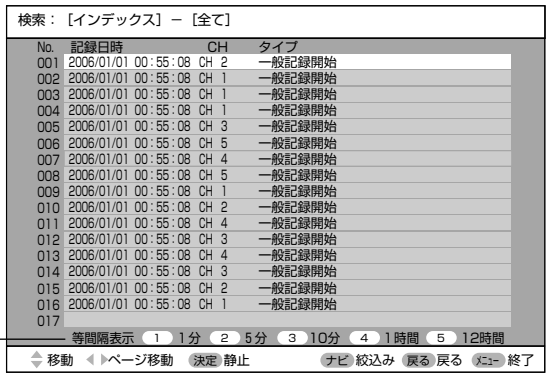
- 検索件数は999件までです。検索件数が、1000件以上になると検索された日時の範囲を表示して検索結果を999件表示するメッセージが表示されます。その場合は、決定 または 戻る を押してメッセージを消してから、日時を指定して検索し直してください。

等間隔表示

現在のカーソル位置から等間隔で画像を表示することが出来ます。検索表示画面でチャンネル選択ボタン（1～5）を押して選択します。

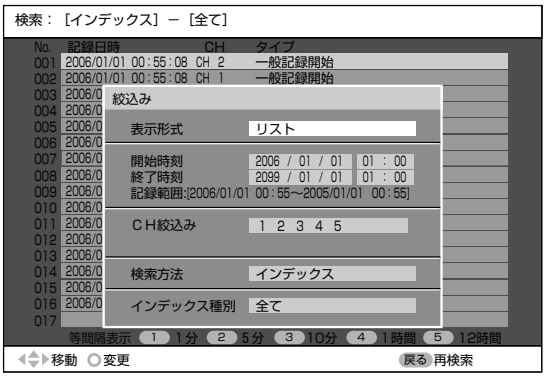
【1】：1分、【2】：5分、【3】：10分、【4】：1時間、【5】：12時間

- 等間隔表示は、検索方法に関係なく表示されます。

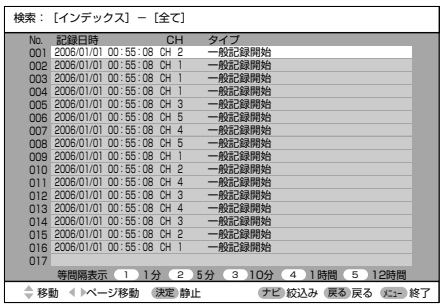


リスト表示とサムネイル表示を切り換える

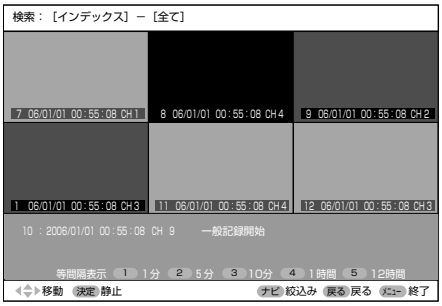
「絞込み」メニュー表示中に ◁△▷を押して、「表示形式」を選び、(●)で選びます。


検索：［インデックス］－［全て］
絞込み
表示形式 リスト
開始時刻 2006 / 01 / 01 01 : 00
終了時刻 2099 / 01 / 01 01 : 00
記録範囲:[2006/01/01 00:55～2005/01/01 00:55]
CH絞込み 1 2 3 4 5
検索方法 インデックス
インデックス種別 全て
等間隔表示 1 1分 2 5分 3 10分 4 1時間 5 12時間
移動 変更
戻る 再検索

【リスト】： 検索結果がリスト形式で表示されます。

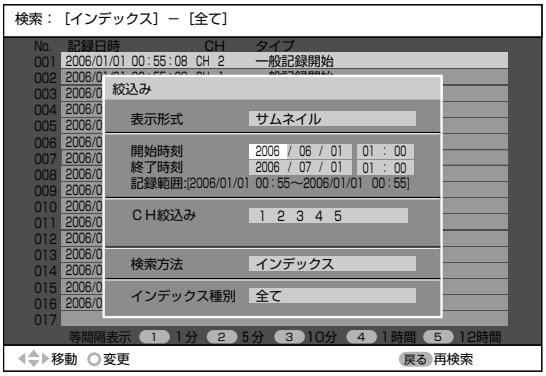


【サムネイル】：検索結果がサムネイル画面で表示されます。



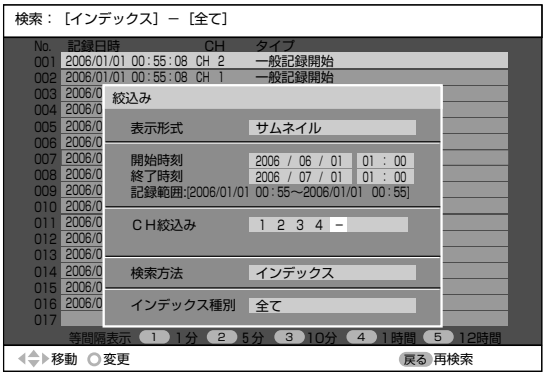
検索する映像の範囲を日時で指定する

「絞込み」メニュー表示中に ◁△▷を押して、「開始時刻」、「終了時刻」を選び、(●)で日時を入力します。


検索：［インデックス］－［全て］
絞込み
表示形式 サムネイル
開始時刻 2006 / 06 / 01 01 : 00
終了時刻 2006 / 07 / 01 01 : 00
記録範囲:[2006/01/01 00:55～2006/01/01 00:55]
CH絞込み 1 2 3 4 5
検索方法 インデックス
インデックス種別 全て
等間隔表示 1 1分 2 5分 3 10分 4 1時間 5 12時間
移動 変更
戻る 再検索

検索するチャンネルを絞込む

「絞込み」メニュー表示中に ◁△▷を押して、「CH絞込み」のチャンネルを選び、(●)で検索しないチャンネルを【－】にする。


検索：［インデックス］－［全て］
絞込み
表示形式 サムネイル
開始時刻 2006 / 06 / 01 01 : 00
終了時刻 2006 / 07 / 01 01 : 00
記録範囲:[2006/01/01 00:55～2006/01/01 00:55]
CH絞込み 1 2 3 4 －
検索方法 インデックス
インデックス種別 全て
等間隔表示 1 1分 2 5分 3 10分 4 1時間 5 12時間
移動 変更
戻る 再検索

表示されているチャンネルが検索対象になります。検索したくないチャンネルは、(●)で【－】を選びます。

次ページへつづく

●日時絞込み検索

指定期間の映像を、12時間／1時間／10分／5分／1分毎に検索して一覧表示します。

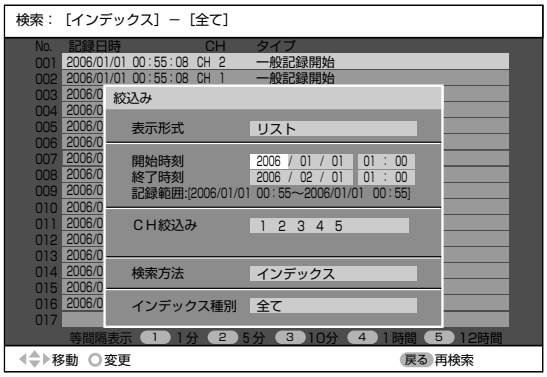
1 検索 ➡ で「その他サーチ」の【実行】を選び、決定 ➡ ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ

▼

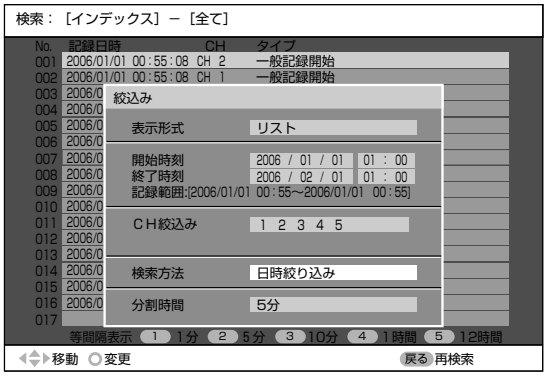
「絞込み」メニューが表示されます。

2 で「開始時刻」、「終了時刻」を選び、で入力する

一覧表示する期間を指定します。

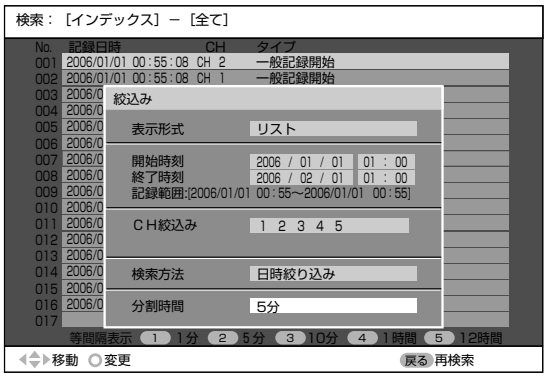

検索：［インデックス］－［全て］
No. 記録日時 CH タイプ
001 2006/01/01 00:55:08 CH 2 一般記録開始
002 2006/01/01 00:55:08 CH 1 一般記録開始
絞込み
表示形式 リスト
開始時刻 2006 / 01 / 01 01 : 00
終了時刻 2006 / 02 / 01 01 : 00
記録範囲:[2006/01/01 00:55～2006/01/01 00:55]
CH絞込み 1 2 3 4 5
検索方法 インデックス
インデックス種別 全て
等間隔表示 1 1分 2 5分 3 10分 4 1時間 5 12時間
移動 変更 戻る 再検索

3 で「検索方法」を選び、で【日時絞り込み】を選ぶ



4 で「分割時間」を選ぶ➡で入力する

映像を表示する時間の間隔を指定します。



【1分】、【5分】、【10分】、【1時間】、【12時間】：
映像を分割して表示する間隔を指定します。

5 検索

検索を開始します。
検索後、リストまたはサムネイル（静止画）が記録されている最古映像から最新映像へ順に表示されます。

- でリストまたはサムネイル画面（静止画）を選び、決定を押すと選んだ画面がモニターにフル画面で表示されます。
- 再生/静止 を押すと、フル画面表示されている画面を再生します。
- 停止 を押すと、再生を終了します。

お知らせ

- 検索結果の「リスト」/「サムネイル」の切り換え、検索するチャンネルの絞込みは、「その他サーチ」（→74ページ）を参照してください。
- 最新記録映像から新しい映像へと順次表示されます。
- 日時絞込み検索以外は、最新記録映像から古い映像へと順次表示されます。

●モーションディテクタ検索

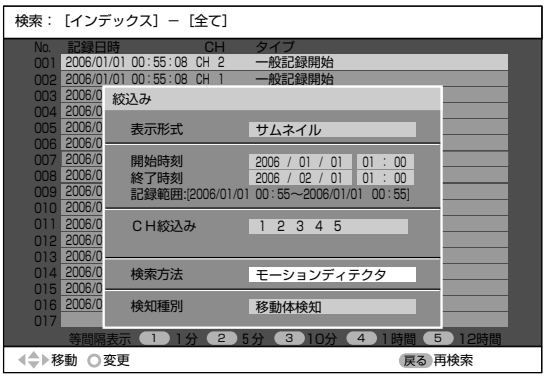
動きを検知した先頭位置を検索します。

1 検索 ➡ ◁△▷▽で「その他サーチ」の【実行】を選び、決定 ➡ ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ

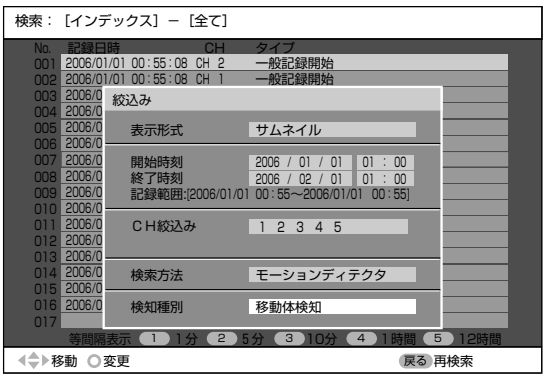
▼

「絞込み」メニューが表示されます。

2 ◁△▷▽「検索方法」を選び、◯で【モーションディテクタ】を選ぶ


検索：［インデックス］－［全て］
No. 記録日時 CH タイプ
001 2006/01/01 00:55:08 CH 2 一般記録開始
002 2006/01/01 00:55:08 CH 1 一般記録開始
絞込み
表示形式 サムネイル
開始時刻 2006 / 01 / 01 01 : 00
終了時刻 2006 / 02 / 01 01 : 00
記録範囲:[2006/01/01 00:55～2006/01/01 00:55]
CH絞込み 1 2 3 4 5
検索方法 モーションディテクタ
検知種別 移動体検知
等間隔表示 1 1分 2 5分 3 10分 4 1時間 5 12時間
移動 変更 戻る 再検索

3 ◁△▷▽「検知種別」を選び、◯で検索する種類を選ぶ


検索：［インデックス］－［全て］
No. 記録日時 CH タイプ
001 2006/01/01 00:55:08 CH 2 一般記録開始
002 2006/01/01 00:55:08 CH 1 一般記録開始
絞込み
表示形式 サムネイル
開始時刻 2006 / 01 / 01 01 : 00
終了時刻 2006 / 02 / 01 01 : 00
記録範囲:[2006/01/01 00:55～2006/01/01 00:55]
CH絞込み 1 2 3 4 5
検索方法 モーションディテクタ
検知種別 移動体検知
等間隔表示 1 1分 2 5分 3 10分 4 1時間 5 12時間
移動 変更 戻る 再検索

【全て】　：下の検索種類をすべて検索します。

【通常検知】：動きを検知したときの先頭の画像を検索します。

【移動体検知】：人やモノが移動した状態を検知したときの先頭の画像を検索します。

【滞留検知】：一定時間、動きがなかった状態を検知したときの先頭の画像を検索します。

【カメラ異常】：映像が長時間暗い状態、長時間動きが無い状態を検知したときの先頭の画像を検索します。

【急変検知】：映像が急激に変化した状態を検知したときの先頭の画像を検索します。

4 検索 ◯

検索を開始します。

検索後、リストまたはサムネイル（静止画）が一覧表示されます。

- ◁△▷▽でリストまたはサムネイル画面（静止画）を選び、決定 ◯を押すと選んだ画面がモニターにフル画面で表示されます。
- 再生/静止 ▷を押すと、フル画面表示されている画面を再生します。
- 停止 □を押すと、再生を終了します。

お知らせ

- モーションディテクタの検索結果は、最新記録映像から古い映像へと順次表示されます。
- 検索結果の「リスト」/「サムネイル」の切り換え、検索するチャンネルの絞込み、検索範囲の日時指定は、「その他サーチ」（→74ページ）を参照してください。

●インデックス検索

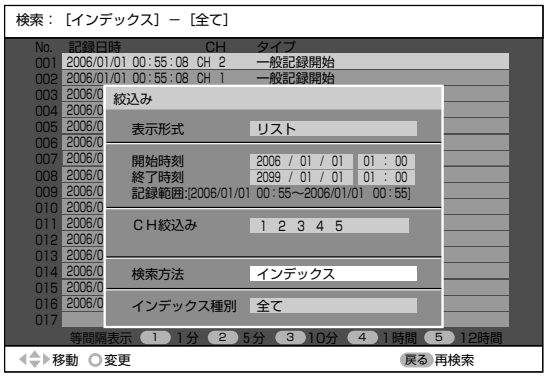
一般記録、タイマー記録、アラーム記録をするたびに自動的に記録始めの部分にインデックス信号が記録されます。この信号を検知して、記録した場面の頭出しをします。

1 検索 ◯ ➡ ◁△▷▽で「その他サーチ」の【実行】を選び、決定 ◯ ➡ ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ ◯

▼

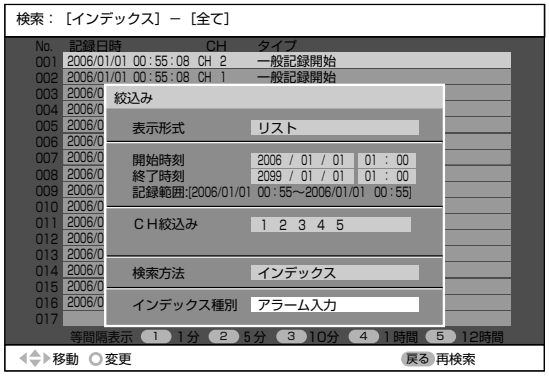
「絞込み」メニューが表示されます。

2 ◁△▷▽で「検索方法」を選び、◯で【インデックス】を選ぶ


検索：［インデックス］－［全て］
No. 記録日時 CH タイプ
001 2006/01/01 00:55:08 CH 2 一般記録開始
002 2006/01/01 00:55:08 CH 1 一般記録開始
絞込み
表示形式 リスト
開始時刻 2006 / 01 / 01 01 : 00
終了時刻 2099 / 01 / 01 01 : 00
記録範囲:[2006/01/01 00:55～2006/01/01 00:55]
CH絞込み 1 2 3 4 5
検索方法 インデックス
インデックス種別 全て
等間隔表示 1 1分 2 5分 3 10分 4 1時間 5 12時間
移動 変更 戻る 再検索

次ページへつづく

3 ◁△▷で「インデックス種別」を選び、◯でインデックスの種類を選ぶ


検索：［インデックス］－［全て］
No. 記録日時 CH タイプ
001 2006/01/01 00:55:08 CH 2 一般記録開始
002 2006/01/01 00:55:08 CH 1 一般記録開始
絞込み
表示形式 リスト
開始時刻 2006 / 01 / 01 01 : 00
終了時刻 2099 / 01 / 01 01 : 00
記録範囲:[2006/01/01 00:55～2006/01/01 00:55]
CH絞込み 1 2 3 4 5
検索方法 インデックス
インデックス種別 アラーム入力
等間隔表示 1 1分 2 5分 3 10分 4 1時間 5 12時間
移動 変更
戻る 再検索

【全て】 ： 下の検索種類をすべて検索します。

【一般】 ： 一般記録を開始した先頭の画像を検索します。

【タイマー】 ： タイマー記録を開始した先頭の画像を検索します。

【アラーム入力】：「アラーム入力」で検知した先頭の画像を検索します。

【ﾓｰｼｮﾝﾃﾞｨﾃｸﾀ】：「モーションディテクタ」で検知した先頭の画像を検索します。

【非常アラーム】：「非常アラーム」で検知した先頭の画像を検索します。

【アラーム全て】：「アラーム入力」、「モーションディテクタ」、「非常アラーム」のアラームをすべて検索します。

4 検索 ◯

検索を開始します。
検索後、リストまたはサムネイル（静止画）が一覧表示されます。

- ◁△▷ でリストまたはサムネイル画面（静止画）を選び、決定 ◯ を押すと選んだ画面がモニターにフル画面で表示されます。
- 再生/静止 ▷ を押すと、フル画面表示されている画面を再生します。
- 停止 □ を押すと、再生を終了します。

お知らせ

- インデックスの検索結果は、最新記録映像から古い映像へと順次表示されます。
- 検索結果の「リスト」/「サムネイル」の切り換え、検索するチャンネルの絞込み、検索範囲の日時指定は、「その他サーチ」（→74ページ）を参照してください。

●上書き禁止検索

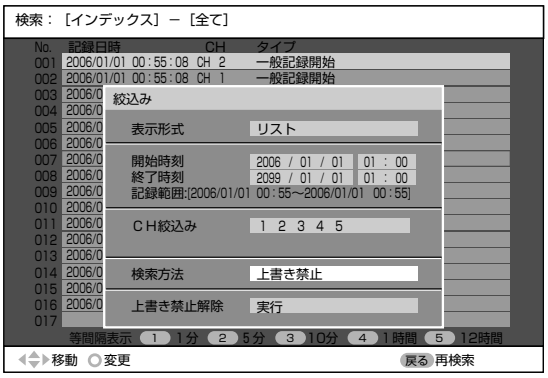
非常アラームで記録した映像、上書き禁止に設定した映像を検索します。

1 検索 ◯ ➡ ◁△▷で「その他サーチ」の【実行】を選び、決定 ◯ ➡ ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ ◯

▼

「絞込み」メニューが表示されます。

2 ◁△▷で「検索方法」を選ぶ➡◯で【上書き禁止】を選ぶ


検索：［インデックス］－［全て］
No. 記録日時 CH タイプ
001 2006/01/01 00:55:08 CH 2 一般記録開始
002 2006/01/01 00:55:08 CH 1 一般記録開始
絞込み
表示形式 リスト
開始時刻 2006 / 01 / 01 01 : 00
終了時刻 2099 / 01 / 01 01 : 00
記録範囲:[2006/01/01 00:55～2006/01/01 00:55]
CH絞込み 1 2 3 4 5
検索方法 上書き禁止
上書き禁止解除 実行
等間隔表示 1 1分 2 5分 3 10分 4 1時間 5 12時間
移動 変更
戻る 再検索

3 検索 ◯

検索を開始します。
検索後、リストまたはサムネイル（静止画）が上書き禁止の検索時、最新記録の映像から順に表示されます。

- ◁△▷ でリストまたはサムネイル画面（静止画）を選び、決定 ◯ を押すと選んだ画面がモニターにフル画面で表示されます。
- 再生/静止 ▷ を押すと、フル画面表示されている画面を再生します。
- 停止 □ を押すと、再生を終了します。

お知らせ

- 上書き禁止の検索結果は、最新記録映像から古い映像へと順次表示されます。
- 検索結果の「リスト」/「サムネイル」の切り換え、検索するチャンネルの絞込み、検索範囲の日時指定は、「その他サーチ」（→74ページ）を参照してください。
- 「上書き禁止」の設定を解除できます。「「上書き禁止」を解除する」（→68ページ）を参照してください。

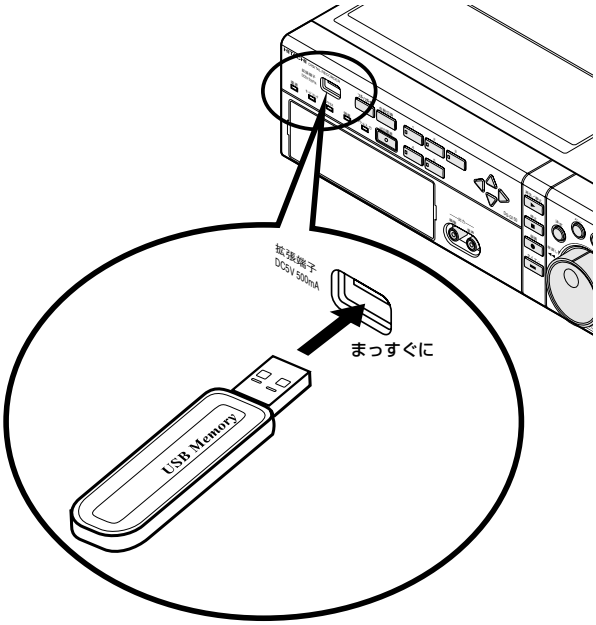
外部ストレージへの保存と再生

本機には本体前面に拡張端子を備え、記録した画像と音声データは、メモリーをはじめ、カードリーダーなど、各種外部記録メディアによる記録映像のバックアップが可能です。

また、保存したデータを本体およびＰＣで再生することができます。メモリーにはあらかじめ再生用プラグインがコピーされ、ブラウザで映像を見ることができます。

外部ストレージの接続

- 本機をおさえながら拡張端子にまっすぐに入れて、静かに差し込みます。
- 補助情報表示領域が表示されている場合は「」が表示されます。



ご 注 意

- 外部ストレージを火気に近づけたり、火の中に投げ入れたりしないでください。発熱して破裂し、けがややけどの原因となります。

故障やデータの消失を防ぐために、外部ストレージを取り扱う際は、次のことにご注意ください。

- 外部ストレージを折り曲げたり、強い力や衝撃を加えたり、落としたりしないでください。
- 静電気や磁気的、電気的ノイズの発生しやすいところでの使用・保管は避けてください。
- 高温多湿のところ、ほこりの多い場所、および侵食性の高い環境での使用・保管は避けてください。
- コネクター部にごみや異物を入れないでください。
- 保存、再生またはアクセスランプが点灯しているときに外部ストレージを抜いたり、本体の電源を切らないでください。保存中のファイルが保存されません。また、外部ストレージを破壊するおそれがあります。

データについて

お客様または第三者が外部ストレージの使いかたを誤ったり、外部ストレージが電気的ノイズの影響を受けたり、故障・修理したときに、保存したデータが消失することがあります。保存したデータの消失による損害については当社は一切責任を負いません。ご了承ください。

外部ストレージの初期化（フォーマット）

外部ストレージの初期化は、本機の外部ストレージ初期化で行ってください。
パソコンなどで初期化すると、本機で使用することができない場合があります。
但しHDDの場合はパソコンにてFAT32でフォーマットしてください。本機でフォーマットすると32GBしかフォーマットできません。

■推奨機種

種類	メーカー名	製品名／型式
HDD	（株）アイ・オー・データ機器	HDH-U160S（160GB）（在庫限り）、HDH-U250S（250GB）
DVD-RAM/Rドライブ	（株）アイ・オー・データ機器	DVR-UM16S（在庫限り）、DVR-UH16D（在庫限り）、DVR-UN16R DVR-UM16CR
	（株）バッファロー	DVSM-X516U2
フラッシュカード	（株）アイ・オー・データ機器	ToteBag TB-Bシリーズ TB-B128（128MB）、TB-B256（256MB）、 TB-B512（512MB）、TB-B1G（1G）、TB-B2G（2G）
カードリーダーライター	（株）アイ・オー・データ機器	USB2-C8RWP（在庫限り）、USB2-8inRW

※推奨品は変更となる場合があります。最新情報はhttp://www.hitachi.co.jp/bouhanをご覧ください。

外部ストレージの初期化

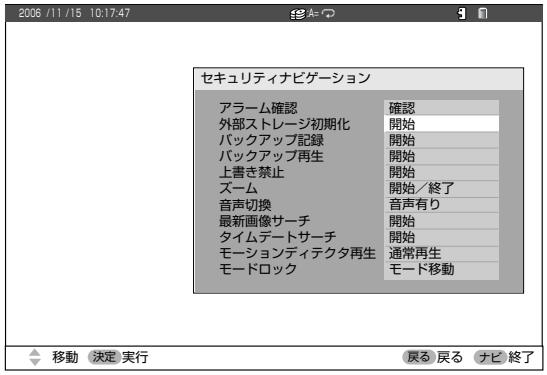
本機で使用する外部ストレージを初期化します。

ご 注 意

- 初期化すると外部ストレージの内容はすべて消去されます。

1 外部ストレージを接続する

2 ナビゲーション ➡ で「外部ストレージ初期化」➡【開始】を選び、決定

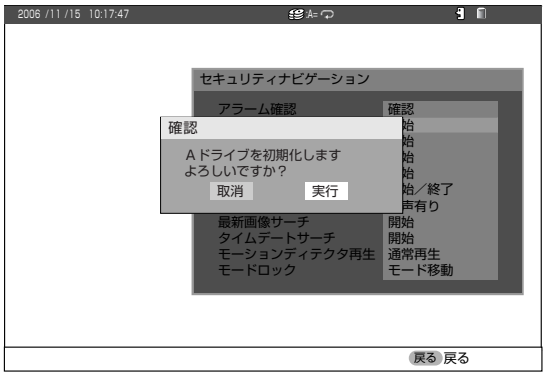


「ドライブ指定」画面が表示されます。

3 で初期化するドライブを選び、決定

- 拡張端子は前面にあります。挿入したドライブをAドライブと認識します。

4 で【実行】を選び、決定



「Aドライブを初期化します。よろしいですか？」の確認メッセージが出ます。初期化を止めるときは、で【取消】を選びます。

- USBメモリ内に保存されているデータがある場合、すべて消去されます。
- 「Aドライブの初期化を完了しました。」というメッセージが表示されたら初期化完了です。
  戻る を2回押すと、モニター画面に戻ります。

外部ストレージに保存する

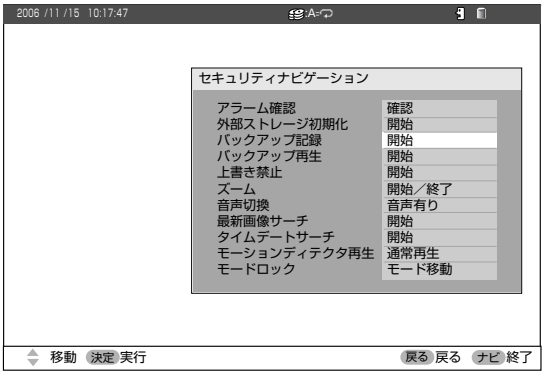
ハードディスクに記録したデータを外部ストレージに保存します。

保存形式は、「１枚ずつ」と「一括」があり、「一括」保存のみDVD-Rに対応しています。

ここでは、本体の拡張端子に接続したＵＳＢメモリを例に説明します。

1 本体の拡張端子にＵＳＢメモリを挿入する

2 ナビゲーション ➡ ◁△▷▽ で「バックアップ記録」➡【開始】を選び、決定

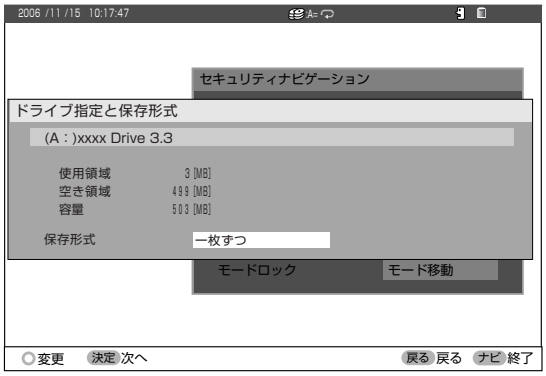


「ドライブ指定と保存形式」画面が表示されます。

3 ◯ で保存する「ドライブ」を選ぶ

- 拡張端子は前面にあります。

4 ◁△▷▽ で「保存形式」を選び、◯ で入力し、決定



【一枚ずつ】：バックアップに時間はかかりますがPCで容易に閲覧ができます。

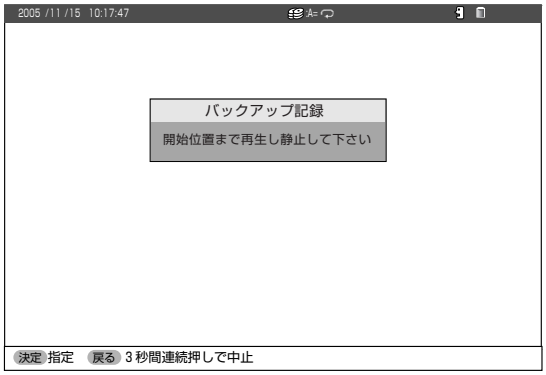
【一括】：高速でバックアップします。

▼

「バックアップ記録」画面が表示されます。

5 再生/静止 ➡ 再生/静止 静止画面で 決定

保存する映像の開始位置を確定します。



保存したい映像の開始位置まで再生し、もう一度 再生/静止 を押して静止画表示にします。

決定 ◯ を押すと開始位置が確定されます。

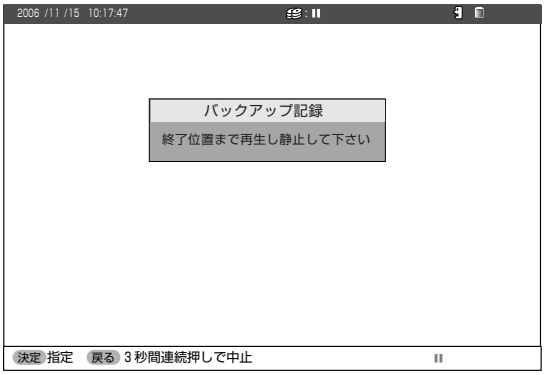
お知らせ

- フル画面表示をしている場合は、フル画面で表示している映像のみ保存します。
- すべてのチャンネルを保存する場合は、フル/マルチ を押して、分割画面表示にしてください。
- 開始・終了位置はタイムデートサーチなどの検索機能を利用することができます。(→73ページ)
- フル画面表示で保存すると、表示されているチャンネルの映像と音声（その画面と関連付けされている音声）を保存します。
- 多分割画面表示で保存すると、全チャンネル映像と音声を保存します。
- 保存形式はDS－G形式のみサポートします。

次ページへつづく

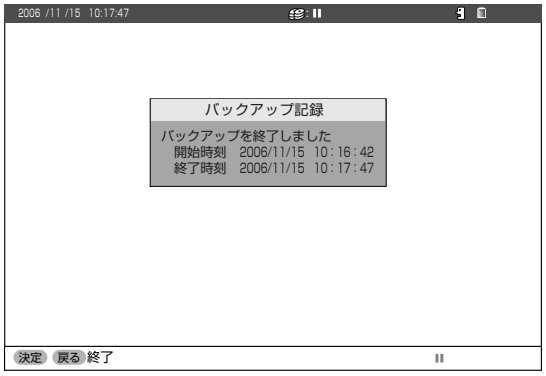
6 再生/静止 ➡ 再生/静止 静止画面で 決定

保存する映像の終了位置を確定します。



保存したい映像の終了位置まで再生し、もう一度 再生/静止 を押して静止画表示にします。
決定 を押すと終了位置が確定されます。
- 保存を中止したい場合は 戻る を3秒以上押します。

▼



保存が終了すると上の画面が表示されます。
- 保存先の容量が不足した場合は、保存開始から中断されたところまで保存されます。

7 戻る ➡ 停止

- 戻る を押すと、モニター画面に戻り、静止画表示になります。
- 停止 を押して静止画を解除し、ＵＳＢメモリを取り外します。

保存したデータの再生

外部ストレージに保存したデータは、本機の他にＰＣで再生することができます。

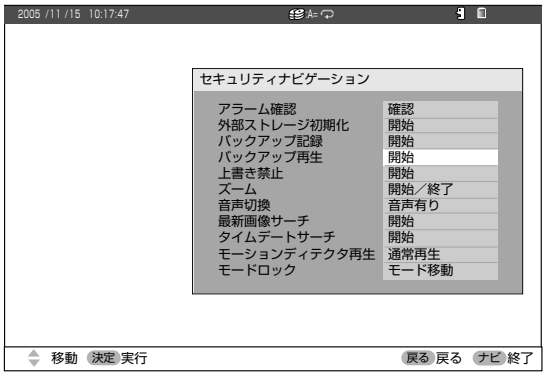
ここでは、ＵＳＢメモリを例に説明します。

●本機で再生する

1 本体前面の拡張端子にUSBメモリを接続する

既に再生中の場合は、「バックアップ再生」はできません
- 停止 を押して再生を停止します。

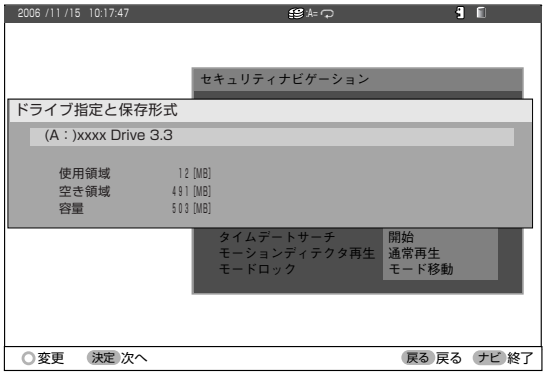
2 ナビゲーション ➡ で「バックアップ再生」➡【開始】を選び、決定



「ドライブ指定と保存形式」画面が表示されます。

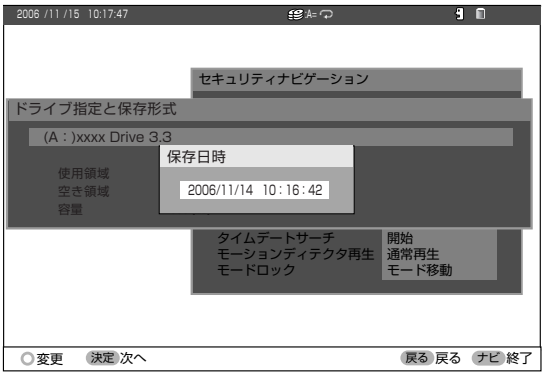
3 再生する「外部メディア」を で選び、決定

再生するメディアのドライブを選びます。ここでは、挿入した外部ストレージを指定します。



4 保存した日時を◎で入力し、決定

記録映像を保存した日時を指定します。



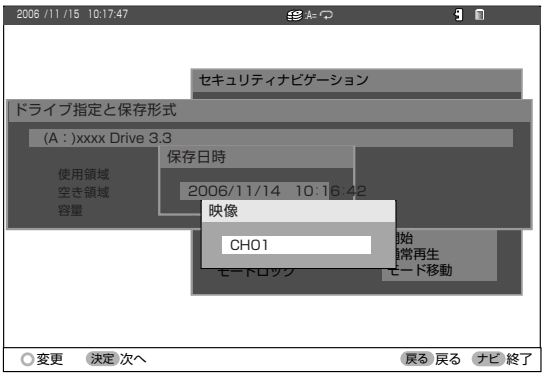
▼

- 保存形式「一括」で保存したデータは 6 → 5 と進みます。
- 保存形式「一枚ずつ」で保存したデータは 5 → 6 と進みます。

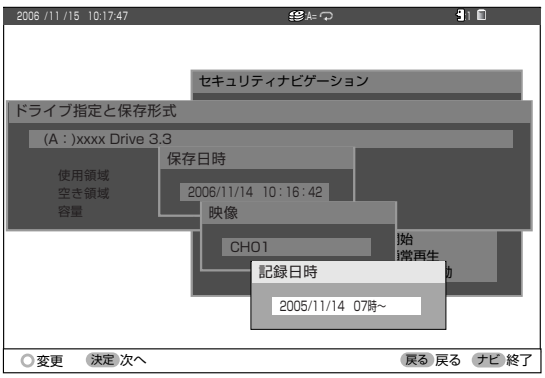
5 再生したいCHを◎で入力し、決定

再生したい映像のＣＨを選びます。

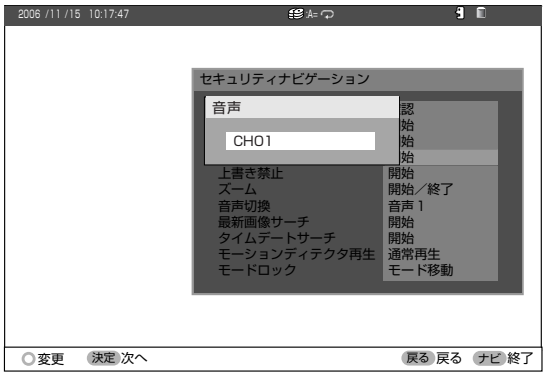
- 記録されていないＣＨは表示されません。



6 記録してある日時を◎で選び、決定



7 音声のＣＨを◎で選び、決定



再生が始まります。

- 音声を保存していないときは表示されません。

8 再生/静止 ▷

- 再生中は画面上に外部ストレージのアイコンが表示されます。
- 再生中は◎や◯による特殊再生や 再生/静止 ▷ による静止画表示をすることができます。
- 再生を中止するときは 停止 □ を押してください。

お知らせ

- 再生中は、画面を切り換えることができません。
- 再生はフル画面のみです。（フル／マルチボタンは効きません）
- 再生中にチャンネル選択ボタンで再生チャンネルを変更することは出来ません。
- 保存データの再生は、記録中はできますが通常再生中はできません。
- 再生可能な映像データは，DS-Gシリーズで保存されたデータのみです。

9 停止 □

モニター画面に戻ります。

次ページへつづく

外部ストレージへの保存と再生

●PCで再生する

■保存形式「一枚ずつ」で保存した場合

Internet Explorerで見ることができます。
PC上で画像を表示するためには、プラグインソフトをインストールする必要があります。
プラグインソフトは、映像を保存したUSBメモリ内の「plugin」フォルダにあります。

- 動画での再生はできません。
- 保存された記録映像をＰＣで見る場合は、画像１枚ずつの静止画表示のみ可能です。
- 動画再生にはアプリケーションソフト「DSHNET5（別売）」、「DSHVIEW5（無償）」が必要となります。

■保存形式「一括」で保存した場合

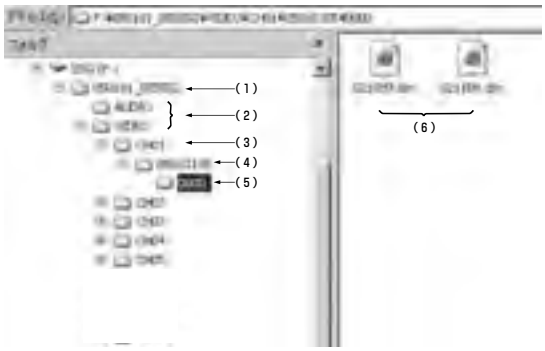
PCで画像を表示するためには、アプリケーションソフト「DSHNET5 Ver1.20以降」、「DSHVIEW5 Ver1.20（無償）」が必要となります。

保存形式		Internet Explorer	DSHNET5 Ver.1.10 DSHVIEW5 Ver.1.12	Ver.1.20以降 Ver.1.20以降
一枚づつ	静止画	○	○	○
	動画	−	○	○
一括	静止画	−	−	○
	動画	−	−	○

⇒「DSHVIEW5」　無償ダウンロードサイト
http://www.hitachi.co.jp/bouhan 内
「ソフトウェアダウンロード」

お知らせ

保存形式：「一枚ずつ」で保存したときのディレクトリ構成は下記のようになります。



（１）保存日時（yymmdd_hhmmss：年月日_時分秒）
（２）映像(VIDEO)／音声(AUDIO)
（３）チャンネル番号(CH01～CH05)
（４）記録日時（yymmddhh：年月日時）
（５）100枚毎にフォルダ分け(0000～9999)
（６）画像ファイル(mmssff.dsv：分秒フレーム.dsv)

※Microsoft®Internet Explorer®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

1 PCに外部ストレージ（USBメモリ）を接続する

2 プラグインソフトをインストールする

保存したＵＳＢメモリ内の「plugin」フォルダにある「readme.htm」をダブルクリックします。
自動的にプラグインソフトのインストールを開始します。
“Internet Explorer”で下のような画像が表示されればプラグインソフトのインストールは成功です。

3 画像ファイルを表示する

エクスプローラで画像ファイル（拡張子が“dsv”のファイルを選び、ダブルクリックします。
“Internet Explorer”が起動して画像が表示されます。

お知らせ

- エクスプローラのツールバー「表示」−「縮小版」を選ぶと映像が一覧で表示されます。

自動バックアップ

ハードディスク内のデータは本機の拡張端子に接続したDVD-RAMに自動でバックアップします。

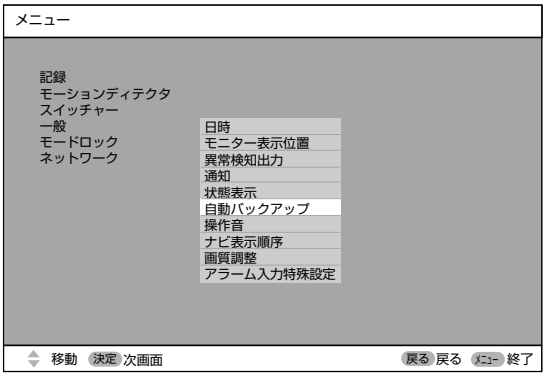
自動バックアップは、記録に関係なく指定時間になるとバックアップを開始する「スケジュール」と、記録中に同時にバックアップを行なう「同時バックアップ」の2種類あります。

バックアップデータは「バックアップ再生」で見ることができます。

ご 注 意

- DVD-Rは自動バックアップに対応しません（DVD-RAMのみ）。
- DVD-RAMの容量がいっぱいになったときはバックアップが停止します。
- 同時バックアップ、スケジュールバックアップともに、チャンネルの設定はできません（記録している全てのチャンネルが対象となります）。
- DVD-RAMが接続されていないと、緊急バックアップ記録が「する」に設定されていても自動バックアップは行いません。
- 外部ストレージのアクセスランプ点灯中は、外部ストレージを取り外さないでください。
- 保存中に再生やフル/マルチ操作を行うと保存を中断する場合があります。

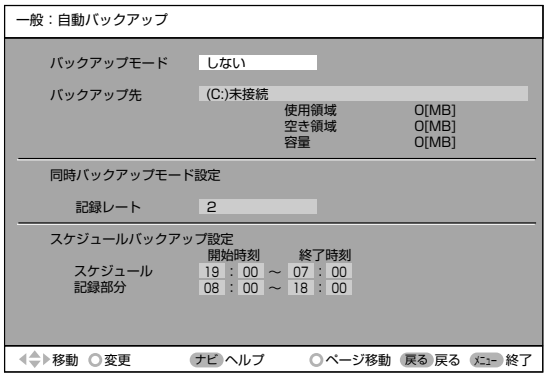
1 メニュー ➡ ◁△▷▽で【一般】➡ 【自動バックアップ】を選び、決定



▼

「一般：自動バックアップ」画面が表示されます。

2 ◁△▷▽で「バックアップモード」を選び、○で設定する

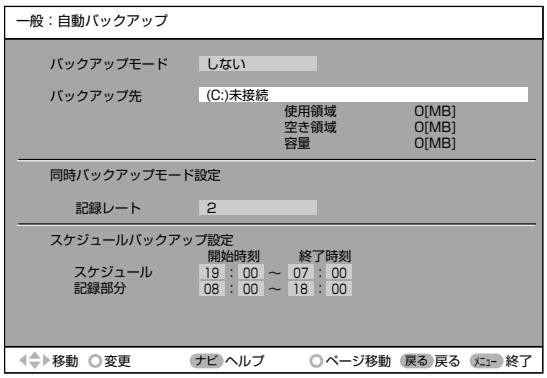


【しない】 ：自動バックアップをしない

【同時バックアップ】：ハードディスクに記録すると同時にバックアップします

【スケジュール】 ：設定された開始時刻と終了時刻期間にバックアップします

3 ◁△▷▽で「バックアップ先」を選び、○で設定する

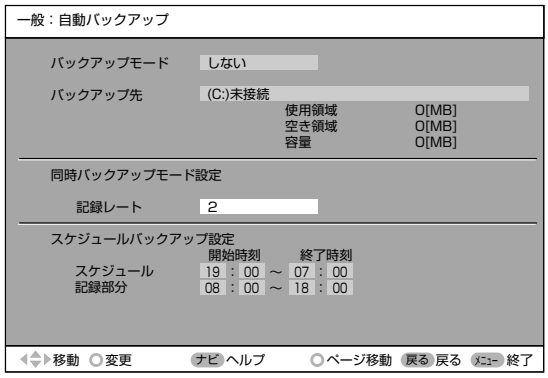


A～Jドライブで、拡張端子に接続されているドライブを選んでください。

- 「同時バックアップ」を選択している場合は 4 へ、「スケジュール」を選択している場合は 5 へ進みます。

次ページへつづく

4 で「記録レート」を選び、で設定する



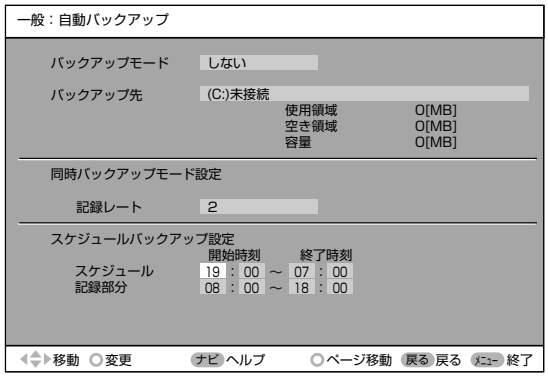
自動バックアップの記録レートを選びます。

【1】：1枚／秒

【2】：2枚／秒

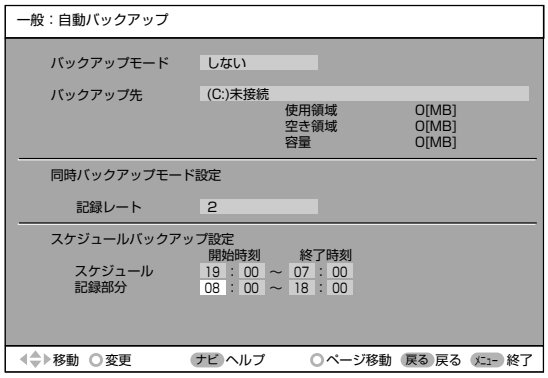
- 通常記録の記録間隔が2秒のときは、同時バックアップの記録間隔設定を1秒にしても、記録間隔は2秒になります。

5 で「スケジュール」を選び、で入力する



バックアップする開始時刻と終了時刻を設定します。

6 で「記録部分」を選び、で入力する



記録中にバックアップする開始時刻と終了時刻を設定します。

7 メニュー

設定内容が保存され、モニター画面に戻ります。

お知らせ

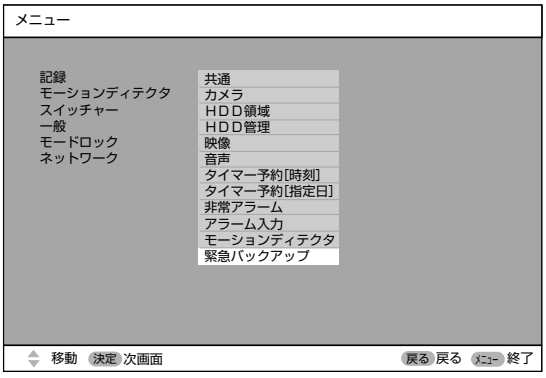
- 保存を中止したいときは、バックアップモードを「しない」にする。
- ワーニング情報に「未フォーマットストレージ」と表示したら初期化してお使いください。ただし、外部ストレージ内のデータは、すべて消去されます。

緊急バックアップ記録

本機の全てのハードディスクが使用不能になり、記録ができなくなった場合に、サービスマンが対応するまでの間、記録をバックアップします。

- 全てのハードディスクが記録不能になった場合（ハードディスクフル含まず）、拡張端子に接続された外部ストレージ機器にバックアップ記録を開始します。記録設定や記録状態に関係なく記録されます。
- DVD-Rは緊急バックアップに対応していません。（DVD-RAMのみ）
- 接続されているチャンネルは全て記録します。
- 緊急バックアップ記録は停止を3秒押すと停止します。再度、録画を押すとバックアップ記録を開始します。
- 記録される画質はHigh、記録レートは1fpsに固定されます（80GBのハードディスクを使用している場合、5CHを約7日間記録できます（68GB使用））。
- 音声は記録されません。
- ハードディスクを使用した場合、ハードディスクはスタンバイの状態になっています。

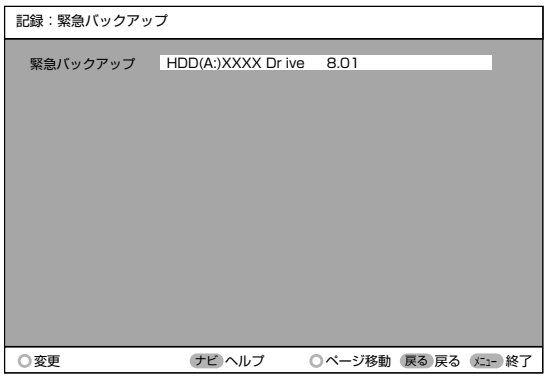
1 メニュー ➡ ◁△▷▽で【記録】➡【緊急バックアップ】を選び、決定



▼

「記録：緊急バックアップ」メニューが表示されます。

2 拡張端子に接続されたハードディスクを◯で選ぶ



ご 注 意

- 拡張端子に外部ストレージ機器が接続されていない場合は、選ぶことができません。

3 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

ご 注 意

- 外部ストレージ機器が一杯になったら記録を停止します。
- ハードディスクを使用する場合、初期化時にフォルダ分けは適用されません。

お知らせ

- 緊急バックアップ記録中に停電になった場合、停電復帰後に記録を再開します。
  記録中に全てのハードディスクが記録不能になった後で、拡張端子にハードディスクを接続しても自動でバックアップ記録は開始しません。ただし、拡張端子に接続した後にメニューで緊急バックアップを行うストレージを設定してから、録画を押すと、記録を行ないます。

モードロック

モードロックについて

モードロックは、使用できる機能を本機を使用するユーザーごとに設定できます。管理する立場によって、使用できる機能を制限したり、パスワードを設定して、パスワードを知っているユーザーのみが使用できるようにすることもできます。

また、この機能を使用することにより、誤ってボタンに触れた場合の誤操作を防止することもできます。

モードロックは、ユーザーの操作制限をモード1～モード5に設定できます。

工場出荷時、モード1～モード5は次のように設定してあります。

- モード1：　すべての操作が可能
- モード2～5：　すべての操作を禁止（映像権限、音声権限を除く）
- パスワード：　すべてなし
- 工場出荷時のモードは、モード1になっています。
- 【モード1】はすべての操作が可能に設定されており、機能ごとの操作制限の変更はできません。【モード2】～【モード5】は任意に設定することができます。

モードロックの機能を使用するには、次の2つの設定を必要に応じて行います。

- モード1～モード5のパスワードによる認証の有無とパスワードの設定
- モード2～モード5に操作制限する機能の設定

●モードの移動

モードロックは、「モード移動」により本機のモードを切り替えて、操作の制限を行なうことができます。工場出荷時、モード2～モード5はすべての操作が禁止に設定されています。本機のモードをモード2に移動すると、すべての操作が禁止され、モード1に移動すると操作を行なうことができます。（→「モードを切り替える」95ページ）

●パスワードの設定

パスワードを設定すると、モードを移動するときにパスワードの認証が必要になります。たとえば、モード2からモード1にモードを移動すると、すべての操作ができるようになりますので、このようなときにパスワードを設定します。

●モードの自動移動

操作ができるモードにしたままで、操作制限をしたモードに移動するのを忘れてしまわないように、モードの自動移動を設定しておくと便利です。（→「モードの自動移動を設定する」96ページ）

●特権ログイン

RS-232Cやネットワークから本機に接続して操作するときのモードを設定できます。（→「特権ログインを設定する」97ページ）。

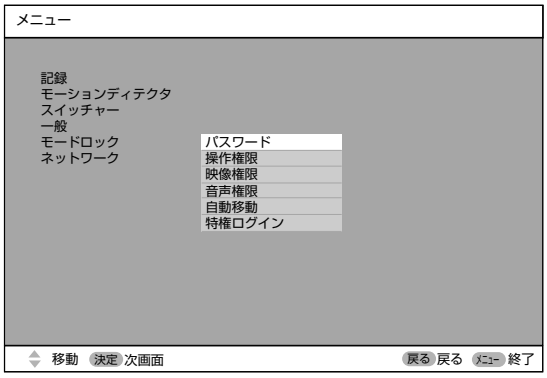
パスワードを設定する

パスワードは、設定されているモードから別のモードに変更するときにパスワード認証が必要になり、そのモードのパスワードを知らないユーザがそのモードに入ることを防ぎます。

ここでは、モードごとのパスワード認証を有効にするかの設定と認証パスワードを設定します。パスワード認証を行う場合はモードごとにパスワードを入力します。

1 メニュー ➡ ◁△▷▽ ➡【モードロック】

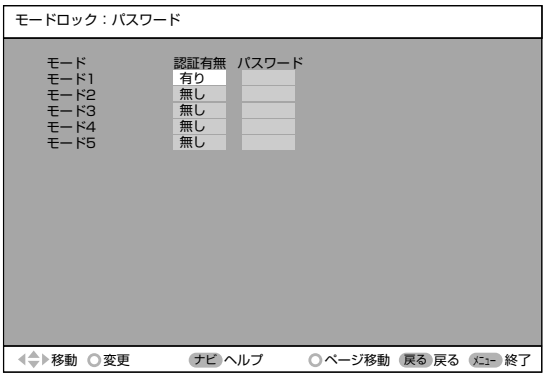
【パスワード】を選び、決定



▼

「モードロック：パスワード」メニューが表示されます。

2 ◁△▷で設定するモードの「認証有無」を選び、●で【有り】または【無し】を選ぶ



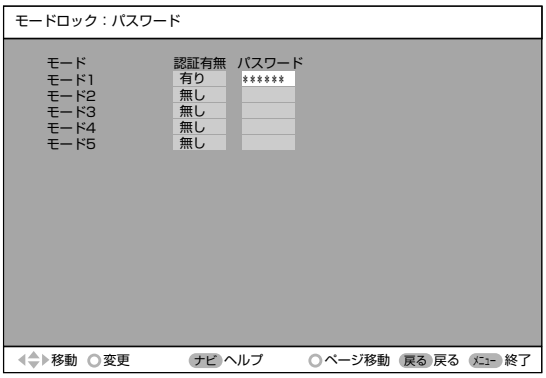
【有り】：モード移動時に、パスワードの入力を要求します。

【無し】：モード移動時に、パスワードの入力を要求しません。

お知らせ

- パスワード認証を行わない場合は手順3を行う必要がありません。
- 【無し】を選択すると、手順3でパスワードを設定しても、モードの変更時にパスワード入力は要求されません。

3 ◁△▷でパスワードを設定するモードの「パスワード」を選び、●でパスワードを入力する



- 1～5までの数字で8桁までの数値を入力します。
- ◁△▷で次の（前の）桁に移動します。
- パスワードはスペースを空けないで入力してください。
- 初期状態では、パスワードは設定されていません。（すべての桁がスペース）

お知らせ

- 入力した数字を無効にする場合は、スペースを入力してください。
- いったん設定したパスワードを変更する場合は、パスワードの入力は求められません。「モードロック：操作制限：メニュー」メニューの【モードロック設定】が【○】になっているモードではパスワードの変更は可能です。
- 数字が入力されていない場合は、手順2で【有り】が選択されていても、モードの変更時にパスワード入力は要求されません。

4 メニュー ●

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

操作制限をする機能を設定する

どの機能の操作を制限し、どの操作を許可するかをモード2～モード5に設定します。操作を設定する項目を選び、各項目の機能を設定します。

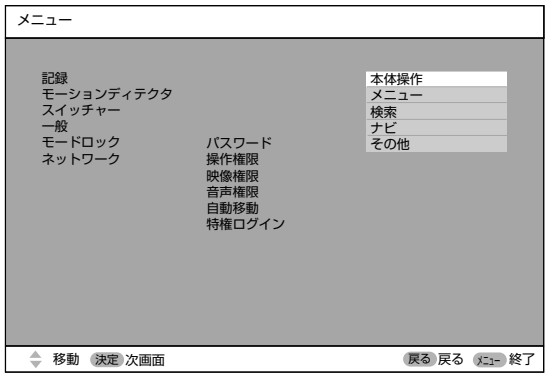
設定項目	制限される内容
本体操作	本体の操作ボタンの制限を設定します。
メニュー	メニュー を押したときに表示されるメニュー操作の制限を設定します。
検索	検索 を押したときに表示される検索の操作の制限を設定します。
ナビ	ナビゲーション を押したときに表示される操作の制限を設定します。
その他	ＤＳＨＮＥＴとＷＥＢブラウザのログインの制限を設定します。

お知らせ

- モード2～モード5はすべての操作が禁止【－】に設定されています。操作を許可する機能は、【○】に設定してください。

●「本体操作」のボタンの操作制限を設定する

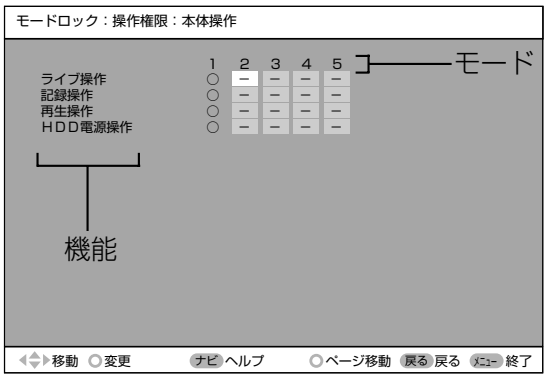
1 メニュー ➡ ◁△▷▽で【モードロック】➡【操作権限】➡【本体操作】を選び、決定



▼

「モードロック：操作権限：本体操作」画面が表示されます。

2 ◁△▷▽で設定するモードの機能を選び、○で【○】（許可）または【－】（禁止）を選ぶ



【—】： 選んだモードの機能の操作を禁止します

【○】： 選んだモードの機能の操作を許可します

機能	【—】に設定すると
ライブ操作	フル/マルチ 、[チャンネル選択] ボタン（ 1 ～ 5 、スポット 、 自動切換 の操作ができなくなります。
記録操作	録画 、 停止 長押し(記録停止)、 タイマー 、 タイマー 長押し（タイマー停止）の操作ができなくなります。
再生操作	再生/静止 、 停止 （再生停止）、○（再生速度変更）、◎（コマ送り）の操作ができなくなります。 また、 ナビゲーション を押したときのメニューに「最新画像サーチ」、「タイムデートサーチ」、「モーションディテクタ再生」の項目が表示されなくなります。
HDD電源操作	HDD電源 の操作の操作ができなくなります。また、 ナビゲーション を押したときのメニューに「外部ストレージ初期化」の項目が表示されなくなります。

お知らせ

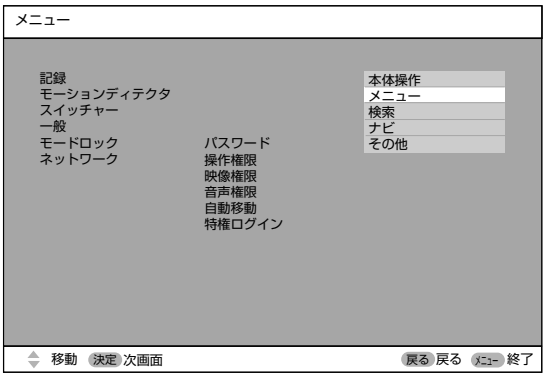
- 設定後、戻る を押すと、その他のモードロックの設定を選ぶことができます。

3 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

●「メニュー」操作の制限を設定する

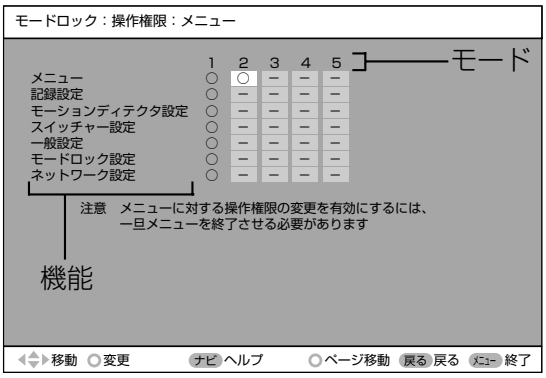
1 メニュー ➡ ◁△▷▽で【モードロック】➡【操作権限】➡【メニュー】を選び、決定



▼

「モードロック：操作権限：メニュー」画面が表示されます。

2 ◁△▷▽で設定するモードの機能を選び、◯で【○】（許可）または【ー】（禁止）を選ぶ



【—】： 選んだモードの機能の操作を禁止します。
【○】： 選んだモードの機能の操作を許可します。

機能	【—】に設定すると
メニュー	メニュー の操作ができなくなります。
記録設定	「メニュー：記録」メニューが表示されなくなります。
モーションディテクタ設定	「メニュー：モーションディテクタ」メニューが表示されなくなります。
スイッチャー設定	「メニュー：スイッチャー」メニューが表示されなくなります。
一般設定	「メニュー：一般」メニューが表示されなくなります。
モードロック設定	「メニュー：モードロック」メニューが表示されなくなります。
ネットワーク設定	「メニュー：ネットワーク」メニューが表示されなくなります。

お知らせ

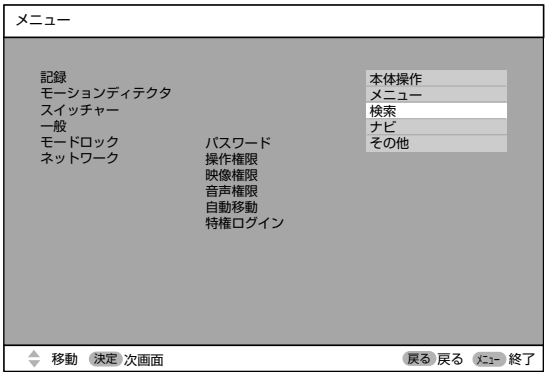
- 設定後、戻る を押すと、その他のモードロックの設定を選ぶことができます。

3 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

●「検索」操作の制限を設定する

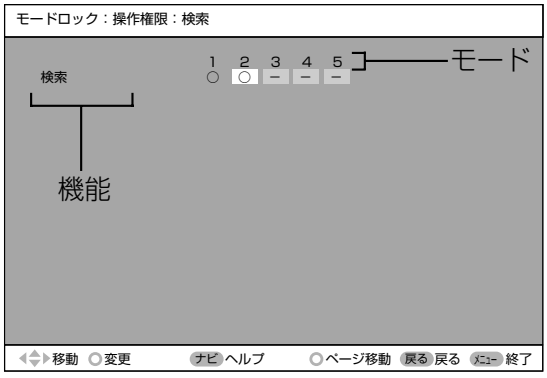
1 メニュー ➡ ◁△▷▽で【モードロック】➡【操作権限】➡【検索】を選び、決定



▼

「モードロック：操作権限：検索」画面が表示されます。

2 ◁△▷▽で設定するモードの機能を選び、◯で【○】（許可）または【ー】（禁止）を選ぶ



【—】： 選んだモードの機能の操作を禁止します。
【○】： 選んだモードの機能の操作を許可します。

機能	【—】に設定すると
検索	検索 の操作ができなくなります。

次ページへつづく

モードロック

お知らせ

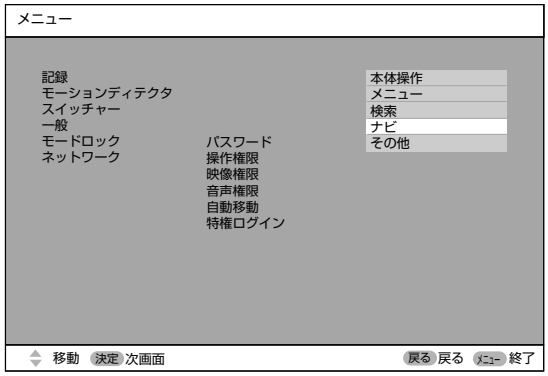
- 設定後、戻る を押すと、その他のモードロックの設定を選ぶことができます。

3 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

●「セキュリティナビゲーション」メニューの操作制限を設定する

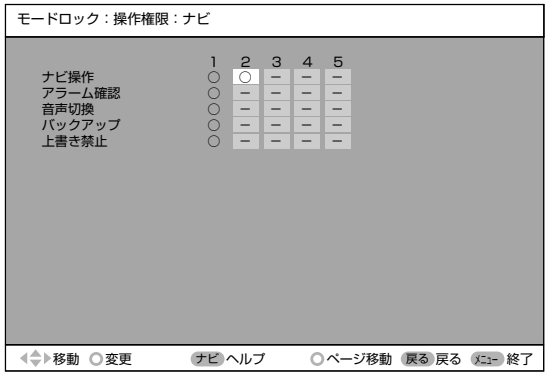
1 メニュー ➡ で【モードロック】➡【操作権限】➡【ナビ】を選び、決定



▼

「モードロック：操作権限：ナビ」画面が表示されます。

2 で設定するモードの機能を選び、で【○】（許可）または【－】（禁止）を選ぶ



【—】： 選んだモードの機能の操作を禁止します。
【○】： 選んだモードの機能の操作を許可します。

機能	【—】に設定すると
ナビ操作	「モードロック」以外の「ナビゲーション」メニューの項目が表示されなくなります。「ナビ操作」に【—】を設定しても、「モードロック」は表示されます。
アラーム確認	メニューに「アラーム確認」の項目が表示されなくなります。
音声切換	メニューに「音声切換」の項目が表示されなくなります。
バックアップ	メニューに「バックアップ記録」と「バックアップ再生」の項目が表示されなくなります。
上書き禁止	「セキュリティナビゲーション」ボタンを押したときのメニューに「上書き禁止」の項目が表示されなくなります。

お知らせ

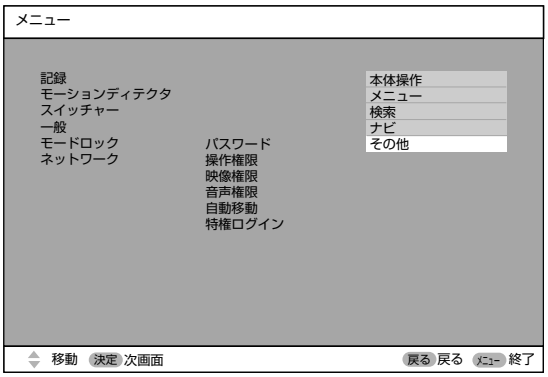
- 設定後、戻る を押すと、その他のモードロックの設定を選ぶことができます。

3 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

●「その他」操作の制限を設定する

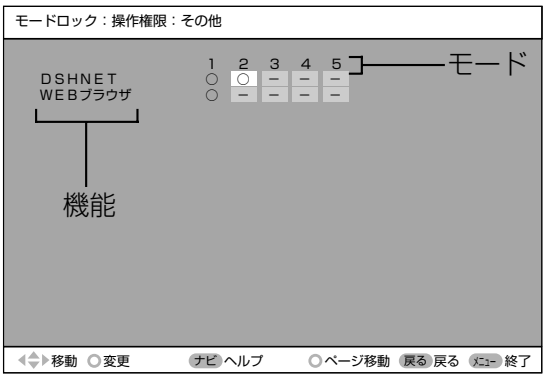
1 メニュー ➡ で【モードロック】➡【操作権限】➡【その他】を選び、決定



▼

「モードロック：操作権限：その他」画面が表示されます。

2 ◁△▷で設定するモードの機能を選び、○で【○】（許可）または【−】（禁止）を選ぶ



【—】： 選んだモードの機能の操作を禁止します。
【○】： 選んだモードの機能の操作を許可します。

機能	【—】に設定すると
DSHNET	DSHNETからのログインができなくなります。
WEBブラウザ	WEBブラウザからのログインができなくなります。

お知らせ

- 設定後、戻る○を押すと、その他のモードロックの設定を選ぶことができます。
- WEBブラウザについては、将来対応予定であり、現在はご使用になれません。

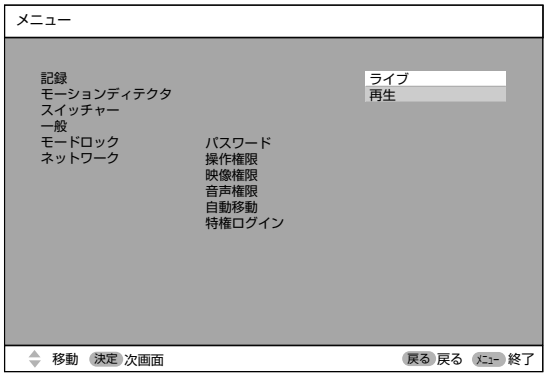
3 メニュー○

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

●カメラの映像の操作や設定を制限する

カメラの現在の映像（ライブ）の操作や設定を制限します。

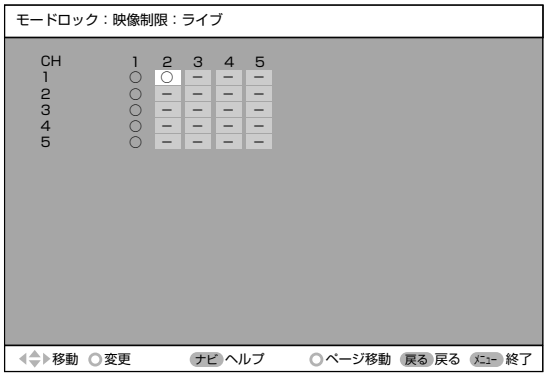
1 メニュー○ ➡ ◁△▷で【モードロック】➡【映像権限】➡【ライブ】を選び、決定○



▼

「モードロック：映像権限：ライブ」画面が表示されます。

2 ◁△▷で設定するモードの映像を選び、○で【○】（許可）または【−】（禁止）を選ぶ



【—】： 選んだモードのライブ映像の表示を禁止します。
【○】： 選んだモードのライブ映像の表示を許可します。

お知らせ

- 設定後、戻る○を押すと、その他のモードロックの設定を選ぶことができます。

3 メニュー○

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

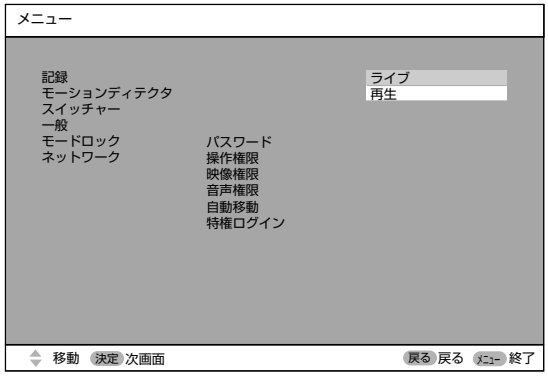
次ページへつづく

モードロック

●再生映像の操作や設定を制限する

再生映像の操作や設定を制限します。

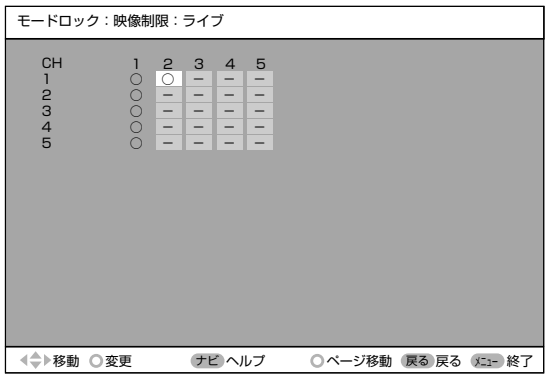
1 メニュー ➡ ◁△▷▽で【モードロック】➡【映像権限】➡【再生】を選び、決定



▼

「モードロック：映像権限：ライブ」画面が表示されます。

2 ◁△▷▽で設定するモードの映像を選び、○で【○】（許可）または【－】（禁止）を選ぶ



【—】： 選んだモードの再生映像の操作を禁止します。

【○】： 選んだモードの再生映像の操作を許可します。

お知らせ

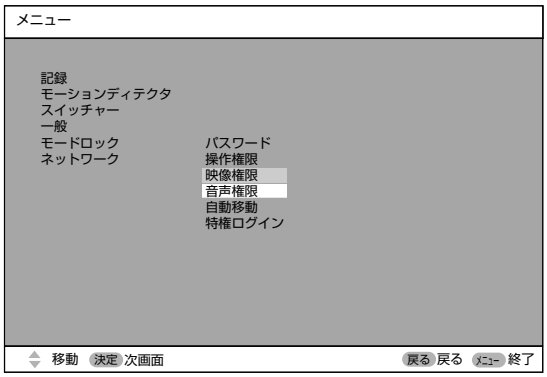
- 設定後、戻るを押すと、その他のモードロックの設定を選ぶことができます。

3 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

●音声の操作や設定を制限する

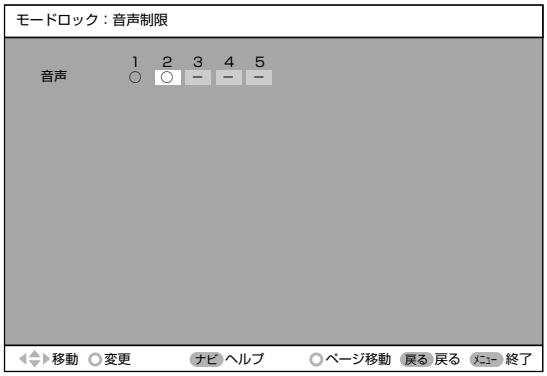
1 メニュー ➡ ◁△▷▽で【モードロック】➡【音声権限】を選び、決定



▼

「モードロック：音声制限」画面が表示されます。

2 ◁△▷▽で設定するモードの音声を選び、○で【○】（許可）または【－】（禁止）を選ぶ



【—】： 選んだモードの音声の操作や設定を禁止します。

【○】： 選んだモードの音声の操作や設定を許可します。

お知らせ

- 設定後、戻るを押すと、その他のモードロックの設定を選ぶことができます。

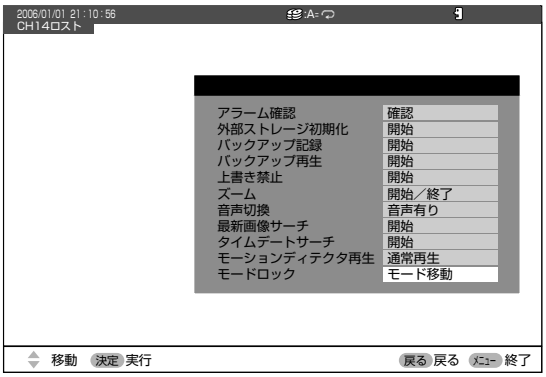
3 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

モードを切り替える（モード移動）

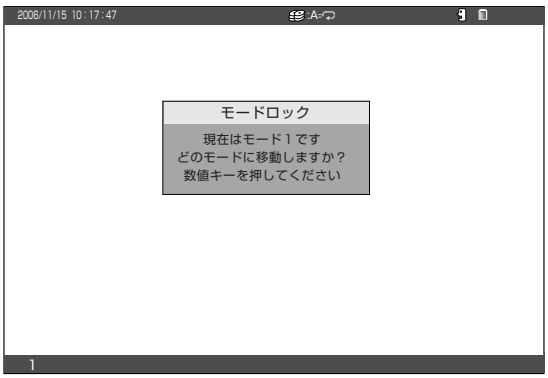
現在のモードから他のモードへ切り替えるには「モード移動」を選びます。パスワードが設定されている場合はパスワードの入力が要求されます。

1 ナビゲーション ➡ で「モードロック」の【モード移動】を選び、決定



▼

現在のモードが画面に表示されます。



2 移動したいモードを、1 ～ 5 で選ぶ

移動したいモードを［チャンネル選択］ボタン 1 ～ 5 の中から選びます。

▼

- 移動するモードにパスワードが設定されていないときは、「モード○に移動しました」と表示されます。
- 移動するモードにパスワードが設定されているときは、パスワード入力画面が表示されます。手順 3 にすすみます。

3 パスワードを 1 ～ 5 で入力し、決定

移動するモードに設定したパスワードを入力します。

▼

「モード○に移動しました」と表示され、モニター画面に戻ります。

お知らせ

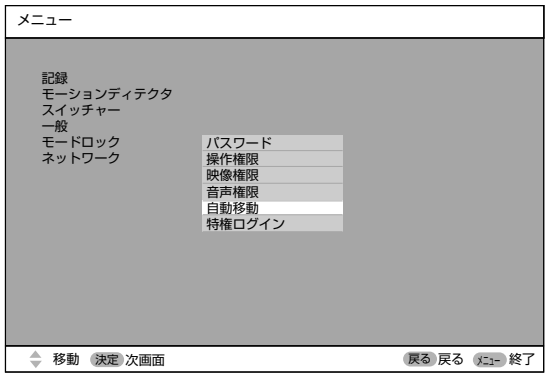
- モード2～モード5に変更したときは、モードロックランプ（緑色）が点灯し、🔒が表示されます。
- パスワードを間違って入力したときは、「パスワードが間違っています」と表示されます。正しいパスワードを再度入力してください。
- モードロック中でも次の操作は可能です。
  - LAN経由の操作
  - アラーム入力（モーションディテクタ、アラーム入力）による記録
  - ナビゲーションを押して行うモード変更操作
- 「アイコン表示」が【無し】に設定されている場合はアイコン表示しません。
- パスワード入力は、［チャンネル選択］ボタンの 1 ～ 5 を使って入力してください。

モードロック

モードの自動移動を設定する

一定の時間、操作がないと自動的に指定したモードに切り替わる機能です。たとえば、モード1（すべての操作が可能）で設定変更などを行なった後で、指定したモード（機能の制限のあるモード）に自動で切り替わる機能です。モードの戻し忘れを防ぎます。

1 ナビゲーション ➡ で【モードロック】➡【自動移動】を選び、決定

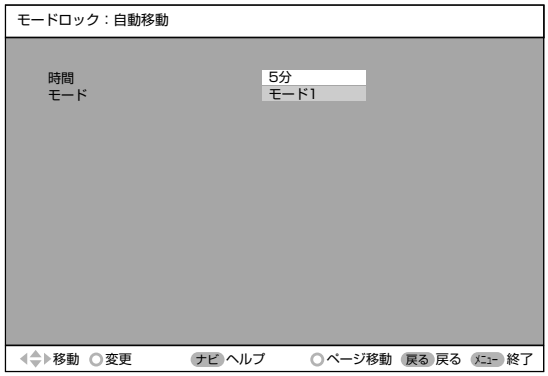


▼

「モードロック：自動移動」画面が表示されます。

2 で「時間」を選び、で「時間」を選ぶ

ここで選択した時間だけ操作がないと自動的にモードを切り替えます。

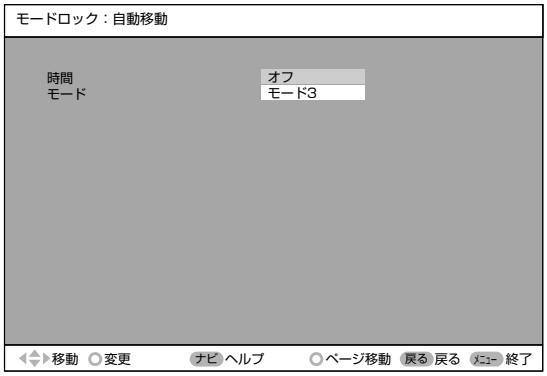


【1～5分】、【30分】：切り替えまでの時間を選択します。

【オフ】：自動モード移動は行なわない場合に選択します。

3 で「モード」を選び、で切り替え先のモード（モード1～モード5）を選ぶ

自動移動の機能が働くと、ここで指定した切り替え先のモードに切り替わります。



【モード1】～【モード5】：切り替える先のモードを選択します。

4 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

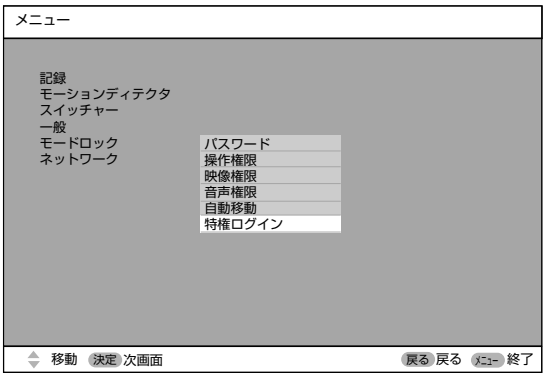
ご 注 意

- モードの自動移動は、パスワードが設定されていても切り替わります。モード1への移動や操作制限を少なく設定したモードにパスワードが設定されていてもパスワードの認証なしで、自動で切り替わりますのでご注意ください。

特権ログインを設定する

RS-232Cやネットワークから本機に接続して操作するときのモードを設定します。RS-232Cやネットワークからログインすることを特権ログインといいます。ログインすると設定したモードに切り替わり、ログオフするとログイン前のモードに戻ります。

1 メニュー ➡ ◁△▷▽で【モードロック】➡【特権ログイン】を選び、決定

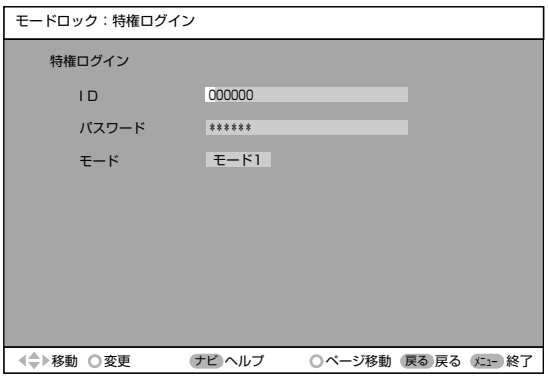


▼

「モードロック：特権ログイン」画面が表示されます。

2 ◁△▷▽で「ID」を選び、でIDを入力する

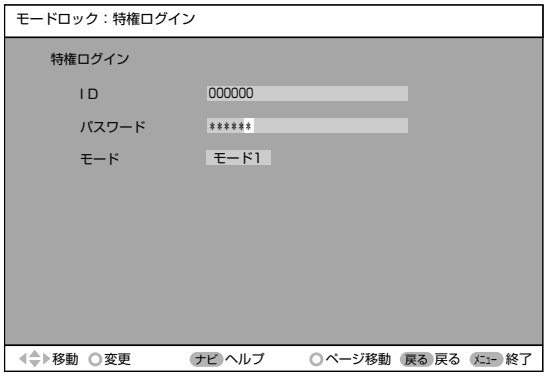
ネットワークからのログインするときのIDを設定します。



「ID」： 6～32文字の英数字および記号を入力します。

3 ◁△▷▽で「パスワード」を選び、でパスワードを入力する

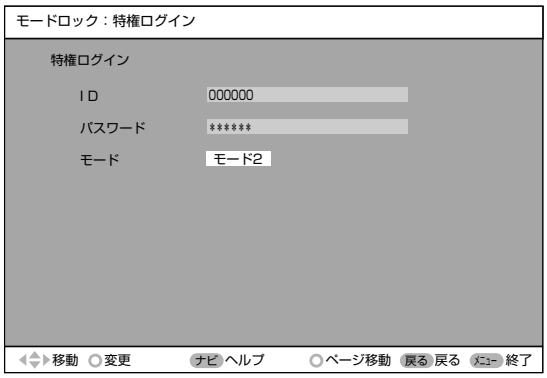
ネットワークからのログインに必要なパスワードを設定します。



「パスワード」：6～32文字の英数字および記号を入力します。

4 ◁△▷▽で「モード」を選び、でモードを選ぶ

ネットワークからログインした直後は、ここで選んだモードになります。



「モード」：ログイン直後のモードを選択します。

5 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

ネットワーク

ネットワークで監視する

本機をネットワークに接続すると、WIndows®パソコンで離れた場所からの監視が行なえます。

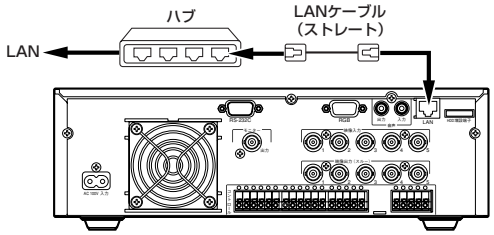
- 専用のソフトウェアDSHNET5（別売）により、WIndows®パソコンから離れた場所からの監視や操作が行なえます。
- インターネット（メールサーバー）と接続することにより、本機の異常やアラームをメールで通知することができます。
- RS-232Cで本機とパソコンを接続すると、パソコンから本機を操作することができます。

お知らせ

- DSHNET5の詳細については、お買い上げの営業または販売店にお問い合わせください。
- インターネットに接続するには、インターネットプロバイダとの契約が必要です。

LAN端子への接続

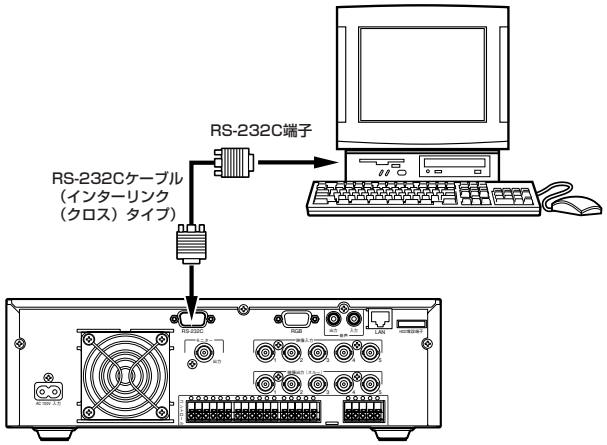
インターネットに接続したり、ハブを用いてネットワーク制御用のPCに接続することができます。



- ハブを使用しない場合は、LANケーブル（クロスタイプ）を使用してください。

RS-232C端子への接続

本機とPCを接続して、PCから制御することができます。（→P.107）



ネットワークの設定について

本機をネットワークに接続して使用するには次の設定を行ないます。

●ネットワークに接続するには、次の設定を行なってください。

設定項目	設定内容
基本 （→99ページ）	本機のIPアドレスの取得方法とDNSサーバのアドレスの取得方法を設定します。

●ネットワークに接続したときの負荷を軽減するときは次の設定を行なってください。

設定項目	設定内容
回線 （→101ページ）	ネットワーク接続の通信速度を設定します。工場出荷時は、【フルスピード】に設定されています。ネットワークを接続している回線に合わせて設定してください。ネットワークの負荷を軽減するときに設定します。通信速度を下げると速度を優先して、映像のサイズを小さくして送信します。

●本機の異常や、アラームを検知したときにメールで通知するには次の設定を行なってください。

設定項目	設定内容
メールサーバー （→103ページ）	メールサーバーを設定します。
メール （→104ページ）	アラームが発生したときに、通知するメールアドレスと送信の内容を設定します。

●時刻を自動的に合わせたい場合は、次の設定を行なってください。

設定項目	設定内容
SNTP （→101ページ）	時刻調整を自動で行なうSNTPサーバーに接続する方法を設定します。

●パソコンからネットワークで本機を遠隔操作する場合は、次の設定を行なってください。

設定項目	設定内容
DSHNET （→105ページ）	専用ソフトウェアDSHNET5（別売）と接続する方法を設定します。
モニタリング許可CH （→106ページ）	本機に接続されたカメラのライブ映像と記録映像のモニタリングを設定します。

●パソコンからRS-232Cで接続して本機を遠隔操作する場合は、次の設定を行なってください。

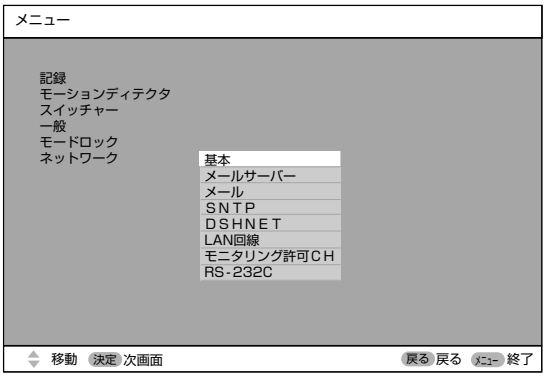
設定項目	設定内容
シリアル （→107ページ）	パソコンから本機を遠隔操作するときの通信速度を設定します。

ネットワークの基本設定をする

本機をネットワークに接続するときに必要な本機のIPアドレスを設定します。

＊ 各設定画面は一例です。実際の画面とは異なることがあります。

1 メニュー ➡ で【ネットワーク】➡【基本】を選び、決定

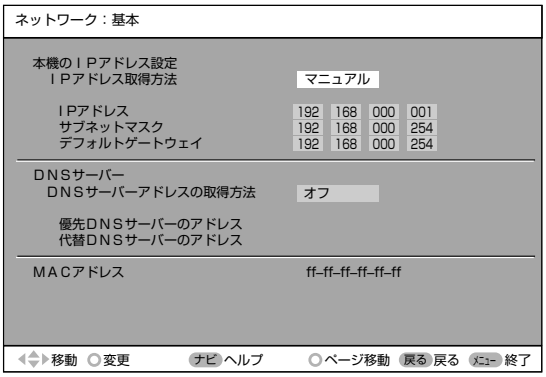


▼

「ネットワーク：基本」メニューが表示されます。

2 で「IPアドレス取得方法」を選び、で設定を選ぶ

本機が使用するIPアドレスをDHCPサーバーから自動取得するか、固定のIPアドレスを使用するかを設定します。



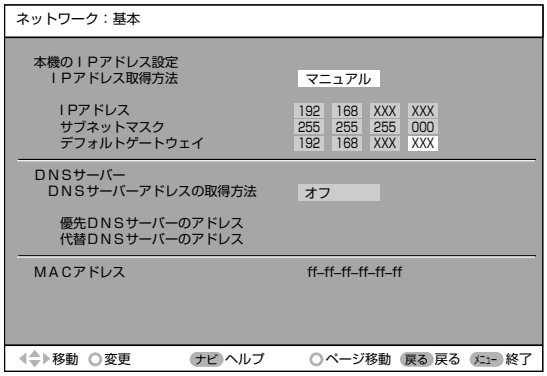
【オート】： IPアドレスをDHCPサーバーから自動取得します。DHCPサーバーから発行されたIPアドレスを使用します。
→手順 4 に進みます。

【マニュアル】：固定のIPアドレスを入力します。
→手順 3 に進みます。

お知らせ

- インターネットプロバイダ、またはネットワーク管理者よりIPアドレスが通知されている場合は、そのIPアドレスを入力します。詳しくは、インターネットプロバイダのサポート窓口または、ネットワーク管理者にご確認ください。

3 で「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を選び、で入力する



固定のIPアドレスがある場合は、そのIPアドレスを設定します。

お知らせ

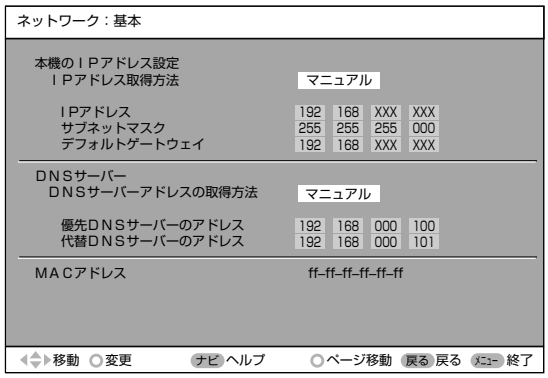
- インターネットプロバイダ、またはネットワーク管理者よりIPアドレスが通知されている場合は、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイも通知されています。そのアドレスを入力してください。詳しくは、インターネットプロバイダのサポート窓口または、ネットワーク管理者にご確認ください。

次ページへつづく

4 ◁△▷ で「DNSサーバーアドレス取得方法」を選び、◯で設定を選ぶ

本機が使用するDNSサーバーのIPアドレスを、自動取得するか、固定のIPアドレスを使用するか、またはDNSを使用せずホストを直接IPアドレスで指定するかを設定します。

通常、手順2で「IPアドレス取得方法」を【オート】に設定した場合は、「DNSサーバーアドレス取得方法」も【オート】に設定します。



【オフ】： DNSサーバーを使用しないときに選択します。サーバーの指定は直接IPアドレスで行います。
→手順6に進みます。

【マニュアル】： DNSサーバーのアドレスが決まっている場合に選択します。
→手順5に進みます。

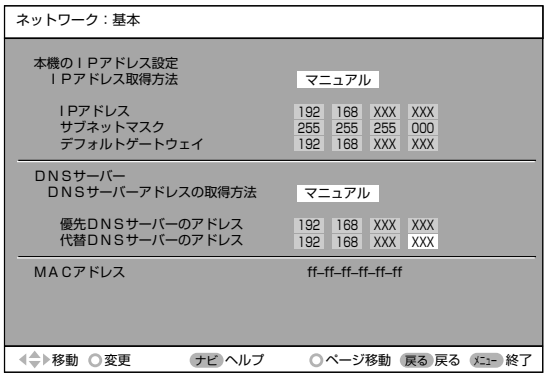
【オート】： DNSサーバーのアドレスをDNSサーバーから自動取得する場合に選択します。
→手順6にすすみます。

お知らせ

- インターネットプロバイダ、またはネットワーク管理者よりDNSサーバーアドレスが通知されている場合は、そのアドレスを入力します。詳しくは、インターネットプロバイダのサポート窓口または、ネットワーク管理者にご確認ください。
- 【オフ】に設定した場合、サーバーの指定はIPアドレスで行います。
- 【マニュアル】に設定した場合、手順5で【優先DNSサーバーのアドレス】と【代替DNSサーバーのアドレス】も入力してください。

5 ◁△▷ で「優先DNSサーバーのアドレス」、「代替DNSサーバーのアドレス」を選び、◯で入力する

本機が使用する優先DNSサーバーと代替DNSサーバーのIPアドレスを直接IPアドレスで指定します。



お知らせ

- 優先DNSサーバーは、最初に問い合わせに行く先のサーバーです。代替DNSサーバーは、優先DNSサーバーの次に問い合わせに行く先のサーバーです。
- インターネットプロバイダ、またはネットワーク管理者より優先DNSサーバーのアドレス、代替DNSサーバーのアドレスが通知されている場合は、そのアドレスを入力します。詳しくは、インターネットプロバイダのサポート窓口または、ネットワーク管理者にご確認ください。

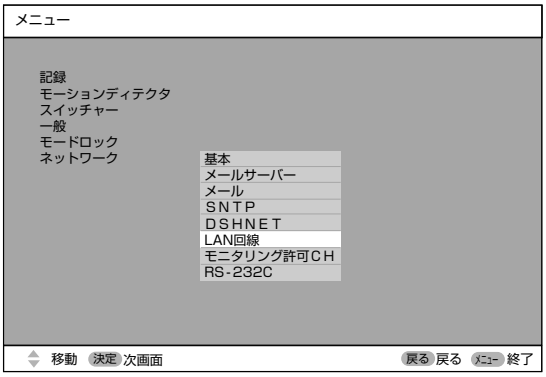
6 メニュー ◯

設定した内容が保存され、メニューに戻ります。

ネットワークの回線を設定する

本機をネットワークに接続したときの回線の通信速度に合わせて設定します。

1 メニュー ➡ で【ネットワーク】➡【LAN回線】を選び、決定



▼

「ネットワーク：回線」メニューが表示されます。

2 で「通信速度」を選び、で設定する

ネットワークの通信速度に合わせて設定することで、効率のよい送信を行います。たとえば、画面飛びを極力おさえた動画の送信をするために設定します。

以下の通信速度から選べます。

【16KBPS】、【32KBPS】、【64KBPS】、【96KBPS】、【128KBPS】、【256KBPS】、【512KBPS】、【1MBPS】、【2MBPS】

【フルスピード】を選ぶと最高通信速度で送信されます。

3 で「同時接続」を選び、で設定する

【1台】～【4台】：同時に接続できるパソコン台数の上限を設定します。

4 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

SNTPの設定をする

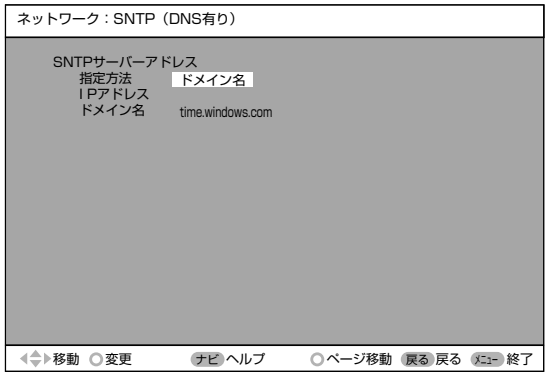
本機の時刻合わせに関する設定です。本機の時刻を時刻調整用のSNTPサーバーに接続して自動で時刻合わせを行なう場合に設定します。

1 メニュー ➡【ネットワーク】➡【SNTP】を選び、決定

●「DNSサーバーアドレスの取得方法」が【マニュアル】または【オート】の場合

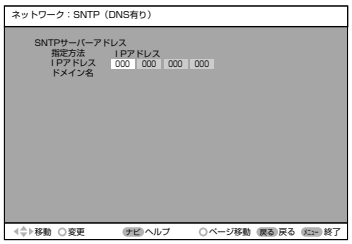
2 で「指定方法」を選び、で選ぶ

SNTPサーバーのドメイン名を入力することができます。



【ドメイン名】： 60文字までの英数字および記号でSNTPサーバーのドメイン名を入力します。

【IPアドレス】： SNTPサーバーのIPアドレスを入力します。で「IPアドレス」を選び、で入力します。



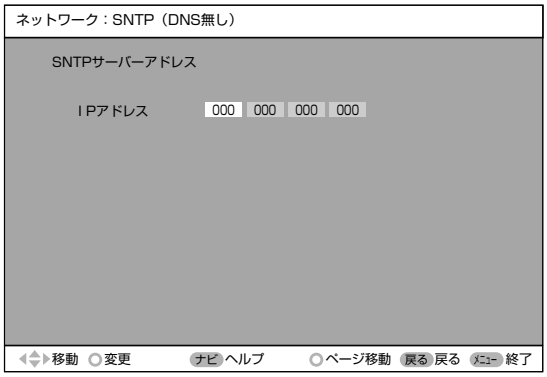
お知らせ

- 次のSNTPサーバは動作確認済みです。
  time.windows.com
  time.nist.gov
- 「一般：日時」メニューで「時刻調整方法」を【ネットワーク】に設定する必要があります。（→19ページ）

●「DNSサーバーアドレスの取得方法」が【オフ】の場合

2 で入力欄を選び、で入力する

SNTPサーバーのIPアドレスを直接入力します。



SNTPサーバーのアドレス番号を指定します。

3 メニュー

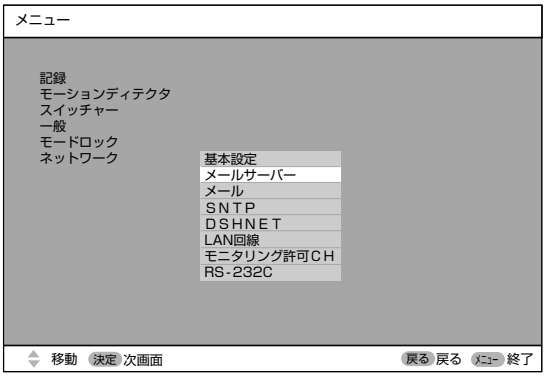
設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

メール通知の設定をする

電子メールを登録したメールアドレスに通知するための設定です。メールサーバーを設定し、通知先のメールアドレスを登録します。送信先は最大5件まで設定することができます。メール通知には次の2つがあります。

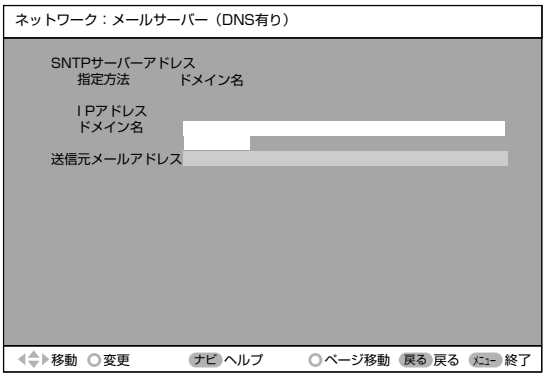
- 異常メール：本機のHDDの状況やアラームなどの異常検知時にメールで通知します。
- 定時メール：月曜から日曜までを1期間とし、その間の正常であった期間を毎週月曜00：00：00にメールで通知します。

1 メニュー ➡ で【ネットワーク】➡ 【メールサーバー】を選び、➡ 決定



●「DNSサーバーアドレスの取得方法」が【マニュアル】または【オート】の場合

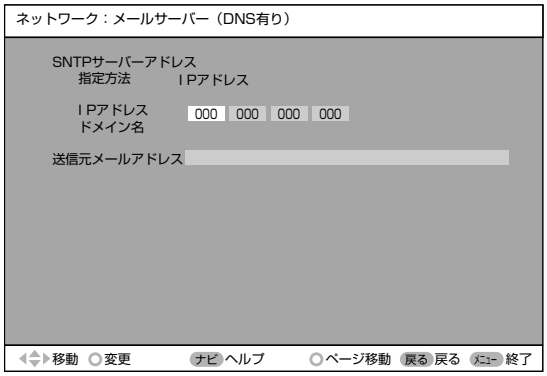
2 で「指定方法」を選び、 で選ぶ



【ドメイン名】：60文字までの英数字および記号でメールサーバーのドメイン名を入力します。
で「ドメイン名」を選び、 で入力します。

【IPアドレス】：で「IPアドレス」を選び、 で入力します。

「送信元メールアドレス」：メールで通知するときにメールの発信元が認証できるアドレスを入力します。

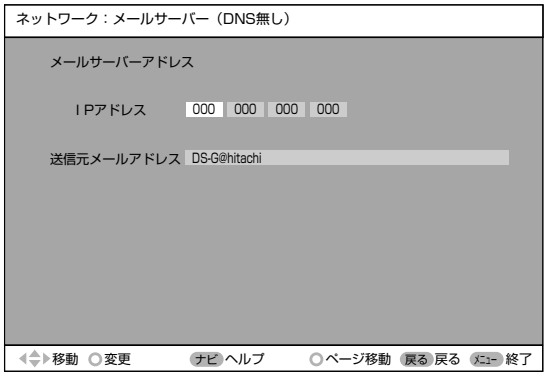


「送信元メールアドレス」メールで通知するときにメールの発信元が認証できるアドレスを入力します。

●「DNSサーバーアドレスの取得方法」が【オフ】の場合

2 で「IPアドレス」「送信元メールアドレス」を選び、 で入力する

メールサーバーのIPアドレスを直接入力します。



「IPアドレス」：メールサーバーのアドレス番号を指定します。

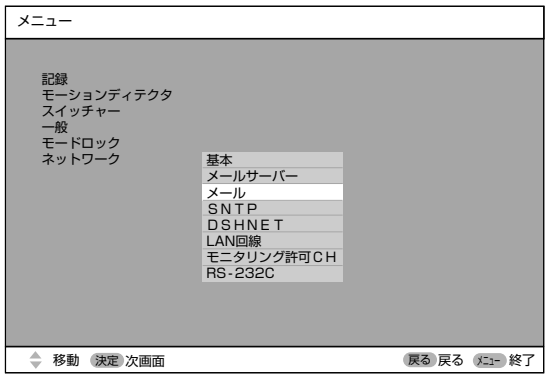
「送信元メールアドレス」：メールで通知するときにメールの発信元が認証できるアドレスを入力します。

3 戻る

設定した内容が保存され、メニューに戻ります。

次ページへつづく

4 で【メール】を選び、決定

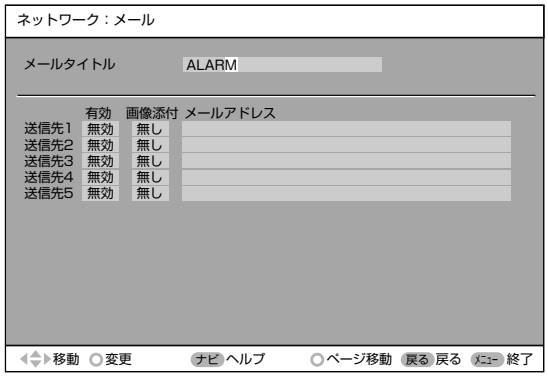


▼

「ネットワーク：メール」メニューが表示されます。

5 で「メールタイトル」を選び、でメールタイトルを入力する

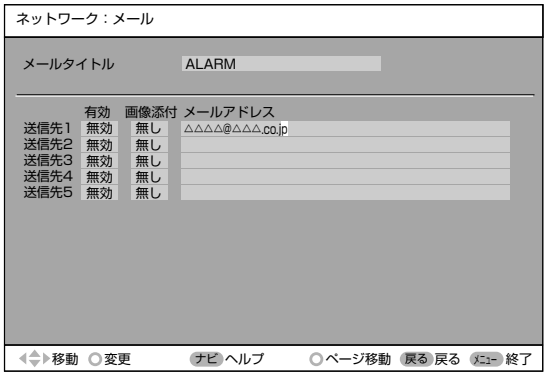
メールで通知するときのタイトルを入力します。



32文字までの英数字および記号を入力します。

6 で「メールアドレス」を選び、で通知先のメールアドレスを入力する

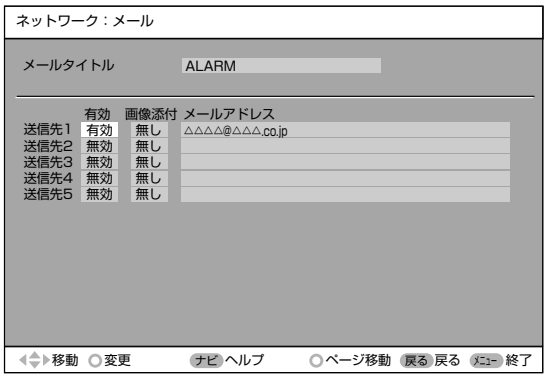
メールで通知するメールアドレスを入力します。



送信先のメールアドレスを、52文字までの英数字および記号で入力します。

7 で「有効」を選び、で【有効】または【無効】を選ぶ

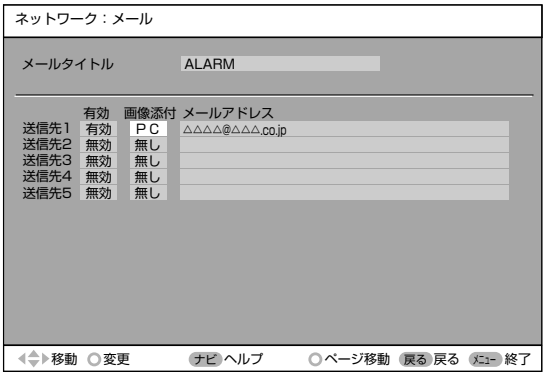
送信先にメールを送るかどうかを設定します。



【有効】：入力したメールアドレスに通知します。
【無効】：メールの通知を行ないません。

8 で【画像添付】を選び、で添付する画像の種類を選ぶ

異常検知時の画像をメールに添付するかどうかを設定します。



【PC】：記録した映像をそのまま（JPEG2000形式）添付します。

【携帯】：携帯電話用の画像（JPEG形式）を添付します。

【無し】：画像を添付しません。

お知らせ

- 添付される画像は、「アラーム入力」「非常アラーム記録」の場合は、記録中のなかで数字の小さいチャンネル、「モーションディテクタ」の場合は、検知したチャンネルの画像を添付します。
- パソコンで.dsv形式の映像を再生するには、「DSHVIEW5」（無償）、「DSHNE5」（別売）が必要です。「DSHVIEW5」は次のホームページからダウンロードできます。
  http://www.hitachi.co.jp/bouhan 内
- 【PC】の画像はサイズが大きく携帯電話には適しません。携帯電話へ送信する場合は、【携帯】を選んでください。

9 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

お知らせ

- 「HDD寿命」「FAN異常」「メモリ異常」は、問題が解決するまで、毎日00：00：00に通知します。
- メール通知は2分間隔で送れるまで送信を繰り返します。
- メール通知時は が点滅します。
- メールの通知の設定が終了したら、設定したすべてのメールアドレスに通知が行なわれるか、テストして確認してください。

●通知されるメールの例

- **異常メール**
  【注意】「ALARM」※1が異常を検出しました。
  2006/01/27 04:42:51 = ＣＨ１で動きを検出しアラーム記録を行いました。
  ＣＨ１の画像を添付します。
  ※1は「メールタイトル」で入力したタイトルです。

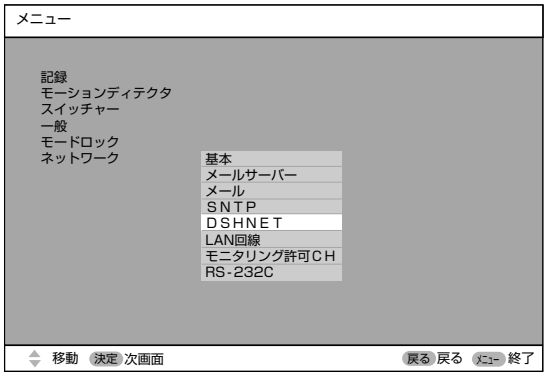
- **定時メール**
  【連絡】2006/01/24 04:42:51から異常はありませんでした。

遠隔監視機能を設定する

専用のソフトウェアDSHNET5（別売）を使用して、ネットワークに接続したWindows®パソコン上で本機に接続されているカメラのライブ映像の確認や記録済み画像の再生、早送り、早戻し、静止、タイムデート検索などができます。「音声出力」を設定することにより離れた場所から音声で不審者に威嚇することもできます。

- DSHNET5の詳細については、お買い上げの営業または販売店にお問い合わせください。

1 メニュー ➡ で【ネットワーク】➡【DSHNET】を選び、決定

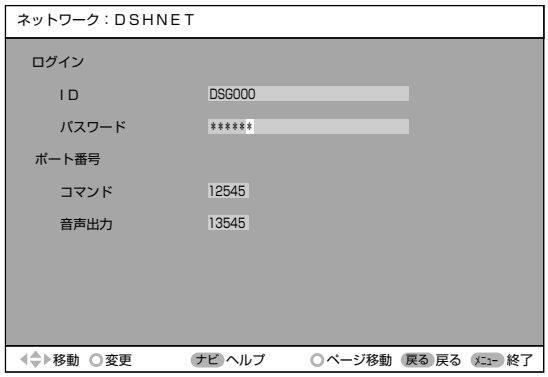


▼

「ネットワーク：DSHNET」メニューが表示されます。

2 で「ID」「パスワード」を選び、で入力する

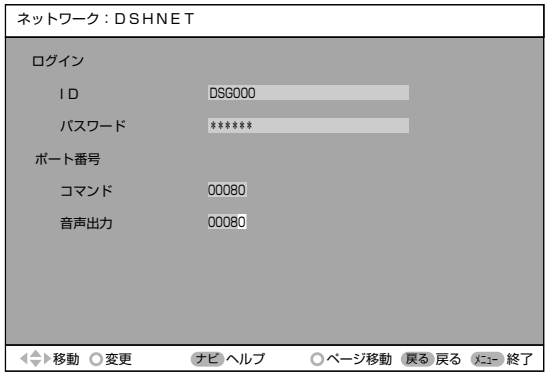
パソコンからログインする場合は、ここで指定したログインIDとパスワードを入力してログインします。



「ID」　：3～32文字の英数字および記号でログインIDを入力します。スペースを入力すると、それ以降の文字は消去されます。

「パスワード」：3～32文字の英数字および記号でログインパスワードを入力します。

3 で「ポート番号」の「コマンド」、「音声出力」を選び、で入力する



「コマンド」：DSHNET5のインストールされているパソコンとデータのやりとりをするためのポート番号を入力します。

「音声出力」：DSHNET5のインストールされているパソコンから音声のデータを出力するためのポート番号を入力します。

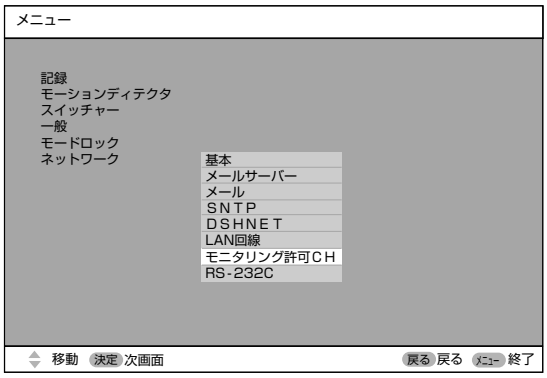
お知らせ

- 「コマンド」と「音声出力」は、DSHNET5と同じ番号に設定してください。
- ポート番号について詳しくは、ネットワーク管理者に確認してください。
- 音声を出力するには、パソコンにマイクを接続してDSHNET5で操作してください。

4 戻る

設定した内容が保存され、メニューに戻ります。

5 で【モニタリング許可CH】を選び、決定

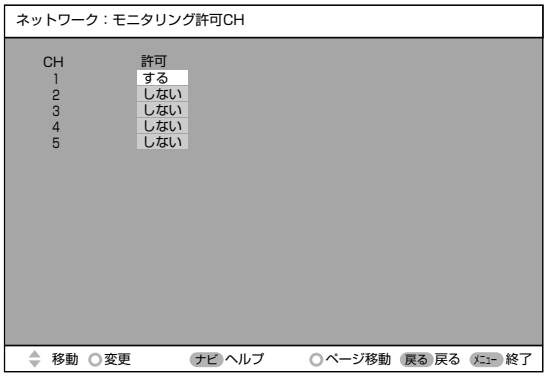


▼

「ネットワーク：モニタリング許可CH」メニューが表示されます。

6 でチャンネルを選び、で設定する

パソコンからライブ映像の確認をチャンネルごとにするか、しないかを設定します。



【しない】：ライブ映像を確認しない。

【する】　：ライブ映像を確認する。

7 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

●DSHNET5での監視について

DSHNET5（別売）を使用すると次のような操作ができます。

■ライブ映像の監視について

- 本機に接続されたカメラのライブ映像をパソコンで監視できます。
- 映像はSIFサイズで表示されます。
- 本機からCH1～CH5のトータルで1秒間に30枚パソコンに送信することができます。パソコンで表示できる枚数は接続するパソコン数や表示CH数、表示CH種類で変わります。
- 1台のパソコンで任意のチャンネルを4チャンネルまで監視できます。
- パソコンは最大4台まで本機に同時接続できます。
- 音声の確認ができます。

■記録画像の再生について

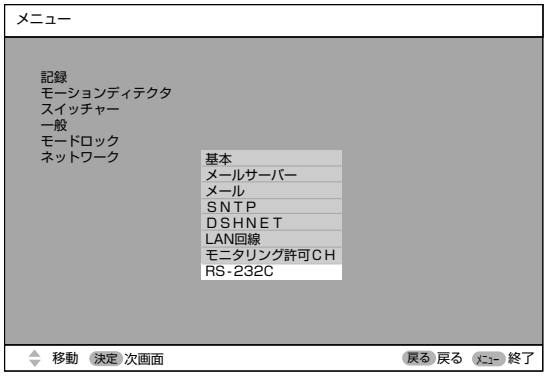
- 記録済みの映像をパソコンで再生します。
- 複数（4台まで）のパソコンを接続しているときは、最初に再生処理を行ったパソコンからのみ再生可能です。
- 再生、早送り、早戻し、静止、タイムデート検索などができます。
- 音声を再生することができます。

パソコンと接続したときの通信速度を設定する

パソコンとRS-232Cで本機を接続して、パソコンから本機を操作するときの通信速度を設定します。

→詳しくは、「RS－232C通信仕様」（→121ページ）を参照してください。

1 メニュー ➡【ネットワーク】➡【RS-232C】を選び、決定

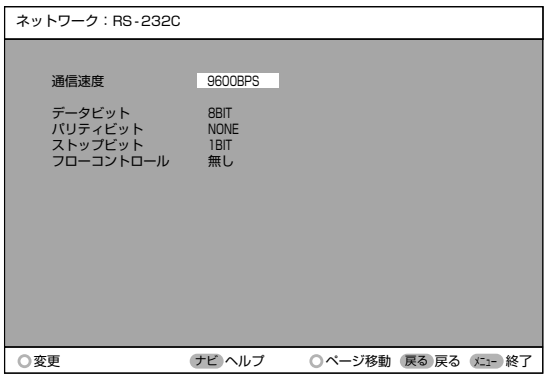


▼

「ネットワーク：RS-232C」メニューが表示されます。

2 で【通信速度】を選ぶ

通信速度を設定します。



「通信速度」：【1200BPS】、【2400BPS】、【4800BPS】、【9600BPS】、【19200BPS】から選びます。

3 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

通　知

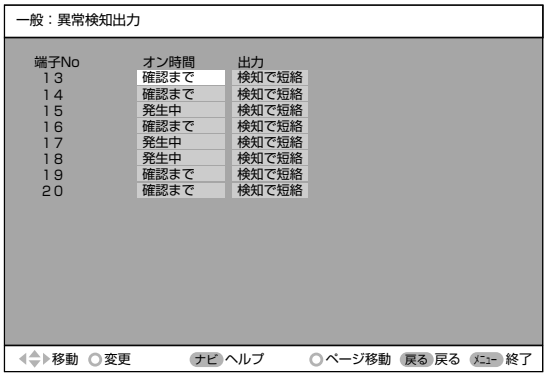
通知について

アラームを検知したり、カメラや機器に異常が発生したときにどのように（OSD（画面）、ブザー、メール）通知するかを設定します。

コントロール端子No13～20に通知をするように設定することもできます。

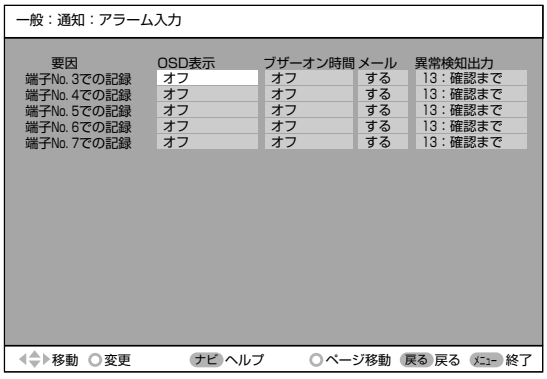
●異常検知出力

異常が発生したときにコントロール端子No13～20に通知をするように設定することもできます。（→109ページ）



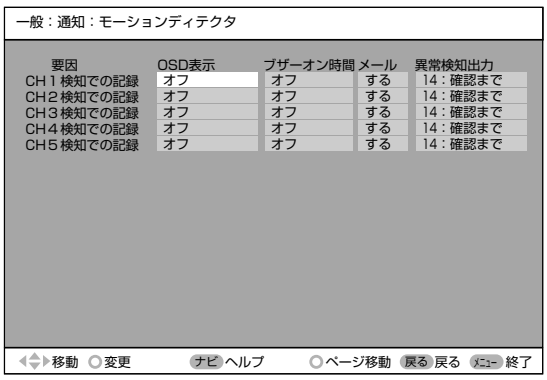
●アラーム入力

「アラーム入力」の設定で、アラームを検知したときの通知方法を設定します。（→110ページ）


一般：通知：アラーム入力
要因　OSD表示　ブザーオン時間　メール　異常検知出力
端子No.3での記録　オフ　オフ　する　13：確認まで
端子No.4での記録　オフ　オフ　する　13：確認まで
端子No.5での記録　オフ　オフ　する　13：確認まで
端子No.6での記録　オフ　オフ　する　13：確認まで
端子No.7での記録　オフ　オフ　する　13：確認まで
移動　変更　ナビ ヘルプ　ページ移動　戻る 戻る　メニュー 終了

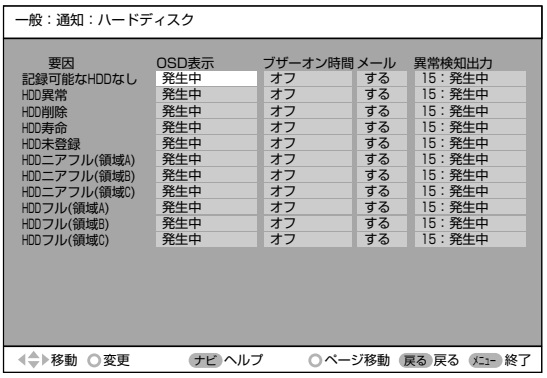
●モーションディテクタ

「モーションディテクタ」の設定で、アラームを検知したときやカメラの異常が発生したときの通知方法を設定します。（→111ページ）


一般：通知：モーションディテクタ
要因　OSD表示　ブザーオン時間　メール　異常検知出力
CH1検知での記録　オフ　オフ　する　14：確認まで
CH2検知での記録　オフ　オフ　する　14：確認まで
CH3検知での記録　オフ　オフ　する　14：確認まで
CH4検知での記録　オフ　オフ　する　14：確認まで
CH5検知での記録　オフ　オフ　する　14：確認まで
移動　変更　ナビ ヘルプ　ページ移動　戻る 戻る　メニュー 終了

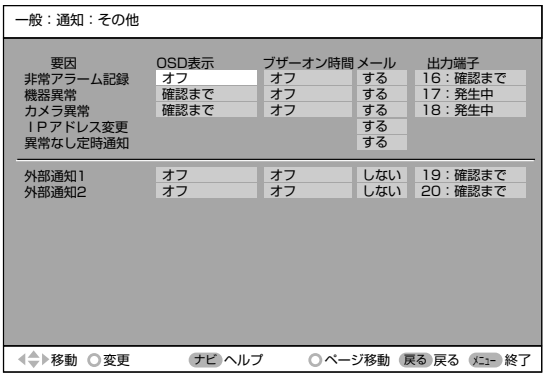
●ハードディスク

ハードディスクの状態を検知して、異常、寿命、未登録、フル、ニアフルの状態を通知する方法を設定します。（→111ページ）


一般：通知：ハードディスク
要因　OSD表示　ブザーオン時間　メール　異常検知出力
記録可能なHDDなし　発生中　オフ　する　15：発生中
HDD異常　発生中　オフ　する　15：発生中
HDD削除　発生中　オフ　する　15：発生中
HDD寿命　発生中　オフ　する　15：発生中
HDD未登録　発生中　オフ　する　15：発生中
HDDニアフル(領域A)　発生中　オフ　する　15：発生中
HDDニアフル(領域B)　発生中　オフ　する　15：発生中
HDDニアフル(領域C)　発生中　オフ　する　15：発生中
HDDフル(領域A)　発生中　オフ　する　15：発生中
HDDフル(領域B)　発生中　オフ　する　15：発生中
HDDフル(領域C)　発生中　オフ　する　15：発生中
移動　変更　ナビ ヘルプ　ページ移動　戻る 戻る　メニュー 終了

●その他

非常アラーム記録、機器異常、カメラ異常、IPアドレス変更を通知します。
また、ネットワークからHコマンドを通知する方法を設定できます。（→112ページ）


一般：通知：その他
要因　OSD表示　ブザーオン時間　メール　出力端子
非常アラーム記録　オフ　オフ　する　16：確認まで
機器異常　確認まで　オフ　する　17：発生中
カメラ異常　確認まで　オフ　する　18：発生中
IPアドレス変更　する
異常なし定時通知　する
外部通知1　オフ　オフ　しない　19：確認まで
外部通知2　オフ　オフ　しない　20：確認まで
移動　変更　ナビ ヘルプ　ページ移動　戻る 戻る　メニュー 終了

お知らせ

- ハードディスクとその他の通知する要因については、付録の「通知内容」（→119ページ）を参照してください。
- CHロスト表示の例：
  「カメラ異常」の「OSD表示」設定を
  【発生中】設定時　：映像入力が無し→有り状態になると表示は消えます。
  【確認まで】設定時：映像入力が無し→有り状態になっても表示は消えません。
- アラーム入力ランプ表示の例：
  「端子NO.3での記録」の「異常検知出力」設定を
  【13：発生中】設定時　：アラーム記録中は点灯し、アラーム記録終了後、消灯します。
  【15：確認まで】設定時：アラーム記録中は点灯し、アラーム記録終了後、点滅します。

●通知内容の設定項目

「OSD表示」　：異常やアラームを検知したときに、画面にその情報を表示します。

「ブザーオン時間」：異常やアラームを検知したときに、ブザーでその情報を通知します。

「メール」　：異常やアラームを検知したときに、メールを登録したメールアドレスに送信して通知します。送信先は最大5件まで設定することができます。

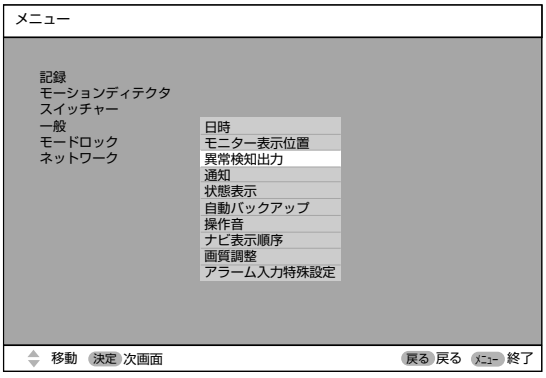
- メールで通知するようにするには、ネットワークの設定が必要です。（→「ネットワークの設定について」→98ページ）

「異常検知出力」　：異常やアラームを検知したとき、どのコントロール端子（No13～20）通知を設定するかをします。
コントロール端子No13～20に通知を設定する場合は、あらかじめ「一般：異常検知出力」メニューで通知方法と接続した機器の設定（【検知で短絡】/【検知で開放】）をしておきます。

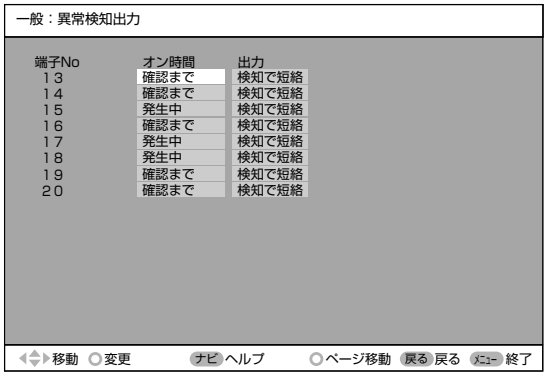
異常検知出力端子の通知を設定する

異常やアラームを検知したときに、どのコントロール端子No13～20に通知をするかを設定します。

1 メニュー ➡ ◁△▷で【一般】➡【異常検知出力】を選び、決定



2 ◁△▷で設定する端子の「オン時間」を選び、◯で通知する方法を選ぶ

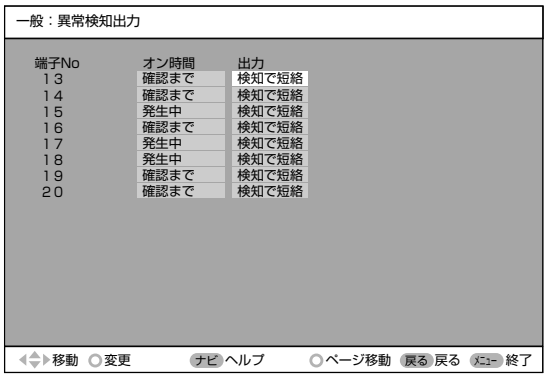


【1秒】～【5分】：選んだ時間だけオンになります。

【発生中】　：アラームを検知している間中オンになります。

【確認まで】　：「セキュリティナビゲーション」メニューの「アラーム確認」で確認されるまでオンになります。

3 ◁△▷で「出力」を選び、◯で設定を選ぶ



【検知で短絡】：アラーム入力時にGNDとショートします。（通常オープン）

【検知で開放】：アラーム入力時にオープンにします。（通常GNDとショート）

4 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

お知らせ

- コントロール端子に接続した通知方法（検知で短絡/検知で開放）は、外部機器の動作モードに合わせてください。

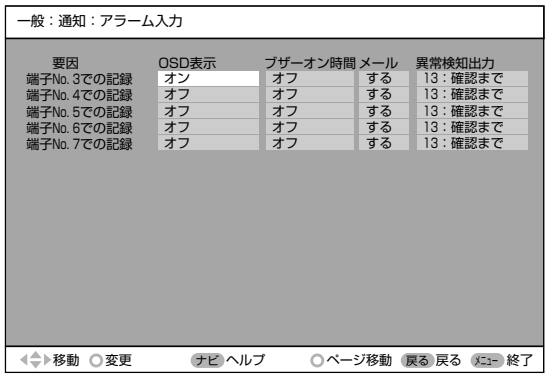
アラーム入力の通知を設定する

「アラーム入力」の設定で、アラームを検知したときの通知方法を設定します。

1 メニュー ➡ ◁△▷▽で【一般】➡【通知】➡【アラーム入力】を選び、決定

2 ◁△▷▽で「OSD表示」「ブザーオン時間」「メール」［異常検知出力」を選び、◯で確認方法を設定する

通知する方法と確認する方法を設定します。



■「OSD表示」　OSD表示を行う期間を設定します。

【1秒】～【5分】：選んだ時間だけ表示します。

【発生中】　：アラームを検知している間中表示します。

【確認まで】　：「セキュリティナビゲーション」メニューの「アラーム確認」で確認されるまで、表示します。

【オフ】　：表示されません。

■「ブザーオン時間」アラームを検知したときにブザーを鳴らす時間を設定します。

【1秒】～【5分】：選んだ時間だけブザーを鳴らします。

【発生中】　：アラームを検知している間中ブザーを鳴らします。

【確認まで】　：「セキュリティナビゲーション」メニューの「アラーム確認」で確認されるまで、ブザーを鳴らします。

【オフ】　：ブザーは鳴らしません。

■「メール」　アラームを検知したときにメールで発報するかを設定します。

【する】　：メールを送ります。

【しない】　：メールは送りません。

■「異常検知出力」　アラームを検知したときに、異常検知出力を行う期間を設定します。

【1秒】～【5分】：選んだ時間だけ異常検知出力を行います。

【発生中】　：アラームを検知している間中、異常検知出力を行います。

【確認まで】　：「セキュリティナビゲーション」メニューの「アラーム確認」で確認されるまで、異常検知出力を行います。

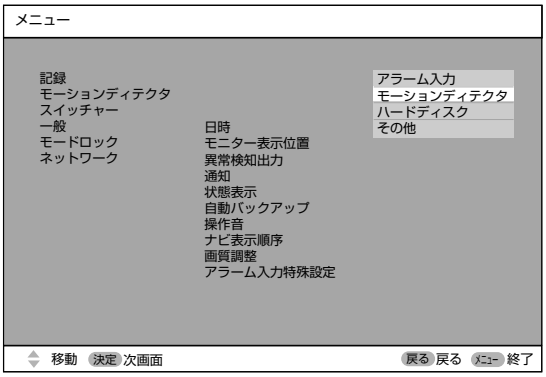
3 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

モーションディテクタの通知を設定する

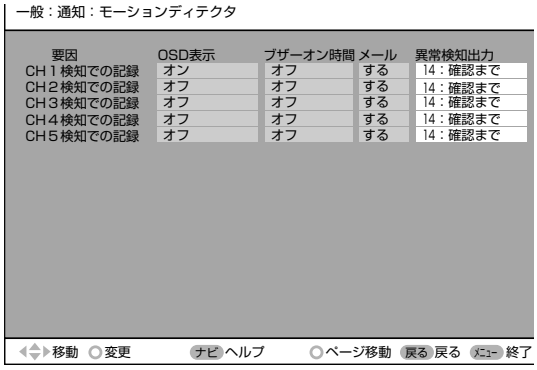
「モーションディテクタ」の設定で、アラームを検知したときの通知方法を設定します。

1 メニュー ➡ で【一般】➡【通知】➡【モーションディテクタ】を選び、決定



2 で「OSD表示」「ブザーオン時間」「メール」［異常検知出力］を選び、で確認方法を設定する

通知する方法と確認する方法を設定します。


一般：通知：モーションディテクタ
要因 OSD表示 ブザーオン時間 メール 異常検知出力
CH１検知での記録 オン オフ する 14：確認まで
CH２検知での記録 オフ オフ する 14：確認まで
CH３検知での記録 オフ オフ する 14：確認まで
CH４検知での記録 オフ オフ する 14：確認まで
CH５検知での記録 オフ オフ する 14：確認まで
移動 変更 ナビ ヘルプ ページ移動 戻る 戻る メニュー 終了

設定する値は、［アラーム入力の通知を設定する］2を参照してください。
ために設定します。

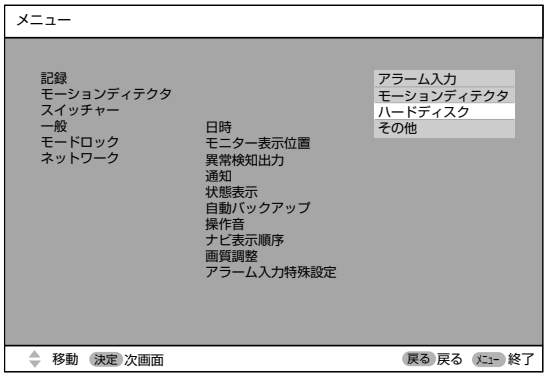
3 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

ハードディスクの通知を設定する

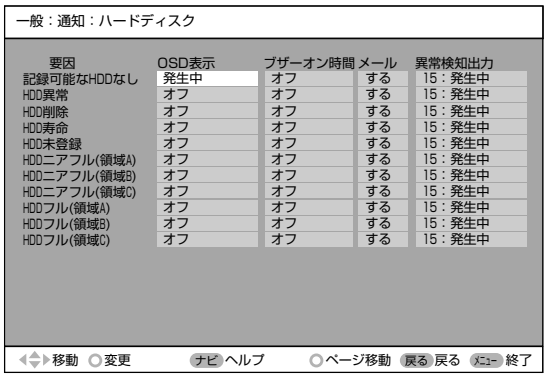
ハードディスクの状態を検知して、異常、寿命、未登録、フル、ニアフルの状態を通知する方法を設定します。

1 メニュー ➡ で【一般】➡【通知】➡【ハードディスク】を選び、決定



2 で「OSD表示」「ブザーオン時間」「メール」［異常検知出力］を選び、で確認方法を設定する

通知する方法と確認する方法を設定します。


一般：通知：ハードディスク
要因 OSD表示 ブザーオン時間 メール 異常検知出力
記録可能なHDDなし 発生中 オフ する 15：発生中
HDD異常 オフ オフ する 15：発生中
HDD削除 オフ オフ する 15：発生中
HDD寿命 オフ オフ する 15：発生中
HDD未登録 オフ オフ する 15：発生中
HDDニアフル(領域A) オフ オフ する 15：発生中
HDDニアフル(領域B) オフ オフ する 15：発生中
HDDニアフル(領域C) オフ オフ する 15：発生中
HDDフル(領域A) オフ オフ する 15：発生中
HDDフル(領域B) オフ オフ する 15：発生中
HDDフル(領域C) オフ オフ する 15：発生中
移動 変更 ナビ ヘルプ ページ移動 戻る 戻る メニュー 終了

設定する値は、［アラーム入力の通知を設定する］2を参照してください。
ために設定します。

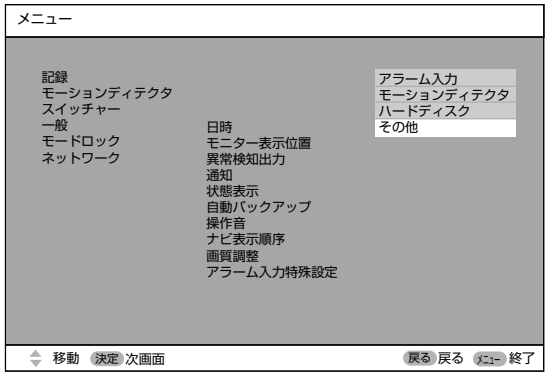
3 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

その他の通知を設定する

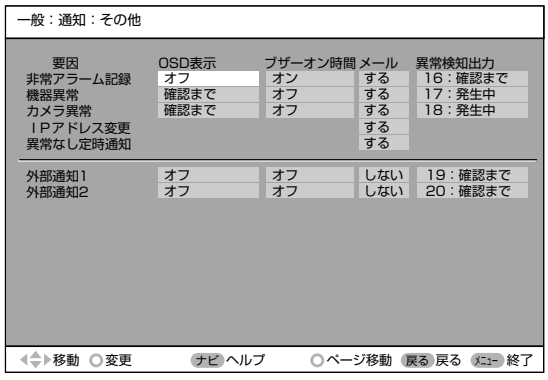
非常アラーム記録、機器異常、カメラ異常、IPアドレス変更を通知します。
また、ネットワークからHコマンド通知する方法を設定できます。

1 メニュー ➡ ◁△▷▽で【一般】➡【通知】➡【その他】を選び、決定



2 ◁△▷▽で「OSD表示」「ブザーオン時間」「メール」［異常検知出力」を選び、◯で確認方法を設定する

通知する方法と確認する方法を設定します。



「IPアドレス変更」：「本機のIPアドレスの取得」を【オート】に設定している場合、本機のIPアドレスが変更されたときにメールで通知します。

「異常なし定時通知」：本機に異常が発生していないことを１週間に１度メールで通知します

「外部通知1/2」：パソコンで制御しているときの、外部通知コマンド（H terminal）により、通知を設定することができます。

「非常アラーム記録」：非常アラーム記録が発生した場合や、非常アラームのプリ記録領域が一杯になった場合の通知方法を選択します。

「機器異常」：停電など機器に異常が発生した場合の通知方法を選択します。

「カメラ異常」：カメラに映像が入力されない等カメラに異常が発生した場合の通知方法を選択します。

3 メニュー

設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

ブザー音を止める

ブザーオン時間を「確認」に設定した場合、ブザー音を止めることができます。

1 ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ ➡ ◁△▷▽で【アラーム確認】を選び、決定

ブザー音が止まります。

画面に通知された情報を消す

OSD表示を「確認」に設定した場合、画面に表示されている情報を消すことができます。

1 ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ ➡ ◁△▷▽で【アラーム確認】➡ 決定

画面に表示されている情報が消えます。

その他の使いかた

外付けハードディスクの増設

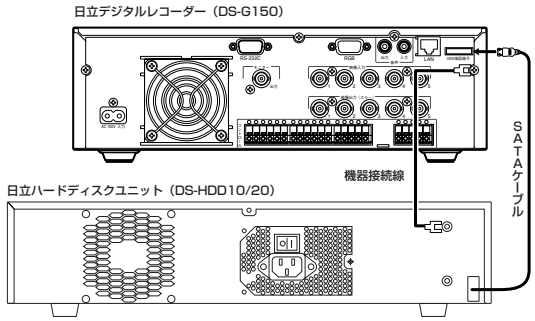
外付けハードディスクを増設する場合は、営業または販売店にお問い合わせください。

- ハードディスクは専用品に限ります。（DS-HDD10：1TB／HDD20：2TB）
- HDD増設端子への接続は1台までです。

●外付けハードディスクの接続について

- レコーダが稼働中の場合は、録画を止めて電源を切ります。
- 接続は、DS-HDD10/HDD20の本体に付いているSATAケーブルを使い、レコーダの「HDD増設端子」に接続します。
- 外付けハードディスクの電源を先に入れます。
- 次にレコーダの電源を入れます。

■ 接続のしかた



お知らせ

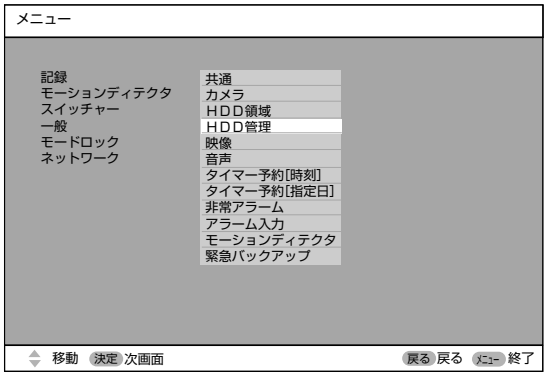
- 外付けハードディスクの電源はレコーダーより前に入れるかレコーダーと同時に入れてください。
  レコーダーの電源を先に入れると、外付けハードディスクを認識することができません。
- 外付けのハードディスクのみで記録することもできます。（本体に内蔵されているハードディスクは使用しません。）この場合は、営業または販売店にご相談ください。

●外付けハードディスクの登録のしかた

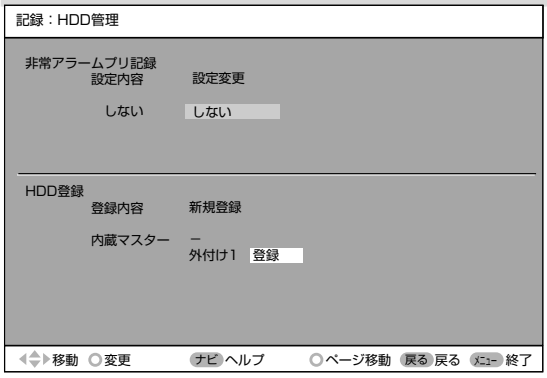
新しいハードディスクを使用する場合、登録が必要になります。外付けハードディスクを接続したら、外付けハードディスクの登録を行ってください。

1 メニュー ➡ ◁△▷▽で【記録】

➡【HDD管理】を選び、決定



2 ◁△▷▽で「HDD登録」の【登録】を選び、決定

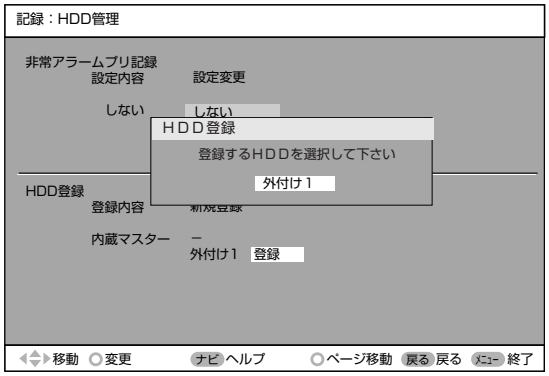


「内蔵マスター」：本機内蔵のマスターハードディスクを登録します

「外付1」：外付けのハードディスクを登録します

次ページへつづく

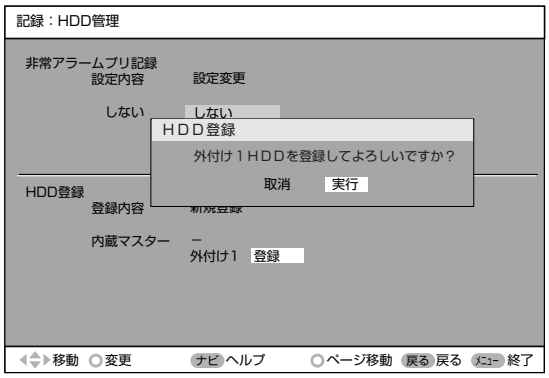
3 で登録するHDDを選び、決定



▼

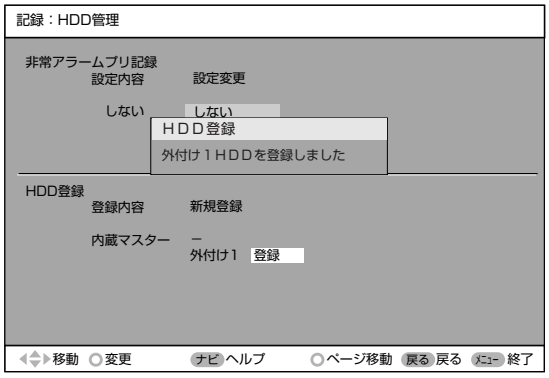
確認画面が表示されます。

4 で【実行】を選び、決定



外付けハードディスクが初期化され、登録されます。

5 決定



「HDD管理」画面に戻ります。

6 メニュー

設定内容が保存され、モニター画面に戻ります。

お知らせ

- 接続するハードディスクが無い場合は新規登録の表示がでません。また、すでに登録済みの場合は選択できません。

故障かな…と思ったら

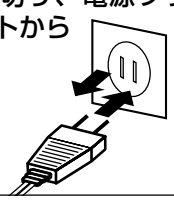
症　状	お調べください	処　置	参照ページ
電源ランプが点灯（赤）しない	• 電源入力端子から、電源コードが抜けていませんか。 • 電源コードはコンセントに差し込まれていますか。	• 電源コードが電源入力端子とコンセントに差し込まれているかを確認してください。	16
ボタンを押しても受け付けない	• モードロックの設定をしていませんか。補助情報領域に🔒マークが表示しているときはモードロック中です。	• モードロック解除の操作をしてください。	88
画面表示位置がおかしい。（文字が隠れている。）	• モニタ出力表示位置設定は正しいですか。	• 「一般：モニター表示位置」メニューで設定してください。	26
4分割画面表示で、黒い画面がある。	• カメラの映像は入力されていますか。	• 入力されていないチャンネルは黒く表示されます。	−
	• マスクの設定をしていませんか。	• マスクの設定を解除してください。	31
映像がまったくでない。	• カメラからの接続ケーブルは断線していませんか。	• ケーブルが断線していないかを確認ください。	−
	• カメラの電源は入っていますか。	• カメラの電源が入っているか確認ください。	−
	• モニターへの接続ケーブルが断線していませんか。	• ケーブルが断線していないかを確認ください。	−
自動切り換えができない。	• 再生中ではありませんか。	• 再生中は、自動切り換えできません。	−
	• カメラの映像入力数が少なくありませんか。	• 分割表示の場合、映像入力数によって、自動切り換えをしない場合があります。	−
	• メニュー画面を表示していませんか。	• メニュー画面を消してください。	−
音声が記録できない。	• 音声の接続ケーブルは、断線していませんか。	• ケーブルが断線していないかを確認ください。	−
	• 音声記録の設定が「しない」になっていませんか。	• 「記録：音声」メニューの一般で「する」に設定してください。	46
記録ができない。	• 残量ランプが点灯（緑）していませんか。	• ［セキュリティナビゲーション］ボタンを押して「セキュリティナビゲーション」メニューの「HDD残量復帰」を選んでください。ハードディスクの残量を強制的に100%に戻します。	43
	• 映像の記録設定が「−」になっていませんか。	• 映像記録メニューで「−」をレート設定してください。	
タイマー記録ができない。	• 残量ランプが点灯（緑）していませんか。	• ［セキュリティナビゲーション］ボタンを押して「セキュリティナビゲーション」メニューの「HDD残量復帰」を選んでください。ハードディスクの残量を強制的に100%に戻します。	43
	• タイマー録画（設定1〜設定4）が設定されていますか。 • タイマー記録設定時間は間違いありませんか。 • タイマー予約の設定をしましたか。	• タイマー録画の設定をしてください。 • 記録メニューのタイマー記録設定画面で設定をしてください。	48
	• ［タイマー］ボタンのランプが点灯していますか。	• ［タイマー］ボタンを押してタイマースタンバイ状態にしてください。	52
記録の設定変更ができない。	• 記録中になっていませんか。	• 記録を停止するか、停止するまで待ってから設定してください。	−
センサーアラーム記録ができない。	• コントロール端子3〜7にセンサーなどの出力が正しく接続されていますか。	• 正しく接続してください。	13
	• 連動記録チャンネルの設定は正しいですか。	• 連動記録チャンネルの設定を【○】に設定してください	57
	• 「記録：映像：一般」メニュー、「記録：映像：設定1〜設定4」メニューで、画質、レートは設定されていますか。	• 正しく設定してください。	55

付　録

症　　状	お調べください	処　　置	参照ページ
非常アラーム記録ができない	• コントロール端子2にセンサーなどの出力が正しく接続されていますか。	• 正しく接続してください。	13
非常アラームのプリ記録ができない	• プリ記録設定をしましたか。 • 一般記録設定レートが設定されていますか。 • 非常アラームプリ記録の設定が「する」になっていますか。	• プリ記録設定する（記録映像がフォーマットされます）。 • 一般記録設定レートを設定する。 • 設定を「する」にしてください。	53
再生中に、自動的に静止映像になってしまう。	• 記録の最後まで再生すると、自動的に静止映像になります。	—	–
再生ボタンを押すと、記録の始めに戻って再生を始める。	• 再生→停止→再生ボタンでは、停止したところから再生します。	• お好みの場所を再生したい場合は、各種サーチ機能で検索を行ってください。	72
	• 電源を入れたあとの最初の再生では、記録の始めから再生します。	—	–
逆転再生中に、自動的に静止映像になってしまう。	• 記録の最初まで逆転再生すると、自動的に静止映像になります。	—	–
外部ストレージが使えない。	• 外部ストレージは正しく接続されていますか。	• 外部ストレージを正しく接続してください。	79
	• 推奨の外部ストレージを使用していますか。	• 「推奨機器」を参照してください。	79
	• 外部ストレージが破損していませんか。	• 外部ストレージを交換してください。	–
	• 外部ストレージは、初期化されていますか。	• 外部ストレージの初期化を行ってください。	80
再生映像がスムーズに動かない。	• 記録レートが長くありませんか。	• 記録レートを短くしてください。	45、49
アラーム記録部分のインデックス検索ができない。	• アラーム記録をしましたか。	• アラーム記録をしてください。	55
	• 記録されている日付時刻範囲外を指定していませんか。	• 記録されている日付時刻範囲を指定してください。	–
日時絞込みサーチができない。	• 記録されている日付時刻範囲外を指定していませんか。	• 記録されている日付時刻範囲を指定してください。	76
	• 記録されていないチャンネルを指定していませんか。	• 記録されているチャンネルを指定してください。	–
タイムデートサーチができない。	• 記録されている日付時刻範囲外を指定していませんか。	• 記録されている日付時刻範囲を設定してください。	73
	• 記録されていないチャンネルを指定していませんか。	• 記録されているチャンネルを指定してください。	–
LAN機能が使えない	• ネットワーク設定は行いましたか。	• ネットワーク設定を行ってください。	98
モニター出力表示位置の設定ができない	• RGB端子につないだモニターの映像を見ていませんか。	• RGB端子ではモニター出力表示位置の設定はできません。モニター側で調整を行ってください。	26

上記以外の異常な動作が発生したときは…

HDD電源ボタンを3秒以上押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて再び差し込む



直らない

リセットボタンを押す（→17ページ）

直らない

営業またはお買い上げの販売店へご連絡ください。

異常検出と復旧方法

本機に異常があった場合の検出内容と復旧方法は下表の通りです。
通知内容は通知設定を参照ください。

異常種類	ワーニング情報表示	異常内容	復旧方法
ＨＤＤ未登録	「マスターＨＤＤ未登録」 「外付けＨＤＤ1未登録」 （白色表示）	登録されていないハードディスクが接続されたことを示す異常です。	1）セキュリティナビゲーションメニュー「ＨＤＤ登録」で登録します。 2）記録メニュー「ＨＤＤ管理」で登録します。
ＨＤＤ寿命	「マスターＨＤＤ寿命」 「外付けＨＤＤ1寿命」 （赤色表示）	３ｓタイムアウト累積100回。また、内蔵ハードディスクは12時間ごとに行っているSMART RETURN STATUSコマンドの応答により通知される異常です。	ハードディスクを交換します。サービスへご連絡ください。（139ページ）
ＨＤＤ異常	「マスターＨＤＤ異常」 「外付けＨＤＤ1異常」 （赤色表示）	ハードディスクへの書き込み／読み出しエラーの頻発、そのほかのハードディスクに関する異常です。	自動で再起動します
ＨＤＤ自動削除	「マスターＨＤＤ自動削除」 「外付けＨＤＤ1自動削除」	ハードディスク異常で再起動後もハードディスク異常が直らない場合、または既にハードディスク異常で5回再起動したことを示す異常です。	自動削除されたハードディスクを取り外します。 サービスへご連絡ください。（139ページ）
記録可能なＨＤＤなし	「記録可能なＨＤＤなし」	「ＨＤＤ未登録」もしくは「ＨＤＤ自動削除」で、記録できるハードディスクがないことを示す異常です。	ハードディスクを登録します。
緊急バックアップ記録中	「緊急バックアップ記録中」 （白色表示）	－	緊急バックアップ記録を停止します。
緊急バックアップ用ストレージ異常	「緊急用ストレージ異常」 （白色表示）	緊急バックアップ用ストレージの異常です。1日1回フォーマットされているか、ルートディレクトリが読めるかを確認し、読めない場合は異常です。	外部ストレージを取り外します。
ＨＤＤニアフル	－	ハードディスク残量が残量警告の設定値以下になったことを示す警告です。（リサイクルモードＳＴＯＰの時のみ）	セキュリティナビゲーションメニューから「ＨＤＤ残量復帰」を行います
ＨＤＤフル	「領域ｎ－ＨＤＤフル」 （ｎはＡ～Ｃ）	ハードディスク残量が無くなったことを示す異常です。（リサイクルモードＳＴＯＰの時のみ）	1）セキュリティナビゲーションメニューから「ＨＤＤ残量復帰」を行います。 2）リサイクルモードをRE-RECにします。

異常種類	ワーニング情報表示	異常内容	復旧方法
停電有り	「停電有り」（白色表示）	使用中、停電があったことを示す表示です。電源投入（ＨＤＤ異常での再起動時は表示しない）	セキュリティーナビゲーションメニューから「アラーム確認」を行います。
メモリ異常	「メモリ異常」（白色表示）	内蔵メモリのデータが壊れています（立上げ時のチェック）。あるいは内蔵メモリ書込みが行われないことを示す異常です。	電源投入で回復できない場合は、基板の交換が必要になります。サービスへご連絡ください。（139ページ）
ファン異常	「ファン異常」（赤色表示）	ファン回転の低下および停止，ファン電源供給コネクタ未接続（ファンの回転数低下により判別＝通常：毎秒６５回転／異常：毎秒３７回転以下）。	ＦＡＮを交換します。サービスへご連絡ください。（139ページ）
未初期化外部ストレージ	「未フォーマットストレージ」（白色表示）	未初期化のデバイスが接続されたことの異常です。	１）外部ストレージを初期化してください。 ２）外部ストレージを取り外してください。
未対応デバイス	「未対応デバイス」（白色表示）	未対応のデバイスが検出されたことの異常です。	外部ストレージを取り外してください。
ＣＨロスト	「ＣＨｎ　ロスト」（ｎ=1～5）（白色表示）	登録したチャンネルの映像が無い状態を示す異常です。	１）映像を入力します。 ２）セキュリティーナビゲーションメニューから「アラーム確認」を行います。
長時間画像暗い	「ＣＨｎ　長時間暗い」（ｎ=1～5）（白色表示）	入力された映像が設定時間、暗い事を検出したことを示す表示です。検出条件はメニュー設定によります。	１）入力画像を明るくします。 ２）メニューで検出しない設定にします。
長時間動き検知なし	「ＣＨｎ　長時間動き非検知」（ｎ=1～5）（白色表示）	当該チャンネルのモーションディテクタを設定時間検出できなかったことを示す表示です。検出条件はメニュー設定によります。	１）動き検知をさせてみます。 ２）メニューで動き検知しない設定にします。
アラーム記録(アラーム入力)	－	－	設定された記録時間（枚数）記録します。
非常アラーム記録	－	－	設定された記録時間（枚数）記録します。
非常アラームプリ記録フル	非常アラームプリ記録フル	非常アラーム記録のプリ記録領域が全て無くなったことを示す警告です。（非常アラーム記録のプリ記録件数は、内蔵HDDのみで最大８件、外付HDD使用時はさらに８件記録できます。）	記録されている非常アラーム部分の上書き禁止を解除します。記録日時の古いものから解除してください。（68ページ）解除したぶんだけ、新たにプリ記録ができるようになります。
機器動作停止	－	電源異常，システム異常による機器停止を検出した。	障害を除去し、機器に電源を供給します。

通知内容

通知項目	通知される条件	処置
アラーム入力 （CH1～CH5）記録	● アラーム入力1～5への入力によりアラーム記録を開始した時。	
CHn検知での記録（n=1～5）	● モーションディテクタによりアラーム記録を開始した時。	
記録可能なHDDなし	● 全てのHDDが削除され、記録できるHDDが一つもなくなった時。	● 該当するHDDを交換してください。
HDD異常	● HDDの書き込み/読み出しエラーが発生した時。	● 自動復旧(再起動)します。
HDD削除	● 前回HDD異常と次のHDD異常の間隔が10分以内であり、かつ5回連続で発生した時。 ● 登録抹消確認画面において無操作のまま5分経過した時。	● 該当するHDDを交換してください。
HDD寿命	● 自己診断で寿命と判断した時。	● 該当するHDDを交換してください。
HDD未登録	● 未登録のHDDを接続した時。	● HDD登録でHDDを登録してください。
HDDニアフル	● リサイクル機能がSTOPの場合、HDDの残量が設定値以下になった時。	
HDDフル	● リサイクル機能がSTOPの場合、HDDの残量がなくなった時。	● HDD残量復帰で残量を100%に戻してください。もしくはリサイクルモードをRE-RECにしてください。
非常アラーム記録	● 非常アラーム記録を開始した時。	
非常アラームプリ記録フル	● 非常アラーム記録のプリ記録領域が全て無くなったことを示す警告です。 （非常アラーム記録のプリ記録件数は、内蔵HDDのみで最大8件、外付HDD使用時はさらに8件記録できます。）	● 記録されている非常アラーム部分の上書き禁止を解除します。記録日時の古いものから解除してください。（68ページ）解除したぶんだけ、新たにプリ記録ができるようになります。
機器異常	● 停電有り：運用中に停電などによる電源断が発生した時。 ● ファン異常：ファン回転数の低下およびファン停止などによる異常が発生した時。	● ファン異常：ファンを交換してください。
カメラ異常	● CHロスト：メニューで記録設定をしているCHの映像が入力されていない時。 ● 長時間暗い：該当CHの映像が設定した期間暗いことを検知した時。 ● 動き検知なし：該当CHの映像が設定した期間動きがないことを検知した時。	● 該当CHの映像が正しく入力されているかを確認してください。
IPアドレス変更	● IPアドレスの取得をオートにしている場合、本機のIPアドレスが変更された時。	● ネットワークで本機にアクセスするIPアドレスを変更してください。

付　録

記録間隔表

●記録時間（通常記録）

カメラ1台の場合（非常アラームプリ記録無し）

画質モード	記録枚数／秒													
	30枚	15枚	10枚	7.5枚	6枚	5枚	3枚	2枚	1.5枚	1枚	0.8枚	0.5枚	0.2枚	0.1枚
Super	73h	147h	221h	295h	368h	442h	737h	1106h	1475h	2213h	2767h	4427h	11068h	22136h
Super（音声有り）	73h	144h	215h	285h	353h	420h	677h	976h	1253h	1747h	2075h	2887h	4743h	6037h
High	110h	221h	332h	442h	553h	664h	1106h	1660h	2213h	3320h	4150h	6640h	16602h	33204h
High（音声有り）	109h	215h	319h	420h	518h	614h	976h	1383h	1747h	2371h	2767h	3689h	5534h	6640h
Std	184h	368h	553h	737h	922h	1106h	1844h	2767h	3689h	5534h	6917h	11068h	27670h	55341h
Std（音声有り）	180h	353h	518h	677h	830h	976h	1509h	2075h	2554h	3320h	3773h	4743h	6385h	7218h
Basic	368h	737h	1106h	1475h	1844h	2213h	3689h	5534h	7378h	11068h	13835h	22136h	55341h	110682h
Basic（音声有り）	353h	677h	976h	1253h	1509h	1747h	2554h	3320h	3906h	4743h	5188h	6037h	7218h	7722h

カメラ5台の場合（非常アラームプリ記録無し）

画質モード	記録枚数／秒													
	30枚	15枚	10枚	7.5枚	6枚	5枚	3枚	2枚	1.5枚	1枚	0.8枚	0.5枚	0.2枚	0.1枚
Super	−	−	44h	59h	73h	88h	147h	221h	295h	442h	553h	885h	2213h	4427h
Super（音声有り）	−	−	44h	58h	73h	87h	144h	215h	285h	420h	518h	800h	1747h	2887h
High	−	44h	66h	88h	110h	132h	221h	332h	442h	664h	830h	1328h	3320h	6640h
High（音声有り）	−	44h	65h	87h	109h	130h	215h	319h	420h	614h	754h	1144h	2371h	3689h
Std	−	73h	110h	147h	184h	221h	368h	553h	737h	1106h	1383h	2213h	5534h	11068h
Std（音声有り）	−	73h	109h	144h	180h	215h	353h	518h	677h	976h	1185h	1747h	3320h	4743h
Basic	73h	147h	221h	295h	368h	442h	737h	1106h	1475h	2213h	2767h	4427h	11068h	22136h
Basic（音声有り）	73h	144h	215h	285h	353h	420h	677h	976h	1253h	1747h	2075h	2887h	4743h	6037h

カメラ1台の場合（非常アラームプリ記録有り）

画質モード	記録枚数／秒													
	30枚	15枚	10枚	7.5枚	6枚	5枚	3枚	2枚	1.5枚	1枚	0.8枚	0.5枚	0.2枚	0.1枚
Super	67h	134h	202h	269h	336h	404h	673h	1010h	1347h	2020h	2525h	4041h	10103h	20206h
Super（音声有り）	66h	132h	196h	260h	322h	383h	618h	891h	1143h	1595h	1894h	2635h	4330h	5510h
High	101h	202h	303h	404h	505h	606h	1010h	1515h	2020h	3031h	3788h	6062h	15155h	30310h
High（音声有り）	99h	196h	291h	383h	473h	561h	891h	1262h	1595h	2165h	2525h	3367h	5051h	6062h
Std	168h	336h	505h	673h	841h	1010h	1683h	2525h	3367h	5051h	6314h	10103h	25258h	50517h
Std（音声有り）	164h	322h	473h	618h	757h	891h	1377h	1894h	2331h	3031h	3444h	4330h	5828h	6589h
Basic	336h	673h	1010h	1347h	1683h	2020h	3367h	5051h	6735h	10103h	12629h	20206h	50517h	101034h
Basic（音声有り）	322h	618h	891h	1143h	1377h	1595h	2331h	3031h	3565h	4330h	4736h	5510h	6589h	7048h

カメラ5台の場合（非常アラームプリ記録有り）

画質モード	記録枚数／秒													
	30枚	15枚	10枚	7.5枚	6枚	5枚	3枚	2枚	1.5枚	1枚	0.8枚	0.5枚	0.2枚	0.1枚
Super	−	−	40h	53h	67h	80h	134h	202h	269h	404h	505h	808h	2020h	4041h
Super（音声有り）	−	−	40h	53h	66h	79h	132h	196h	260h	383h	473h	730h	1595h	2635h
High	−	40h	60h	80h	101h	121h	202h	303h	404h	606h	757h	1212h	3031h	6062h
High（音声有り）	−	40h	60h	79h	99h	119h	196h	291h	383h	561h	688h	1045h	2165h	3367h
Std	−	67h	101h	134h	168h	202h	336h	505h	673h	1010h	1262h	2020h	5051h	10103h
Std（音声有り）	−	66h	99h	132h	164h	196h	322h	473h	618h	891h	1082h	1595h	3031h	4330h
Basic	67h	134h	202h	269h	336h	404h	673h	1010h	1347h	2020h	2525h	4041h	10103h	20206h
Basic（音声有り）	66h	132h	196h	260h	322h	383h	618h	891h	1143h	1595h	1894h	2635h	4330h	5510h

（注） 記載の記録時間は予測値です。記録する映像や使用環境によって記録時間が変動します。

（注）（音声有り）は、音声入力記録の場合です。

●記録時間（プログレッシブ記録）

カメラ1台の場合（非常アラームプリ記録無し）

画質モード	記録枚数／秒													
	30枚	15枚	10枚	7.5枚	6枚	5枚	3枚	2枚	1.5枚	1枚	0.8枚	0.5枚	0.2枚	0.1枚
Super	55h	110h	166h	221h	276h	332h	553h	830h	1106h	1660h	2075h	3320h	8301h	16602h
Super（音声有り）	54h	109h	162h	215h	267h	319h	518h	754h	976h	1383h	1660h	2371h	4150h	5534h
High	73h	147h	221h	295h	368h	442h	737h	1106h	1475h	2213h	2767h	4427h	11068h	22136h
High（音声有り）	73h	144h	215h	285h	353h	420h	677h	976h	1253h	1747h	2075h	2887h	4743h	6037h
Std	110h	221h	332h	442h	553h	664h	1106h	1660h	2213h	3320h	4150h	6640h	16602h	33204h
Std（音声有り）	109h	215h	319h	420h	518h	614h	976h	1383h	1747h	2371h	2767h	3689h	5534h	6640h

カメラ5台の場合（非常アラームプリ記録無し）

画質モード	記録枚数／秒													
	30枚	15枚	10枚	7.5枚	6枚	5枚	3枚	2枚	1.5枚	1枚	0.8枚	0.5枚	0.2枚	0.1枚
Super	−	−	33h	44h	55h	66h	110h	166h	221h	332h	415h	664h	1660h	3320h
Super（音声有り）	−	−	33h	44h	54h	65h	109h	162h	215h	319h	395h	614h	1383h	2371h
High	−	−	44h	59h	73h	88h	147h	221h	295h	442h	553h	885h	2213h	4427h
High（音声有り）	−	−	44h	58h	73h	87h	144h	215h	285h	420h	518h	800h	1747h	2887h
Std	−	−	66h	88h	110h	132h	221h	332h	442h	664h	830h	1328h	3320h	6640h
Std（音声有り）	−	−	65h	87h	109h	130h	215h	319h	420h	614h	754h	1144h	2371h	3689h

カメラ1台の場合（非常アラームプリ記録有り）

画質モード	記録枚数／秒													
	30枚	15枚	10枚	7.5枚	6枚	5枚	3枚	2枚	1.5枚	1枚	0.8枚	0.5枚	0.2枚	0.1枚
Super	50h	101h	151h	202h	252h	303h	505h	757h	1010h	1515h	1894h	3031h	7577h	15155h
Super（音声有り）	50h	99h	148h	196h	244h	291h	473h	688h	891h	1262h	1515h	2165h	3788h	5051h
High	67h	134h	202h	269h	336h	404h	673h	1010h	1347h	2020h	2525h	4041h	10103h	20206h
High（音声有り）	66h	132h	196h	260h	322h	383h	618h	891h	1143h	1595h	1894h	2635h	4330h	5510h
Std	101h	202h	303h	404h	505h	606h	1010h	1515h	2020h	3031h	3788h	6062h	15155h	30310h
Std（音声有り）	99h	196h	291h	383h	473h	561h	891h	1262h	1595h	2165h	2525h	3367h	5051h	6062h

カメラ5台の場合（非常アラームプリ記録有り）

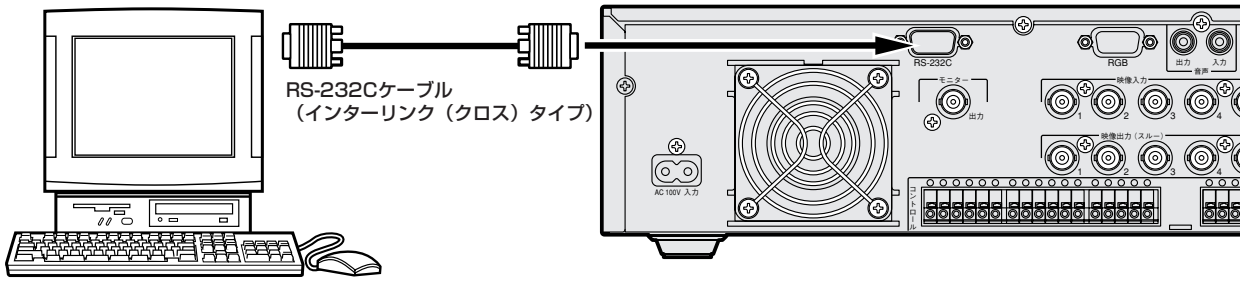
画質モード	記録枚数／秒													
	30枚	15枚	10枚	7.5枚	6枚	5枚	3枚	2枚	1.5枚	1枚	0.8枚	0.5枚	0.2枚	0.1枚
Super	−	−	30h	40h	50h	60h	101h	151h	202h	303h	378h	606h	1515h	3031h
Super（音声有り）	−	−	30h	40h	50h	60h	99h	148h	196h	291h	360h	561h	1262h	2165h
High	−	−	40h	53h	67h	80h	134h	202h	269h	404h	505h	808h	2020h	4041h
High（音声有り）	−	−	40h	53h	66h	79h	132h	196h	260h	383h	473h	730h	1595h	2635h
Std	−	−	60h	80h	101h	121h	202h	303h	404h	606h	757h	1212h	3031h	6062h
Std（音声有り）	−	−	60h	79h	99h	119h	196h	291h	383h	561h	688h	1045h	2165h	3367h

（注） 記載の記録時間は予測値です。記録する映像や使用環境によって記録時間が変動します。

（注）（音声有り）は、音声入力記録の場合です。

RS-232Cの通信仕様

本機をパーソナルコンピューターと接続して制御をします。



お知らせ

- 接続されたパーソナルコンピューターから各操作・設定ができます。本機とパーソナルコンピューターを接続するときは、市販のRS-232Cケーブル（インターリンク（クロス）タイプ）をお使いください。

●RS-232Cの仕様

全般

1．通信方式　　：調歩同期式
2．通信速度　　：1200、2400、4800、9600(初期値)、19200bps
3．通信形式　　：スタート 1bit、データ 8bit、ストップ (1bit)/2bit、
　　パリティ (NONE)/ODD/EVEN、フロー制御無し
　　(　)は初期値
4．使用コネクタ　：D−SUB9ピン
5．ピンアサイン
　①：CD　　②：RD（RX）　③：SD（TX）
　④：DTR　　⑤：GND　　⑥：DSR
　⑦：RTS　　⑧：CTS　　⑨：NC
　但し、④と⑥は短絡、①と⑦と⑧は短絡。
6．データ形式
　シフトJISコードで記述します。
　コマンド及び各パラメータの文字数は入力、応答を問わず16文字(16バイト)以内とします。
　但し、可変長文字列のパラメータを持つコマンドはコマンド毎に文字数制限を規定します。
　数を入力するパラメータでは、頭の0は省略可とします。
　数を応答する場合の頭に0を付加するかどうかは各コマンドの応答を参照ください。
7．コマンド形式
　“H"から始まり“*CR*”までを1コマンドとする。“*CR*”=0x0D
　“*CR*”～“H”の間のデータは無視します。
　　“H”＋スペース＋コマンド＋“*CR*”　　又は、
　　“H”＋スペース＋コマンド＋スペース＋パラメータ1＋スペース＋パラメータ2＋スペース＋･･･＋パラメータn＋“CR”
8．文字間の入力時間
　コマンド入力時は文字と文字の入力間隔は１０秒以内とします。１０秒以上経過すると入力は破棄されます。
　（例　“H”と入力してからスペースを入力するまでの時間です）

次ページへつづく

9．応答
レコーダはコマンドを正常受信すると(1)又は(2)の応答を10秒以内に返信します。送信側はレコーダからの応答を受信後、次のコマンドを発行してください。
（1）設定コマンド
コマンドを正常受信すると未定義コマンド／パラメータのチェックを行う
正常の場合は“H”＋スペース+“OK”＋“*CR*”（コマンドが有効か無効に拘わりなく）
未定義のコマンドの場合は“H”＋スペース＋“ERROR01”＋“*CR*”を返信します
パラメータ異常がある場合は“H”＋スペース＋“ERROR02”＋“*CR*”を返信します。
レコーダがBUSYの場合は“H”＋スペース＋"ERROR03”＋“*CR*”を返信します。
特権モード（１０．特権モード参照）でログインされていないため受け付けられない場合は“H”＋スペース+“ERROR04”＋“*CR*”を返信します。
既に特権ユーザがログイン済みのとき、他ユーザが特権ログイン要求時は“H”＋スペース＋“ERROR05”＋“*CR*”を返信します。
（2）状態確認コマンドの場合
（1）と同様に未定義コマンド／パラメータチェックを行い、異常の場合は“ERROR01”又は“ERROR02”を返信します。
正常の場合、収集した情報をもって応答とします。
レコーダがBUSYの場合は“ERROR03”を返信します。
特権モードでログインされていないため受け付けられない場合は“H”＋スペース＋“ERROR04”＋“*CR*”を返信します。
既に特権ユーザがログイン済みのとき、他ユーザが特権ログイン要求時は“H”＋ｽﾍﾟｰｽ＋“ERROR05”＋“*CR*”を返信します。

１０．機種情報
本仕様書に記載されている全てのコマンドを纏めてコマンドセットと呼びます。
コマンドセットはバージョン管理され、バージョン毎にサポートするコマンドを判別することができます。
リモート操作開始時に「機種情報」の 機種情報確認コマンドでバージョンを確認の上、コマンドを入力してください。
また、最大入力チャンネル数により、コマンドセットとしてサポートしていても、コマンドを受け付けない場合やパラメータの値の範囲が異なることがあります。

１１．特権モード
リモート操作を制限するため、コマンドには特権モード時のみ受け付けるコマンドと、常時受け付けるコマンドがあります。
特権モードでログインするには特権モードログインコマンドにより認証を受ける必要があります。
特権モードになってから、１分間コマンド入力が無い場合は通常モードに戻ります。

表　の　見　方

（1）未記入セルはスペースを意味します。
（2）“↓”は“*CR*”です。
（3）応答は“H”＋スペース＋RESPONSE＋“*CR*”形式です。
RESPONSE：
OK,ERROR01,ERROR02,ERROR03,ERROR04,ERROR05
（4）“特”欄
○：特権モード時のみ受け付けるコマンド
×：常時受け付けるコマンド

1．機種情報

機種情報を入手し、操作する機種を確認した上で各種コマンドを入力してください。

特	機能		コマンド														備考	コマンドセットバージョン		
	パラメータ説明				コマンド名		パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3		パラメータ4					0100	0102	
×	機種情報確認 機種名　コマンドセットバージョン 最大入力チャンネル数	送信 応答	H H		model? model=	↓	DS- G150		0000- 9999		5-16	↓					機種名：16文字までのASCII文字(0x21-0x7eスペースは除く) 例：DS-G150	○	○	

注）コマンドセットバージョン
　　0100　：　初回バージョン
　　0101　：　コマンド追加バージョン

2．特殊モードログイン

特権モードでログインします。

特	機能		コマンド														備考	コマンドセットバージョン		
	パラメータ説明				コマンド名		パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3		パラメータ4					0100	0102	
×	特権モード　ログイン ＩＤ、パスワード	送信 応答	H H		plogin PRIVILEGE_MODE NORMAL_MODE ERROR01 ERROR02 ERROR03 ERROR05	↓	guest1		000000	↓							※1	○	○	
×	特権モード　ログアウト	送信 応答	H H		plogout NORMAL_MODE ERROR01 ERROR02 ERROR03	↓ ↓												○	○	

※1　　リモート操作を制限するため、コマンドには特権モード時のみ受け付けるコマンドと、常時受け付けるコマンドがあります。
・ID/パスワード
文字数：6～32
文字種：半角英数記号(0x21-0X7D 但し0x22,0x27を除く)
・特権モードになってから、1分間コマンド入力が無い場合は通常モードに戻ります。

次ページへつづく

付　録

釦コマンド

フロントパネルでの釦操作と同じ制御を行います。

特	機能	コマンド				コマンドセットバージョン		
	パラメータ説明	H		コマンド名	↓	0100	0102	
○	フルマルチ	H		fullmulti	↓	○	○	
○	HDD電源	H		hddpower	↓	○	○	
○	自動切換	H		auto	↓	○	○	
○	1	H		sw1	↓	○	○	
○	2	H		sw2	↓	○	○	
○	3	H		sw3	↓	○	○	
○	4	H		sw4	↓	○	○	
○	5	H		sw5	↓	○	○	
○	↑	H		up	↓	○	○	
○	↓	H		down	↓	○	○	
○	→	H		right	↓	○	○	
○	←	H		left	↓	○	○	
○	記録	H		rec	↓	○	○	
○	再生/静止	H		play	↓	○	○	
○	停止	H		stop	↓	○	○	
○	ﾀｲﾏｽﾀﾝﾊﾞｲ	H		tstandby	↓	○	○	
○	メニュー	H		menu	↓	○	○	
○	検索	H		search	↓	○	○	
○	セキュリティナビ	H		navi	↓	○	○	
○	決定	H		decision	↓	○	○	
○	戻る	H		goback	↓	○	○	
○	ジョグ（右回し1クリック）	H		jog_right	↓	○	○	
○	ジョグ（左回し1クリック）	H		jog_left	↓	○	○	
○	シャトル（0°）	H		shuttle_0	↓	○	○	
○	シャトル（＋10°）	H		shuttle_+10	↓	○	○	
○	シャトル（＋20°）	H		shuttle_+20	↓	○	○	
○	シャトル（＋30°）	H		shuttle_+30	↓	○	○	
○	シャトル（＋40°）	H		shuttle_+40	↓	○	○	
○	シャトル（＋50°）	H		shuttle_+50	↓	○	○	
○	シャトル（＋60°）	H		shuttle_+60	↓	○	○	
○	シャトル（＋70°）	H		shuttle_+70	↓	○	○	
○	シャトル（－10°）	H		shuttle_－10	↓	○	○	
○	シャトル（－20°）	H		shuttle_－20	↓	○	○	
○	シャトル（－30°）	H		shuttle_－30	↓	○	○	
○	シャトル（－40°）	H		shuttle_－40	↓	○	○	
○	シャトル（－50°）	H		shuttle_－50	↓	○	○	
○	シャトル（－60°）	H		shuttle_－60	↓	○	○	
○	シャトル（－70°）	H		shuttle_－70	↓	○	○	
○	シャトル（0°）	H		shuttle0	↓	○	○	
○	シャトル（＋10°～＋30°）	H		shuttle_p1	↓	○	○	
○	シャトル（＋30°～＋50°）	H		shuttle_p2	↓	○	○	
○	シャトル（＋50°～＋60°）	H		shuttle_p3	↓	○	○	
○	シャトル（＋60°～＋70°）	H		shuttle_p4	↓	○	○	
○	シャトル（＋60°～＋70°）	H		shuttle_p5	↓	○	○	
○	シャトル（－10°～－30°）	H		shuttle_m1	↓	○	○	
○	シャトル（－30°～－50°）	H		shuttle_m2	↓	○	○	
○	シャトル（－50°～60°）	H		shuttle_m3	↓	○	○	
○	シャトル（－60°～－70°）	H		shuttle_m4	↓	○	○	
○	シャトル（－70°～－80°）	H		shuttle_m5	↓	○	○	
○	一般記録停止（停止釦3秒押し）	H		nrecstop	↓	○	○	
○	タイマ記録停止（ﾀｲﾏｽﾀﾝﾊﾞｲ3秒押し）	H		trecstop	↓	○	○	
○	保護モード(HDD電源3秒押し)	H		hddpoweroff	↓	○	○	

ナビ操作

特	機能		コマンド																備考	コマンドセットバージョン		
	パラメータ説明				コマンド名		パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3		パラメータ4		パラメータ5		パラメータ6			0100	0102	
○	モードロック	送信	H		lock		1-5	↓											特権ログイン時の操作レベルがモード1の場合だけモードの変更ができます。	○	○	
		応答	H		*RESPONSE*	↓																
○	アラームリセット	送信	H		almreset	↓														○	○	
		応答	H		*RESPONSE*	↓																
○	HDD残量復帰 リセットする領域(a～c)	送信	H		fullreset		a-c	↓												○	○	
		応答	H		*RESPONSE*	↓																
○	上書き禁止区間指定	送信	H		protect		パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3		パラメータ4		パラメータ5		パラメータ6			○	○	
							0-99		1-12		1-31		0-23		0-59		0-59					
							パラメータ7		パラメータ8		パラメータ9		パラメータ10		パラメータ11		パラメータ12					
							0-99		1-12		1-31		0-23		0-59		0-59	↓				
		応答	H		*RESPONSE*	↓																
○	ズーム 倍率,位置X,位置Y	送信	H		zoom		0-15		-15~+15		-15~15	↓							倍率に1を指定するとズームモードから抜ける 位置Xと位置Yのセンターは0を指定。	○	○	
		応答	H		*RESPONSE*	↓																
○	音声切り換え 音声0:無し	送信	H		audio		0-4	↓												○	○	
		応答	H		*RESPONSE*	↓																
○	最新画像再生	送信	H		play_newest	↓														○	○	
		応答	H		*RESPONSE*	↓																
○	モーションディテクタ 再生	送信	H		mdplay		on off	↓												○	○	
		応答	H		*RESPONSE*	↓																
○	再生時刻表示 original:補正前の時刻 correct:補正後の時刻 (通常の表示) now:再生時刻を表示しない:常に現在時刻	送信	H		playtime		original correct now	↓												○	○	
		応答	H		*RESPONSE*	↓																

3．機器設定/確認コマンド

機器の設定をレコーダのメニュー画面単位で行います。
設定が成功したかどうかは「機器確認」コマンドで確認してください。

重　要

- 記録メニュー設定変更時の注意
  「記録メニュー設定」を参照ください。
- 「記」欄について
  否：記録中設定変更不可。
  可：記録中でも設定可。
  （否コマンドを記録中に発行した場合、H OKを返しますが、設定変更は行いません。）

付　録

（1）設定全般

パラメータ間はスペース１文字で区切られます。
各コマンドの最後は、キャリッジリターンを付加してください。

a）機器設定

コマンド形式　「H func 機能番号 param1 param2 ・・・CR 」
応答形式　　「H RESPONSE CR」
各パラメータは、フルスペルで入力しなくても、先頭から一部入力でも認識されます。一部入力時には、他のパラメータと識別できる長さのものを入力してください。

b）機器確認

コマンド形式　「H func? 機能番号 [種別] CR」
応答形式　　「H func= 機能番号 [種別] param1 param2 CR」
※ [種別]
種別があるものだけ指定する。種別がないものは指定しない。
チャンネル番号、スケジュール種別、アラーム端子No.、モーションディテクタＣＨ No.、各分割画面種別、領域種別等がある。

・下記一覧表の「設定例」項目は、コマンド先頭の「H func 機能番号」は省略してあります。

（2）記録メニュー

特	記	機能	機能番号	項目	設定値	設定例	確認コマンド例
○	否	カメラ設定	0000	カメラ種別[チャンネルX5]	progressive/normal	p p p p p	H func? 0
○	否	共通設定	0001	アラーム記録単位	times/number	number	H func? 1
○	否	HDDフォルダ設定（イベント記憶領域）	0002	記録種別[一般/タイマー/アラーム] 領域[映像×5/音声×1]	1：一般 2：タイマー 3：アラーム -/a/b/c	3 a a a a a	H func? 2
○	否	HDDフォルダ設定（記憶領域容量）	0003	HDD記録領域 領域A(%) 領域B、C(%)	 1～100 0～100	 50 30 20	H func? 3
○	否	HDDフォルダ設定（リサイクルモード）	0004	リサイクルモード [領域X3]	stop/cont	stop cont stop	H func? 4
○	否	HDDフォルダ設定（残量警告）	0005	残量警告(%)[領域X3]	1～50	15 20 20	H func? 5
○	否	一般記録・タイマー記録設定	0007	設定No. チャンネル番号 一般 画質 レート プリ 画質 レート 時間(アラーム記録単位がtimes時) 枚数(アラーム記録単位がnumber時) ポスト 画質 レート 時間(アラーム記録単位がtimes時) 枚数(アラーム記録単位がnumber時)	1:一般 2～5:タイマー 1～5 ※1 ※2 ※1 ※2　※3 1s/2s/3s/4s/5s/6s/7s/8s/9s/10s 0～10 ※1 ※2　※3 10s/20s/30s/60s/120s/180s/manual 1～10	 2 5 h/10 h/10/7s super/30/10s	H func? 7 1 5
○	否	指定日	0008	指定日 月/日[20]	月：-/1～12　日：-/1～31	-/- 1/1 -/- 2/2 -/- 3/3 -/- 4/4 -/- 5/5 -/- 6/6 -/- 7/7 -/- 8/8 -/- 9/9 -/- 10/10	H func? 8
○	否	音声記録設定	0009	音声記録設定種別 CH[1]	1:一般、2～5:設定 off/on	9 1 on	H func? 9

特	記	機能	機能番号	項目	設定値	設定例	確認コマンド例
○	否	スケジュール設定	0010	スケジュール種別 曜日、指定日 月、火、水、木、金、土、日、指 開始時刻 時間 分 終了時刻 時間 分 映像 音声	1~8 off/on 00~23 00~59 00~24 00~59 1~4 1~4	5 on on on on on on on 12:15-21:45 2 4	H func? 10 1
○	否	非常アラーム記録設定	0011	チャンネル番号 ポスト 画質 レート 時間(全チャンネル共通)	1~5 ※1 -/30/15/10/7.5/06/05/03/02/1.5/01/0.5 ※3 10s/20s/30s/60s/120s/180s/manual	2 super/30/10s	H func? 11 5
○	否	アラーム記録CH設定	0012	アラーム端子No. 連動記録チャンネル[5] 検知 一日あたりオン回数	1~5 off/on close/open 0~99999	3 on/on/on/on/off c 9	H func? 12 5
○	否	モーションディテクタCH設定	0013	モーションディテクタCH No. 連動記録チャンネル[5] 一日あたりオン回数	1~5 off/on 0~99999	5 on/on/on/on/off 500	H func? 13 5
○	否	緊急バックアップ設定	0014	緊急バックアップ	none/a~j	a	H func? 14
○	否	自動記録	0020	自動記録	on/off	on	H func? 20
○	否	非常アラームプリ記録設定	0021	する／しない	on/off ※取得のみで、設定不可	設定コマンドはありません	H func? 21
○	否	一般記録・タイマー記録設定連続入力開始 以前、連続設定コマンド(0082)で受けた内容を破棄します	0081	設定No.	1:一般 2~5:タイマー	1	全てのチャンネルが計算コマンドを受けていない状態であればOK。1チャンネルでも受けている状態であればNG H func? 81 1 (応答 H func= 81 1 ok/ng)
○	否	一般記録・タイマー記録設定連続入力 連続設定用の情報として一般記録・タイマー記録設定連続入力開始(0081)を受けるまで保持されます。 このコマンドを受けても設定の変更は行なわれません	0082	一般記録・タイマー記録設定(0007)と同じ	一般記録・タイマー記録設定(0007)と同じ	一般記録・タイマー記録設定(0007)と同じ	一般記録・タイマー記録設定(0007)と同じ 計算入力をしてないチャンネルは本体の設定値を返します
○	否	一般記録・タイマー記録設定計算 一般記録・タイマー記録設定連続入力(0082)で入力された　設定値で設定できるか判定する。計算入力をしてないチャンネルは本体に設定されている値を使用します	0083	設定No. 設定可否 使用率[%] 最大プリ時間[秒]	1:一般 2~5:タイマー ok/ng 0-400 1-10	設定コマンドはありません	H func? 83 1 (応答 H func= 83 1 ok 100 5)
○	否	一般記録・タイマー記録設定 連続入力を設定する 一般記録・タイマー記録設定連続入力(0082)で入力された設定値を設定する。	0084	設定No.	1:一般 2~5:タイマー	1	直前のH func 84で設定が成功していたらOK 失敗ならNG H func? 84 1 (応答 H func= 84 1 ok/ng)
○	否	非常アラーム記録設定連続入力開始 以前、連続入力コマンド(0092)で受けた内容を破棄します	0091	設定No.	1 (固定)	1	全てのチャンネルが計算コマンドを受けていない状態であればOK。1チャンネルでも受けている状態であればNG H func? 91 1 (応答 H func= 91 1 ok/ng)
○	否	非常アラーム記録設定連続入力 連続入力用の情報として非常アラーム記録設定計算開始(0091)を受けるまで保持されます。設定の変更は行なわれません	0092	非常アラーム記録設定(0011)と同じ	非常アラーム記録設定(0011)と同じ	非常アラーム記録設定(0011)と同じ	非常アラーム記録設定(0011)と同じ 計算入力をしてないチャンネルは本体の設定値を返します

特	記	機能	機能番号	項目	設定値	設定例	確認コマンド例
○	否	非常アラーム記録設定計算 非常アラーム記録設定計算入力(0092)で入力された設定値で設定できるか判定する。計算入力をしてないチャンネルは本体に設定されている値を使用する	0093	設定No. 設定可否 使用率[%]	1 (固定) ok/ng 0-400	設定コマンドはありません	H func? 93 1 (応答 H func= 93 1 ok 100)
○	否	非常アラーム記録設定連続入力を設定する 非常アラーム記録設定計算入力(0092)で入力された設定値を設定する	0094	設定No.	1 (固定)	直前のH func 94で設定が成功していたらok　失敗ならNG 1	H func? 94 1 (応答 H func= 94 1 ok/ng)

※1 一般記録・タイマー記録・非常アラーム記録設定の画質
（1） 該当するCHがノーマルカメラの場合、「super/high/standard/basic」のいずれかを選択可。
（2） 該当するCHがプログレッシブカメラの場合、「super/high/standard」のいずれかを選択可。
※2 一般記録・タイマー記録設定のプリ・ポストのレート
（1） 一般記録設定のレートが「 - 」の場合、「-/30/15/10/7.5/06/05/03/02/1.5/01/0.8/0.5」から選択可。
（2） 一般記録設定のレートが「30」の場合、「-/30」から選択可。
（3） 一般記録設定のレートが「15」の場合、「-/30/15」から選択可。
（4） 一般記録設定のレートが「10」の場合、「-/30/10」から選択可。
（5） 一般記録設定のレートが「7.5」の場合、「-/30/15/7.5」から選択可。
（6） 一般記録設定のレートが「6」の場合、「-/30/06」から選択可。
（7） 一般記録設定のレートが「5」の場合、「-/30/15/10/05」から選択可。
（8） 一般記録設定のレートが「3」の場合、「-/30/15/06/03」から選択可。
（9） 一般記録設定のレートが「2」の場合、「-/30/10/06/02」から選択可。
（10）一般記録設定のレートが「1.5」の場合、「-/30/15/7.5/06/03/1.5」から選択可。
（11）一般記録設定のレートが「1」の場合、「-/30/15/10/06/05/03/02/01」から選択可。
（12）一般記録設定のレートが「0.8」の場合、「-/30/15/0.8」から選択可。
（13）一般記録設定のレートが「0.5」の場合、「-/30/15/10/06/05/03/02/01/0.5」から選択可。
（14）一般記録設定のレートが「0.2」の場合、「-/30/15/10/06/05/03/02/01」から選択可。
（15）一般記録設定のレートが「0.1」の場合、「-/30/15/10/7.5/06/05/03/02/1.5/01/0.5」から選択可。
※3 一般記録・タイマー記録・非常アラーム記録設定のレート
一般記録・タイマー記録・非常アラーム記録の各々のレートが560fpsを超える設定はできない。

(3) モーションディテクタメニュー

特	記	機能	機能番号	項目	設定値	設定例	確認コマンド例
○	否	領域設定	0100	チャンネル番号 領域名 領域（x 1　y 1　x 2　y 2）	1～5 a-h x1 y1 x2 y2(x:0-43/y:0-29)	1 a 0 0 10 15	H func? 100 1 a
○	否	感度設定	0101	チャンネル番号 領域名 感度	1～5 a-h off:OFF/ low:低感度/ normal:標準/ high:高感度	1 a high	H func? 101 1 a
○	否	滞留時間設定	0102	チャンネル番号 領域名 滞留時間	1～5 a-h off/5s/10s/30s/1m/2m/3m/5m	1 a 1m	H func? 102 1 a
○	否	検知枚数設定	0103	チャンネル番号 検知枚数	1～5 0/1/2/4/6/8/15/30	1 15	H func? 103 1 a
○	否	検知サイズ	0104	チャンネル番号 検知サイズ	1～5 small:小/normal:中/large:大	1 small	H func? 104 5
○	否	急激変化検知設定	0105	チャンネル番号 急激変化検知	1～5 off/on	5 off	H func? 105 5
○	否	カメラ異常検知設定（長時間暗い）	0106	チャンネル番号 長時間暗い検知	1～5 off/1～23h/1～30d	3 3h	H func? 106 5
○	否	カメラ異常検知設定（長時間動き無し）	0107	チャンネル番号 長時間動き無し検知	1～5 off/1～23h/1～30d	5 3d	H func? 107 5
○	否	グループ検知条件設定	0108	チャンネル番号 Gr. 1/時間差1/Gr. 2/時間差2/Gr. 3/時間差3/Gr. 4	1～5 Ｇｒ．Ｎ：-/a/b/c/d 時間差：same/1s-59s/1m-10m	1 a same b 1m c 44s d	H func? 108 1
○	否	稼働時間帯設定	0109	開始時刻 時 分 終了時刻 時 分	 0～23 0/10/20/30/40/50 0～24 0/10/20/30/40/50	10 0 19 30	H func? 109

(4) スイッチャーメニュー

特	記	機能	機能番号	項目	設定値	設定例	確認コマンド例
○	可	自動切換設定(自動切換釦・通常映像)	0201	自動切換(自動切換釦) 通常映像	external/1～10s	external	H func? 201
○	可	自動切換設定(自動切換釦・アラーム切換)	0203	自動切換(アラーム切換) 通常映像	1～10s	1s	H func? 203
○	可	自動切換設定(自動切換釦・アラーム切換期間)	0204	自動切換(アラーム切換期間) 通常映像	5s/10s/20s/30s/40s/ 50s/60s/alarm/none	60s	H func? 204
○	可	CH個別設定 (メイン画面フル画面・スキップ)	0210	チャンネル番号 スキップ	1～5 off/on	5 off	H func? 210 3
○	可	CH個別設定 (メイン画面フル画面・マスク)	0211	チャンネル番号 マスク	1～5 off/on	10 on	H func? 211 4
○	可	CH個別設定（チャンネル名称設定）	0214	チャンネル番号 名称[1～24]	1～5 ※1	1 事務所	H func? 214 7
○	可	通常映像画面構成設定 (4分割画面・構成)	0220	4分割画面種別 構成[4]	a 各*/1～5(チャンネルの重複は不可)	b 1/2/3/4	H func? 220 a
○	可	通常映像画面構成設定		スキップ	off/on	c on	H func? 221 a
○	可	通常映像画面構成設定 (6分割画面・構成)	0226	6分割画面種別 構成[6](子/子/子/子/子/親の順)	各*/1～5(子画面でのチャンネルの重複は不可)	設定例： 1/2/3/4/5/1	H func? 226
○	可	画面スキップ設定（フル画面）	0230	フル画面	off/on	on	H func? 230
○	可	画面スキップ設定（4分割画面）	0231	4分割	off/on	off	H func? 231
○	可	画面スキップ設定（6分割画面）	0235	6分割	off/on	on	H func? 235

※1 チャンネル名称パラメータについて

(1)　入力可能文字
- 半角文字
  シフトJISコード(0x21～0x7E）の文字。但し、単一引用符(0x27)、二重引用符(0x22)を除く
  カナ文字
- 全角文字
  ひらがな
  カタカナ
  漢字

(2)　入力可能文字数
  全角12文字（半角24文字）

次ページへつづく

(5) 一般メニュー

特	記	機能	機能番号	項目	設定値	設定例	確認コマンド例
○	否	日時設定(年月日時分)	0300	日時 年 月 日 時 分 秒	 2006～2099 1～12 1～31 0～23 0～59 0～59	2010/12/31 11:45:00	H func? 300
○	否	日時設定(時刻カウント基準)	0301	時刻カウント基準	frequency/crystal	crystal	H func? 301
○	否	日時設定(タイムアジャスト)	0302	タイムアジャスト 調時時刻	master/slave/network 00～23	master 05	H func? 302
○	否	日時設定(時刻補正)	0303	時刻補正	off/on	on	H func? 303
○	可	モニタ出力表示位置設定 ※1	0304	表示位置調整	up/down/left/right/zoom-/zoom+	zoom-	H func? 304
○	可	異常出力端子設定	0310	異常出力端子No. オン時間 検知	1～8 1～5s/10s/20s/30s/1～5m/ once/(during)/confirm close/open	5 20s open	H func? 310 8
○	可	通知設定1／4：アラーム入力 (OSD表示)	0320	アラーム入力No. OSD表示	1～5 off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	1 off	H func? 320 1
○	可	通知設定1／4：アラーム入力 (ブザーオン時間)	0321	アラーム入力No. ブザーオン時間	1～5 off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	4 10s	H func? 321 2
○	可	通知設定1／4：アラーム入力 (メール送信)	0322	アラーム入力No. メール送信	1～5 on/off	5 off	H func? 322 3
○	可	通知設定1／4：アラーム入力 (異常検知出力)	0323	アラーム入力No. 異常検知出力	1～5 -/1～8	15 -	H func? 323 4
○	可	通知設定2／4：動き検知 (OSD表示)	0324	モーションディテクタCH No. OSD表示	1～5 off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	1 off	H func? 324 2
○	可	通知設定2／4：動き検知 (ブザーオン時間)	0325	モーションディテクタCH No. ブザーオン時間	1～5 off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	4 10s	H func? 325 3
○	可	通知設定2／4：動き検知 (メール送信)	0326	モーションディテクタCH No. メール送信	1～5 off/on	5 off	H func? 326 4
○	可	通知設定2／4：動き検知 (異常検知出力)	0327	モーションディテクタCH No. 異常検知出力	1～5 -/1～8	3 8	H func? 327 5
○	可	通知設定3／4：ハードディスク (HDDなし：OSD表示)	0328	HDDなし OSD表示	off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	off	H func? 328
○	可	通知設定3／4：ハードディスク (HDDなし：ブザーオン時間)	0329	HDDなし ブザーオン時間	off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	10s	H func? 329
○	可	通知設定3／4：ハードディスク (HDDなし：メール送信)	0330	HDDなし メール送信	on/off	on	H func? 330
○	可	通知設定3／4：ハードディスク (HDDなし：異常検知出力)	0331	HDDなし 異常検知出力	-/1～8	8	H func? 331

特	記	機能	機能番号	項目	設定値	設定例	確認コマンド例
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDD異常：OSD表示）	0332	HDD異常 OSD表示	off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	off	H func? 332
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDD異常：ブザーオン時間）	0333	HDD異常 ブザーオン時間	off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	10s	H func? 333
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDD異常：メール送信）	0334	HDD異常 メール送信	on/off	on	H func? 334
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDD異常：異常検知出力）	0335	HDD異常 異常検知出力	-/1～8	8	H func? 335
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDD削除：OSD表示）	0336	HDD削除 OSD表示	off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	off	H func? 336
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDD削除：ブザーオン時間）	0337	HDD削除 ブザーオン時間	off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	10s	H func? 337
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDD削除：メール送信）	0338	HDD削除 メール送信	on/off	on	H func? 338
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDD削除：異常検知出力）	0339	HDD削除 異常検知出力	-/1～8	8	H func? 339
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDD寿命：OSD表示）	0340	HDD寿命 OSD表示	off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	off	H func? 340
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDD寿命：ブザーオン時間）	0341	HDD寿命 ブザーオン時間	off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	10s	H func? 341
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDD寿命：メール送信）	0342	HDD寿命 メール送信	on/off	on	H func? 342
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDD寿命：異常検知出力）	0343	HDD寿命 異常検知出力	-/1～8	8	H func? 343
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDD未登録：OSD表示）	0344	HDD未登録 OSD表示	off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	off	H func? 344
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDD未登録：ブザーオン時間）	0345	HDD未登録 ブザーオン時間	off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	10s	H func? 345
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDD未登録：メール送信）	0346	HDD未登録 メール送信	on/off	on	H func? 346
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDD未登録：異常検知出力）	0347	HDD未登録 異常検知出力	-/1～8	8	H func? 347
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDDニアフル：OSD表示）	0348	領域種別 OSD表示	a/b/c off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	off	H func? 348 a
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDDニアフル：ブザーオン時間）	0349	領域種別 ブザーオン時間	a/b/c off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	10s	H func? 349 b
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDDニアフル：メール送信）	0350	領域種別 メール送信	a/b/c on/off	on	H func? 350 a

次ページへつづく

特	記	機能	機能番号	機能	設定値	設定例	確認コマンド例
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDDニアフル：異常検知出力）	0351	領域種別 異常検知出力	a/b/c -/1～8	8	H func? 351 b
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDDフル：OSD表示）	0352	領域種別 OSD表示	a/b/c off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	a off	H func? 352 c
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDDフル：ブザーオン時間）	0353	領域種別 ブザーオン時間	a/b/c off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	b 10s	H func? 353 b
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDDフル：メール送信）	0354	領域種別 メール送信	a/b/c on/off	c on	H func? 354 c
○	可	通知設定3／4：ハードディスク（HDDフル：異常検知出力）	0355	領域種別 異常検知出力	a/b/c -/1～8	a 8	H func? 355 a
○	可	通知設定4／4：その他（非常アラーム記録：OSD表示）	0356	非常アラーム記録 OSD表示	off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	off	H func? 356
○	可	通知設定4／4：その他（非常アラーム記録：ブザーオン時間）	0357	非常アラーム記録 ブザーオン時間	off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	10s	H func? 357
○	可	通知設定4／4：その他（非常アラーム記録：メール送信）	0358	非常アラーム記録 メール送信	on/off	on	H func? 358
○	可	通知設定4／4：その他（非常アラーム記録：異常検知出力）	0359	非常アラーム記録 異常検知出力	-/1～8	8	H func? 359
○	可	通知設定4／4：その他（機器異常：OSD表示）	0360	機器異常 OSD表示	off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	off	H func? 360
○	可	通知設定4／4：その他（機器異常：ブザーオン時間）	0361	機器異常 ブザーオン時間	off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	10s	H func? 361
○	可	通知設定4／4：その他（機器異常：メール送信）	0362	機器異常 メール送信	on/off	on	H func? 362
○	可	通知設定4／4：その他（機器異常：異常検知出力）	0363	機器異常 異常検知出力	-/1～8	8	H func? 363
○	可	通知設定3／3：その他（カメラ異常：OSD表示）	0364	カメラ異常　　OSD表示	off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	off	H func? 364
○	可	通知設定3／3：その他（カメラ異常：ブザーオン時間）	0365	カメラ異常 ブザーオン時間	off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	10s	H func? 365
○	可	通知設定3／3：その他（カメラ異常：メール送信）	0366	カメラ異常 メール送信	off/on	on	H func? 366
○	可	通知設定3／3：その他（カメラ異常：異常検知出力）	0367	カメラ異常 異常検知出力	-/1～8	8	H func? 367
○	可	通知設定3／3：その他（IPアドレス変更：メール送信）	0368	IPアドレス変更 メール送信	on/off	off	H func? 368
○	可	通知設定3／3：その他（異常なし定時通知：メール送信）	0369	異常なし定時通知 メール送信	on/off	on	H func? 369
○	可	通知設定3／3：その他（外部通知1：OSD表示）	0370	外部通知1 OSD表示 ※2	off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	off	H func? 370

特	記	機能	機能番号	項目	設定値	設定例	確認コマンド例
○	可	通知設定3／3：その他 (外部通知1：ブザーオン時間)	0371	外部通知1 　ブザーオン時間※2	off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	10s	H func? 371
○	可	通知設定3／3：その他 (外部通知1：メール送信)	0372	外部通知1 　メール送信※2	on/off	on	H func? 372
○	可	通知設定3／3：その他 (外部通知1：異常検知出力)	0373	外部通知1 　異常検知出力※2	-/1～8	8	H func? 373
○	可	通知設定3／3：その他 (外部通知2：OSD表示)	0374	外部通知2 　OSD表示※3	off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	8off	H func? 374
○	可	通知設定3／3：その他 (外部通知2：ブザーオン時間)	0375	外部通知2 　ブザーオン時間※3	off/1～5s/10s/20s/30s/ 1～5m/during/confirm	10s	H func? 375
○	可	通知設定3／3：その他 (外部通知2：メール送信)	0376	外部通知2 　メール送信※3	on/off	on	H func? 376
○	可	通知設定3／3：その他 (外部通知2：異常検知出力)	0377	外部通知2 　異常検知出力※3	-/1～12	8	H func? 377
○	可	状態表示設定（状態表示）	0385	時計表示 アイコン表示 チャンネル名称表示 状態表示	off/on off/on off/on off/on	on off on off	H func? 385
○	可	状態表示設定（背景黒帯濃さ）	0386	背景黒帯濃さ	deep/standard/light/none	light	H func? 386
○	可	自動バックアップ設定 (バックアップモード)	0390	バックアップモード	off/auto/schedule	off	H func? 390
○	可	自動バックアップ設定(バックアップ先)	0391	バックアップ先	a-j	c	H func? 391
○	可	同時バックアップモードの設定 (記録レート)	0392	記録レート	1/2	1	H func? 392
○	可	自動バックアップ設定(スケジュール)	0393	スケジュール 　開始時刻　時間 　　分 　終了時刻　時間 　　分 バックアップ範囲 　開始時刻　時間 　　分 　終了時刻　時間 　　分	 0～23 0～59 0～24 0～59 0～23 0～59 0～24 0～59	 08:00-21:45 06:45-07:45	H func? 393
○	可	操作音設定	0394	操作音	on/off	off	H func? 394
○	可	ナビ表示順序	0395	ナビ表示順序[x14]	alarm/hdd/format/backup/play/ norec/zoom/audio/last/timedate/ md/time/lock/hddreset	alarm hdd format backup play norec zoom audio last timedate md time lock hddreset	H func? 395
○	可	画質調整	0396	画質調整 　チャンネル番号： 　明るさ： 　カラーレベル： 　コントラスト： 　シャープネス：	 1-5 m15～m1/0/p1～p15 m15～m1/0/p1～p15 m15～m1/0/p1～p15 0/p1～p3	 2 m1 p1 p3 p2	H func? 396

※1　モニタ出力表示位置取得の出力形式
[サイズ][水平オフセット値][垂直オフセット値]
出力例：54 -6 -2

※2　リモートコマンド「外部通知1」の設定です。

※3　リモートコマンド「外部通知2」の設定です。

(6) モードロック

特	記	機能	機能番号	機能	設定値	設定例	確認コマンド例
○	可	アラーム入力特殊設定	0397	端子No. 短絡検出 開放検出	1～5 -/rec_start/rec/_stop/timer_on/timer_off/md_on/md_off -/rec_start/rec/_stop/timer_on/timer_off/md_on/md_off	1 md_on md_off	H func? 397 1
○	可	パスワード	0400	モード種別 認証有無 パスワード[6～32] 再入力パスワード[6～32]	1～5 off/on ※1 ※1	1 on DSG001 DSG001	H func? 400
○	可	操作制限(本体操作・ライブ操作)	0401	制限レベル1～5	on/off	on off on on off	H func? 401
○	可	操作制限(本体操作・記録操作)	0402	制限レベル1～5	on/off	on off on on off	H func? 402
○	可	操作制限(本体操作・再生操作)	0403	制限レベル1～5	on/off	on off on on off	H func? 403
○	可	操作制限 (本体操作・HDD電源操作)	0405	制限レベル1～5	on/off	on off on on off	H func? 405
○	可	操作制限(メニュー・メニュー)	0410	制限レベル1～5	on/off	on off on on off	H func? 410
○	可	操作制限(メニュー・記録設定)	0411	制限レベル1～5	on/off	on off on on off	H func? 411
○	可	操作制限(メニュー・モーションディテクタ設定)	0412	制限レベル1～5	on/off	on off on on off	H func? 412
○	可	操作制限 (メニュー・スイッチャー設定)	0413	制限レベル1～5	on/off	on off on on off	H func? 413
○	可	操作制限(メニュー・一般設定)	0414	制限レベル1～5	on/off	on off on on off	H func? 414
○	可	操作制限 (メニュー・モードロック設定)	0415	制限レベル1～5	on/off	on off on on off	H func? 415
○	可	操作制限 (メニュー・ネットワーク設定)	0416	制限レベル1～5	on/off	on off on on off	H func? 416
○	可	操作制限(検索・検索)	0419	制限レベル1～5	on/off	on off on on off	H func? 419
○	可	操作制限(ナビ・ナビ操作)	0420	制限レベル1～5	on/off	on off on on off	H func? 420
○	可	操作制限(ナビ・アラーム確認)	0421	制限レベル1～5	on/off	on off on on off	H func? 421
○	可	操作制限(ナビ・音声切換)	0422	制限レベル1～5	on/off	on off on on off	H func? 422
○	可	操作制限(ナビ・バックアップ)	0423	制限レベル1～5	on/off	on off on on off	H func? 423
○	可	操作制限(ナビ・上書き禁止)	0424	制限レベル1～5	on/off	on off on on off	H func? 424
○	可	映像制限(ライブ)	0425	チャンネル1～5 制限レベル1～5[5]	1～5 on/off	1 on off off on on	H func? 425
○	可	映像制限(再生)	0426	チャンネル1～5 制限レベル1～5[5]	1～5 on/off	1 on off off on on	H func? 426
○	可	音声制限	0427	制限レベル1～5[5]	on/off	on off off on on	H func? 427
○	可	操作制限(その他・DSHNET)	0430	制限レベル1～5	on/off	on off on on off	H func? 430
○	可	操作制限(その他・WEBブラウザ)	0431	制限レベル1～5[5]	on/off	on off on on off	H func? 431
○	可	自動移動	0432	モード移動時間 モード	off/10s/1m/2m/3m/4m/5m/30m 1～5	30m 5	H func ? 432
○	可	特権ログイン　ID・パスワード変更	0433	ID[6～32] パスワード[6～32] 再入力パスワード[6～32]	※1 ※1 ※1	DSG000 777777 777777	※確認コマンドなし。
○	可	特権ログイン 操作モード	0434	モード	1～5	5	H func ? 434

※1 ID、パスワードパラメータについて

(1) 入力可能文字

・ 半角英数記号
　シフトJISコード(0x20～0x7D) の文字。但し、空白(0x20)、単一引用符(0x27)、二重引用符(0x22)を除く

(2) 入力可能文字数

・ 半角6～32文字

(7) ネットワークメニュー

特	記	機能	機能番号	項目	設定値	設定例	確認コマンド例
○	可	基本設定(DHCP)	0500	DHCP	off/on	off	H func? 500
○	可	基本設定(IPアドレス)	0501	IPアドレス[4] サブネットマスク[4] デフォルトゲートウェイ[4]	000-255 000-255 000-255	123/255/000/001 123/255/000/002 123/255/000/003	H func? 501
○	可	基本設定(DNS)	0502	DNS	off/manual/auto ※ DHCPがon時 off/manual ※ DHCPがoff時	man	H func? 502
○	可	基本設定(DNSサーバー)	0503	優先DNSサーバーアドレス[4] 代替DNSサーバーアドレス[4]	000-255 000-255	123/255/000/001 123/255/000/010	H func? 503
○	可	メールサーバ設定 (メールサーバ選択)	0510	メールサーバ選択	domain_name/ip_address	domain_name	H func? 510
○	可	メールサーバ設定 (IPアドレス)	0511	IPアドレス[4]	000-255	123/255/000/001	H func? 511
○	可	メールサーバ設定 (ドメイン名)	0512	ドメイン名[1～60]	※1	tokai_domain	H func? 512
○	可	メールサーバ設定 (ログイン)	0513	ID[6～32] パスワード[6～32] 再入力パスワード[6～32]	※2 ※2 ※2	DSG000 777777 777777	※ 確認コマンドなし。
○	可	メール設定（メールタイトル）	0514	メールタイトル[0～32]	※3	east_gate10	H func? 514
○	可	メール設定（メールユーザ）	0515	送信先no. 有効 添付画像 メールアドレス[1～52]	1～5 off/on null/pc_picture/handyphone ※1	3 off handyphone XX@co.jp	H func? 515 3
○	可	SNTPサーバ設定 (SNTPサーバ選択)	0516	SNTPサーバ選択	domain_name/ip_address	ip_address	H func? 516
○	可	SNTPサーバ設定 (IPアドレス)	0517	IPアドレス[4]	000-255	123/255/000/001	H func? 517
○	可	SNTPサーバ設定 (ドメイン名)	0518	ドメイン名[1～96]	※1	DNSオン時のみ有効。	H func? 518
○	可	DSHNET設定 (ID，パスワード)	0519	ID[6～32] パスワード[6～32] 再入力パスワード[6～32]	※2 ※2 ※2	DSG000 777777 777777	※ 確認コマンドなし。
○	可	DSHNET設定（ポート番号）	0520	コマンド用ポート番号 音声出力用ポート番号	0/1024～65535 0/1024～65535	1024 2048	H func? 520
○	可	LAN回線設定（通信速度）	0521	通信速度	full/2mbps/1mbps/512kbps/ 256kbps/128kbps/96kbps/ 64kbps/32kbps/16kbps	full	H func? 521
○	可	LAN回線設定（同時接続）	0522	同時接続	1～4	3	H func? 522
○	可	モニタリング許可CH設定	0523	許可CH[チャンネルX5]	off/on	on on on on off	H func? 523
○	可	RS－232C設定	0524	通信速度	1200bps/2400bps/4800bps/ 9600bps/19200bps	9600bps	H func? 524
○	可	送信元メールアドレス設定	0525	メールアドレス[1～52]	※1	XXX@co.jp	H func? 525

※1 ドメイン名、メールアドレスパラメータについて
(1) 入力可能文字
・半角英数記号　シフトJISコード(0x20～0x7D)の文字。但し、空白(0x20)、単一引用符(0x27)、二重引用符(0x22)を除く
(2) 入力可能文字数
・半角1～96文字
※2 ログインＩＤ、ログインパスワード、特権ログインＩＤ、特権ログインパスワードパラメータについて
(1) 入力可能文字
・半角英数記号　シフトJISコード(0x20～0x7D)の文字。但し、空白(0x20)、単一引用符(0x27)、二重引用符(0x22)を除く
(2) 入力可能文字数
・半角6～32文字
※3 メールタイトルパラメータについて
(1) 入力可能文字
・半角英数記号　シフトJISコード(0x20～0x7E）の文字。但し、空白(0x20)、単一引用符(0x27)、二重引用符(0x22)を除く
(2) 入力可能文字数
・半角1～半角32文字
※4 ＤＮＳがオフでもdomainを設定できる。但し、ＤＮＳが有効でなければ、IPアドレスの設定が使用される。

次ページへつづく

付　録

機器状態確認

特	機能		コマンド																				備考	コマンドセットバージョン	
	パラメータ説明				コマンド名		パラメータ番号																	0100	0102
×	**レコーダ状態確認** 記録状態 再生状態 タイマースタンバイ モードロック HDD電源 HDD領域A残量 HDD領域B残量 HDD領域C残量 警告発生有無　ズーム制御 自動切換（釦） 自動切換（アラーム）禁止 画面分割　音声出力	送信 応答	H H		condition ? condition =	↓	パラメータ1 stop normal_rec timer1_rec timer2_rec timer3_rec timer4_rec emer_alarm backup_rec		パラメータ2 stop play rplay pause cue review slow rslow		パラメータ3 tstandbyoff tstandbyon	↓	パラメータ4 mode1 mode2 mode3 mode4		パラメータ5 poweron poweroff		パラメータ6 000-100 repeat --- リサイクルモード STOP ⇒ 000 -100 RE-REC ⇒ repeat 領域nの割り当てが0% ⇒ ---			○	○
							パラメータ7 000-100 repeat ---		パラメータ8 000-100 repeat ---		パラメータ9 normal warning		パラメータ10 offのみ		パラメータ11 spot_off のみ		パラメータ12 zoom_off zoom_on 方向キーやジョグがズーム制御に使用されている場合オン				
							パラメータ13 auto_off auto_on		パラメータ14 almholdoff almholdon アラーム記録時の自動切換えをしない設定になっている場合オン		パラメータ15 full01-5 qd4a-qd4b mlt6		パラメータ16 audio- audio1								
×	**CH個別記録状態確認**		H H		recstatus? recstatus=	↓	パラメータ1 stop normal_rec timer_rec sensor_alarm emer_alarm backup_rec		パラメータ2 stop normal_rec timer_rec sensor_alarm emer_alarm backup_rec		パラメータ3 stop normal_rec timer_rec sensor_alarm emer_alarm backup_rec	↓	パラメータ4 stop normal_rec timer_rec sensor_alarm emer_alarm backup_rec		パラメータ5 stop normal_rec timer_rec sensor_alarm emer_alarm backup_rec							
×	**警告確認　※1** チャンネルロスト,チャンネル未登録, HDD異常,HDD寿命,HDD未登録,その他（HDDフル,メモリ異常,ファン異常,停電,未初期化USBストレージ,未対応ＵＳＢストレージ,緊急バックアップ記録中,緊急バックアップ用ストレージ異常),長時間暗い,長時間MDなし	送信 応答	H H		warning? warning=	↓	パラメータ1 0000000000000000		パラメータ2 0000000000000000		パラメータ3 00000000	↓	パラメータ4 00000000		パラメータ5 00000000		パラメータ6 00000000						
							パラメータ7 0000000000000000		パラメータ8 0000000000000000		パラメータ9 0000000000000000		パラメータ10 0000000000000000										
×	**アラーム件数確認**	送信 応答	H H		almcount? almcount=	↓	パラメータ1 000-999	↓															
×	**USB接続確認** 種別、使用量[MB]、空き容量[MB]、全容量、フォーマット状態	送信 応答	H H		usb? usb=		パラメータ1 a-j a	↓	パラメータ2 hdd dvd-ram dvd-r dvd-rom none		パラメータ3 0-		パラメータ4 0-		パラメータ5 0-		パラメータ6 true false	↓					

※1　警告確認
パラメータ1　：hdd異常 最下位桁から順に内蔵マスタ、外付け1。1:異常、0:正常。
パラメータ2　：hdd削除 最下位桁から順に内蔵マスタ、外付け1。1:異常、0:正常。
パラメータ3　：hdd寿命 最下位桁から順に内蔵マスタ、外付け1。1:寿命、0:正常。
パラメータ4　：hdd追加 最下位桁から順に内蔵マスタ、外付け1。1:追加、0:正常。
パラメータ5　：hddフル　最下位から順にHDD領域A、領域B、領域C。1:事象発生、0:正常。
パラメータ6　：hddニアフル　最下位から順にHDD領域A、領域B、領域C。1:事象発生、0:正常。
パラメータ7　：その他 最下位桁から順に停電、メモリ異常、ファン異常、未初期化USBストレージ、未対応USBデバイス、緊急バックアップ記録中、緊急バックアップ用ストレージ異常。1:事象発生、0:正常。
パラメータ8　：チャンネルロスト 最下位桁から順にCH1～CH5。1:ロスト、0:正常。
パラメータ9　：チャンネル長時間画像暗い：最下位桁から順にCH1～CH5。1:事象発生、0:正常。
パラメータ10：チャンネル長時間MD検知なし：最下位桁から順にCH1～CH5。1:事象発生、0:正常。

ダイレクト操作

特	機能		コマンド					備考	コマンドセットバージョン		
	パラメータ説明			コマンド名		パラメータ番号			0100	0102	
○	順方向インデックスサーチ	送信 応答	H H	nextindex *RESPONSE*	↓ ↓				○		
○	逆方向インデックスサーチ	送信 応答	H H	backindex *RESPONSE*					○		
○	タイムデートサーチ 年 月 日 時 分 秒 検索CH	送信 応答	H H	tds *RESPONSE*	↓ ↓	パラメータ1 00-99 パラメータ5 00-59	パラメータ2 01-12 パラメータ6 00-59	パラメータ3 01-31 パラメータ7 00-5 ↓	パラメータ4 00-23 パラメータ8			○		
○	アラームサーチ 年 月 日 時 分 秒 検索CH	送信 応答	H H	alms *RESPONSE*	↓	パラメータ1 00-99 パラメータ5 00-59	パラメータ2 01-12 パラメータ6 00-59	パラメータ3 01-31 パラメータ7 00-5 ↓	パラメータ4 00-23 パラメータ8			○		
○	フル画面指定	送信 応答	H H	full *RESPONSE*	↓	パラメータ1 ↓ 1-5						○		
○	4分割指定	送信 応答	H H	quad *RESPONSE*	↓	パラメータ1 ↓ a-b						○		
○	6分割画面	送信 応答	H H	multi6 *RESPONSE*	↓								○	

次ページへつづく

特	機能		コマンド																							
	パラメータ説明				コマンド名		パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3		パラメータ4		パラメータ5		パラメータ6		パラメータ7							
○	特殊再生 +100: 100倍速再生 +60: 60倍速再生 +30: 30倍速再生 +10: 10倍速再生 +5: 5倍速再生 +2: 2倍速再生 +1: 再生 +02: 1/2倍速再生 +05: 1/5倍速再生 -100: 100倍速逆再生 -60: 60倍速逆再生 -30: 30倍速逆再生 -10: 10倍速逆再生 -5: 5倍速逆再生 -2: 2倍速逆再生 -1: 逆再生 -02: 1/2倍速逆再生 -05: 1/5倍速逆再生	送信 応答	H		playspeed		+100 +60 +30 +10 +5 +2 +1 +02 +05 -100 -60 -30 -10 -5 -2 -1 -02 -05	↓																		
		H		*RESPONSE*	↓																					
○	静止 再生（特殊再生を含む）中は静止にする 静止中は静止のまま ライブ中はライブのまま	送信	H		playpause		↓																			
		応答	H		*RESPONSE*		↓																			

8　外部通知

外部通知1、2をオンオフします。オンに同期して、リア端子、OSD、ブザー、メールを出力することができます。

特	機能		コマンド																備考	コマンドセットバージョン		
	パラメータ説明				コマンド名		パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3		パラメータ4		パラメータ5		パラメータ6			0100	0102	
○	外部通信１，２ オンオフ	送信	H		terminal		1 2		on off	↓										○	○	
		応答	H		*RESPONSE*	↓																

保証とアフターサービス

保証書（別添）について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

当社は、この日立デジタルレコーダーの補修用性能部品（ハードディスクドライブ相当品）を、製造打切後8年間保有しています。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、取扱説明書に記載されたお客様ご相談窓口にお問い合せください。

転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店をご紹介させていただきます。
転居にともない本機を設置する環境（建物内部の配線等）が変わると、所定の性能がえられなかったり、故障の原因になりますので、設置業者による配線工事や調整が必要です。

修理を依頼されるときは（出張修理）

本機が正常に動作しないときは、「故障かな…と思ったら」（115～116ページ）をお調べください。それでも不具合な場合は、ご使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。
なお、日立デジタルレコーダーの故障もしくは不具合により発生した、付随的損害（営業損失などの補償）の責については、ご容赦ください。

※万が一、ハードディスクが故障した場合、保証期間内であっても記録した映像音声データの保管および復旧はご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	日立デジタルレコーダー
形　名	DS-G150
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間がすぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ

技　術　料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれています。
部　品　代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。
出　張　料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。 別途、駐車料金をいただく場合があります。

保守点検サービスのおすすめ

保守契約を結んでいただきますと、保守契約期間中は保守契約条項により、安心で有利なサービスが受けられます。

- 障害が発生した場合は、保守員を派遣して装置の修理を行うとともに、必要により点検を実施します。
- 詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

- **ハードディスク、冷却ファン、ハードディスクを固定する防振ゴムは消耗部品です。3年を目安に交換してください。（目安であり、保証ではありません。）**
- 冷却ファンが故障したままご使用を続けますと、本機が故障してしまいます。冷却ファン故障時は、すみやかにサービスへご依頼ください。

付　録

仕　様

型式		DS-G150
記録メディア		HDD（250GB）
映像入力		5入力　BNC接栓　1.0Vp-p　75Ω
スルー出力		5出力　BNC接栓　1.0Vp-p　75Ω
モニター出力		1出力　BNC接栓　1.0Vp-p　75Ω 1出力（前面）　USピン　1.0Vp-p　75Ω
RGB出力		ミニD-SUB15ピン
音声入力		1入力（USピン）入力
音声出力		2出力（前面/背面）-8dB（USピン）
アラーム入力		1入力　非常アラーム対応、5入力 アラーム入力
モーションディテクタ		5入力対応
分割表示		1,4,6分割
記録レート		30枚/秒_0.1枚/秒（14段階）
画質		Super、High、Std、Basic
解像度		Super ：704x480（プログレッシブ記録）、704x240（通常） High：704x480（プログレッシブ記録）、704x240（通常） Std：704x480（プログレッシブ記録）、704x240（通常） Basic：352x240（通常）
アラーム入力（時間設定）	プリアラーム記録	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10秒
	ポストアラーム記録	10/20/30秒、1/2/3分/マニュアル
非常アラーム	プリアラーム記録	5分
	ポストアラーム記録	10/20/30秒、1/2/3分/マニュアル
タイマー記録		8プログラム
検索機能		タイムデートサーチ、日時絞込み検索 インデックス検索、モーションディテクタ検索 上書き禁止検索、最新画像サーチ
イーサネット		100BASE-TX、10BASE-T
RS-232C		有
拡張端子		1端子（前面）
HDD増設端子		外付けHDD（DS-HDD10もしくはDS-HDD20）用　1端子
電源		AC100V　50/60Hz
消費電力		35W
許容動作温度（湿度）		5～40℃（10～75%）
質量（本体）		約4.2kg
外形寸法（WxHxD）		298(W)x88(H)x347(D)mm（突起部を除く）

設定機能一覧

●設定機能一覧

機能名	内容	参照先
共通設定	カメラ、音声、リサイクルモード、残量警告、ハードディスクの登録の設定をします。	P.41
一般記録設定	一般記録に関する設定をします。	P.45
タイマー記録設定	タイマー記録の予約設定をします。	P.48
アラーム記録設定	アラーム発生時の記録に関する設定をします。	P.55
非常アラーム設定	非常アラームに関する設定をします。	P.53
緊急バックアップ記録設定	緊急時のバックアップに関する設定をします。	P.87
モーションディテクタ設定	検知感度の設定をします。	P.60
スイッチャー設定	自動切換表示時間とチャンネルスキップの設定をします。	P.32
チャンネル名設定	チャンネル名の表示／非表示とチャンネル名の設定をします。	P.28
日時設定	日時の設定をします。	P.18
モードロック設定	モードロックの設定及び変更に関する設定をします。	P.88
モニター表示位置設定	モニターの映像の表示位置を設定します。	P.26
異常検知出力設定	異常検知出力の設定をします。	P.109
ブザー設定	ブザー音のオン／オフを設定します。	P.110
ネットワーク設定	ネットワークに関する設定をします。	P.98
メール発報の設定	メールに関する設定を行います。	P.103
遠隔監視機能の設定	遠隔監視機能に関する設定をします。	P.105

●検索機能一覧

機能名	内容	参照先
タイムデートサーチ	日付・時刻を指定して検索します。	P.73
日時絞込み	指定した日付・チャンネルの映像を時、分、秒単位で検索します。	P.76
インデックス	インデックス情報か記録した場面を検索します。	P.77
モーションディテクタ	記録した画像の中から変化のあった画像を検索します。	P.77
上書き禁止	上書き禁止に設定した区間を検索します。	P.78

索　引

ア行

IPアドレス ……99
RGB端子 ……12
RS-232C ……12、107
アラーム確認 ……17
アラーム記録 ……40、55
アラーム記録表示 ……23
アラーム記録部再生情報表示 ……23
タイムデートサーチ ……73
アラーム自動切換え保留表示 ……23
アラーム入力 ……36、55
異常検出……117
異常検知出力……109
一日あたりオン回数 ……58
一般 ……21
一般記録 ……45
インデックス検索 ……77
上書き禁止 ……67
映像 ……21
映像入力端子 ……12
SNTPサーバーアドレス……102
ＯＳＤ表示……111
音声 ……46、49、51
音声切換 ……69
音声記録情報表示 ……23
音声入力端子 ……12

カ行

外部ストレージ ……79
外部ストレージの初期化 ……80
外部ストレージのディレクトリ ……84
拡張端子 ……11
画質 ……27、45、55
画質調整 ……27
カメラ ……44
カメラ種別 ……44
画面構成（4分割）……33
画面構成（6分割）……33
機器動作停止……118
基本 ……99
逆サーチ ……71
逆転コマ送り再生 ……70
急激変化検知 ……62
共通 ……41
記録 ……21、38
記録情報表示 ……23
記録中止 ……47
記録同時再生 ……71
記録領域設定 ……41
緊急バックアップ ……87
検索メニュー ……72
検知禁止部分の設定 ……66
検知枚数 ……64
コマ送り再生 ……70
コントロール端子 ……12

サ行

最新画像サーチ ……74
再生 ……69
再生時刻表示 ……70
再生状態情報表示 ……23
再生速度表示 ……23
サブネットマスク ……99
残量警告 ……42
時間 ……54、56
時刻カウント基準 ……18
時刻調整方法 ……19
時刻補正 ……19
自動移動 ……96
自動切換 ……32
自動バックアップ ……85
状態表示 ……23
順サーチ ……71
初期化 ……80
スイッチャー ……21
ズーム ……22、37
スキップ ……31
セキュリティナビゲーション ……22
操作音 ……26
操作禁止表示 ……23
操作制限 ……90

タ行

タイマースタンバイ表示 ……23
タイマー予約（時刻）……50
タイマー予約（指定日）……51
タイムデートサーチ ……22、73
滞留時間 ……62
チャンネル記録間隔表示 ……25
チャンネル記録表示 ……25
CH個別……60
チャンネル再生表示 ……25
チャンネル情報表示領域 ……23
チャンネル名 ……28
ＣＨロスト……118
長時間動き無し ……63
長時間暗い ……62
通信速度……101

通知……108
DSHNET ……105
停止ボタン ……11
デフォルトゲートウェイ ……99
特権ログイン ……97

ナ行

ナビ表示順序 ……22
日時 ……18
日時絞込み ……76
ネットワーク ……98
ネットワークの設定 ……98

ハ行

HDD異常……111
HDD管理 ……53、113
HDD残量復帰 ……43
HDD寿命……117
HDD設定 ……41
HDD増設端子 ……12
HDD登録……113
HDDニアフル……117
HDD領域 ……41
ハードディスク残量表示 ……23
ハードディスクの増設……113
HDDフル ……43
HDD未登録……117
パスワード ……88
バックアップ記録 ……22、81
バックアップ再生 ……82
早送り／早戻し再生 ……70
非常アラーム ……53
日付・時刻設定 ……18
日付時計表示 ……23
ファン異常……118
ブザーオン時間……110
保証とアフターサービス……139
補助情報表示領域 ……23

マ行

マスク ……31
メインメニュー画面 ……21
メールサーバー……103
メールタイトル……104
メール通知の設定……103
メール発報中 ……23
メニュー画面 ……21
メモリ異常……118
モーションディテクタ ……59
モーションディテクタ再生 ……22、70
モードロック ……88
モードロック表示 ……23
モニター画面 ……23
モニター出力表示位置設定 ……26
モニタリング許可CH ……106

ヤ行

曜日 ……50
容量変更 ……41

ラ行

ライブ画面 ……34
LAN回線 ……101
LAN端子 ……12
リサイクルモード ……41
リセット ……17
レート ……45、49
録画ボタン ……11
冷却ファン ……12

付　録

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

（受付時間）365日／9：00～19：00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

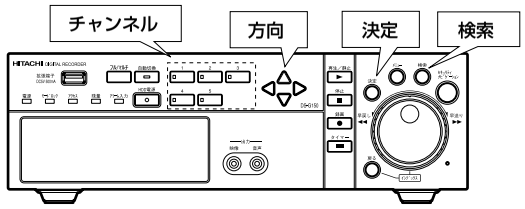
TEL 0120-3121-11

FAX 0120-3121-34

（受付時間）9：00～17：30／携帯電話、PHSからもご利用できます。日曜・祝日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

- ご相談窓口の名称、所在地は変更になることがありますのでご了承ください。
- インターネットホームページで日立製作所の監視機器に関する情報、別売品などをご案内しています。
  http://www.hitachi.co.jp/bouhan

モードロック

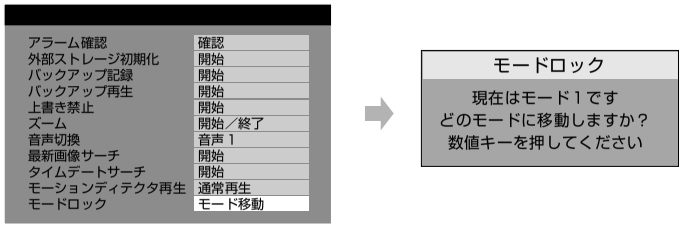


本体操作やメニュー設定など機能別に操作制限を5つのモードまで設定することができます。
※工場出荷時は以下のように設定されています。
・モード1　：全ての操作が可能
・モード2～5 ：全ての操作を禁止
※操作制限は、**[メニュー] - [モードロック] - [操作制限]**画面で設定できます。

ここでは、パスワードを設定していない**【認証：無し】**の場合の操作について説明します。
※工場出荷時は、モード1～5は**【認証：無し】**に設定されています。
※**【認証：有り】**を設定している場合は、パスワード入力を要求するメッセージが表示されます。

●モードロック設定する場合

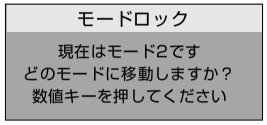
1 **[セキュリティナビゲーション]**ボタンを押して、**[方向]**ボタンで『**モードロック：モード移動**』を選び、**[決定]**ボタンを押します。《モードロック》画面が表示されます。
※工場出荷時は「モード1」になっています。



2 **[チャンネル2]**ボタンを押してください。「モード2」に移動します。
※モード2の初期値は、全ての操作禁止です。
※モードロック中は、本体のモードロックランプ(緑)が点灯し、モニター画面に が表示されます。

●上記で設定したモードロックを解除する場合

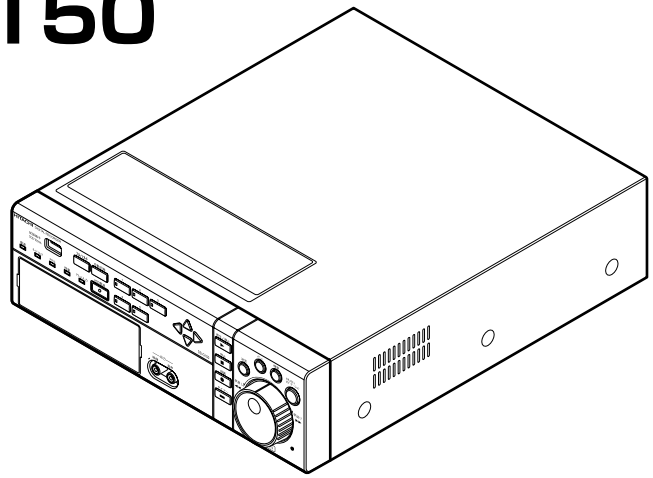
1 **[セキュリティナビゲーション]**ボタンを押して、**[方向]**ボタンで『モードロック：モード移動』を選び、**[決定]**ボタンを押します。《モードロック》画面が表示されます。
2 **[チャンネル1]**ボタンを押してください。モード1に移動します。
※ 「モード1」は、全ての操作可能です。



簡易版 操作マニュアル

HITACHI
Inspire the Next

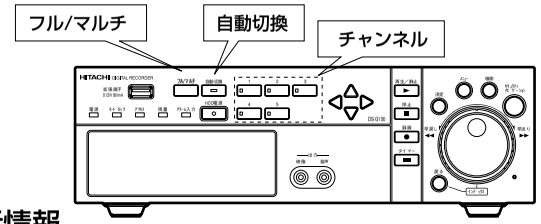
日立デジタルレコーダー
DS-G150



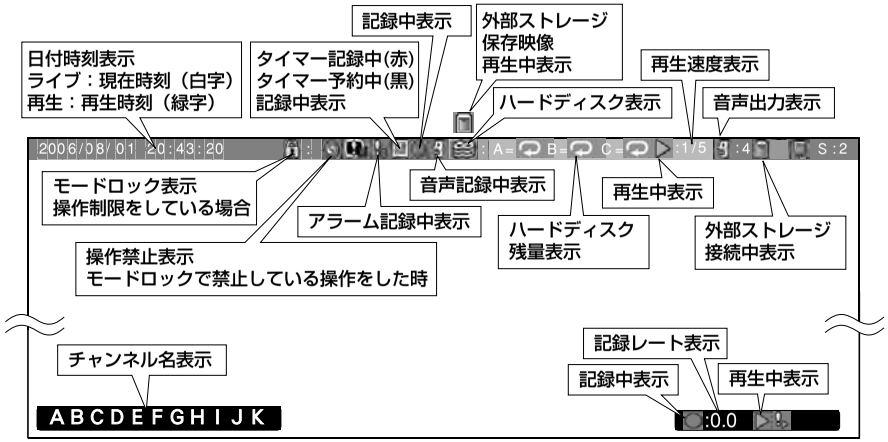
もくじ

モニター画面表示情報＆表示画面の切り換え ……2
録る（記録）＆見る（再生）……3
タイムデートサーチ（見たい場面を頭出し）……4
外部ストレージ（USBメモリ）に記録映像を保存 ……5
外部ストレージ（USBメモリ）に保存した記録映像を PCで再生 ……7
モードロック ……8

モニター画面表示情報&表示画面の切り換え

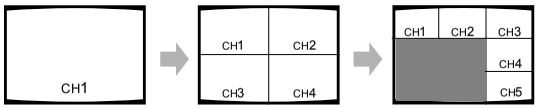


● 画面表示情報



● モニター画面を切り換える

1 **[フル／マルチ]** ボタンを押すたびに画面表示が切り換わります。



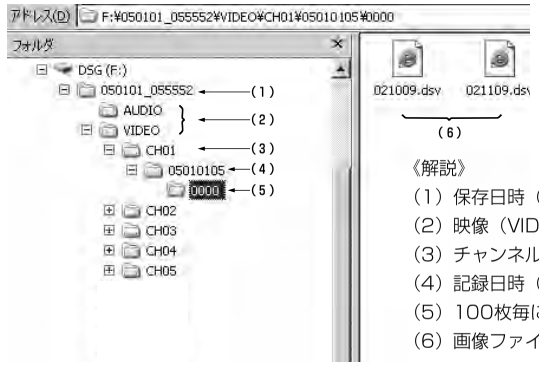
● 映像を自動的に切り換える

1 フル画面表示にする。
2 **[自動切換]** ボタンを押す。
3 自動切換えを解除する時は、もう一度 **[自動切換]** ボタンを押すか、いずれかの **[チャンネル]** ボタンを押してください。
・4分割画面表示の時に **[自動切換]** ボタンを押すと、下図のように切り換わります。

外部ストレージ（USBメモリ）に保存した記録映像をPCで再生

●PCでの外部ストレージ(USBメモリ）の再生

1 PCに外部ストレージ(USBメモリ)を挿入します。
2 保存形式：「一枚ずつ」で保存したときのディレクトリ構成は下記のようになります。



《解説》
（1）保存日時（年月日_時分秒）
（2）映像（VIDEO)/音声(AUDIO)
（3）チャンネル番号（CH01-CH5）
（4）記録日時（年月日時）
（5）100枚毎にフォルダ分け（0000～9999）
（6）画像ファイル（記録分秒フレーム.dsv）

※「一括」で保存したデータを見るためにはアプリケーションソフトが必要になります。

●プラグインソフトのインストール

1 PC上で画像を表示するためには、プラグインソフトをインストールする必要があります。
映像を保存したUSBメモリ内に「plugin」フォルダがあります。
この中の「readme.htm」をダブルクリックしてください。自動的にプラグインソフトのインストールを開始します。
“Internet Explorer” で右のような画像が表示されればプラグインソフトのインストールは成功です。

2 エクスプローラで画像ファイル（拡張子が“dsv” のファイル）を選び、ダブルクリックします。
“Internet Explorer” が起動して画像が表示されます。
※エクスプローラのツールバー[表示]-[縮小版]を選ぶと映像が一覧で表示されます。

※保存された記録映像をPCで見る場合は、画像1枚ずつの静止画表示のみ可能です。
動画での再生はできません。
動画再生にはアプリケーションソフト「DSHNET5(別売)」、「DSHVIEW5(無償)」が必要となります。
⇒「DSHVIEW5」無償ダウンロードサイト　http://www.hitachi.co.jp/bouhan　内
「ソフトウェアダウンロード」

※Microsoft Internet Explorer は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

●外部ストレージ(USBメモリ) への保存

1 本体前面の拡張端子に外部ストレージ(USBメモリ)を挿入します。

2 **[セキュリティナビゲーション]**ボタンを押して、**[方向]**ボタンで『**バックアップ記録**』を選び、**[決定]**ボタンを押します。
《ドライブ指定と保存形式》画面が表示されます。保存形式を選択して**[決定]**ボタンを押します。
※「1枚づつ」で保存したデータは、PCのInternet Explorerで見ることができます。
※「一括」で保存したデータは、専用ソフトが必要になります。

3 右の画面が表示されます。保存したい映像の開始位置まで再生し、**[再生/静止]**ボタンを押して静止画表示にしてください。
[決定]ボタンを押すと開始位置が確定されます。
※開始・終了位置はタイムデートサーチで頭出しできます（→4ページ参照）。

バックアップ記録
開始位置まで再生し静止して下さい

4 保存したい映像の終了位置まで再生し、**[再生/静止]**ボタンを押して静止画表示にしてください。
[決定]ボタンを押すと、自動的に保存が開始されます。
※画面に表示されているCHの映像のみ保存されます。
※保存を中止したい場合は**[戻る]**ボタンを押してください。

バックアップ記録
終了位置まで再生し静止して下さい

5 保存が終了すると右の画面が表示されます。
※保存先の容量が不足した場合は、保存開始から中断されたところまで保存されます。

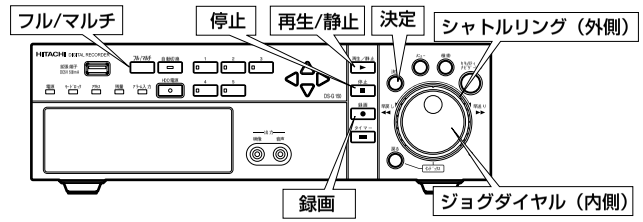
バックアップ記録
バックアップを終了しました
開始時刻　2006/11/15　10：16：42
終了時刻　2006/11/15　10：17：47

6 **[戻る]**ボタンを押すと、モニター画面に戻ります。静止画表示になっています。

7 **[停止]**ボタンを押して静止画を解除し、外部ストレージ(USBメモリ)を取り外してください。

保存形式		Internet Explorer	DSHNET5 Ver.1.10 DSHVIEW5 Ver.1.12	Ver.1.20以降 Ver.1.20以降
一枚づつ	静止画	○	○	○
	動画	—	○	○
一括	静止画	—	—	○
	動画	—	—	○

録る（記録）&見る（再生）



● 一般記録をする

1 **[録画]**ボタンを押してください。
記録中は**[録画]**ランプ（赤）が点灯します。モニター画面に『**●(赤)**』が表示されます。

2 記録を止める時は、**[停止]**ボタンを3秒以上押してください。
記録を停止すると**[録画]**ランプが消えます。

● 記録中に映像を再生する【記録同時再生】

1 記録中に**[再生/静止]**ボタンを押してください。
再生映像が表示されます。記録は継続されます。
・分割画面表示中に**[再生/静止]**ボタンを押すと、分割画面全てが再生されます。

2 **[停止]**ボタンを押すと再生が停止します(さらに3秒以上押すと記録を停止します)。

● 再生する

1 **[再生/静止]**ボタンを押してください。
再生中は**[再生/静止]**ランプ(緑)が点灯し、最も古い記録から再生が始まります。
一度停止すると、停止された位置から再生します。
・再生中に**[フル/マルチ]**ボタンを押すと画面表示が切り換わります（→2ページ参照）。

2 **[停止]**ボタンを押すと再生を終了します。

● 静止画を表示する（一時停止する）

1 再生中に**[再生/静止]**ボタンを押すと、静止画表示になります(一時停止します)。
静止画表示中は**[再生/静止]**ランプ（緑）が点滅します。

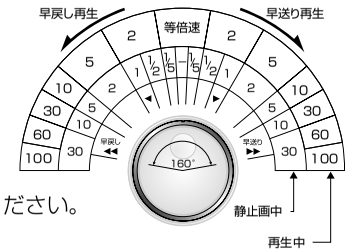
2 もう一度**[再生/静止]**ボタンを押すと、再生を開始します。

● その他の再生

再生のスピードを変える（早送り再生／早戻し再生）

1 再生中に**[シャトルリング]**を回すことにより再生速度を変えることができます。
※ モニター画面に再生速度が表示されます。

2 **[シャトルリング]**を回しながら、**[決定]**ボタンを押すと、速度が固定されます。
等倍速に戻すときは、**[再生/静止]**ボタンを2回押してください。

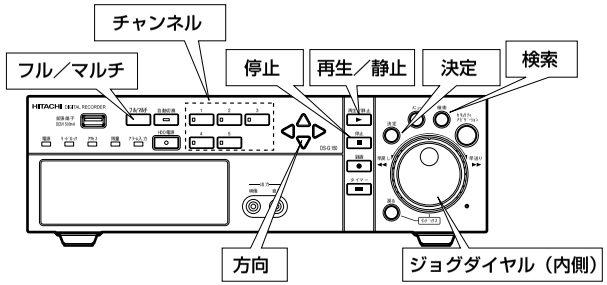


コマ送り再生/逆転コマ送り再生

1 静止画表示中に、**[ジョグダイヤル]**を回すとコマ送りとなります。
※ フル画面表示のみ動作します。

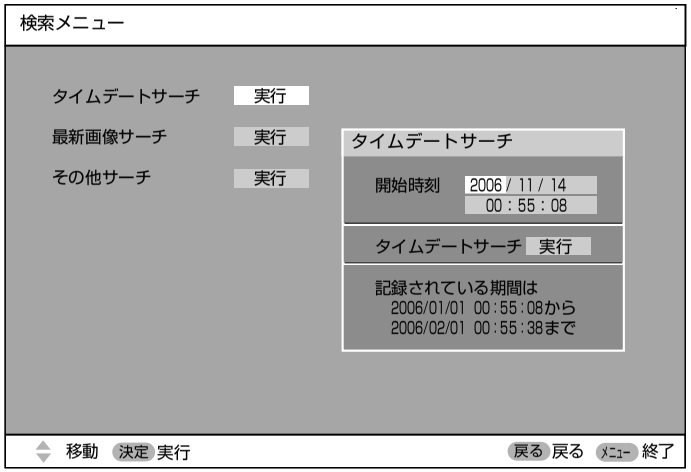
タイムデートサーチ（見たい場面を頭出し）

[検索]ボタンを押して、見たい画面を日付､時刻から頭出しする



1 **[検索]**ボタンを押して**[方向]**ボタンで『タイムデートサーチ』の『**実行**』を選んで、
[決定]ボタンを押します。

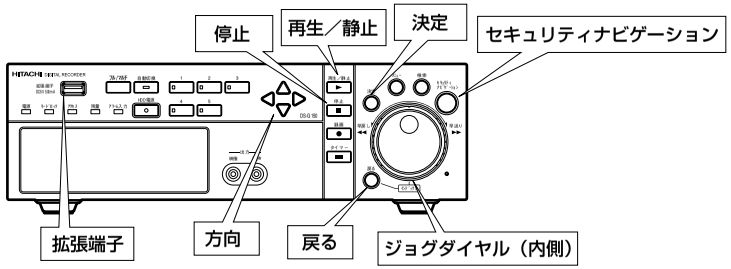
2 **[方向]**ボタンで検索を開始したい日時（年・月・日・時・分・秒)を
[ジョグダイヤル]を回して設定してください。



3 日時を設定したら**[方向]**ボタンで『実行』を選び、**[決定]**ボタンを押してください。
検索が開始されます。検索後、指定した日時の映像が、6分割画面で静止画表示されます。
[再生/静止]ボタンを押すと再生を開始します。

4 **[フル/マルチ]**ボタンまたは**[チャンネル]**ボタンでモニター画面の表示を変更できます。
[停止]ボタンを押すと、再生を終了します。

外部ストレージ（USBメモリ）に記録映像を保存



★USBメモリは下記機種を推奨しています(2006年2月現在)。
※推奨機種以外は使えない場合があります。
I/Oデータ社製　：TB-B128、TB-B256、TB-B512、TB-B1G,、TB-B2G

●外部ストレージ(USBメモリ)の初期化

1 本体前面の拡張端子に外部ストレージ(USBメモリ)を挿入します。

2 **[セキュリティナビゲーション]**ボタンを押して、**[方向]**ボタンで『**外部ストレージ初期化**』を選び、
[決定]ボタンを押します。《ドライブ指定》画面が表示されます。

3 初期化したいドライブを選び、**[決定]**ボタンを押します。
『初期化します。よろしいですか？』の確認メッセージが出ますので、**[方向]**ボタンで『**実行**』を選んで、**[決定]**ボタンを押します。

4 ※ USBメモリ内に保存されているデータがある場合、すべて消去されます。
『初期化を完了しました。』というメッセージが表示されたら初期化完了です。
[戻る]ボタンを2回押すと、モニター画面に戻ります。

デジタルレコーダーＤＳ－Ｇ１５０設定値 記録シート

シート　A

納入先名		殿	発行元	整理 No.
				(　　)　作成者：
型式	DS-G150	取付日	年　月　日	担当	

1 セット状態

釦ランプ	自動切替[緑]	録画[赤]	タイマー[緑]	モードロック[緑]
状況	点灯・消灯	点灯・消灯	点灯・消灯	点灯・消灯
意味	画面の自動切替表示 点灯:有,消灯：無	点灯:録画， 消灯：録画停止	タイマー記録設定 点灯:有,消灯：無	釦操作不能設定 点灯:有,消灯：無

2 一般記録設定値 [記録：映像：一般の通常記録設定値]

設定項目	現地の設定値を記録	
CH	画質	レート（コマ／秒）
1	[Super, High, Std, Basic]	[30, 15, 10, 7.5, 6, 5, 3, 2, 1.5, 1, 0.8, 0.5, 0.2, 0.1 ,-(無)]
2	[Super, High, Std, Basic]	[30, 15, 10, 7.5, 6, 5, 3, 2, 1.5, 1, 0.8, 0.5, 0.2, 0.1 ,-(無)]
3	[Super, High, Std, Basic]	[30, 15, 10, 7.5, 6, 5, 3, 2, 1.5, 1, 0.8, 0.5, 0.2, 0.1 ,-(無)]
4	[Super, High, Std, Basic]	[30, 15, 10, 7.5, 6, 5, 3, 2, 1.5, 1, 0.8, 0.5, 0.2, 0.1 ,-(無)]
5	[Super, High, Std, Basic]	[30, 15, 10, 7.5, 6, 5, 3, 2, 1.5, 1, 0.8, 0.5, 0.2, 0.1 ,-(無)]

メモ

〈キリトリ線〉

3（1） 記録メニュー

シート B

設定項目					現地の設定値を記録																
共通	アラーム記録単位				[時間 ・ 枚数]																
	自動記録				[する ・ しない]																
カメラ	カメラ種別			CH	①	②	③	④	⑤												
				N:ノーマル P:プログレッシブ																	
HDD 領域	記録領域設定	映像 A	イベント		①	②	③	④	⑤												
			一般																		
			タイマー																		
			アラーム																		
		音声 A	一般						—												
			タイマー						—												
			アラーム						—												
HDD 設定					領域 A					領域 B					領域 C						
	記録容量				[%] 100%					[%]					[%]						
	リサイクルモード				[RE-REC , STOP]					[RE-REC , STOP]					[RE-REC , STOP]						
	残量警告				[%] 10%					[%]					[%]						
HDD 管理	非常アラームプリ				[する , しない]																
映像	一般	種別	項目	CH	①	②	③	④	⑤												
		通常	画質																		
			レート																		
		プリ	レート																		
			時間																		
		ポスト	画質																		
			レート																		
			時間																		
	設定 1 (タイマー)	種別	項目	CH	①	②	③	④	⑤												
		通常	画質																		
			レート																		
		プリ	レート																		
			時間																		
		ポスト	画質																		
			レート																		
			時間																		
	設定 2 (タイマー)	種別	項目	CH	①	②	③	④	⑤												
		通常	画質																		
			レート																		
		プリ	レート																		
			時間																		
		ポスト	画質																		
			レート																		
			時間																		
	設定 3 (タイマー)	種別	項目	CH	①	②	③	④	⑤												
		通常	画質																		
			レート																		
		プリ	レート																		
			時間																		
		ポスト	画質																		
			レート																		
			時間																		
	設定 4 (タイマー)	種別	項目	CH	①	②	③	④	⑤												
		通常	画質																		
			レート																		
		プリ	レート																		
			時間																		
		ポスト	画質																		
			レート																		
			時間																		

3（2）記録メニュー

シート C

音声		一般	タイマー 1	タイマー 2	タイマー 3	タイマー 4
		[しない・する]	[しない・する]	[しない・する]	[しない・する]	[しない・する]

タイマー予約	時刻	NO	曜日	開始時刻	終了時刻	映像	音声
		1	[月 火 水 木 金 土 日 指]	[:]	[:]	設定[1 2 3 4]	設定[1 2 3 4]
		2	[月 火 水 木 金 土 日 指]	[:]	[:]	設定[1 2 3 4]	設定[1 2 3 4]
		3	[月 火 水 木 金 土 日 指]	[:]	[:]	設定[1 2 3 4]	設定[1 2 3 4]
		4	[月 火 水 木 金 土 日 指]	[:]	[:]	設定[1 2 3 4]	設定[1 2 3 4]
		5	[月 火 水 木 金 土 日 指]	[:]	[:]	設定[1 2 3 4]	設定[1 2 3 4]
		6	[月 火 水 木 金 土 日 指]	[:]	[:]	設定[1 2 3 4]	設定[1 2 3 4]
		7	[月 火 水 木 金 土 日 指]	[:]	[:]	設定[1 2 3 4]	設定[1 2 3 4]
		8	[月 火 水 木 金 土 日 指]	[:]	[:]	設定[1 2 3 4]	設定[1 2 3 4]
	指定日	①[/],②[/],③[/],④[/],⑤[/],⑥[/],⑦[/],⑧[/],⑨[/],⑩[/]					
		⑪[/],⑫[/],⑬[/],⑭[/],⑮[/],⑯[/],⑰[/],⑱[/],⑲[/],⑳[/]					

非常アラーム	ポスト記録	CH	①	②	③	④	⑤												
		画質																	
		レート																	
		時間																	

アラーム入力記録	端子 No	①	②	③	④	⑤												検知条件	ON 回数
	3																	[短絡 ・ 開放]	[ ]
	4																	[短絡 ・ 開放]	[ ]
	5																	[短絡 ・ 開放]	[ ]
	6																	[短絡 ・ 開放]	[ ]
	7																	[短絡 ・ 開放]	[ ]

モーションディテクタ	CH	①	②	③	④	⑤												−	ON 回数
	1																	−	[ ]
	2																	−	[ ]
	3																	−	[ ]
	4																	−	[ ]
	5																	−	[ ]
																		−	[ ]
																		−	[ ]
																		−	[ ]
																		−	[ ]
																		−	[ ]
																		−	[ ]
																		−	[ ]
																		−	[ ]
																		−	[ ]
																		−	[ ]
																		−	[ ]

緊急バックアップ	〔しない, (A:), (B:), (C:), (D:), (E:), (F:), (G:), (H:), (I:), (J:)〕

〈キリトリ線〉

4 モーションディテクタ設定

シート　D

CH個別・検知枚数	CH	領域設定（複数設定可）	感度	滞留時間	全体設定		カメラ異常検知		グループ検知設定							検知枚数
					検知サイズ	急激変化	長時間暗い	長時間動きなし	領域1	時間差	領域2	時間差	領域3	時間差	領域4	
	1	[A·B·C·D·E·F·G·H·未選択]	[標準・高感度・OFF・低感度]	[OFF,5,10,30S,1,2,3,5M]	[中·大·小]	[しない·する]	[-,(　)時間,(　)日]	[-,(　)時間,(　)日]								[－,1,2,4,6,8,15,30]
	2	[A·B·C·D·E·F·G·H·未選択]	[標準・高感度・OFF・低感度]	[OFF,5,10,30S,1,2,3,5M]	[中·大·小]	[しない·する]	[-,(　)時間,(　)日]	[-,(　)時間,(　)日]								[－,1,2,4,6,8,15,30]
	3	[A·B·C·D·E·F·G·H·未選択]	[標準・高感度・OFF・低感度]	[OFF,5,10,30S,1,2,3,5M]	[中·大·小]	[しない·する]	[-,(　)時間,(　)日]	[-,(　)時間,(　)日]								[－,1,2,4,6,8,15,30]
	4	[A·B·C·D·E·F·G·H·未選択]	[標準・高感度・OFF・低感度]	[OFF,5,10,30S,1,2,3,5M]	[中·大·小]	[しない·する]	[-,(　)時間,(　)日]	[-,(　)時間,(　)日]								[－,1,2,4,6,8,15,30]
	5	[A·B·C·D·E·F·G·H·未選択]	[標準・高感度・OFF・低感度]	[OFF,5,10,30S,1,2,3,5M]	[中·大·小]	[しない·する]	[-,(　)時間,(　)日]	[-,(　)時間,(　)日]								[－,1,2,4,6,8,15,30]
稼働時間帯	〔　：　～　：　〕															

モーション設定	CH[　] - 領域[　]（設定概略をスケッチする）	CH[　] - 領域[　]（設定概略をスケッチする）	CH[　] - 領域[　]（設定概略をスケッチする）

5　スイッチャー設定

シート　E

モニター					
自動切換		通常映像			
	自動切換	[1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10s, 外部]			
	アラーム切換	[1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10s,　　]			―
	アラーム切換期間	[5, 10, 20, 30, 40, 50s, 1min, アラーム記録中, 切換えない]			

CH 個別	CH	通常映像(設定 CH のみ○)				カメラ名称（変更時のみ）
		スキップ	マスク			
	1					1[　　]
	2					2[　　]
	3					3[　　]
	4					4[　　]
	5					5[　　]

	CH定型名称			
1				
2				
3				
4				
5				

画面構成					
	4 分割	A	B		
	(通常)	[表示 ・ スキップ]	[　表示 ・スキップ]		
	6 分割	A			

画面スキップ	フル画面	4 分割画面	6 分割画面	
	[　表示　・スキップ]	[　表示　・スキップ]	[　表示　・スキップ]	

メモ

〈キリトリ線〉

6（1） 一般メニュー

シート F

日時	日時				
	時刻カウント基準	[電源周波数 ・ クリスタル]			
	時刻調整方法	[機器間(スレーブ)、機器間(マスター)、ネットワーク]	時刻調整時刻	[ ]時 初期：2時	
	時刻補正	[する ・ しない]			
モニター表示位置	位置	[,] 初期：0，0			
	大きさ	[ ] 初期：3			

異常検知出力	端子No	オン時間	出力条件
	13	[発生中、確認まで、( )秒、(）分]	[短絡 ・ 開放]
	14	[発生中、確認まで、( )秒、(）分]	[短絡 ・ 開放]
	15	[発生中、確認まで、( )秒、(）分]	[短絡 ・ 開放]
	16	[発生中、確認まで、( )秒、(）分]	[短絡 ・ 開放]
	17	[発生中、確認まで、( )秒、(）分]	[短絡 ・ 開放]
	18	[発生中、確認まで、( )秒、(）分]	[短絡 ・ 開放]
	19	[発生中、確認まで、( )秒、(）分]	[短絡 ・ 開放]
	20	[発生中、確認まで、( )秒、(）分]	[短絡 ・ 開放]

通知		要因	OSD 表示	ブザーオン時間	メール	異常検知出力
	アラーム入力	No.3	[ｵﾌ,( )秒、( )分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,( )秒、( )分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[ー, ( ) 13 ～ 20]
		No.4	[ｵﾌ,( )秒、( )分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,( )秒、( )分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[ー, ( ) 13 ～ 20]
		No.5	[ｵﾌ,( )秒、( )分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,( )秒、( )分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[ー, ( ) 13 ～ 20]
		No.6	[ｵﾌ,( )秒、( )分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,( )秒、( )分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[ー, ( ) 13 ～ 20]
		No.7	[ｵﾌ,( )秒、( )分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,( )秒、( )分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[ー, ( ) 13 ～ 20]
		要因	OSD 表示	ブザーオン時間	メール	異常検知出力
	モーションディテクタ	CH1	[ｵﾌ,( )秒、( )分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,( )秒、( )分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[ー, ( ) 13 ～ 20]
		CH2	[ｵﾌ,( )秒、( )分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,( )秒、( )分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[ー, ( ) 13 ～ 20]
		CH3	[ｵﾌ,( )秒、( )分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,( )秒、( )分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[ー, ( ) 13 ～ 20]
		CH4	[ｵﾌ,( )秒、( )分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,( )秒、( )分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[ー, ( ) 13 ～ 20]
		CH5	[ｵﾌ,( )秒、( )分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,( )秒、( )分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[ー, ( ) 13 ～ 20]

メモ

6（2） 一般メニュー

シート G

通知		要因	OSD 表示	ブザーオン時間	メール	異常検知出力
	ハードディスク	無し	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[—,(　)13～20]
		異常	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[—,(　)13～20]
		削除	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[—,(　)13～20]
		寿命	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[—,(　)13～20]
		未登録	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[—,(　)13～20]
		ニアフルA	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[—,(　)13～20]
		ニアフルB	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[—,(　)13～20]
		ニアフルC	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[—,(　)13～20]
		フルA	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[—,(　)13～20]
		フルB	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[—,(　)13～20]
		フルC	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[—,(　)13～20]
	その他	要因	OSD 表示	ブザーオン時間	メール	異常検知出力
		非常アラーム	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[—,(　)13～20]
		機器異常	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[—,(　)13～20]
		カメラ異常	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[—,(　)13～20]
		IP 変更	—	—	[する・しない]	
		異常なし定時通知	—	—	[する・しない]	
		外部通知1	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[—,(　)13～20]
		外部通知2	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[ｵﾌ,(　)秒、(　)分、発生中、確認まで]	[する・しない]	[—,(　)13～20]

状態表示	時計表示	[有・無]	ｱｲｺﾝ表示	[有・無]	CH 名称表示	[有・無]	状態表示	有・無
	背景黒帯濃さ	[標準　・　薄　・　無し　・　濃]						[　　]
自動バックアップ	バックアップモード	[しない・同時バックアップ・スケジュール]			バックアップ先	ドライブ[　　]		
	同時バックアップモード	記録レート	[　2　,1]					
	スケジュール バックアップ設定	スケジュール	開始[　　:　　]終了[　　:　　]		記録部分	開始[　　:　　]終了[　　:　　]		

操作音	[　鳴らす　、鳴らさない　]
ナビ表示順序 (変更時は、[　]内に番号を記入)	1【　】モードロック、　2【　】アラーム確認、　3【　】タイムデートサーチ、　4【　】最新画像サーチ、 5【　】ﾓｰｼｮﾝﾃﾞｨﾃｸﾀ再生、　6【　】ズーム、　7【　】バックアップ記録、　8【　】バックアップ再生 9【　】外部ストレージ初期化、10【　】再生時刻表示、　11【　】上書き禁止、　12【　】HDD 残量復帰、 13【　】HDD 登録、　14【　】音声切換
画質調整 （調整した CH のみ記入）	CH[　] ———— 明るさ[　　]、カラーレベル[　　]、コントラスト[　　]、シャープネス[　　] CH[　] ———— 明るさ[　　]、カラーレベル[　　]、コントラスト[　　]、シャープネス[　　] CH[　] ———— 明るさ[　　]、カラーレベル[　　]、コントラスト[　　]、シャープネス[　　] CH[　] ———— 明るさ[　　]、カラーレベル[　　]、コントラスト[　　]、シャープネス[　　] CH[　] ———— 明るさ[　　]、カラーレベル[　　]、コントラスト[　　]、シャープネス[　　]

アラーム入力特殊設定	端子No	短絡検知	開放検知	
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			

メモ

〈キリトリ線〉

シート H

7 モードロック

パスワード	モード	認証有無	パスワード				
	1	[無し、有り]	[ ]				
	2	[無し、有り]	[ ]				
	3	[無し、有り]	[ ]				
	4	[無し、有り]	[ ]				
	5	[無し、有り]	[ ]				
操作権限	本体操作		モード1	モード2	モード3	モード4	モード5
		ライブ操作	○	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]
		記録操作	○	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]
		再生操作	○	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]
		HDD 電源操作	○	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]
	メニュー	メニュー	○	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]
		記録設定	○	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]
		モーションディテクタ設定	○	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]
		スイッチャー設定	○	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]
		一般設定	○	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]
		モードロック設定	○	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]
		ネットワーク設定	○	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]
	検索		○	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]
	ナビ	ナビ操作	○	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]
		アラーム確認	○	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]
		音声切換	○	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]
		バックアップ	○	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]
		上書き禁止	○	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]
	その他	DSHNET	○	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]
		WEB ブラウザ	○	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]	[—・ ○]
映像権限			モード1	モード2	モード3	モード4	モード5
	ライブ	CH1	○				
		CH2	○				
		CH3	○				
		CH4	○				
		CH5	○				
	再生	CH1	○				
		CH2	○				
		CH3	○				
		CH4	○				
		CH5	○				
音声権限			モード1	モード2	モード3	モード4	モード5
	音声		○				
自動移動	時間	[オフ ・ 1分 ・ 2分 ・ 3分 ・ 4分 ・ 5分 ・ 30分]					
	モード	モード [1・2・3・4・5]					
特権ログイン	ID	[ ]000000	パスワード	[ ]000000	モード	モード [1・2・3. 4. 5]	

8 ネットワーク

シート 1

基本	IP アドレス取得方法	[マニュアル ・ オート] 、下記項目を設定			
	マニュアル選択のみ設定	IP アドレス	[. . .] 初期値 192.168.000.001		
		サブネットマスク	[. . .] 初期値 255.255.255.000		
		デフォルトゲートウェイ	[. . .] 初期値 192.168.000.254		
	DNSサーバー	DNS サーバーアドレス取得方法	[オフ ・ マニュアル]		
		マニュアル選択時のみ設定	優先 DNS アドレス	[. . .]	
			代替 DNS アドレス	[. . .]	
メールサーバー	メールサーバーアドレス	[. . .]			
	送信元メールアドレス	[@ . .] 初期値： DS-G @ hitachi			
メール	メールタイトル	[ ]			
	送信先	有効	画像添付	メールアドレス	
	送信先 1	[無効・有効]	[無し・PC・携帯]	[ ]	
	送信先 2	[無効・有効]	[無し・PC・携帯]	[ ]	
	送信先 3	[無効・有効]	[無し・PC・携帯]	[ ]	
	送信先 4	[無効・有効]	[無し・PC・携帯]	[ ]	
	送信先 5	[無効・有効]	[無し・PC・携帯]	[ ]	
SNTP	SNTPサーバーアドレス	[. . .] 初期値 000.000.000.000			
DSHNET	ログイン	ID	[ ] 初期値 DSG000		
		パスワード	[ ] 初期値 000000		
	ポート番号	コマンド	[ ] 初期値 12545		
		音声出力	[ ] 初期値 13545		
LAN回線	通信速度	[フルスピード・(2M・1M・512K・256K・128K・96K・64K・32K・16K) BPS]			
	同時接続	[4 ・ 1 ・ 2 ・ 3]台			
モニタリング許可CH	CH	1	2	3	4	5
	(する・しない)					
RS-232C	通信速度	[9600 ・ 19200 ・ 1200 ・ 2400 ・ 4800] BPS				

〈キリトリ線〉

memo

memo

memo

memo

memo

ご購入店名：　　後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるときお役にたちます。

電話（　　－　　－　　）　ご購入年月日：　　年　　月　　日

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際は、製造番号と保証書の番号
が一致しているかご確認ください。

企業や公共機関の家電品ニーズにおこたえする窓口

0120-312119

家電ビジネス情報センター　平日午前9時～午後5時30分、土・日・祝日は休業

PRINTED WITH SOY INK™

この取扱説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

株式会社 日立製作所

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2 丁目 2 番 1 号
新大手町ビル

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

QR66464 ©Hitachi, Ltd. 2006

Printed in Japan 0R-R(I)